

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 36

令和元年度発掘調査報告

(第1分冊)

若宮大路周辺遺跡群

若宮大路周辺遺跡群

令和2年3月

鎌倉市教育委員会



若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目333番2地点）Ⅱ区下層建物21
磁器の出土状況（南から）



若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目333番2地点）Ⅱ区下層建物21出土磁器
（井上久美子氏撮影）

ご あ い さ つ

本市は、市域の6割以上が埋蔵文化財包蔵地であり、多くの市民が埋蔵文化財が埋まった土地の上で生活を送っています。そのため、家屋や店舗の新築や建替え等に伴い、埋蔵文化財に影響を及ぼす工事が行われることも多くあります。このように、私たちが日々の生活を送っていく上でやむを得ず失われる埋蔵文化財について、記録を保存し後世に残すことは、現在を生きる私たちの責務であると言えます。

鎌倉市教育委員会では、昭和59年度から個人専用住宅の建築等に係る発掘調査を実施しています。本書は平成18・22～25・27・28年度に実施した、個人専用住宅の建築等に伴う発掘調査15か所の調査記録を掲載しています。

本書に収めたひとつひとつの調査成果は、武家政権発祥の地であり、今もその歴史を継承し、文化を発信する鎌倉の貴重な文化遺産です。これらの成果を広く知っていただくとともに、研究資料として活用されることを願って止みません。

最後になりましたが、発掘調査の実施にあたっては、関係者の皆様に深いご理解を賜るとともに、さまざまご協力をいただきましたことを心からお礼を申し上げます。

令和2年3月 日
鎌倉市教育委員会

例 言

- 1 本書は令和元年度の国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に係る発掘調査報告書（第1分冊）である。
- 2 本書所収の調査地点及び所収分冊は別表・別図のとおりである。
- 3 現地調査及び出土資料の整理は、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
- 4 出土遺物及び調査に関する図面及び写真等は、鎌倉市教育委員会文化財課が保管している。
- 5 各調査の成果は、それぞれの報告を参照されたい。

第1分冊 目次

ごあいさつ	I
例言	II
目次	III
本誌掲載の平成18・22～25・27・28年度発掘調査地点一覧	IV
令和元年度調査の概観	V
調査地点位置図	VI
1 若宮大路周辺遺跡群 (No. 242) 小町一丁目333番2地点	
第一章 遺跡の位置と周辺の発掘調査成果	7
第二章 調査の方法と経過	9
第三章 基本土層	11
第四章 検出遺構と出土遺物	12
第五章 若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析	143
第六章 調査成果のまとめ	146
2 若宮大路周辺遺跡群 (No. 242) 小町二丁目281番2地点	
第一章 遺跡の位置と歴史的環境	195
第二章 発見された遺構と遺物	202
第三章 まとめ	259

第1～4分冊掲載の平成18・22～25・27・28年度発掘調査地点一覧

第1分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
1	若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)	小町一丁目333番2	個人専用住宅 (杭工事)	都市	180	平成19年2月1日 ～平成19年6月29日
2	若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)	小町二丁目281番2	個人専用住宅 (柱状改良工事)	都市	104	平成24年1月23日 ～平成24年4月20日

第2分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
3	米町遺跡 (No. 245)	人町二丁目2400番5、6	個人専用住宅 (柱状改良工事)	都市	75	平成24年8月28日 ～平成24年11月22日
4	積善遺跡 (No. 440)	十二所字積善944番1、945番 7、945番10	個人専用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	47	平成27年8月18日 ～平成27年11月12日
5	積善遺跡 (No. 440)	十二所字積善944番6、7、10	個人専用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	68	平成28年5月12日 ～平成28年9月7日

第3分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
6	円覚寺門前遺跡 (No. 287)	山ノ内字松岡1323番1、1338 番2	賃貸併用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	120	平成24年1月12日 ～平成24年5月18日
7	建長寺旧境内遺跡 (No. 397)	山ノ内字白黒小路1479番6	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	社寺跡 城館跡	96	平成22年9月15日 ～平成23年1月7日
8	公方屋敷跡 (No. 288)	浄明寺四丁目297番12、13	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡	48	平成22年6月8日 ～平成22年8月20日
9	報国寺遺跡 (No. 306)	浄明寺二丁目474番8、9	個人専用住宅 (柱状改良工事)	社寺跡 都市遺跡	72	平成23年6月6日 ～平成23年8月26日

第4分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
10	田楽辻子周辺遺跡 (No. 33)	浄明寺一丁目697番4	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	城館跡	54.00	平成22年10月18日 ～平成22年12月24日
11	清涼寺跡 (No. 183)	扇谷四丁目570番1	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	社寺跡	67.50	平成24年11月6日 ～平成25年2月1日
12	名越ヶ谷遺跡 (No. 231)	大町四丁目1884番14	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡	45.00	平成24年9月25日 ～平成24年12月7日
13	若宮大路周辺遺跡群 (No. 231)	御成町773番2	店舗併用住宅 (柱状改良工事)	城館跡 都市遺跡	65.00	平成25年5月16日 ～平成25年7月24日
14	長谷小路周辺遺跡 (No. 236)	由比ガ浜三丁目204番5	店舗併用住宅 (鋼管杭工事)	城館跡 都市遺跡	72.00	平成23年1月14日 ～平成23年3月31日
15	甘縄神社遺跡群 (No. 177)	長谷一丁目262番14外	個人専用住宅 (柱状改良工事)	社寺跡 城館跡	36.00	平成22年4月23日 ～平成22年6月11日

令和元年度調査の概観

令和元年度の緊急調査実施件数は3件であり、調査面積は278.78㎡であった。これを前年度の5件、281.79㎡と比較してみると件数が2件減少し、調査面積も3.01㎡の減少となる。しかし、1件の調査面積は平均で92.9㎡（前年度は56.35㎡）であり、前年度より増加となった。

調査原因は3件とも個人専用住宅の建設である。これらの工種別内訳は、基礎工事が1件、柱状改良工事が2件となっている。以下、各地点の調査成果の概要を紹介する。（調査面積及び調査期間等については「令和元年度調査地点一覧」を参照。）

1 多宝寺跡 (No.187)

扇ガ谷二丁目に所在し、浄光明寺から東へ約140mに位置している。個人専用住宅の建築にともない、基礎工事の施工部分について発掘調査を実施した。調査の結果、2枚の中世遺構面を確認し、15世紀前半頃に埋没した切石積みの東西溝が検出された。敷地南辺の現行道路と同じ方向で延びており、位置的に見て中世道路の側溝である可能性が高い。遺物はかわらけ、国産陶器、瓦、金属製品、石製品等が出土している。

2 大倉幕府周辺遺跡群 (No.49)

市内東部の二階堂に所在し、鶴岡八幡宮から東へ約800mに位置している。地盤の柱状改良工事を行う個人専用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀から15世紀にかけての生活面を確認し、柱穴、土坑、砂岩敷等を確認した。遺物はかわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、瓦、金属製品、石製品、木製品が出土している。

3 武蔵大路周辺遺跡 (No.194)

扇ガ谷三丁目に所在し、薬王寺から南へ約100mに位置している。地盤の柱状改良工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀後半～14世紀前半を中心とする遺構面が6枚確認され、井戸、木組み遺構等が検出されている。遺物はかわらけ、国産陶器、金属製品、石製品、木製品、漆器等が出土している。発掘調査は、次年度に継続する予定である。

令和元年度発掘調査地点一覧

	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	遺跡種別	調査面積	調 査 期 間
1	多宝寺跡 No.187	扇ガ谷二丁目260番1	個人専用住宅 (基礎工事)	社寺跡	74.90	令和元年6月12日 ～令和元年7月24日
2	大倉幕府周辺遺跡群 No.49	二階堂12番6	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡 都市遺跡	82.87	令和元年10月15日 ～令和2年3月2日
3	武蔵大路周辺遺跡 No.194	扇ガ谷三丁目451番の一部	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡 都市遺跡	121.01	令和元年12月10日 ～令和2年3月31日

鎌倉市全図

令和元年度の緊急発災調査地点(1~3)
本書掲載の平成18・22~25・27・28年度詳細調査地点(①~⑬)
※運送名は一覧表を参照



若宮大路周辺遺跡群 (No.242)

小町一丁目333番2地点

例 言

1. 本報告は、鎌倉市小町一丁目333番2において実施した、若宮大路周辺遺跡群（鎌倉市No.242）の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は平成19年2月1日から同年6月29日にかけて、個人専用住宅の建設に伴う国庫補助事業として鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。調査の対象面積は、約180㎡である。
3. 発掘調査体制は、以下のとおりである。

調査担当者	原 廣志（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
調 査 員	岡本夏菜、須佐直子、須佐仁和、梅岡ケイト、中川建二、山口正紀 （以上、鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
作 業 員	赤坂 進、河原龍雄、佐藤美隆、伴 一明、舟田峰夫 （以上、公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター 文化財班）
整理作業参加者	原 廣志、岡本夏菜、須佐直子、須佐仁和、梅岡ケイト、山口正紀、 岩崎卓治、岡田慶子、押木弘己、神田倫子、佐藤千尋、菅野知子、鍋島昌代 （以上、鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）

4. 本報告の作成は、以下の分担で行った。

執筆	押木（第五章以外）、鈴木 茂・森 将志（第五章、パレオ・ラボ）
編集	押木
遺構挿図作成	岡本、押木
遺物挿図作成	菅野
写真図版作成	押木
遺物観察表・カウント表作成	岡本、押木、神田

5. 本調査に係わる出土遺物および各種記録類は、鎌倉市教育委員会が保管している。本調査地の略称は市教育委員会の統一基準に従って「WA0621」とし、出土品への注記などに使用した。

凡 例

1. 挿図の縮尺は、遺構・遺物ともに図中表示している。
2. 本書中に記載した国土座標値は、世界測地系（第IX系：東日本大震災後の補正後）に基づいている。
3. 挿図に示した方位標は座標北（Y軸）で、真北はこれより0° 09' 25"ほど東に振れている。
4. 遺構挿図中の水系高は、海拔値を示す。
5. 出土遺物の年代観は以下の文献を参考としたが、筆者が各所見を理解し切れていない部分もある。
 - ◆かわらけ・遺物全体の様相：宗基秀明 2019「鎌倉出土かわらけの系譜と編年—東国社会の変質と中世の成立（後）：かわらけの編年と中世社会」『鶴見大学紀要 第56号 第4部 人文・社会・自然科学編』鶴見大学
 - ◆瓦質土器：河野眞知郎 1993「中世鎌倉火鉢考」『考古論叢神奈河 第2集』神奈川県考古学会
 - ◆輸入陶磁器：太宰府市教育委員会 2000『大宰府条坊跡XV—陶磁器分類編一』
 - ◆瀬戸窯製品：藤澤良祐 2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院
 - ◆常滑・瀧美窯製品：愛知県 2012『愛知県史 別編窯業3 中世・近世常滑系』

本文目次

第一章 遺跡の位置と周辺の発掘調査成果	7
第二章 調査の方法と経過	
第1節 調査の経緯と経過	9
第2節 調査の方法	9
第三章 基本土層	11
第四章 検出遺構と出土遺物	
第1節 検出遺構	12
第2節 出土遺物	34
第五章 若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析	143
第六章 調査成果のまとめ	
第1節 遺物点数・重量の提示方法について	146
第2節 遺構の変遷と遺物様相	146
第3節 「マグソ」の分析結果について	150

挿図目次

図1 調査地点の位置	8	図16 II区下層遺構面	
図2 調査区・グリッド配置図	10	竪穴建物 13・18・19・22・24	30
図3 土層断面図(II区南壁)	11	図17 II区下層遺構面	
図4 上層遺構面全体図	12	竪穴建物 23・井戸4周辺	31
図5 I・II区上層遺構面 遺構断面図		図18 II区下層遺構面 遺構断面図	31
・土坑39遺物出土状況	13	図19 II区調査区南壁 土層断面図	32
図6 II区上層遺構面遺構断面図	14	図20 I区 上層遺構面検出	
図7 下層遺構面 全体図	18	までの出土遺物(1)	35
図8 I区下層遺構面 竪穴建物2・5	19	図21 I区 上層遺構面検出	
図9 I区下層遺構面		までの出土遺物(2)	36
竪穴建物3・4・6・7ほか	21	図22 II区 上層遺構面検出	
図10 I区下層遺構面 竪穴建物4・6、		までの出土遺物(1)	37
土坑20土層断面図	22	図23 II区 上層遺構面検出までの	
図11 I区調査区北壁 土層断面図	23	出土遺物(2)・試掘坑・近世土坑	38
図12 II区下層遺構面		図24 I区上層遺構面	
竪穴建物A・10・11・12	24	竪穴建物1出土遺物	39
図13 II区下層遺構面		図25 I区上層遺構面	
竪穴建物10・11・12土層断面図	26	井戸1出土遺物(1)	40
図14 II区下層遺構面		図26 I区上層遺構面	
竪穴建物14・15・16	27	井戸1出土遺物(2)	41
図15 II区下層遺構面		図27 II区上層遺構面 掘発遺構出土遺物	42
竪穴建物15・17・20・21	29		

図 28	Ⅱ区上層遺構面 方形竪穴状土坑 1 出土遺物 (1) ……43	図 48	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (3) ……63
図 29	Ⅱ区上層遺構面 方形竪穴状土坑 1 出土遺物 (2) ……44	図 49	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 12・13 出土遺物 ……64
図 30	Ⅱ区上層遺構面 方形竪穴状土坑 2 ・井戸状遺構出土遺物 ……45	図 50	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 14 出土遺物 ……65
図 31	I・Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 ……46	図 51	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (1) ……66
図 32	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (1) ……47	図 52	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (2) ……67
図 33	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (2) ……48	図 53	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (3) ……68
図 34	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (3) ……49	図 54	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 16 出土遺物 ……69
図 35	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (4) ……50	図 55	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 17・18 出土遺物 ……70
図 36	Ⅱ区上層遺構面 ピット出土遺物 ……51	図 56	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 19 出土遺物 ……71
図 37	Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物 (1) ……52	図 57	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 20 出土遺物 ……72
図 38	Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物 (2) ……53	図 58	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (1) ……73
図 39	I 区下層遺構面 竪穴建物 2 出土遺物 ……54	図 59	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (2) ……74
図 40	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 3 出土遺物 ……55	図 60	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (3) ……75
図 41	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 4 出土遺物 ……56	図 61	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (4) ……76
図 42	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 5・6 出土遺物 ……57	図 62	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 22・23・24 出土遺物 ……77
図 43	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 7 出土遺物 ……58	図 63	Ⅱ区下層遺構面 井戸 4 出土遺物 ……78
図 44	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 9 出土遺物 ……59	図 64	Ⅱ区上層・下層遺構面 土坑・遺構外出土遺物 ……78
図 45	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 10 出土遺物 ……60	図 65	I 区下層遺構面 溝 1・井戸 4 出土遺物 ……79
図 46	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (1) ……61		
図 47	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (2) ……62		

表目次

表1 周辺の主な調査地点……………9	表4 建物11 出土物の法量(長さ)分布…64
表2 上層遺構面 遺構一覧……………15	表5 出土遺物カウント・計量表……………80～113
表3 下層遺構面 遺構一覧……………17	表6 出土遺物観察表……………114～142

写真図版目次

図版1

1. I区上層 西半部(西から)
2. I区上層 井戸1埋土上層
礫検出状況(東から)
3. I区上層 井戸1埋土上層(東から)
4. I区上層 井戸1埋土下層(東から)
5. I区上層 井戸1完掘状況(西から)

図版2

1. I区上層 建物1(南西から)
2. I区上層 建物1遺物出土状況(南から)
3. I区上層 土坑1(北から)
4. I区上層 面上遺物出土状況(北から)
5. I区下層 建物2A西半部(北から)
6. I区下層 建物2A遺物出土状況(北から)
7. I区下層 建物2A遺物出土状況(東から)
8. I区下層 建物2A遺物出土状況(南から)

図版3

1. I区下層 建物2A根太材(南から)
2. I区下層 建物2A根太材(東から)
3. I区下層 建物2A柱材倒置状況(北から)
4. I区下層 建物2A束柱検出状況(東から)
5. I区下層 建物2A(北から)
6. I区下層 建物2A南辺土台材(東から)
7. I区下層 建物2A柱穴ニ(左)・ホ(東から)

図版4

1. I区下層 建物2A柱穴ハ(南西から)
2. I区下層 建物2A・2B(南から)
3. I区下層 建物2A・2B(西から)
4. I区下層 建物2B南辺壁板(西から)
5. I区下層 建物2B東辺土台材(南から)
6. I区下層 建物2B南辺土台材(東から)

図版5

1. I区下層 建物3・4(西から)
2. I区下層 建物3
南辺壁板倒置状況(北から)

3. I区下層 建物4土層断面(東から)
4. I区下層 建物4土層断面(東から)
5. I区下層 建物3土台材(西から)
6. I区下層 建物3土層断面(南から)
7. I区下層 建物3東辺壁板(西から)

図版6

1. I区下層 全景(東から)
2. I区下層 全景(西から)

図版7

1. I区下層 建物4土台材(北から)
2. I区下層 建物5(南から)
3. I区下層 建物5壁板(東から)
4. I区下層 建物5
裏込め土内遺物出土状況(北から)
5. I区下層 建物6(北西から)
6. I区下層 建物6(北から)
7. I区下層 建物7南辺壁板・柱穴(北から)

図版8

1. I区下層 建物4(手前)・建物7(北から)
2. I区下層 建物7底面柱穴列(南から)
3. II区下層 溝1・南辺道路状遺構(東から)

図版9

1. II区上層 据堦遺構断面(南から)
2. II区上層 据堦遺構(北から)
3. II区下層 方竪状土坑2
(下層建物9・東から)
4. II区上層 方竪状土坑1
遺物出土状況(北から)
5. II区上層 方竪状土坑1
遺物出土状況(北から)
6. 同上 アップ(北から)
7. II区上層 方竪状土坑1
遺物出土状況(北から)
8. II区下層 建物9遺物出土状況(東から)

図版10

1. II区上層 全景(東から)

2. II区上層 全景(西から)

図版 11

1. II区上層 方壑状土坑1(北から)
2. II区上層 方壑状土坑2(下層建物9)
底面根太痕(南から)
3. II区上層 土坑35遺物出土状況(北から)
4. II区上層 土坑39遺物出土状況(北から)
5. II区上層 土坑39遺物出土状況(北から)
6. II区上層 土坑31遺物出土状況(北から)
7. 同上 イルカ頭骨アップ(北から)

図版 12

1. II区上層 溝状遺構(東から)
2. II区下層 建物10土層断面(南から)
3. II区下層 建物10床面炭層(北から)
4. II区下層 建物10(南から)
5. II区下層 井戸2土層断面(東から)
6. II区下層 井戸3(西から)
7. II区下層 井戸3上層断面(東から)

図版 13

1. II区下層 建物11遺物出土状況(西から)
2. II区下層 建物11遺物出土状況(西から)
3. II区下層 建物11遺物出土状況(北から)
4. II区下層 建物11遺物出土状況(東から)
5. II区下層 建物15
床下遺物出土状況(西から)
6. II区下層 建物15
床下遺物出土状況(西から)
7. II区下層 建物16(東から)
8. II区下層 建物18掘り方(南から)

図版 14

1. II区下層 建物11(左)・建物12(北から)
2. II区下層 建物11(奥)・建物12(西から)
3. II区下層 建物11西辺壁板(東から)
4. II区下層 建物12(南から)

図版 15

1. II区下層 建物11(手前)・建物12(東から)
2. II区下層 建物11・12
南辺土台材(北東から)
3. II区下層 建物11・12南辺壁板(北から)
4. II区下層 建物11
南辺土台材アップ(北から)
5. II区下層 建物11東辺土台材(西から)
6. II区下層 建物12西部(北から)
7. II区下層 建物12西部(南東から)

図版 16

1. II区下層 建物15・20(東から)
2. II区下層 建物15(北から)
3. II区下層 建物15遺物出土状況(北から)
4. II区下層 建物15根太材(東から)
5. II区下層 建物15根太材(北東から)
6. II区下層 建物15北辺壁板(南から)
7. II区下層 建物15
掘り方遺物出土状況(南から)

図版 17

1. II区下層 建物19(東から)
2. II区下層 建物19・24(東から)
3. II区下層 建物17・21(南から)
4. II区下層 建物22C(南から)
5. II区下層 建物22C床板(西から)
6. 同上 アップ(西から)

図版 18

1. II区下層 全景(東から)
2. II区下層 全景(西から)

図版 19

1. II区下層 建物21
北辺壁板倒潰状況(南から)
2. II区下層 建物21
北辺壁板倒潰状況(東から)
3. II区下層 建物21
壁板下遺物出土状況(東から)

図版 20

1. II区下層 建物21
壁板下遺物出土状況(南から)
2. 同上 アップ(南から)

図版 21

1. II区下層 建物21掘り方底面(南から)
2. II区下層 建物21西側
遺物出土状況(東から)
3. II区下層 堅穴状土坑3(南から)
4. II区下層 井戸4(東から)
5. 同上(北から)

図版 22

1. II区北壁 土層断面
(建物11・12の新旧関係 南から)
2. II区南壁 土層断面
(建物17・21の新旧関係 北から)

図版 23～40 出土遺物

第一章 遺跡の位置と周辺の発掘調査成果

本調査地は鎌倉市小町一丁目333番2に所在する。若宮大路周辺遺跡群は鎌倉低地の中心部を占め、史跡若宮大路を挟んで東西に展開している。現在の鎌倉でも最も賑わう市街地に占地することから開発行為にもなる発掘調査の件数も多く、現在までに約190件が実施されている。それぞれの調査面積は小さなものだが、その積み重ねによって遺跡範囲における地区ごとの土地利用の傾向も掴めるようになってきている。

本地点が所在する若宮大路の東側でも、「二の鳥居」の以南は13世紀中頃以降に堅穴建物が繰り返して構築された地区で、特に小町大路に近い地点で良好な検出・報告事例が多い。堅穴建物は居住用よりも取蔵施設としての用途が主体であったと考えられ、小町大路+滑川という陸・水運機能も組み合わさることで、当地区が中世都市鎌倉における物資流通・集積の中心的役割を果たしていたと想定されている。

近隣の調査では、図1-地点②・③で堅穴建物が特に多く、その構造や変遷を把握し得る良好な資料が検出されている。その成果からは、大まかな傾向として次の知見が得られている。①13世紀後半を中心に木組み構造の堅穴建物が建てられ、②この次段階に切石を土台や壁体として多用した堅穴建物が展開し、概ね14世紀半ば頃まで存続する。①は、道路や溝など区画性を持つ施設の整備にもなって進められたようである。

①の13世紀中頃～後半は鎌倉時代後期に当たり、これに先行する13世紀前半には当地区北方に將軍御所(幕府)が大倉から移転し(1225年の宇津宮辻子幕府→1236年の若宮大路幕府)、その滅亡まで政治の中心として機能した。堅穴構築以前の遺構は中世基盤層である黒褐色粘質土上で確認され、井戸やピット・土坑が検出されている。①・②段階で堅穴の構築が繰り返されたため遺構の残りは良くないが、地点③では3.3m間隔で若宮大路と平行して連なる大型土坑列が検出されるなど、公権力との関連を想起させる成果も上がっている。画期①・②の年代観については報告書によって多少の違いも見られるが、建物構造の変化は斉性が高いことから、土地利用形態の転換(再編)は漸移的ではなく一挙に進んだと理解すべきであろう。

小町大路に面した複数の調査地点では、鎌倉時代に遡る同大路の前身道路と側溝が検出され、地点⑤では13世紀前半～15世紀に至る7段階の道路面と西側溝が検出されている。最古段階の道路面は中世基盤層上をそのまま利用し、次段階には泥岩粒や玉石・貝殻を用いた硬化面が構築される。これ以降、当初の側溝を埋め立てた上にも道路面が広がり、最終段階まで泥岩ブロックを敷き詰めた舗装が連続と施される。側溝は、当初は素掘りであったが拡張後に木組み護岸、次いで切石積み護岸へと造り替えられていた。最古～第2段階の側溝は東屑のみの確認にとどまったが、地点②・④で西屑と思われる落ち込みが検出されており、これらを総合すると上幅が7m近くを測る大規模な溝であったことが推測できる。道路面からの深さは2mを超え、現時点では溝底が確認された調査例はない。「河川遺構」と報告されている例もあるが、道路に沿って直線的に延びている点や旧地形を勘案すると自然の流路とは見なし難く、鎌倉初期に開削された人工の流路と理解するのが妥当だろう。前後して開通したであろう若宮大路の側溝とともに、低地開発には不可欠である排水機能の主要な部分を担ったことが推測でき、鎌倉の都市化に大きく寄与した遺構と考えられる。

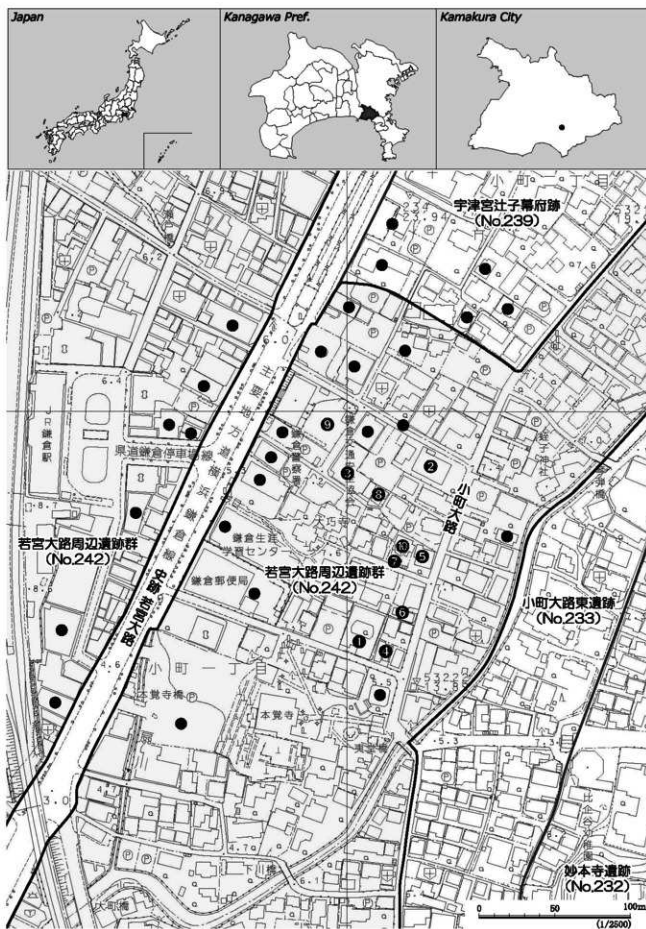


図1 調査地点の位置 (鎌倉市発行1:2,500都市計画基本図を使用・改変)

表1 周辺の主な調査地点（番号は図1に対応）

No.	地番	調査年度 (開始年度)	面積 (㎡)	所収文献
①	小町一丁目 333 番 2	2006 年度	180	本報告
②	小町一丁目 325 番 1 外	1992 年度	400	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 10 (第 3 分冊)』鎌倉市教育委員会 佐藤仁彦・小林益子 1994
③	小町一丁目 322 番	1992 年度	685	『若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書』若宮大路周辺遺跡群発掘調査団 宮田 真・森 季子 1997
④	小町一丁目 333 番 15	2010 年度	23	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 31 (第 2 分冊)』鎌倉市教育委員会 押木弘己 2015
⑤	小町一丁目 329 番 1-10	2010 年度ほか	213	『第 23 回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』(株)博通 宮田 真・滝澤晶子・安藤龍馬 2014
⑥	小町一丁目 331 番 1	2011 年度	62	『第 23 回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』NPO 法人鎌倉考古学研究所 山口正紀・松吉里永子 2013
⑦	小町一丁目 329 番 7	2013 年度	22	『若宮大路周辺遺跡群 (No. 242) 発掘調査報告書』(株)博通 宮田 真・森 健一郎 2016
⑧	小町一丁目 324 番 4	2014 年度	67	『第 25 回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』NPO 法人鎌倉考古学研究所 松吉里永子 2015
⑨	小町一丁目 319 番 1 外	2017 年度	706	『若宮大路周辺遺跡群 (No. 242) 発掘調査報告書』(株)齊藤建設 三ッ橋 勝・三ッ橋 正夫 2018
⑩	小町一丁目 329 番 1-8	2015 年度	120	『若宮大路周辺遺跡群 (No. 242) 発掘調査報告書』(株)博通 小野田 宏・森 健一郎 2019

第二章 調査の方法と経過

第1節 調査の経緯と経過

本発掘調査は個人専用住宅の建設工事に先立つ埋蔵文化財の記録保存調査として、鎌倉市教育委員会文化財課（市教委）が実施した。建設計画では基礎工事として鋼管杭を打ち込む設計であったことから、市教委では確認調査を実施し、その結果を受け、建設計画のうち埋蔵文化財に抵触する懸念がある部分については、工事着手前に本格的な発掘調査を行う必要があるという判断に至った。

発掘調査には平成 19 年 2 月 1 日～6 月 29 日の約 6 ヶ月間を要し、4 月中旬までに南側Ⅰ区の調査を終え、残りの日数は北側Ⅱ区の調査に要した。

第2節 調査の方法

今回の発掘調査は鋼管杭の打設範囲を対象としたが、安全面を配慮して隣地や道路との境界から十分な距離を取ったため、最終的な調査面積は 180 ㎡となった。

掘削にともなう発生土置き場を確保するため調査区は分割せざるを得ず、前節で述べたように南側のⅠ区→北側Ⅱ区という順で調査を進めた（図2）。両調査区は葉がっておらず、南北に 6 m ほど隔てた位置にある。両区とも表土は重機で掘削し、以下の掘削は人力作業で行った。今回は大きく 2 枚の中世遺構面を把握し、それぞれの面で遺構の確認と掘削作業を行い、写真撮影・測量図作成等の記録作業を進めた。測量には調査区の形状に沿った任意座標軸を設定して用い、調査区全体をカバーする 2 m 単位のグリッドを設けた。各グリッドは北西角を起点とし、東西 1～11 ラインと南北 A～M ラインの交点から名称を付けた。

任意基準点に対しては、市道上にある鎌倉市 4 級基準点「U068」・「U069」の二点間関係を基点として開放トラバース測量を行い、国家座標値（旧測地系）を与えた。現地調査が終了した後、本報告の作成にあたり web 版「TKY2JGD」を用いて国家座標値を世界測地系（JGD2011）に変換した。図2には、任意座標と JGD2011 双方のメッシュを示した。

標高は、若宮大路「二ノ鳥居」下の鎌倉市 3 級基準点（6.195 m）から直接水準測量によって敷地内の基準点に移設し、調査測量に用いた。

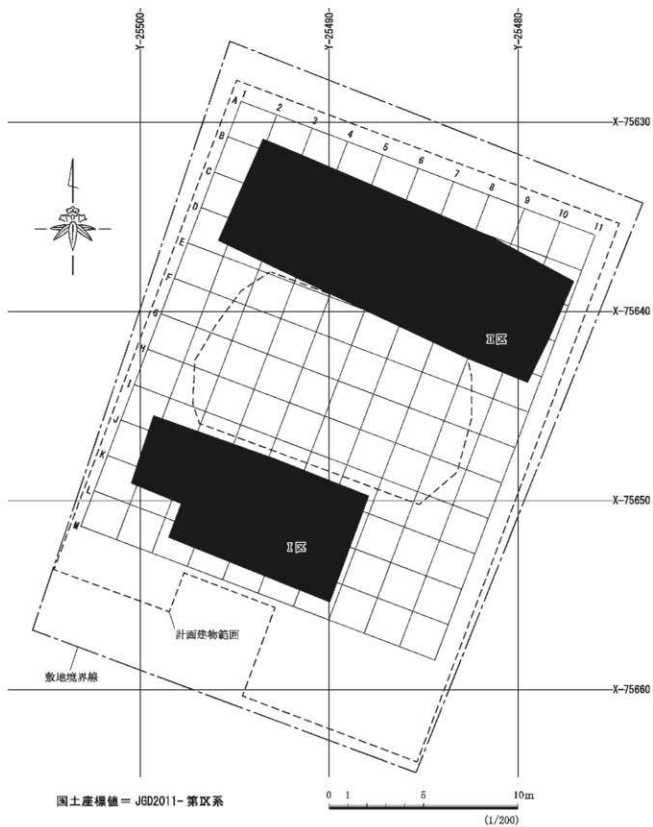


図2 調査区・グリッド配置図

第三章 基本土層

本地点では大別して2枚の遺構面を確認し、現地調査では上層遺構面・下層遺構面と呼称して作業を進めた。本報告でも、それに従って記述して行く。

現地表面の標高は7.4～7.5 mを測り、敷地の南側がわずかに低くなっている。

表土下には中世遺物包含層(1層)が堆積し、これを取り除いたところで上層遺構面が確認された。

上層遺構面は、I区では6.3～6.5 m前後、北側のII区では6.5～6.7 m前後で確認された。ただ、調査区壁の土層断面を見るとI区北壁で6.7～6.8 m前後、II区北壁では6.8 m前後が上面となることから、遺構の確認は本来の掘り込み面より低いレベルで実施したことになる。遺構面自体が現代までに削平を受け、中世当時の生活面ではない可能性が高い。このためか、上層遺構面を構築するのは褐色砂質土が主体で、泥岩を多用した整地層は確認できなかった。

下層遺構面は、I区北壁で6.3～6.4 m前後、II区北壁で6.4～6.7 m前後が上面となる。後述するようにI・II区とも調査区のほぼ全域が堅穴建物の埋土という状況を呈していたため、明確な整地面を把握するに至らなかった。

遺構の埋土(覆土)は褐色～暗褐色系の砂質土または粘質土を主体に構成され、泥岩・炭化物・貝殻など粒子の大小・多寡によって分層できる。現地調査の観察記録は詳細な内容であったが、本報告書の作成に当たってはその全てを採録できず、大幅に省略したものを掲載している(各断面図参照)。

本地点では、特に下層遺構面において堅穴建物を中心とした土地利用がされており、廃絶する堅穴を埋め立てて生活面を更新し、そこに新たな堅穴建物を掘削・建設して行く営為が比較的短期間のうちに繰り返されたものと見られる。その結果、泥岩塊を用いた盛土整地は行われず、簡単な地ならしを繰り返しながら土地利用を続けたことが推察される。

堅穴建物は中世基盤層である黒褐色粘質土層まで掘り込んでいる例が殆どであったため、本来ここに存在したであろう、鎌倉時代前半の遺構は多くが削り取られてしまった可能性が高い。そうした中でも、II区南部の中世基盤層上では東西に延びる溝状遺構が検出され、堅穴建物とは軸ラインや遺物様相が異なることから、第一章で触れた土地利用上の転換期が、本地点でも共通して把握できる可能性がある。

図3には、II区南壁の土層断面を示した。この部分の下層遺構面では堅穴建物が繰り返し構築された結果、ほぼ隙間なく遺構の埋土となっている状況が明瞭に看取できる。古い堅穴の方が底面標高が低い傾向にあることから、構築面(生活面)の標高も埋め立て・地ならしを繰り返す過程で次第に高まって行った状況が推察できよう。また、上層遺構面の整地に当たっては、最終段階の堅穴構築面を削平して行われた可能性も考えられる。

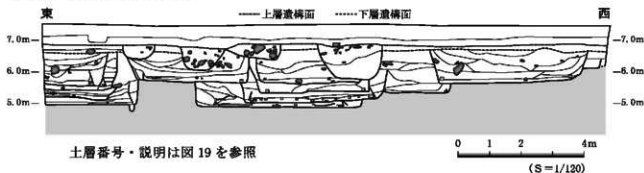


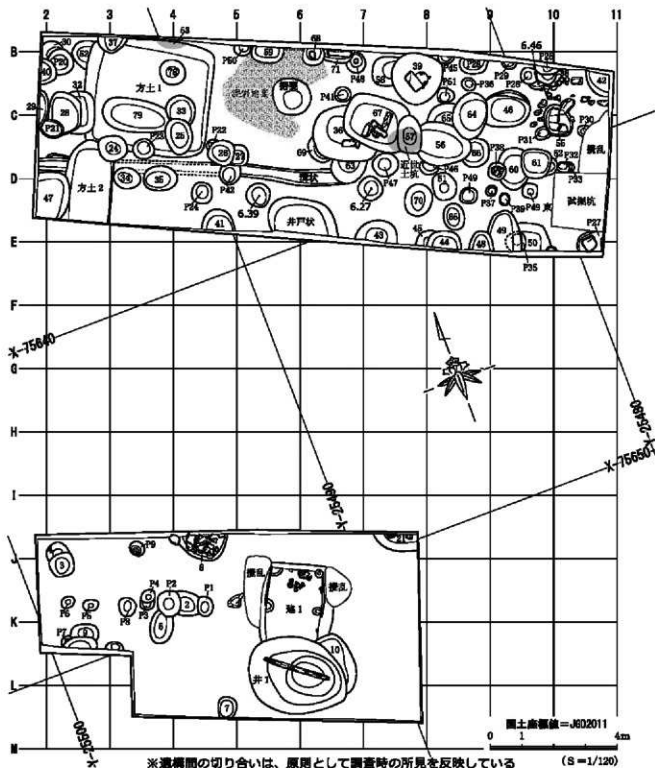
図3 土層断面図(II区南壁)

第四章 検出遺構と出土遺物

第1節 検出遺構

(1) 上層遺構面の検出遺構

南側のⅠ区で標高6.3～6.5m前後、北側のⅡ区では6.5～6.7m前後で確認された。

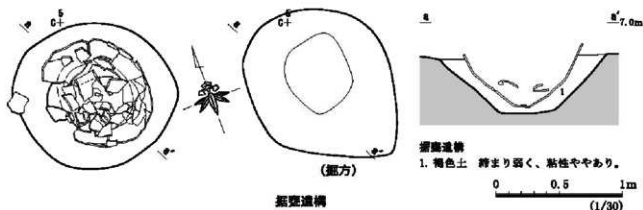


※遺構間の切り合いは、原則として調査時の所見を反映している
 図4 上層遺構面 全体図

(S=1/120)

褐色砂質土をベースとした遺構面で、この面上で土坑・ピットを主体に井戸などの遺構が検出された。特にⅡ区での遺構密度が高く、新旧遺構の重複が顕著であった。

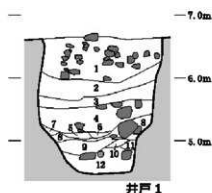
図5・6には、現地で断面図等の個別記録を残した遺構を掲載した。以下、掲載したものを中心に、遺物の出土状況等に特徴のある遺構について説明を加える。文章で触れられなかった遺構については、表2の一覧を参照されたい。



掘空遺構

掘空遺構

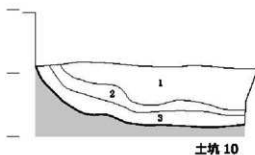
1. 褐色土 締まり弱く、粘性ややあり。



井戸 1

井戸 1

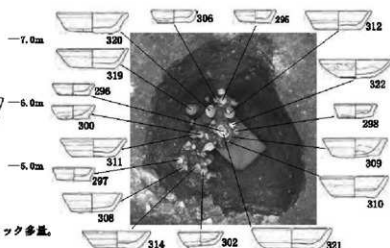
- | | |
|-----------|------------------------|
| 1. 褐色土 | 砂質土。拳大～人頭大の安山岩礫と泥岩粒多量。 |
| 2. 暗褐色土 | 締まり弱い。 |
| 3. 暗褐色土 | 砂質土。 |
| 4. 暗褐色土 | 砂質土。細灰岩片と安山岩礫多量。 |
| 5. 褐色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| 6. 暗褐色土 | 粘質土。 |
| 7. 暗褐色土 | 砂質土。 |
| 8. 褐色土 | 砂質土。 |
| 9. 暗青灰色土 | 砂質土。 |
| 10. 褐色土 | 粘質土。締まり弱い。 |
| 11. 暗青灰色土 | 砂質土。 |
| 12. 黒褐色土 | 粘質土。 |



土坑 10

土坑 10

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 褐色土 | 砂質土。拳大～人頭大の泥岩ブロック多量。 |
| 2. 褐色土 | 締まり弱い。 |
| 3. 暗黄褐色土 | 砂質土。 |



遺物図縮尺 = 1/6, No. は図 34 に対応

土坑 39 内遺物出土状況 (写真上方が南)

図5 I・Ⅱ区上層遺構面 遺構断面図・土坑39遺物出土状況

竪穴建物1 (個別遺構図非掲載)

I区中央で検出された。南部を井戸1と土坑10に切られ、また下層遺構面の竪穴竪物理土を切っている。東西2.1m、南北2.3m以上の矩形プランを呈し、主軸方向はN27°E。標高5.55～5.64mの平らな床面から垂直に壁が立ち上がり、約70cmの高さを計測し得た。壁下の床面上では南北1.2m間隔で並ぶ深さ10～15cmのピット4基が検出され、北半部では東・西・北壁に沿って板材が遺存していた。こうした状況から、柱と壁板を有する建物と判断した。

本遺構の出土遺物は図24に掲載し、埋土全体(84～99)と床面上(100～107)とに分けて示した。井戸1(図5)

I区中央部の南寄りで検出された。竪穴建物1と土坑10を切って構築される。上場は長径330cm×短径240cmの楕円形プランを呈し、確認面からの深さは216cm、底面の標高は4.47mを測る。断面は円筒状を呈し、井戸枠は痕跡も含め確認できなかったことから、井戸としても素掘りであった可能性が高い。坑底近くに木材が数本、埋土の上層には礫がまとまって廃棄されていた(図版1)。

出土遺物は図25・26に掲載し、埋土全体(108～153)と埋土下層(154～156)とに分けて示した。

土坑10(図5)

井戸1に切られ、竪穴建物1を切っている。全体の規模・形状は不明。確認面からの深さは104cmで、底面標高は5.14mを測る。埋土中から少量の遺物が出土しているが、図示すべき個体はなかった。

据壘遺構(図5)

II区中央北寄りで検出された。常滑甕を据え置いた土坑で、径1.1～1.3mの不正円形の平面プランを有する。甕の上部は破損して口縁は甕内部に落ち込んでいた(図版9-1・2)。残存する甕胴部の上端

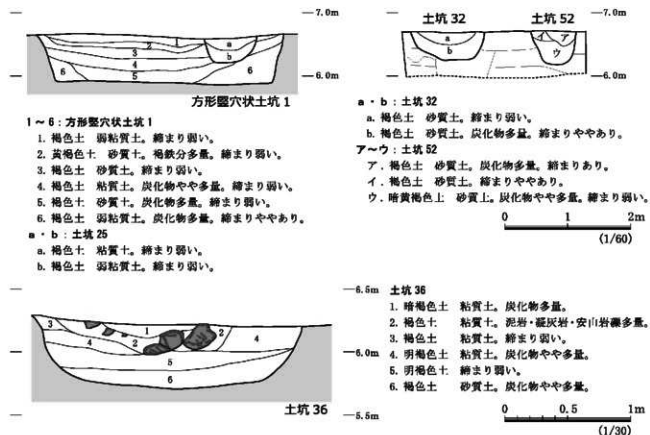


図6 II区上層遺構面 遺構断面図

から掘方底面までは55cmの深さがあり、土坑底面の標高は6.28mであった。本遺構の南北と西側には破砕泥岩を多用した比較的丁寧な整地面が遺存していたが、覆屋を復元できそうな遺構の確認には及ばなかった。

本遺構からの出土遺物は、図27に掲載した。

方形竪穴状土坑1(土坑31・図6)

Ⅱ区の北西角付近で検出された。東西400cm×南北350cmの方形プランを呈し、直立する壁面と平らな底面を有する。確認面からの深さは80cmで、底面標高は5.85～6.08mを測る。遺構中心軸はN29°E。

表2 上層遺構面 遺構一覧

区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	竪穴建物1	5.55～5.64
I	井戸1	4.47
I	土坑2	6.10
I	土坑3	6.33
I	土坑4	6.36
I	土坑5	6.17
I	土坑7	6.32
I	土坑8	6.15
I	土坑9	6.13
I	土坑10	5.14
I	土坑21	6.41
I	ピット1	6.22
I	ピット2	6.13
I	ピット3	6.17
I	ピット4	6.20
I	ピット5	6.27
I	ピット6	6.37
I	ピット7	6.20
I	ピット8	6.27
I	ピット9	6.40
Ⅱ	近世土坑	6.31
Ⅱ	据臺遺構	6.28
Ⅱ	井戸2 (土坑77)	4.89
Ⅱ	井戸状遺構	5.78
Ⅱ	溝状遺構	6.33～6.41 (西が低い)
Ⅱ	方竪状土坑1	5.85～6.08
Ⅱ	方竪状土坑2 → 竪穴建物9	
Ⅱ	土坑24	6.33
Ⅱ	土坑25	6.22
Ⅱ	土坑26	6.30
Ⅱ	土坑27	6.35
Ⅱ	土坑28	6.37
Ⅱ	土坑29	6.45
Ⅱ	土坑30	6.28
Ⅱ	土坑31	→ 方竪状土坑1

区	遺構 No.	底面標高 (m)
Ⅱ	土坑32	6.24
Ⅱ	土坑33	6.28
Ⅱ	土坑34	6.27
Ⅱ	土坑35	6.20
Ⅱ	土坑36	5.71
Ⅱ	土坑37	5.82
Ⅱ	土坑39	6.02
Ⅱ	土坑38	6.29
Ⅱ	土坑40	6.41
Ⅱ	土坑41	6.32
Ⅱ	土坑42	6.28
Ⅱ	土坑43	6.16
Ⅱ	土坑44	6.19
Ⅱ	土坑45	6.27
Ⅱ	土坑46	6.07
Ⅱ	土坑47	6.41
Ⅱ	土坑48	6.27
Ⅱ	土坑49	6.33
Ⅱ	土坑50	6.00
Ⅱ	土坑51	6.29
Ⅱ	土坑53	6.02
Ⅱ	土坑55	6.33
Ⅱ	土坑56	6.25
Ⅱ	土坑57	6.33
Ⅱ	土坑58	6.01
Ⅱ	土坑59	6.15
Ⅱ	土坑60	6.02
Ⅱ	土坑61	6.08
Ⅱ	土坑62	6.10
Ⅱ	土坑63	6.24
Ⅱ	土坑64	6.39
Ⅱ	土坑65	6.02
Ⅱ	土坑66	6.24
Ⅱ	土坑67	6.01
Ⅱ	土坑68	6.28
Ⅱ	土坑69	6.16

区	遺構 No.	底面標高 (m)
Ⅱ	土坑70	6.29
Ⅱ	土坑71	6.31
Ⅱ	土坑78	5.49
Ⅱ	土坑79	5.73～5.69
Ⅱ	ピット20	6.37
Ⅱ	ピット21	6.42
Ⅱ	ピット22	6.39
Ⅱ	ピット23	6.43
Ⅱ	ピット24	6.22
Ⅱ	ピット25	6.47
Ⅱ	ピット26	6.37
Ⅱ	ピット27	6.23
Ⅱ	ピット28	6.39
Ⅱ	ピット29	6.49
Ⅱ	ピット30	6.34
Ⅱ	ピット31	6.40
Ⅱ	ピット32	6.32
Ⅱ	ピット33	6.31
Ⅱ	ピット35	5.93
Ⅱ	ピット36	6.27
Ⅱ	ピット37	6.40
Ⅱ	ピット38	6.04
Ⅱ	ピット39	6.38
Ⅱ	ピット40	6.27
Ⅱ	ピット41	6.25
Ⅱ	ピット42	6.17
Ⅱ	ピット45	6.30
Ⅱ	ピット46	6.11
Ⅱ	ピット47	6.14
Ⅱ	ピット48	6.27
Ⅱ	ピット49東	6.24
Ⅱ	ピット49西	—
Ⅱ	ピット50	6.18
Ⅱ	ピット51	6.26

平面規模は、図4を参照のこと
黒地欄の遺構は、図4に載らず

木材や切石による構造物をともなわず、また底面上では柱穴や根太痕など付帯施設を見出せなかったことから、建物であった可能性は残しつつも、土坑の一類として扱った。

本遺構では多くの遺物が出土しており、図 28 に埋土出土分を、図 29 に床面上出土資料を掲載した。
方形竪穴状土坑 2（下層竪穴建物 9・個別遺構図なし）

Ⅱ区の南西角付近で検出され、南側は調査区の外に続く。土坑 24・47 に切られ、溝状遺構とも重複するが新旧関係は掴めていない。調査を進めるに連れて下層遺構面の竪穴建物 9 にもなう落ち込みと判断されたが、遺物の取り上げも個別に行ったため、同建物の埋土上層に帰属する出土品ということで、図 30-224～250 に掲載した。

井戸状遺構（個別遺構図なし）

Ⅱ区中央部の南壁際位置し、北側の約 1/2 程度が検出されたものと見られる。現地では井戸状遺構と名付けたもの、おそらく構築当初から湧水層までは掘削が及んでいなかったものと考えられる。よって正式には土坑と称すべきものであろう。東西径は 207 cm、南北は 100 cm 以上を測る。南壁の土層断面で確認できた深さは 107 cm で、底面標高は 5.78 m を測る。本遺構は下層遺構面の竪穴建物 19 に重なる位置にあり、これに後続する竪穴建物 B（土層断面でのみ存在を確認）を切っている。

本遺構からの出土遺物は少なく、2 点のみを図化した（図 30-251・252）。

溝状遺構（遺構個別図なし）

Ⅱ区の南寄り、Dラインに沿って検出された東西溝で、西は調査区外に続き、東は土坑 63 に切られたところで終わっている。上幅 40～50 cm、底面幅 20～30 cm を測り、長さは 9.7 m までを計測できた。底面標高は 6.33～6.41 m で、西側が低い傾向にある。走行軸は、N66° W。

本遺構からの出土遺物は少なく、図化するべきものもなかった。

土坑 36（図 6）

Ⅱ区中央部付近で検出された。土坑 67 に切られ、土坑 69・63 を切って構築される。長径 215 cm の大型土坑で、確認面からの深さは 58 cm、底面標高は 5.71 m を測る。

本遺構からの出土遺物は比較的多く、図 33 に掲載した。

土坑 39（図 5）

Ⅱ区北壁近くの中央部、やや東側で検出された。土坑 58 を切る。坑底付近に凝灰質砂岩の切石（鎌倉石）が投棄され、この上にかわらけの完形品を含む遺物がまとまって廃棄されていた。切石を取り除いた下の底面標高は、6.02 m を測る。

出土遺物は図 34-292～328 に示した。

(2) 下層遺構面の検出遺構

I区で標高6.3～6.4m前後、II区では6.4～6.7m前後で検出された。図7が示すようにI・II区とも調査区全域にわたって竪穴建物が展開し、この間に幅1m弱の空閑地が延びている。これを通路と見なせるかは、屋根の葺き下ろし方により評価が分かれるかもしれない。竪穴建物はI・II区合わせて23棟を確認し、細かな建て替えや土層断面でしか捉えることができなかった事例を含めると、さらに多数に上る。

検出された竪穴建物の殆どが土台構造を取り、竪穴底面の四周に土台材を巡らせ、そこから桝組みで柱を立てた背後に横板を当てて壁体を構築している。床板が良好に残る事例はなかったが、II区の建物22cでは腐朽して掘方底面に落ち込んだ状況が確認されている。基本的には土台材の内区に一定の方向・間隔で根太材を置かせ、その上に直交方向で床板を敷き並べていたものと考えられる。また、青磁碗の一括廃棄状況が確認された建物21などでは根太材の痕跡は確認されず、掘方底面の周縁に柱スパンの短い掘立柱建物を立ち上げる構造を取っていた。

建物のない場所では重複する土坑群が検出され、また建物群が構築される前段階の遺構として東西溝(I区溝1)や井戸(II区井戸4)などが確認された。

以下、主な遺構について概略を説明するが、遺構間の新旧関係については各遺構図面を、底面標高については表3の一覧を参照されたい。この他、建物の平面規模や主軸方位、柱穴や納穴の間隔といった図から情報を得られる項目については、記述を省略する。

表3 下層遺構面 遺構一覧

区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	竪穴建物 2A	5.18～5.25
I	竪穴建物 2B	5.10～5.19
I	竪穴建物 3	5.10
I	竪穴建物 4	4.92～4.98
I	竪穴建物 5	5.46～5.58
I	竪穴建物 6	5.28～5.32
I	竪穴建物 6 張り出し	5.48～5.50
I	竪穴建物 7	4.84～4.89
I	溝 1	5.24
I	土坑 14	5.35
I	土坑 17	5.99
I	土坑 18	5.32
I	土坑 19	5.40
I	土坑 20	5.46
I	ビット 10	5.79
I	ビット 11	5.66
I	ビット 12	5.26
I	ビット 13	5.85
I	ビット 14	5.64

区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	ビット 15	5.83
I	ビット 16	5.28
I	ビット 17	5.85
I	ビット 18	5.88
I	ビット 19	6.10
II	竪穴建物 9	5.63～5.74
II	竪穴建物 10	5.60～5.69
II	竪穴建物 11	5.91～5.96
II	竪穴建物 12	5.96
II	竪穴建物 13	5.34～5.40
II	竪穴建物 14	5.50～5.70
II	竪穴建物 15	5.23～5.44
II	竪穴建物 16	5.40～5.48
II	竪穴建物 17	5.08～5.18
II	竪穴建物 18	5.64～5.76
II	竪穴建物 19	5.01～5.12
II	竪穴建物 20	5.11～5.20
II	竪穴建物 21	4.92～4.96
II	竪穴建物 22	5.33～5.38
II	竪穴建物 24	4.86～4.90

区	遺構 No.	底面標高 (m)
II	井戸 3 (木完掘)	[5.02]
II	井戸 4 (木完掘)	[4.27]
II	方型土坑 3	4.64～4.74
II	土坑 23	5.30
II	土坑 75	6.15
II	土坑 76	6.16
II	土坑 77 (井戸 2)	4.89
II	土坑 82	5.68
II	土坑 81	5.95
II	土坑 82	5.68
II	土坑 83	5.29
II	土坑 84	5.78
II	土坑 86	5.03
II	ビット 52	4.74
II	ビット 62	5.71

平面規模は、図7を参照のこと

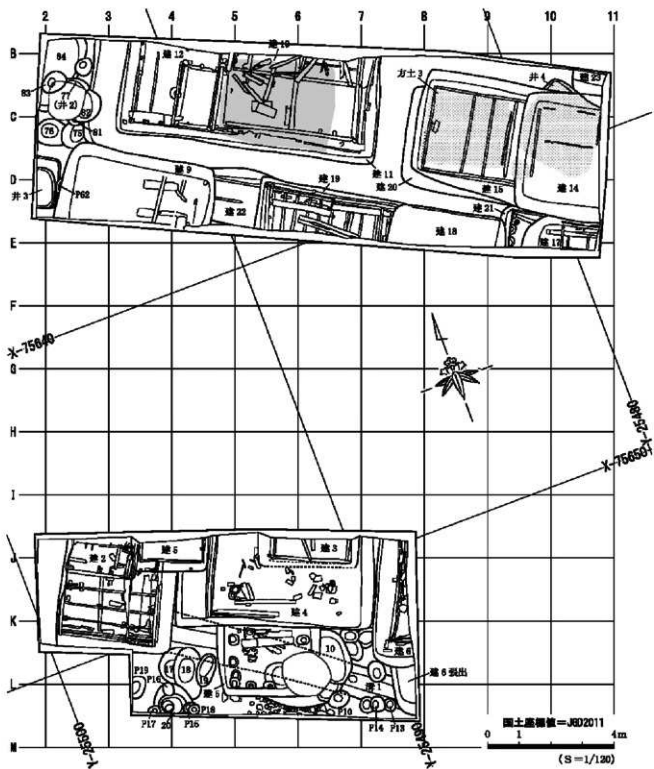
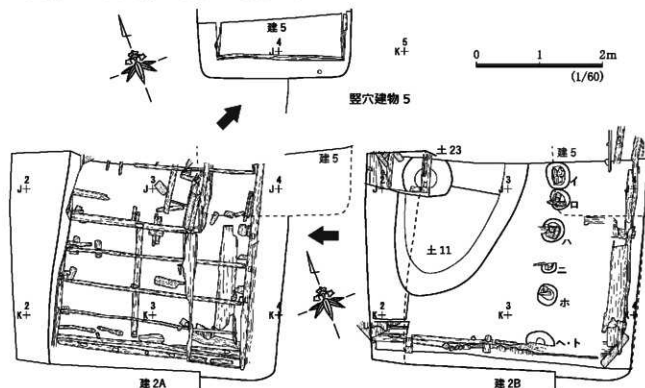


圖 7 下層透視圖 全体圖

建物 2 (図 8)

I 区北西角付近で検出され、北側は調査区外に続く。造り替えによる、新旧 2 段階の建物が確認され、建物 2B → 2A の順で平面規模を縮小し、床面レベルを上げて構築し直している。ともに土台構造だが、掘方底面では東辺より西側に離れた位置で南北方向の柱穴列が確認され、柱材も立った状態で残存していた (図版 4)。2A 根太材より高いレベルまで立ち上がっていることから、2A 段階での補強や間仕切りなどに関連する痕跡と考えられ、2B 段階から存在していた可能性もある。なお、図 8 に示した土坑 11 については、底面標高などの現地記録の情報を欠いており、性格などの詳細は不明である。写真記録を参照すると、この以西はやや大きな落ち込みとなっている印象を受けた。

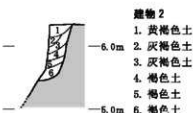
本遺構からの出土遺物は、図 39 に掲載した。



(古) 土坑 23 → 建 2B → 建 2A → 建 5 (新)



竪穴建物 2 土層断面
—7.0m



建物 2

- | | |
|---------|------------------------|
| 1. 黄褐色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| 2. 灰褐色土 | 砂質土。泥岩粒多量。締まり弱い。 |
| 3. 灰褐色土 | 砂質土。締まり強い。 |
| 4. 褐色土 | 砂質土。礫灰岩片と安山岩礫多量。 |
| 5. 褐色土 | 粘質土。灰層と炭層の縮状堆積。締まり弱い。 |
| 6. 褐色土 | 砂質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。 |

竪穴建物 2 掘方 柱穴一覧

区	遺構 No.	礎板上標高 (m)	底面標高 (m)
I	ピット-イ	5.12	5.02
I	ピット-ロ	5.22	5.02
I	ピット-ハ	5.21	5.02
I	ピット-ニ	5.20	—
I	ピット-ホ	5.21	5.12
I	ピット-ヘ-ト	—	5.05

平面規模は図を参照のこと

図 8 I 区下層遺構面 竪穴建物 2・5

建物 3 (図 9)

I 区の北壁際で検出され、大部分が調査区外に続くものと見られる。建物 4 が埋没した後、この上位に構築されている。南辺の壁板が北に倒れ込んだ状態で検出された (図版 5-1・2)。

本遺構からの出土遺物は、図 40 に掲載した。

建物 4 (図 9)

I 区の北壁際で検出され、北半分ほどは調査区外に続くものと見られる。他の建物に比べ土台や根太材が残っており、建物廃絶に際して取り除かれ、再利用された可能性がある。掘方底面では、西辺より 70 cm ほど東で南北方向の小溝が検出され、土台材の据え方痕跡と考えられる。これを西側に拡張する形で建て替えが行われたことを示すものかもしれない。

本遺構からの出土遺物は、図 41 に掲載した。

建物 5 (図 8)

I 区北壁際で検出され、北側は調査区外に続く。建物 2・4 の上位に重複する。東に並ぶ建物 3 とは遺構間の新旧関係や規模、堅穴南辺が揃っている点など共通項が多く見られ、堅穴建物が展開する最終段階において、同時期に存在していた可能性が指摘できる。

本遺構の出土遺物は、図 42-499 ~ 515 に掲載した。

建物 6 (図 9)

I 区東壁際で検出された。部分的な検出にとどまり、大半が東側調査区外に続くものと見られる。他の堅穴建物とは重複しておらず直接の新旧関係は不明だが、配置状況や床面レベルなどの共通性から、建物 2 と同時期に存在していた可能性を指摘できる。堅穴南辺に落ち込みが接しており (土坑 16)、現地調査では建物の張り出し部であったとする所見も残されているが、土層断面からは別遺構となるか、張り出し部であったかは断定が難しい。

出土遺物は、図 42-516 ~ 525 に掲載した。

建物 7 (図 9)

I 区中央で検出され、北半部は堅物 4 に切られ底面の柱穴列しか残っていないかった。南北に長い矩形プランを呈し、掘方底面の四周に短いスパンで柱穴を巡らせている。鎌倉の堅穴建物としては初現期の型式とされ、他遺構との切り合い関係の上でも矛盾はない結果となっている。

本遺構からの出土遺物は少なく、図化できたものは、図 43 に掲載した。

建物 8 (欠番)

現地記録に一切の情報がないため、欠番とした。

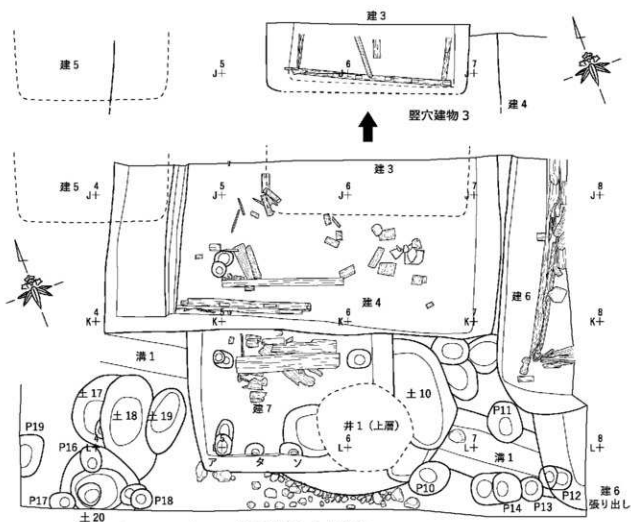
建物 9 (上層方形堅穴状土坑 2、個別遺構図なし)

II 区南西部で検出され、遺構の大半は調査区南外に続く。東側の建物 22 を切る (図 16 参照)。上層遺構面で確認した方形堅穴状土坑 2 の掘削を進めるうち、下層遺構面の堅穴建物となることが判明した。図 19 の断面図からも、下層を掘り込み面としていることが確認できる。図版 11-2 では上層遺構に混在して提示してしまったが、底面上に南北方向の根太材痕跡が残っている様子を確認できる。

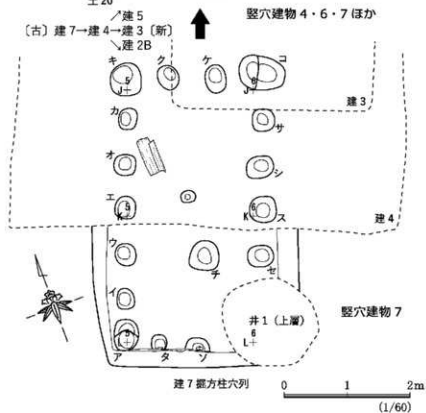
本遺構の出土遺物は、図 44 に掲載した。

建物 10 (図 12)

II 区中央部の北壁近くで検出された。北壁際には本遺構に切られる堅穴建物が 1 棟存在していたが、平面的には把握できず、土層断面のみでの確認となった (建物 A: 図 13 参照)。建物 11 の上位に重複して構築される。底面上では根太材などの痕跡は確認できなかったが、炭層の堆積が認められた (図版



竪穴建物 4・6・7 ほか
 (古) 建 7 → 建 4 (新) 建 2B

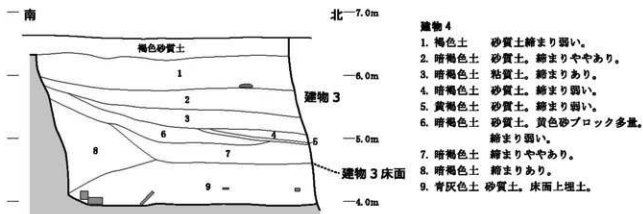


竪穴建物 7 柱穴一覧

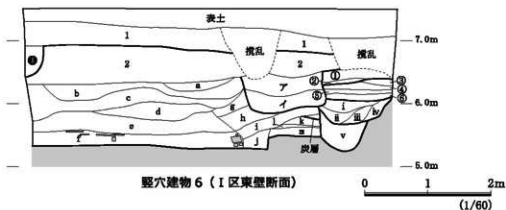
区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	ビット-A	4.29
I	ビット-I	4.44
I	ビット-U	4.43
I	ビット-E	4.49
I	ビット-O	4.51
I	ビット-K	4.41
I	ビット-キ	4.29
I	ビット-ク	4.34
I	ビット-ケ	4.35
I	ビット-コ	4.03
I	ビット-サ	4.31
I	ビット-シ	4.30
I	ビット-ス	4.41
I	ビット-セ	4.40
I	ビット-ソ	4.60
I	ビット-タ	4.46
I	ビット-チ	4.46

平面規模は、図を参照のこと

図9 I区下層遺構面 竪穴建物 3・4・6・7 ほか



竪穴建物 4 (南北断面)



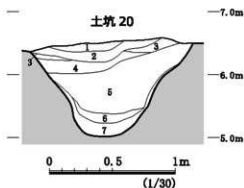
竪穴建物 6 (I 区東壁断面)

a~m: 建物 6

- a. 褐色土 砂質土。締まりあり。
- b. 褐色土 砂質土。締まりあり。
- c. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- d. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- e. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- f. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- g. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- h. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- i. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- j. 暗褐色土 砂質土。締まり弱い。
- k. 暗褐色土 砂質土。黄灰色砂多量。締まり弱い。
- l. 黄灰色砂 粘質土ブロック混入。締まり弱い。
- m. 暗褐色土 砂質土。黄灰色砂多量。締まりややあり。

ア・イ: 土坑 15

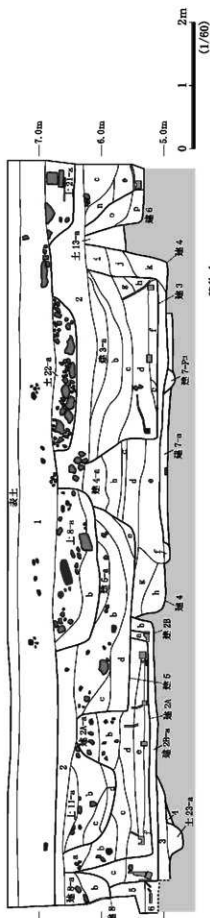
- A. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
 - イ. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- ①~⑥: 道跡
- ①. 暗黄褐色土 砂質土。締まり弱い。
 - ②. 暗褐色土 砂質土。締まり弱い。
 - ③. 褐色土 砂質土。泥岩粒の整地土。
 - ④. 黄褐色砂 締まり弱い。
 - ⑤. 暗褐色土 砂質土。締まりあり。
 - ⑥. 褐色土 砂質土。締まりあり。
- i~v: 溝 i
- i. 暗褐色土 砂質土。締まり弱い。
 - ii. 暗褐色土 砂質土。締まり弱い。
 - iii. 褐色土 弱粘質土。
 - iv. 黒褐色土 粘質土。締まり非常に強い。
 - v. 暗褐色土 砂質土。粘性あり。締まりややあり。



土坑 20

1. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
2. 黄灰色土 砂質土。粘質土ブロック少量。
3. 褐色土 砂質土。締まりあり。
4. 褐色土 弱粘質土。締まりあり。
5. 褐色土 粘質土。締まりややあり。
6. 灰褐色土 粘質土。
7. 暗灰褐色土 粘質土。

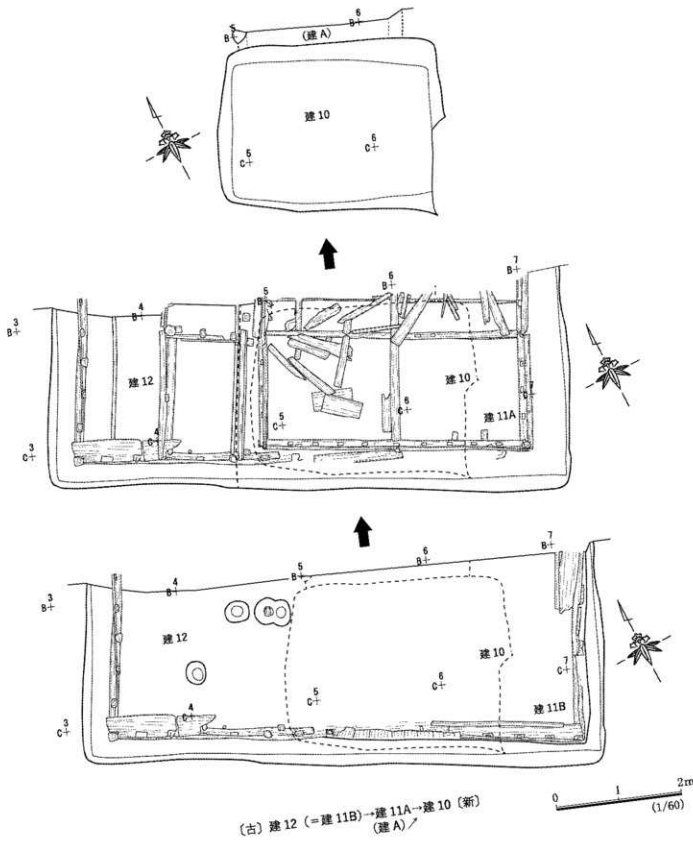
図 10 I 区下層遺構面 竪穴建物 4・6、土坑 20 土層断面図



1. 褐色土
1' 褐色土 粘り強い、中世遺物包含層。
2. 褐色土 砂質土、粘り強い。
3. 黄褐色土 砂質土、粘り強い。
4. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
5. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
6. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
7. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
8. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
9. 褐色土 粘り強い。
土坑 8
a. 褐色土 砂質土、炭化物多量、粘り強い。
b. 褐色土 砂質土、炭化物多量、粘り強い。
土坑 11
a. 褐色土 砂質土、粘りやややあり。
b. 褐色土 砂質土、粘りやややあり。
c. 褐色土 砂質土、粘り強い。
d. 暗灰色土 粘り強い。
土坑 21
a. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
土坑 22
a. 褐色土 砂質土、粘り強い。
土坑 13
a. 褐色土 砂質土、粘り強い。
土坑 23
a. 褐色土 砂質土、粘り強い。
土坑 24
a. 褐色土 砂質土、粘りやややあり。

- 建物 2A
a. 褐色土 砂質土、粘り強い。
b. 褐色土 砂質土、粘り強い。
c. 暗褐色土 粘り強い。
d. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
e. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
f. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
建物 2B
a. 暗灰色土 砂質土、粘りやややあり、掘方。
b. 暗褐色土 砂質土、粘りやややあり、掘方。
c. 褐色土 砂質土、粘り強い。
建物 3
a. 褐色土 砂質土、粘り強い。
b. 褐色土 砂質土、粘り強い。
c. 暗褐色土 粘り強い。
d. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
e. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
f. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
建物 4
a. 褐色土 砂質土、粘り強い。
b. 褐色土 砂質土、炭化物多量、粘りやややあり。
c. 暗褐色土 砂質土、炭化物多量、粘りやややあり。
d. 暗褐色土 砂質土、炭化物多量、粘りやややあり。
e. 暗褐色土 砂質土、粘りやややあり。
f. 暗褐色土 砂質土、粘り強い、基壇4四方か、粘りやややあり。
g. 暗褐色土 粘りやややあり。
h. 黄褐色土 坂山近区の粘り上ブロック層入。
i. 暗褐色土 砂質土、粘りやややあり。
j. 暗褐色土 砂質土、炭化物多量、粘りやややあり。
k. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
建物 5
a. 褐色土 砂質土、粘りやややあり。
b. 褐色土 砂質土、粘りやややあり。
c. 褐色土 砂質土、粘りやややあり。
d. 褐色土 砂質土、粘り強い。
建物 7
a. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
b. 暗褐色土 砂質土、粘り強い。
c. 褐色土 砂質土、粘り強い。
建物 8
a. 褐色土 砂質土、粘り強い。
b. 褐色土 砂質土、粘り強い。

図 11 I 区調査区北壁 土層断面図



(古) 建 12 (=建 11B) → 建 11A → 建 10 (新)
 (建 A) /

图 12 II 区下層遺構面 竖穴建物 A · 10 · 11 · 12

12-3)。炭層は断面図にも記載されているが（図 13）、これを見ると掘方底面上に整地を施し、その上面に壁材を立ち上げた様子が推察できる。

本遺構の出土遺物は、図 45 に掲載した。

建物 11・12（図 12・13）

Ⅱ区中央部の北壁際で検出され、遺構の北半部は調査区外に続く。建物 11 では土台材の遺存状態が良好で、この配置状況から建物 11B→11A という順で建て替えられたことを確認した。現地の所見では、建物 11 が西側に接する建物 12 を切っていると判断されていたが、両者は掘方底面のレベルが殆ど変わらず、また写真記録からは 11B と 12 の南辺壁板がひと続きとなっている様子が見て取れたため、両者を同一建物と判断し、これを東側に縮小する形で 11A に建て替えた、という経過が想定できる。

建物 11 の出土遺物は多く、現地では建物 A・B の区別なく取り上げたが、上記の想定が妥当であれば殆どが 11A の埋没に際して流入した遺物と見なせよう。図 46～48 に掲載した。

建物 12（＝建物 11B と想定）の出土遺物は、図 49-649～655 に示した。

建物 13（図 16）

Ⅱ区中央部の南壁際で検出され、南半分ほどは調査区外へ続く。ここでは堅穴建物の重複が著しく、直接の切り合い関係では建物 19 より新しく、土層断面の観察でのみ確認した建物 B より古い（図 19）。現地調査時には建物 13 と 19 とを混同して記録していたようだが、本報告では上記の理解で整理し表記を統一した。東西辺と北辺に壁板など構造材が遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 49-656～665 に掲載した。

建物 14（図 14）

Ⅱ区東壁際で検出され、東側は調査区外に続く。堅穴建物の重複が著しい中では、最新の遺構である。底面には北・西辺の土台材と、この内区で根太材の一部が残存していた。

本遺構からの出土遺物は、図 50 に掲載した。

建物 15（図 14・15）

Ⅱ区東壁際で検出された。東側は調査区外に続くため全体の規模・形状は確認できなかったが、東西に細長い矩形プランを呈している。底面には南北辺と西辺とに土台材が残り、この内区で根太材が遺存していた。西辺の土台材付近では、かわらけを中心とする比較的多くの遺物が発見された。

本遺構の出土遺物は、図 51～53 に掲載した。

建物 16（図 14）

Ⅱ区南東角で検出され、遺構の大部分は調査区外に続く。ここも堅穴建物の重複が著しく、ほぼ同じ位置に建物 21→17→16（本遺構）の順で構築され、本遺構の北辺を建物 14 が切っていた。底面上の西辺と北辺で、構造材がわずかに遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 54 に掲載した。

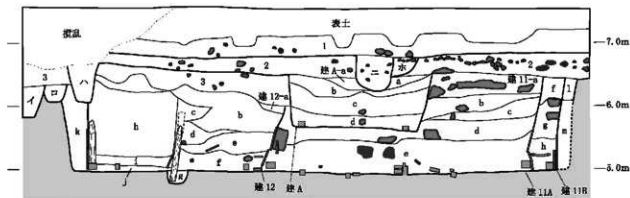
建物 17（図 15）

Ⅱ区の南東角、建物 21・16 とほぼ同じ位置に重複して検出された。遺構の大部分は調査区外に続く。検出できたのはごく狭い範囲にとどまったが、北辺の土台材をはじめ、構造材が遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 55-793～804 に掲載した。

建物 18（図 16）

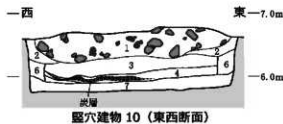
Ⅱ区南東寄りの北壁際で検出され、南側半分ほどは調査区外に続く。この一画では、どの堅穴建物にも切られず最も新しい。北辺のごく一部で、壁板と思しき木材が遺存していた。



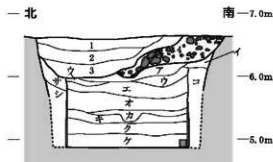
竪穴建物 A・11A・12 (Ⅱ区北壁断面)

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1. 褐色土 | 弱粘質土。 |
| 2. 褐色土 | 弱粘質土。 |
| 3. 灰褐色土 | 粘質土ブロックやや多い。締まりあり。 |
| 4. 灰褐色土 | 砂質土。粘質土ブロック多量。締まりあり。 |
| 5. 灰褐色土 | 砂質土。粘質土ブロック少量。締まりあり。 |
| 6. 褐色土 | 砂質土。黄色砂ブロックやや多い。 |
| 7. 褐色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| 8. 褐色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| 建物 A | |
| a. 褐色土 | 砂質土。締まりややあり。 |
| b. 褐色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| c. 褐色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| d. 褐色土 | 粘質土。炭化物多量。締まりややあり。 |
| 建物 11A | |
| a. 褐色土 | 弱粘質土。炭化物多量。締まりややあり。 |
| b. 褐色土 | 弱粘質土。炭化物多量。締まり弱い。 |
| c. 褐色土 | 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まり弱い。 |
| d. 褐色土 | 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まり弱い。 |
| e. 褐色土 | 砂質土。灰白色砂・炭化物多量。締まり弱い。 |

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 建物 11B | |
| f. 褐色土 | 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。 |
| g. 褐色土 | 砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。 |
| h. 褐色土 | 砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。 |
| i. 褐色土 | 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。 |
| n. 暗黄灰色土 | 砂質土。締まりややあり。 |
| 建物 12 | |
| a. 暗黄灰色土 | 黄色砂ブロック多量。締まり弱い。 |
| b. 黄灰色砂 | 粘質土ブロック少量。締まり弱い。 |
| c. 暗褐色土 | 粘質土。炭化物多量。締まり弱い。 |
| d. 褐色土 | 砂質土。炭化物多量。締まり弱い。 |
| e. 黄灰色砂 | 締まり弱い。 |
| f. 暗褐色土 | 砂質土。締まりややあり。 |
| g. 暗黄灰色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| h. 黄灰色土 | 砂質土。締まり弱い。 |
| i. 灰褐色土 | 砂質土。締まりややあり。 |
| j. 灰褐色土 | 砂質土。上部に黄灰色砂が薄く堆積。締まり強い。床下土。 |
| k. 黄灰色土 | 砂質土。締まりあり。裏込め。 |



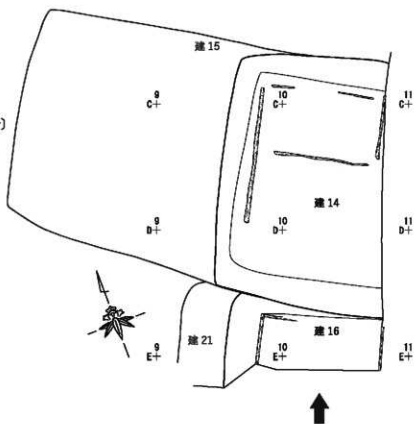
- 建物 10
1. 褐色土 粘質土。締まり弱い。
 2. 褐色土 粘質土。褐鉄やや多い。締まり弱い。
 3. 暗褐色土 砂質土。黄色砂少量。締まり弱い。
 4. 暗褐色土 粘質土。炭化物多量。締まり弱い。
 5. 褐色土 粘質土。褐鉄やや多い。締まり弱い。
 6. 褐色土 粘質土。締まりややあり。裏込め土。
 7. 褐色土 粘質土。黄色砂混入。掘方。



- 建物 12 (南北断面)
7. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
 4. 黄褐色土 砂質土。締まり弱い。
 9. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
 5. 褐色土 砂質土。石層より炭多量。締まり弱い。
 10. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
 8. 褐色土 粘質土。有機物腐植土・炭多量。締まり弱い。
 11. 灰褐色土 砂質土。締まりあり。
 1. 褐色土 砂質土。有機物腐植土やや多い。締まり弱い。
 7. 黄褐色土 砂質土。粘質土ブロック少量。
 2. 黄褐色土 砂質土。黒色土ブロック少量。
 9. 黄褐色土 砂質土。灰白色砂と黄色砂が斑状に混入。
 7. 褐色土 砂質土。黄色砂混入。掘方。
 11. 黄白色砂 粘質土ブロック少量。

図 13 Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 10・11・12 土層断面図

(古) 建 15、
 (古) 建 21→建 17→建 16→建 14 (新)
 \ 建 18 (新)



建物 14 (南北断面)

1. 褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
2. 黄褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
3. 褐色土 弱粘質土。締まり弱い。
4. 褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
5. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
6. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
7. 褐色土 粘質土。締まり弱い。
8. 暗褐色土 砂質土。締まりあり。
- *. 注記なし
17. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
18. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
19. 褐色土 弱粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。
20. 褐色土 弱粘質土。締まり弱い。

建物 15 (南北断面)

9. 暗褐色土 粘質土。黄色砂多量。締まりややあり。
10. 暗褐色土 粘質土。締まり弱い。
11. 白黄色砂 締まりややあり。
12. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
13. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
14. 褐色土 砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。
15. 灰褐色土 砂質土。締まりややあり。
16. 暗褐色土 粘質土。締まり弱い。

建物 23 ?

- ア. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- イ. 褐色土 砂質土。締まり弱い。

井戸 4 ?

- ウ. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- エ. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- オ. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- カ. 暗褐色土 粘質土。締まりあり。

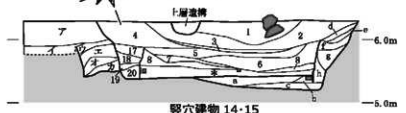
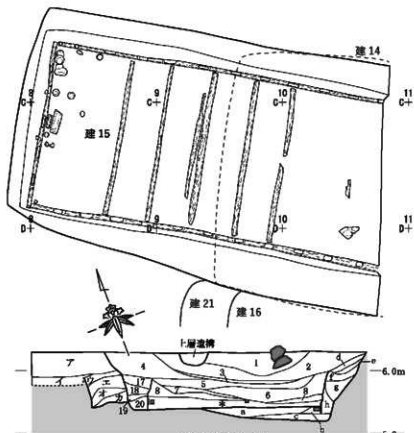


図 14 II 区下層遺構面 竪穴建物 14・15・16

(1/60)

本遺構の出土遺物は、図 55-805 ～ 827 に示した。

建物 19 (図 16)

Ⅱ区中央部の南壁際に検出され、南側の多くの部分は調査区外に続く。建物 13 の下位に、ほぼ同じ位置で遺存していた。土台材や根太材の残りが良く、土台材の枘穴に立てられた柱も遺存していた。根太材も梯子のように一定間隔で配置されており、堅牢な床板張りであったことを窺わせる。

本遺構の出土遺物は、図 56 に掲載した。

建物 20 (図 15) Ⅱ区の東部で検出された。ほぼ重なる位置に、建物 15 が新規に構築されている。南東角で建物 21 と接するが、新旧関係は把握できなかった。概ね建物範囲の全体を検出することができ、底面の四周では土台材と壁板の一部が遺存していた。

本遺構の出土遺物は図 57 に掲載した。

建物 21 (図 15)

Ⅱ区南東角で検出された。ほぼ同じ位置に建物 17 が重複して構築され、この場所では最も古い堅穴建物であった。遺構の大部分が調査区外に続くが、非常に特徴的な遺物の出土状況が確認できた。北辺の壁板が南側に倒れ込んで遺存し、その下から青磁碗や山茶碗がまどまって出土した。底面では壁際に沿って柱穴が巡り、次段階には土台構造の建物 17 へ移行する状況を把握できた。

本遺構の出土遺物は、図 58 ～ 61 に掲載した。

建物 22 (図 16)

Ⅱ区中央部の西よりで検出され、調査区南壁外に続く。現地所見では 3 段階の変遷が迫え、古い順に 22C → 22B → 22A へ移行するとしているが、土層断面図 (図 19) ではその痕跡を明確には読み取れない。以下、最古段階とされる建物 22C について記述する。

建物 9・19 に東西を挟まれる形で切られ、東側の建物 19 には掘方底面の下位まで削り取られていた。建物 9 の下位では西壁の立ち上がりを確認でき、ここから建物 19 までの狭間に床板が遺存していた。板材の腐朽が激しく撓んでしまっていたが、木目のラインから南北辺に小口を沿わせ敷かれていた状況が見て取れた。床板下では東西方向の根太材 2 本が残っていた。

本遺構の出土遺物は、図 62-933 ～ 942 に掲載した。

建物 23 (図 17)

Ⅱ区北東角で検出され、大部分は調査区外に続く。建物 14・15 に切られる。図 14 の断面図からは、井戸 4 土層ウ・エ・オ・カを切っている可能性を指摘できる。検出できた範囲が狭小のため、堅穴建物と断定できる要素は少ない。

本遺構の出土遺物は少なく、図示できたのは図 62-943 ～ 945 の 3 点のみである。

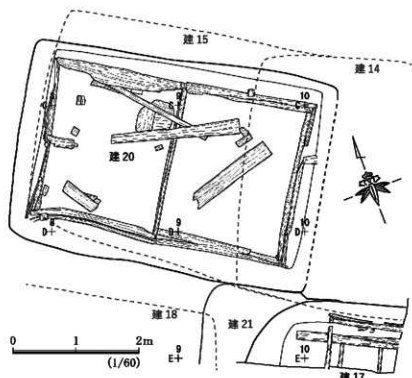
建物 24 (図 16)

Ⅱ区中央部の南壁際に検出された。直接の切り合い関係では建物 18・19 よりも古く、この一画では最も古い建物である。遺構の大半は調査区外に続くため部分的な検出にとどまったが、底面上の土台・根太材と東辺の壁板が遺存していた。建物 19 の土台材は、これらの上に据えてある状況が確認されている (図版 17-2)。

本遺構の出土遺物は、図 62-946 ～ 951 に掲載した。

溝 1 (図 9)

I 区南部で検出された東西溝で、重複するいずれの堅穴建物にも切られるため、遺存範囲は限られていた。両端とも別遺構に切られ、7.4 m の長さまでを計測できた。走行軸は N75° W



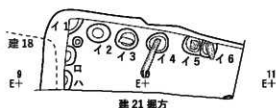
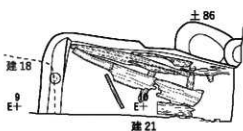
(古) 建 20 → 建 15 → 建 14 (新)

竪穴建物 21 柱穴一覽

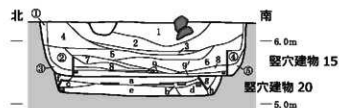
区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	ビット-I-1	4.67
I	ビット-I-ロ	4.75
I	ビット-I-ハ	4.75
I	ビット-I-2	4.74
I	ビット-I-3	4.85
I	ビット-I-4	4.82
I	ビット-I-5	4.69
I	ビット-I-6	4.82

平面規模は、図を参照のこと

(古) 建 21 → 建 17 → 建 16 → 建 14 (新)
 \ 建 18 (新)



建 21 遺方



建物 20 (南北断面)

- 暗褐色土 砂質土。締まりややあり。
- 暗褐色土 粘質土。締まり弱い。
- 暗褐色土 粘質土。締まり弱い。
- 黄色土 砂質土。締まり弱い。
- 青灰色土 砂質土。締まりややあり。
- 暗褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
- 暗褐色土 砂質土。黄白色砂ブロック少量。締まりあり。
- 灰褐色土 砂質土。締まりややあり。

建物 15 (南北断面)

- 褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
- 黄褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
- 褐色土 弱粘質土。締まり弱い。
- 褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
- 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- 褐色土 粘質土。締まり弱い。
- 暗褐色土 砂質土。締まりあり。
- 床下土。
- 暗褐色土 弱粘質土。締まりややあり。
- 暗褐色土 弱粘質土。締まりあり。
- 暗褐色土 弱粘質土。締まりあり。
- 暗褐色土 弱粘質土。締まりあり。
- 暗褐色土 砂質土。締まりややあり。

図 16 II 区下層遺構面 竪穴建物 15・17・20・21

で、検出範囲では底面の傾斜具合（流下方向）は把握できなかった。

本遺構の出土遺物は、図 65-971～982 に掲載した。

土坑 18 (図 9)

I 区南西部で検出された。この一帯は土坑の重複が多く、本遺構は土坑 19 を切り、17・20 に切られる。埋土は有機質腐植土（マグソ）が主体で、試料を採取して花粉分析とプラント・オパール分析を行った。その結果、穎片も含めたイネのプラント・オパールが大量に検出され、土坑内に稲藁を廃棄した状況が

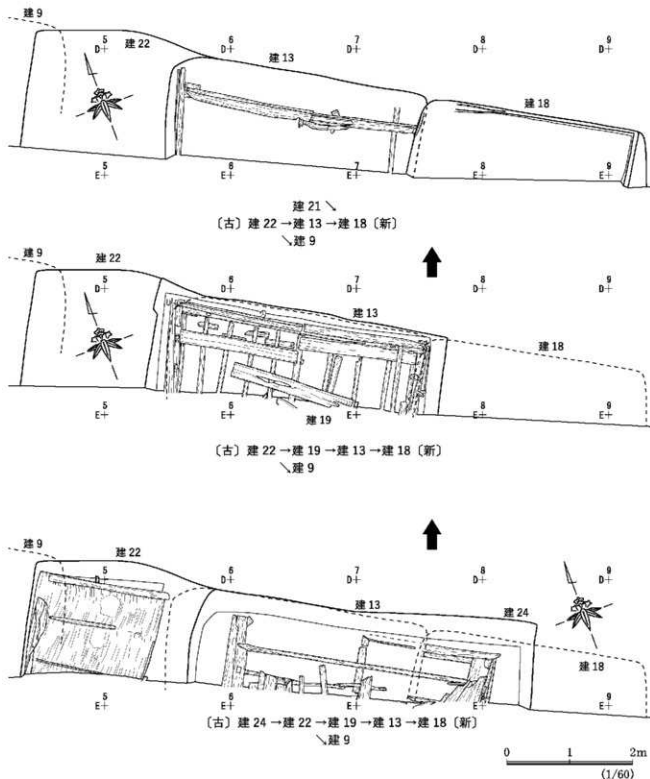


図 16 II 区下層遺構面 竪穴建物 13・18・19・22・24

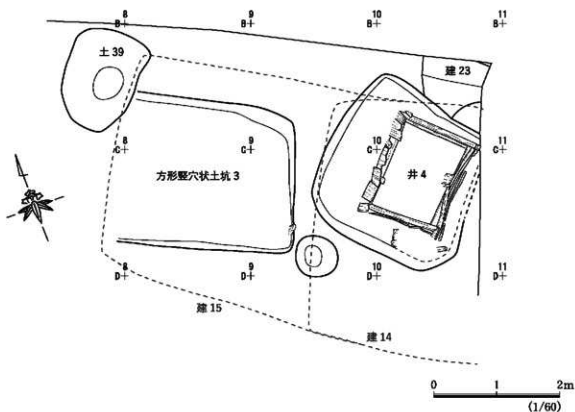


図17 II区下層遺構面 竪穴建物23・井戸4周辺

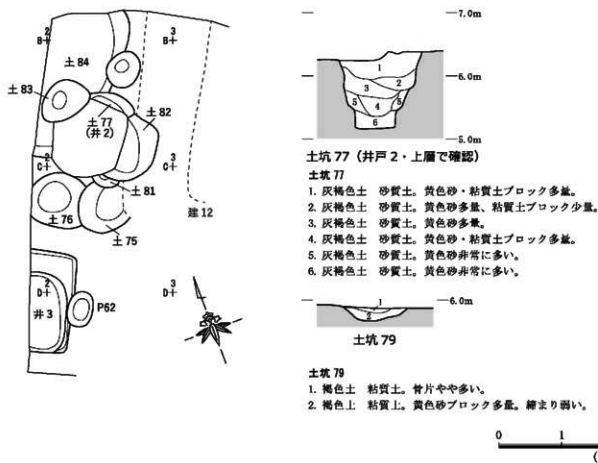
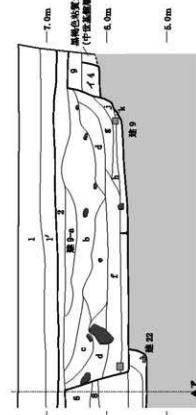
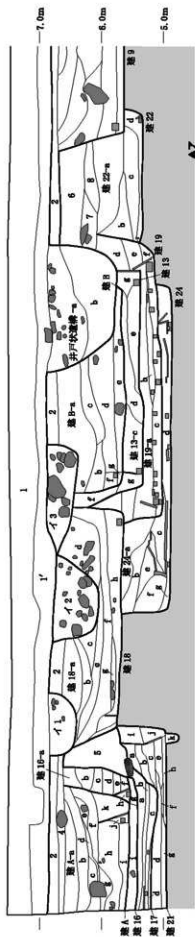


図18 II区下層遺構面 遺構断面図



1. 褐色土
 1' 褐色土
 2. 褐色土
 3. 黄褐色土
 4. 黄褐色土
 5. 暗褐色土
 6. 暗褐色土
 7. 暗褐色土
 8. 暗灰褐色土
 9. 褐色土
- 砂質土。締まり弱い、中世遺物を含む層。
 粘質土。締まり弱い。
 砂質土。締まりあり。
 粘質土。薄い皮層が入る。締まり弱い。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。締まり弱い。

- 16
 a. 褐色土
 b. 褐色土
 c. 褐色土
 d. 褐色土
 e. 灰褐色土
 f. 褐色土
 g. 褐色土
 h. 褐色土
 i. 褐色土
- 粘質土。締まりややあり。
 粘質土。締まりややあり。
 粘質土。黄色粘土ブロック多量。締まり弱い。
 粘質土。締まりややあり。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりあり。

- 17
 a. 褐色土
 b. 灰白色土
 c. 暗褐色土
 d. 青褐色土
- 粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。
 砂質土。灰色砂や多い。締まり弱い。床面上。
 砂質土。締まりややあり。
 砂質土。締まり弱い。

- A
 a. 褐色土
 b. 灰褐色土
 c. 灰褐色土
 d. 灰褐色土
 e. 褐色土
 f. 褐色土
 g. 褐色土
 h. 褐色土
 i. 褐色土
 j. 褐色土
 k. 褐色土
- 粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。
 粘質土。締まりあり。
 粘質土。灰褐色土。灰褐色土多量。締まりややあり。
 砂質土。灰褐色土多量。締まりややあり。
 砂質土。黄色砂ブロック・灰褐色土多量。締まりややあり。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。灰褐色土多量。締まりややあり。
 粘質土。締まりあり。
 粘質土。締まり弱い。
 粘質土。灰褐色土多量。締まりややあり。裏込め土。

図 19 II 区調査区南壁 土層断面図

層物 9

- a. 褐色土 弱粘質土、粘まりややあり。
- b. 褐色土 弱粘質土、炭化物多量、粘まり強い。
- c. 褐色土 砂質土、炭化物やや多い、粘まりあり。
- d. 褐色土 砂質土、粘まり強い。
- e. 暗灰褐色土 砂質土、黄色砂ブロック・炭化物多量、粘まり弱い。
- f. 暗褐色土 砂質土、塊状多量、粘まり弱い。
- g. 褐色土 弱粘質土、粘まりややあり。
- h. 褐色土 砂質土、炭化物やや多い、粘まり強い。
- i. 黄褐色土 砂質土、黄色砂ブロックやや多い。
- j. 褐色土 砂質土、黄色砂ブロック多量、粘まりあり。
- k. 暗褐色土 粘質土、粘まりあり。

層物 21

- a. 暗褐色土 砂質土、粘まり強い。
- b. 暗褐色土 砂質土、炭化物多量、粘まりややあり。
- c. 黄褐色土 砂質土、粘まり強い、青磁器の集中出土層。
- d. 暗褐色土 砂質土、粘まりややあり。
- e. 黄褐色土 砂質土、粘まり強い。
- f. 黄褐色土 粘質土、薄い炭層が入る、粘まり強い。
- g. 黄褐色土 砂質土、粘まりあり。
- h. 黄褐色土 砂質土、黄色砂ブロック・炭化物多量、粘まりあり。
- i. 暗褐色土 砂質土、粘まり強い。

層物 18

- a. 褐色土 弱粘質土、粘まりあり。
- b. 暗褐色土 粘質土、炭化物多量、粘まりあり。
- c. 褐色土 弱粘質土、粘まり強い。
- d. 褐色土 弱粘質土、粘まり強い。
- e. 褐色土 弱粘質土、炭化物やや多い。
- f. 褐色土 弱粘質土、粘まり強い。
- g. 褐色土 弱粘質土、粘まりややあり。
- h. 暗褐色土 弱粘質土、粘まりややあり。
- i. 暗褐色土 弱粘質土、炭化物やや多い。
- j. 褐色土 弱粘質土、黄色砂ブロック多量、粘まりあり。

層物 8

- a. 暗褐色土 弱粘質土、炭化物多量、粘まりあり。
- b. 褐色土 砂質土、黄色砂ブロック多量、粘まり強い。
- c. 褐色土 粘質土、炭化物やや多い、粘まりややあり。
- d. 褐色土 弱粘質土、炭化物、灰ブロック多量、粘まりややあり。
- e. 褐色土 砂質土、黄色砂ブロックが斑状に混入、粘まり強い。
- f. 暗灰褐色土 砂質土、粘まりややあり。
- g. 暗灰褐色土 砂質土、粘まりあり。
- h. 暗灰褐色土 砂質土、粘まり強い。
- i. 暗灰褐色土 弱粘質土、炭化物やや多い、粘まりあり。
- j. 黄褐色土 砂質土、粘まりややあり。

層物 13

- a. 褐色土 砂質土、粘まり強い。
- b. 暗灰褐色土 砂質土、粘まり強い。
- c. 暗灰褐色土 弱粘質土、炭化物やや多い、粘まりあり。
- d. 黄褐色土 砂質土、粘まりややあり。
- e. 褐色土 砂質土、粘まり強い。
- f. 暗褐色土 砂質土、粘まり強い。
- g. 黄褐色土 砂質土、粘まり強い。

層物 19

- a. 褐色土 砂質土、粘まりややあり。
- b. 灰褐色土 砂質土、炭化物多量、粘まりややあり。
- c. 暗灰褐色土 粘まり強い、床下堆積土。
- d. 灰褐色土 砂質土、粘まり強い。
- e. 褐色土 砂質土、粘まり強い。
- f. 暗褐色土 粘質土、粘まり強い。

層物 22

- a. 暗褐色土 弱粘質土、粘まりややあり。
- b. 灰褐色土 砂質土、黄色砂やや多い、炭化物多量、粘まり強い。
- c. 褐色土 弱粘質土、炭化物多量、粘まりややあり。

層物 24

- a. 灰褐色土 砂質土、炭化物やや多い、粘まり強い。
- b. 黄褐色土 砂質土、粘まりややあり。
- c. 暗褐色土 砂質土、粘まり強い。
- d. 暗褐色土 粘質土、粘まり強い。
- e. 暗黄灰色土 砂質土、炭化物多量、粘まりややあり。
- f. 黄褐色土 砂質土、炭化物多量、粘まりあり。
- g. 黄褐色土 砂質土、黄色砂多量、粘まりあり。
- h. 黄褐色土 砂質土、黄色砂多量、粘まりあり。

戸手秋層物

- a. 褐色土 弱粘質土、粘まりあり。
- b. 褐色土 弱粘質土、粘まりあり。
- イコウ1 褐色土
- イコウ2 砂質土、最下部に10cm厚の炭層が堆積、粘まり強い。
- 暗褐色土 粘質土、最下部に15cm厚の炭・灰層が堆積、粘まり強い。
- イコウ3 暗褐色土
- イコウ4 灰褐色土

想定されている。(付編参照)。「マダソ」の生成要因を考えるに当たり、重要な分析結果である。

本遺構の出土遺物は僅少で、図示すべき資料はなかった。

土坑 20 (図 9・10)

I 区の南西部で検出され、南側は調査区外に続く。現地調査時に土坑 18 と混同されたようで、土層断面 (図 10) の埋土について、有機質腐植土が下層に堆積し、トイレの可能性を含むことがメモ書きされている。今となっては実証に資する記録がないため、上述した土坑 18 の分析試料が土坑 20 に帰属する可能性が皆無ではないことだけ記しておく。

井戸 3 (図 18)

II 区の南西角付近で検出され、西半部は調査区外に続く。安全面を考慮して埋土を完掘できておらず、枠材などの検出には及んでいない。

本遺構の出土遺物は僅少で、図示すべきものは皆無であった。

井戸 4 (図 17)

II 区の東部に位置し、建物 15 の掘方底面で検出され重複するほどの堅穴建物よりも古い。東西 140 cm × 南北 160 cm の井戸枠が設置されていた。安全面を考慮し、埋土は完掘できなかった。

本遺構の出土遺物は、図 63 と図 65-983 に掲載した。

方形堅穴状土坑 3 (図 17)

II 区東部、建物 20 の下位で検出され、重複するほどの堅穴建物よりも古い。掘方底面は平らで、ほぼ垂直に立ち上がる壁は約 30cm の高さを計測できた。西辺の壁は、遺存していなかった。

本遺構からの出土遺物は皆無であった。

II 区土坑群 (図 18)

II 区北西角付近では、堅穴建物が構築されない場所に土坑群が重複した状態で検出された。この近辺では上層遺構面でも土坑の重複が著しく、これらの掘り足りていない部分を下層で追加確認したケースもあり得る。各土坑の概要は、表 3 の一覧に掲げた。土坑 77 については現地調査時に井戸 2 の名称も付されていたが、坑底レベルが方形堅穴状土坑 3 の底面より高い位置にあることから、中世においても湧水層に達していなかった可能性が指摘できる。井戸枠の痕跡も確認できなかったので、井戸とは考えにくい。

各土坑の出土遺物は、図 64 に掲載した。

第 2 節 出土遺物

出土量に関する情報は表 5 のカウント・計量表にまとめた。遺物個々の特徴については、表 6 の遺物観察表を参照されたい。

以下、層位・遺構出土の遺物について、大まかな特徴や傾向を説明する。

(1) 上層遺構面検出までの出土遺物 (図 20～23)

近世以降の遺物は省略しているが、砥石で大型の資料は戦国～近世に属するかもしれない。かわらけには厚手・外反器形の資料も散見されるが、土坑 39 ほど量的なまとまりはない。概ね、13 世紀後半～14 世紀代を中心とする遺物である。

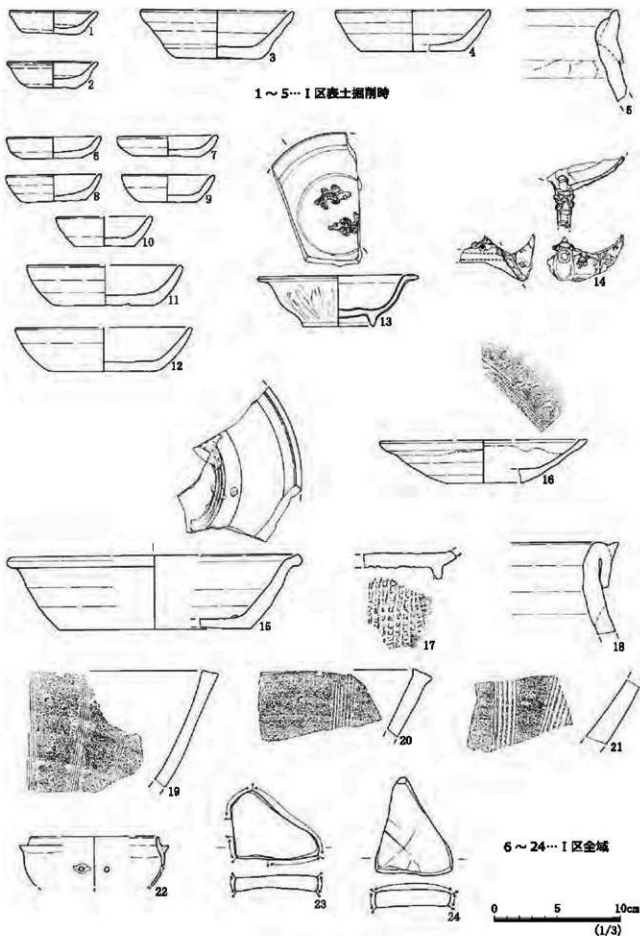
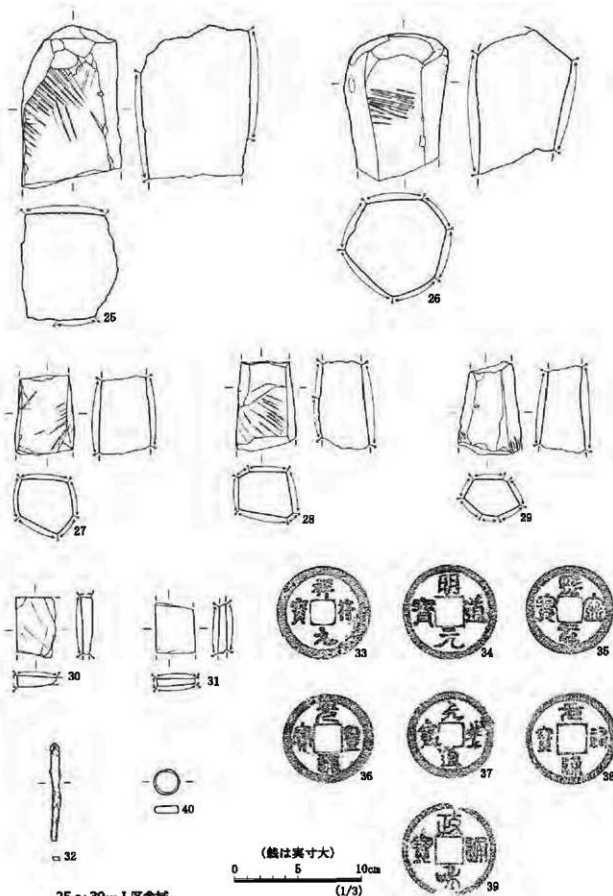


图 20 I区 上層透視面検出までの出土遺物 (1)



25 ~ 39... I 区全域

図 21 I 区 上層遺構面検出までの出土遺物 (2)

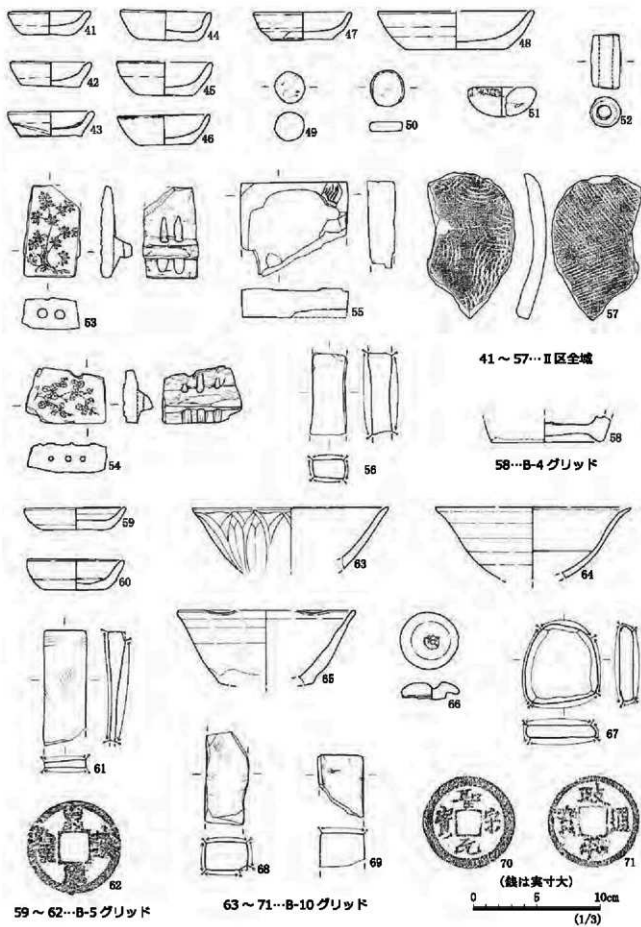


図22 Ⅱ区 上層遺構面検出までの出土遺物 (1)

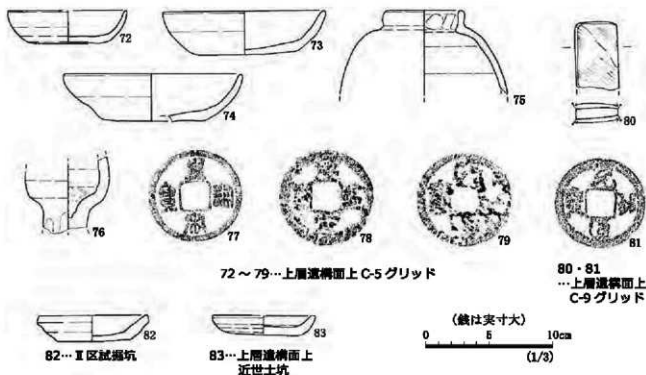


図23 Ⅱ区 上層遺構面検出までの出土遺物(2)・試掘坑・近世土坑

(2) 上層遺構面の遺構出土遺物

竪穴建物1の出土遺物(図24)

かわらけは埋土出土の84～86の方が床面上の100～102より深手で口径：底径比が大きく、後出的な様相を呈している。全体を通して他の上層遺構より古い遺物様相を呈していることから、下層遺構面における最新段階の竪穴建物という位置付けができるかもしれない。

井戸1の出土遺物(図25・26)

かわらけの器壁は厚く、直線的に開く器形が目立つ。極小～大型まで、法量は4段階に分けられそうである。114・123・156のように低くて丸みをもつものは相対的に古い様相を残している。瀬戸は後期様式の製品が混じり、常滑甕は9型式以降の製品を含むことから、全体としては15世紀前半～中頃という遺構の廃絶年代が導き出せようか。

据置遺構の出土遺物(図27)

157は据置本体の復元図で、口縁の縁帯幅が5cm近くまで延びていることから常滑7型式頃に相当するであろう。他に、ロクロ成形のかわらけや備前すり鉢などを図示した。

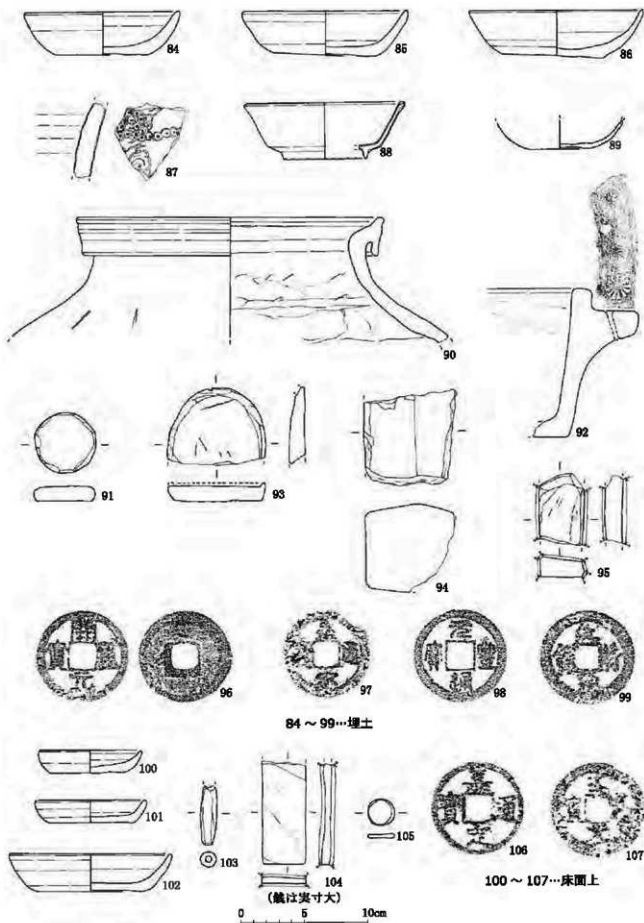


图 24 I 区上层遺構面 竖穴建物 I 出土遺物

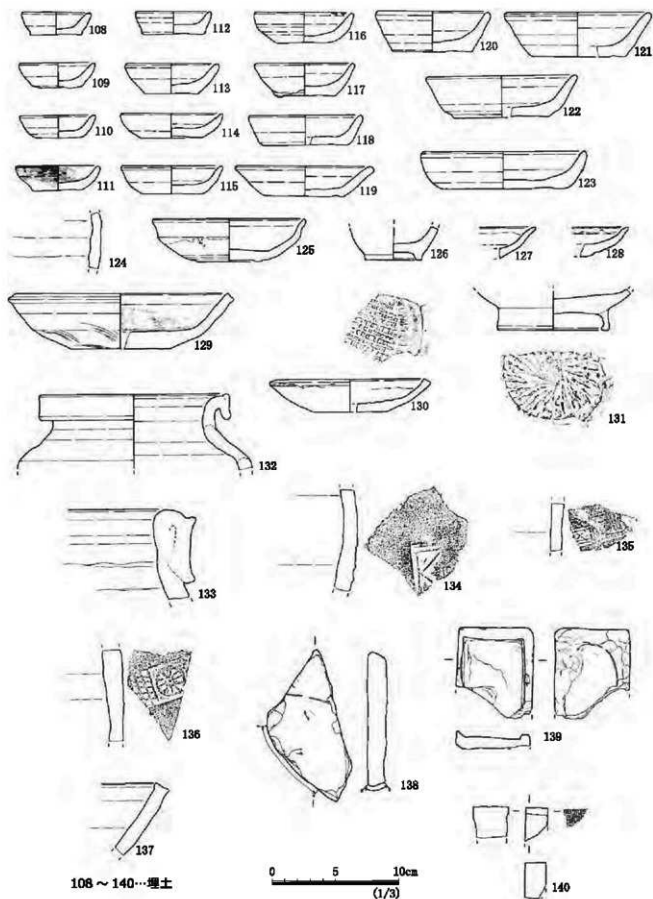


图 25 1 区上層遺構面 井戸 1 出土遺物 (1)

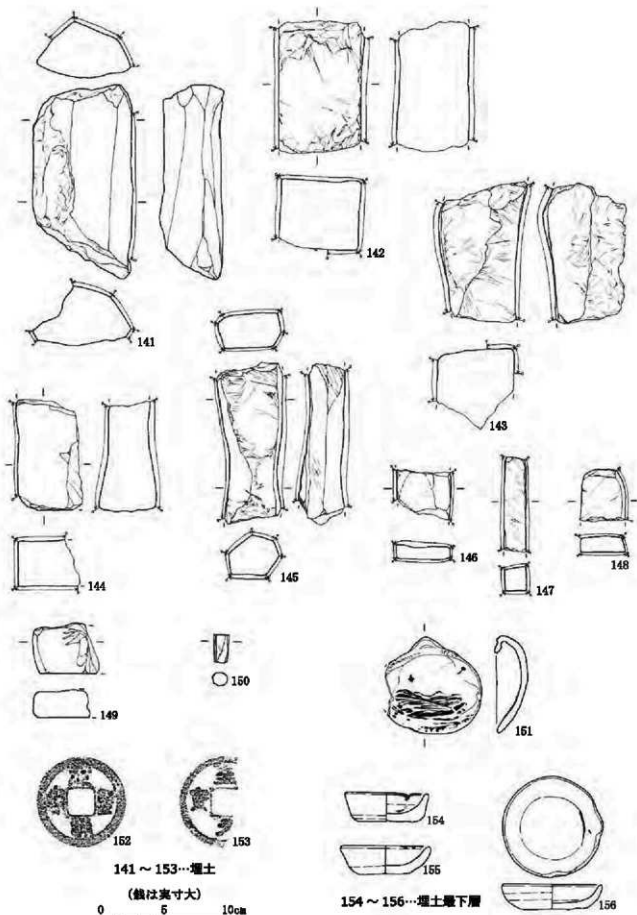


图 26 I 区上層遺構面 井戸 1 出土遺物 (2)

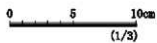
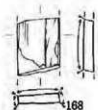
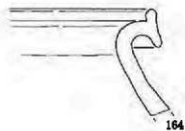
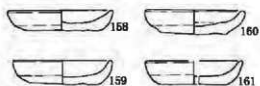
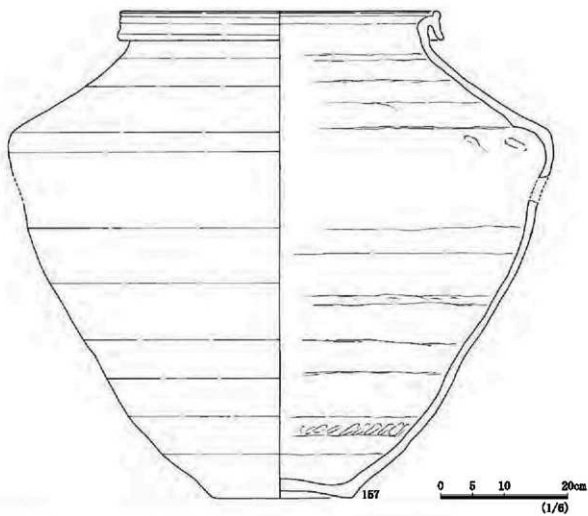


图 27 II 区上层遗物面 据壁道槽出土遗物

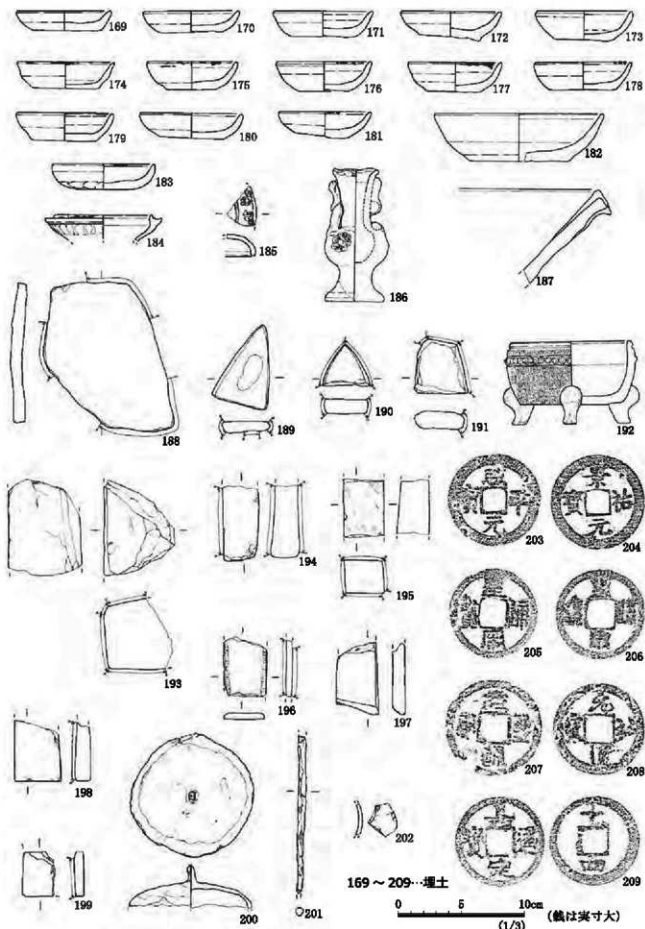


图 28 II 区上層遺構面 方形竪穴状土坑 1 出土遺物 (1)

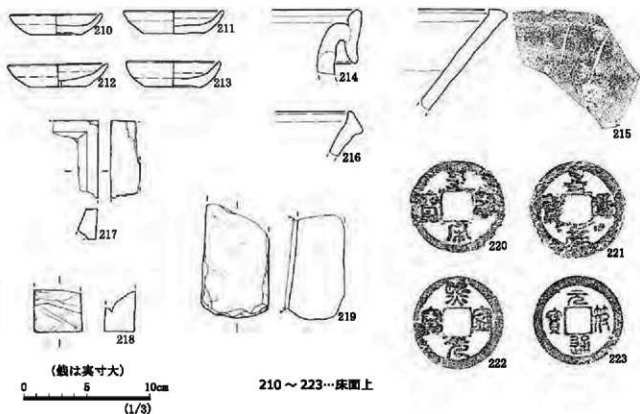


図29 II区上層遺構面 方形竪穴状土坑1出土遺物(2)

方形竪穴状土坑1の出土遺物(図28・29、土坑31:図31)

かわらけはロクロ成形の小皿が主体で、体部に丸みを持つ個体が大部分を占める。低平な169～171、210・211と、やや深身器形の175～179という2種類の器形に大別できる。186は瀬戸の小型花瓶で、中期様式前半の所産品である。総じて14世紀前半に年代的なまとまりを見出せ、上層遺構面の中では比較的古い遺物様相といえる。

なお、図31-267～270と図版11・26に土坑31の遺物および出土状況に関する情報を掲載しているが、本遺構は平面図がなく、方形竪穴状土坑1のほぼ中央上位に重なる位置にあることから、現地調査時に同一の遺構として判断されたようである。図31-268・269のロクロかわらけ大皿は、やや腰が張る体部から口縁がわずかに外方へ引き伸ばした器形であり、方形竪穴状土坑1出土の図28-182よりも後出の要素を有している。

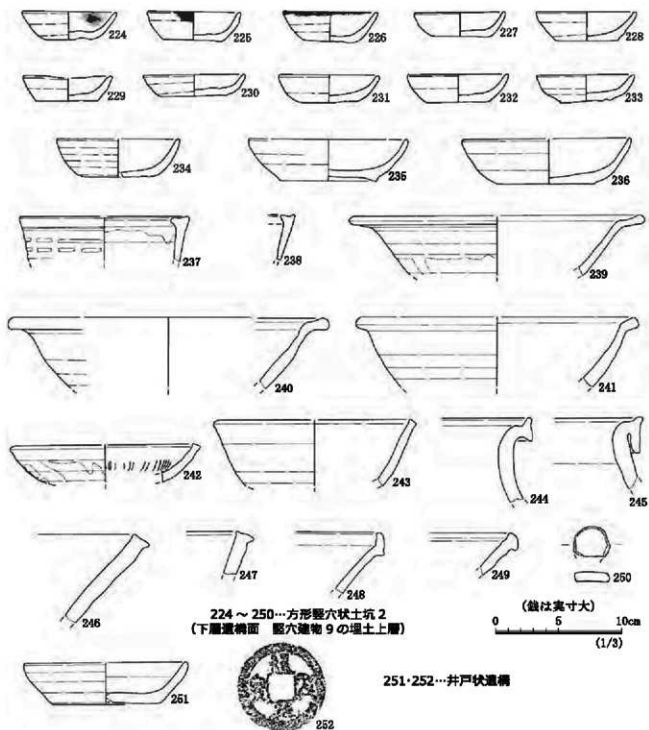


図 30 II 区上層遺構面 方形竪穴状土坑 2・井戸状遺構出土遺物

方形竪穴状土坑 2 の出土遺物 (=下層竪穴遺物 9、図 30)

かわらけ (224~236) はロクロ成形品のみで、大・小とも深身で内湾するものが主体をなしている。残存度は低いが、中型品 (234) もわずかながら認められた。

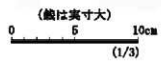
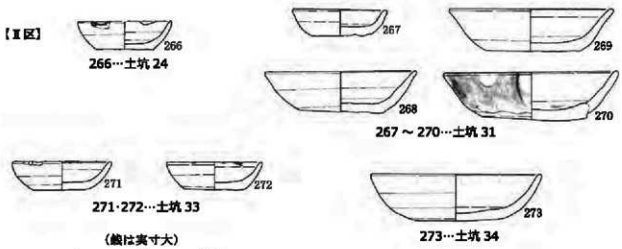
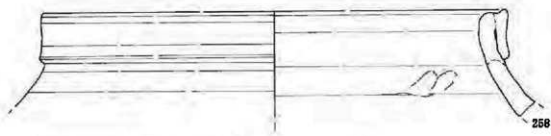
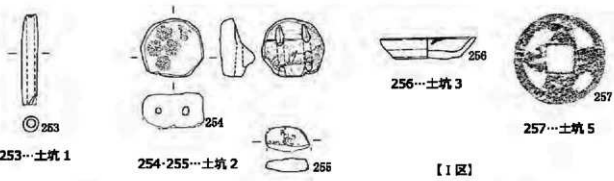
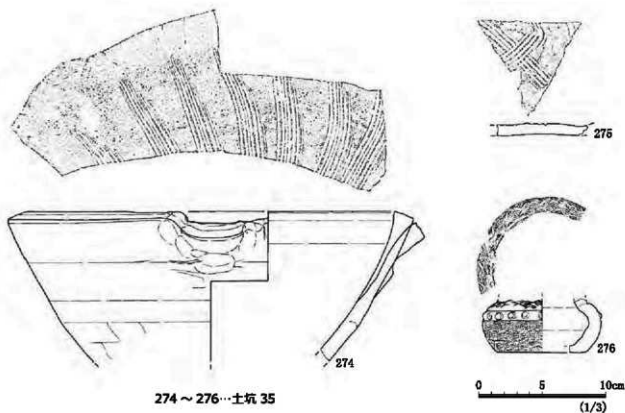


图 31 I · II 区上层遺構面 土坑出土遺物



274 ~ 276...土坑 35

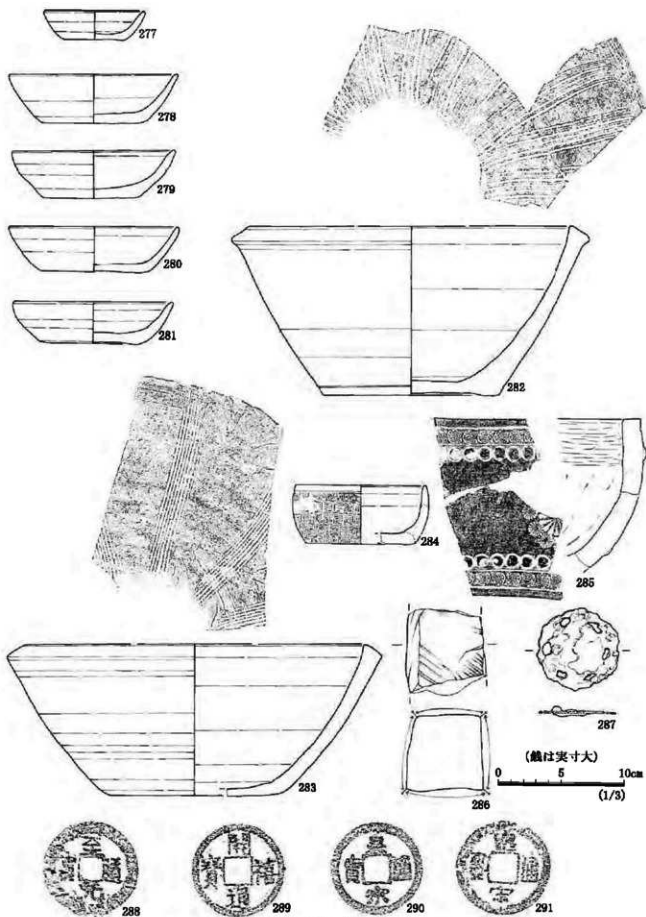
図 32 II 区上層遺構面 土坑出土遺物 (1)

土坑 36 の出土遺物 (図 33)

かわらけは器壁が薄手だが体部～口縁部の湾曲は弱く直線的である。口縁部を回転ナデで薄く仕上げ、井戸 1 や土坑 39 の出土資料よりシャープで古い様相を呈している。ほかに、備前すり鉢や瓦質土器の火鉢・香炉などが出土しており、すり鉢は 282 が 283 に比べて体部が直線的で口縁端部が外方に引き伸ばされる特徴を持っており、より後出する様相と認識できる。

土坑 39 の出土遺物 (図 34)

かわらけは厚手の資料が主体で直線的に開くか、口縁がやや外反する器形が目立つ。破片資料である 322 の瀬戸線軸小皿は削り出し高台を有しており後 IV 期以降に位置付けられることから、完形のかかわらけは、これより後出の所産品と考えるべきであろう。とすると、16 世紀中頃が推定し得る年代の上限ということになる。この時期としては良好な土器の一拵廃棄例であり、量的にまとまった事例としては、先述の井戸 1 に後続する土器様相と考えられる。299・303・307・317 は埋土最下層（坑底付近）で出土しているが、他のかかわらけと様相は異ならない。



277 ~ 291...土坑 36

图 33 II 区上层遺構面 土坑出土遺物 (2)

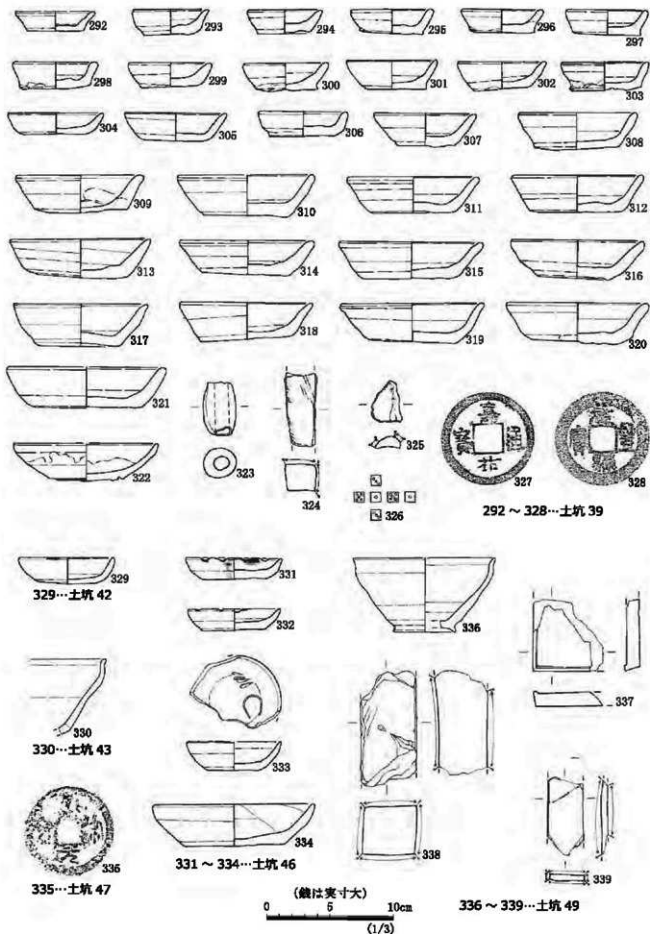
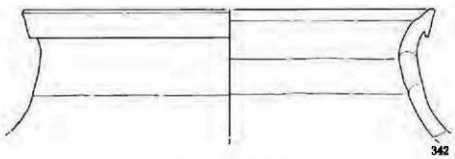
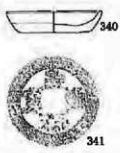
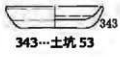


图 34 II 区上層遺構面 土坑出土遺物 (3)



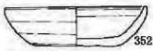
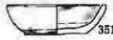
340 ~ 342...土坑 50



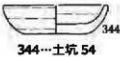
343...土坑 53



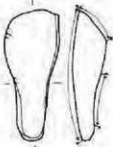
346



354...土坑 64



344...土坑 54



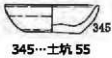
347



353



355...土坑 65



345...土坑 55

346-347...土坑 57

350 ~ 353...土坑 62



348



349

348-349...土坑 60



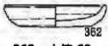
356



357



358



362...土坑 68

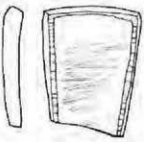


363

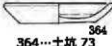
363...土坑 72



359



361



364...土坑 73

356 ~ 361...土坑 67

360

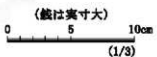


图 35 II 区上层遺構面 土坑出土遺物 (4)

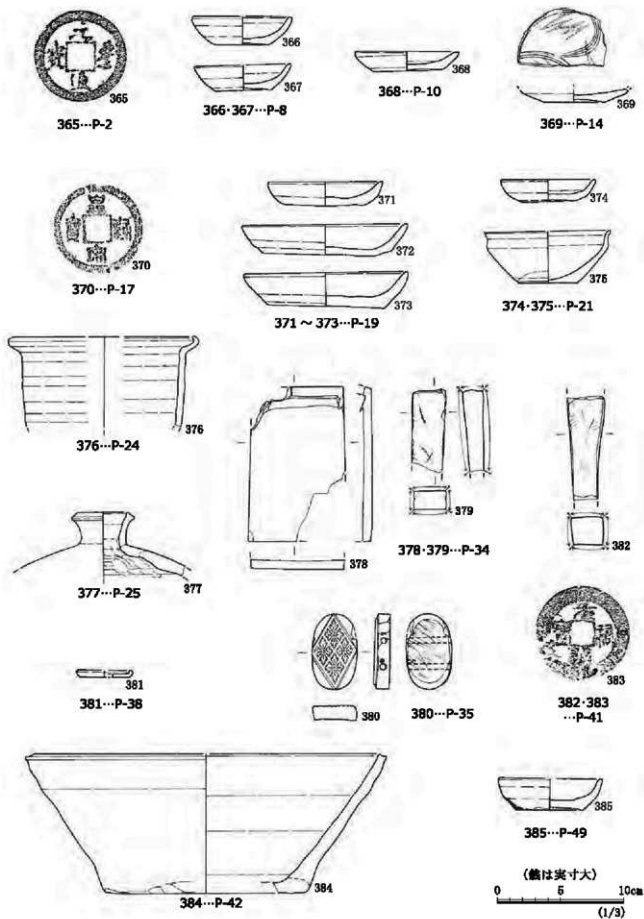
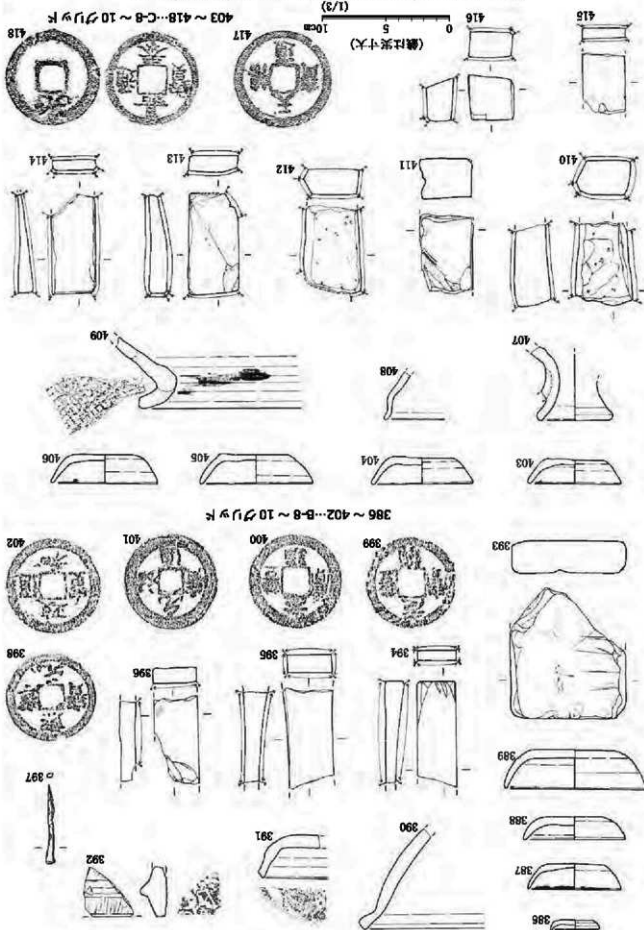


図 36 II 区上層遺構面 ピット出土遺物

図37 II区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物 (1)



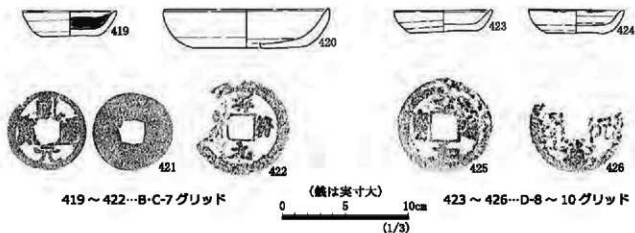
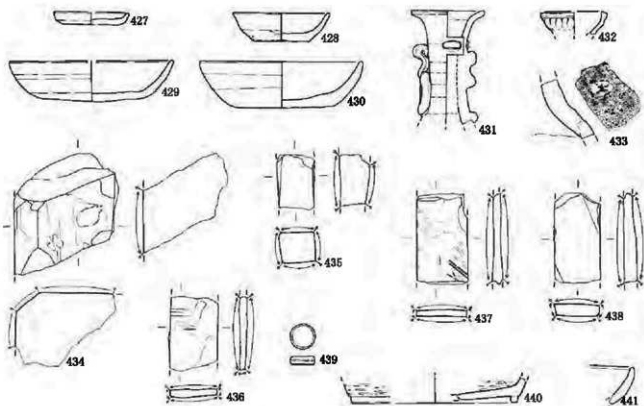


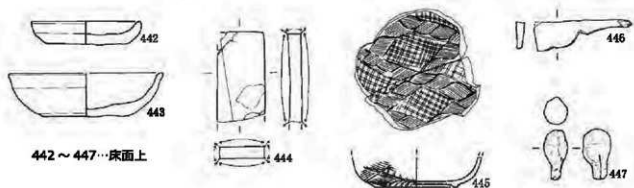
図38 II区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物(2)

(3) 下層遺構面検出までの出土遺物(図37・38)

上層遺構面の調査終了後、下層遺構面を検出するまでに出土した遺物を開催した。I区では図示すべきものがなく、II区出土分のみグリッドごとに提示した。ロクロかわらけを中心に、概ね鎌倉時代の後期、13世紀後半～14世紀前半の遺物様相と捉えられる。



427 ~ 441…埋土

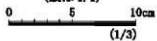


442 ~ 447…床面上



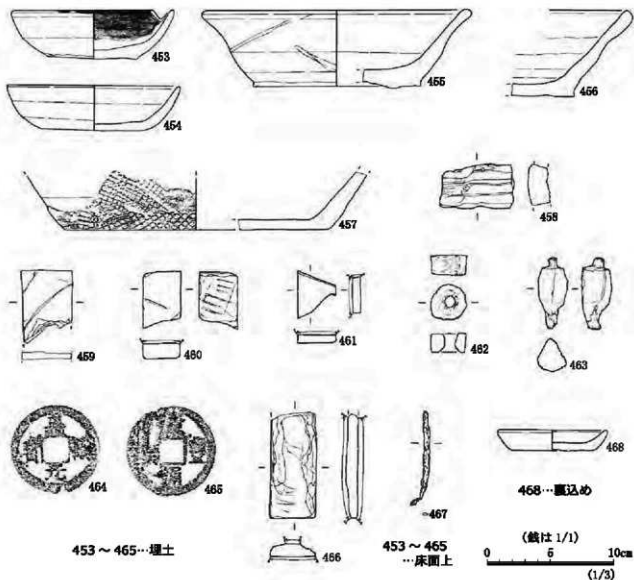
448・449…蓋込め

(鉄は 1/1)



450 ~ 452…拡張トレンチ
(調査区北壁)

図 39 I 区下層遺構面 竪穴建物 2 出土遺物



453 ~ 465…埋土

453 ~ 465
…床面上

468…裏込め

(鏡は 1/1)
0 5 10cm
(1/3)

図 40 II 区下層遺構面 竪穴建物 3 出土遺物

(4) 下層遺構面の遺構出土遺物

建物 2 の出土遺物 (図 39)

建物 2B からの出土遺物は僅少で、448 の土器小壺のみが 2B 裏込めからの出土、その他は全て建物 2A から出土したものである。

建物 3 の出土遺物 (図 40)

455・456 の常滑片口鉢は高台を有さないが回転成形で口縁部を丸く肥厚させて仕上げていることから I 類とした。ただ、II 類が生産される過渡期段階の資料とはいえるかもしれない。

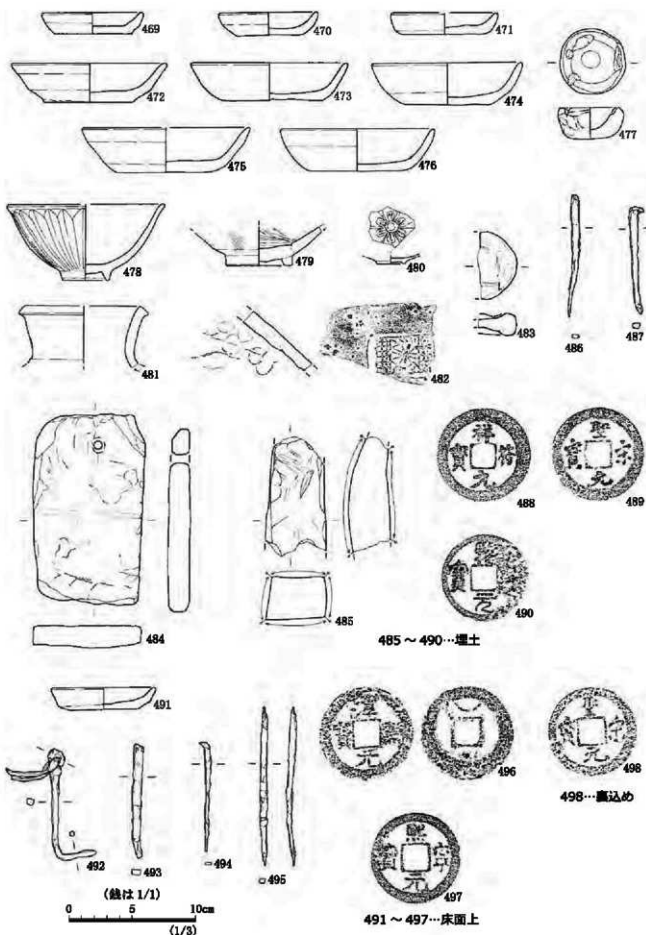


图 41 II区下層遺構面 壁穴建物 4 出土遺物

建物4の出土遺物(図41)

ロクロかわらけは大・小とも口径:底径比が小さく浅いものが主体となる。体部~口縁は、あまり内湾しない。

建物5の出土遺物(図42)

図42-499~516が本遺構に帰属する。509の土製馬像や510の小型銅碗(六番か)は、類例の限られた資料である。

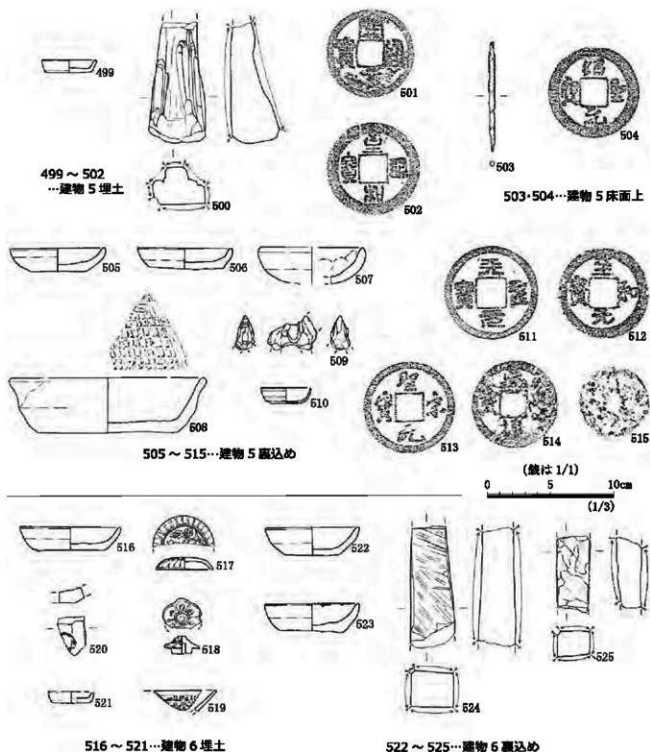
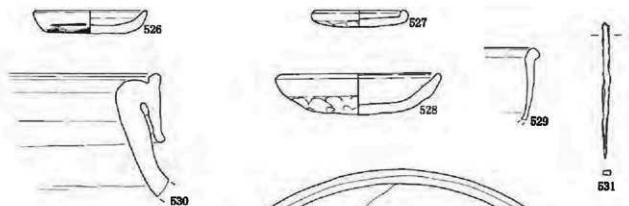
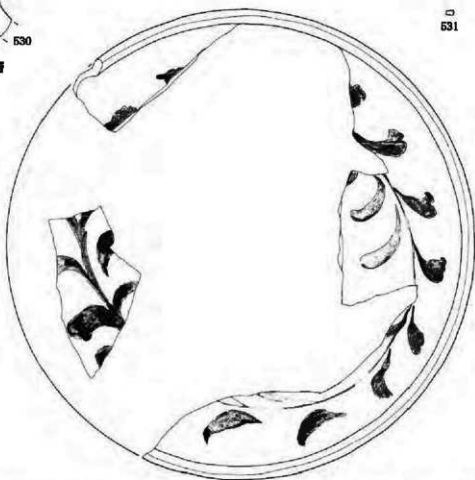


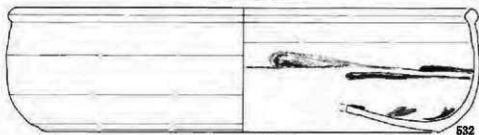
図42 II区下層遺構面 竪穴建物5-6出土遺物



526 ~ 531...埋土上層



532...埋土下層



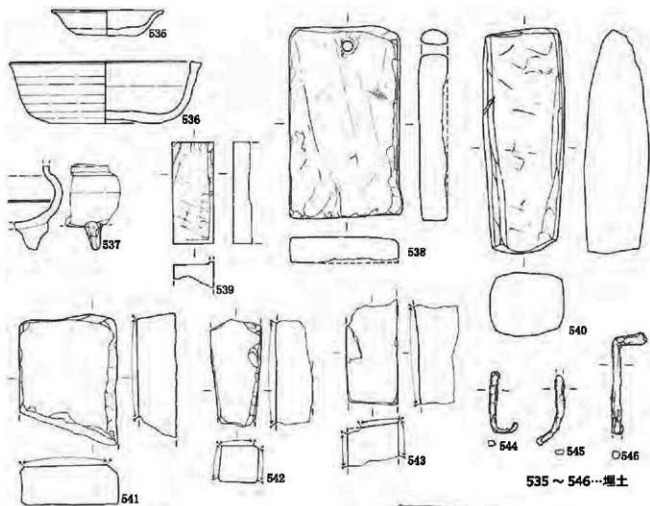
534...P-ヶ



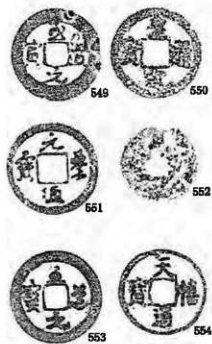
533...床面上



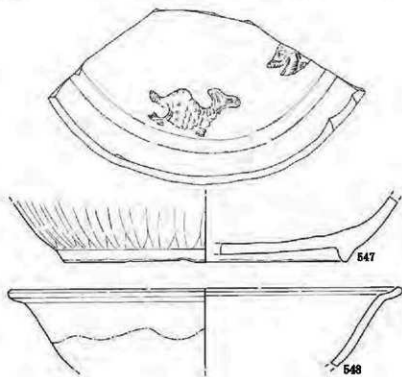
图 43 II区下層遺構面 竖穴墓物7出土遺物



535 ~ 546...埋土



549 ~ 554...床面上



547-548...埋土f層

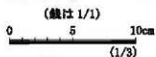


图 44 II 区下層遺構面 壁穴遺物 9 出土遺物

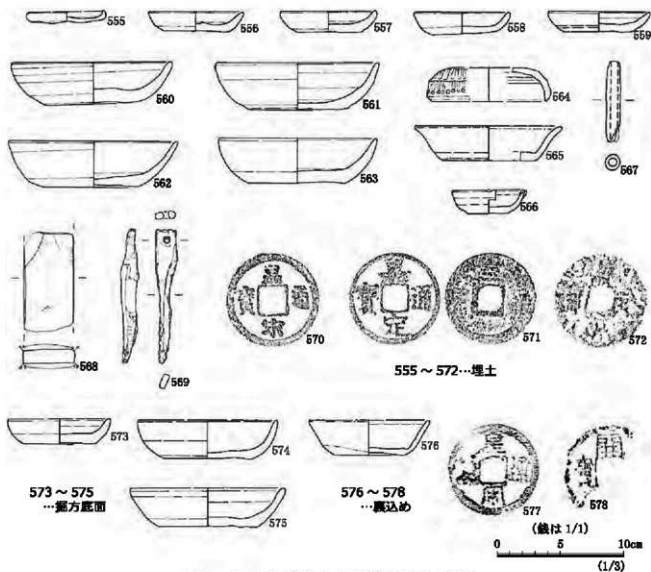


図45 II区下層遺構面 竪穴建物10出土遺物

遺物7の出土遺物(図43)

かわらけはロクロ：手づくねの構成比に大きな差が見られなかった。常滑の壺(530)は8型式まで下る要素を持ち、遺構間の新旧関係や他の遺物様相とを比較すると疑問符が付く。

遺物10の出土遺物(図45)

手づくねかわらけは555の1点のみを図示し得た。ロクロかわらけは僅かに内湾するものが主体で、小皿は概して低い。

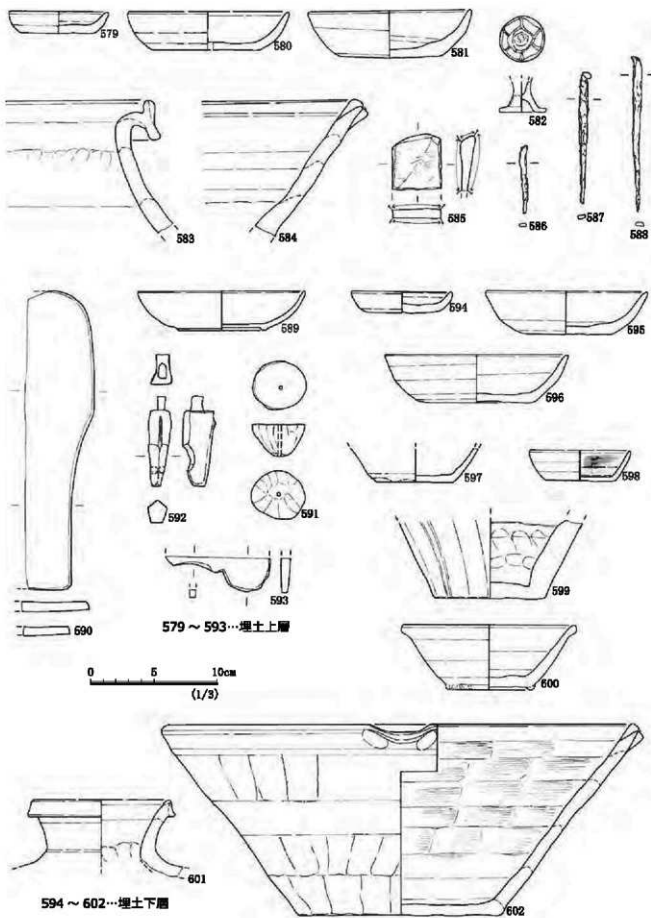


图 46 II 区下層遺構面 竖穴墓物 11 出土遺物 (1)

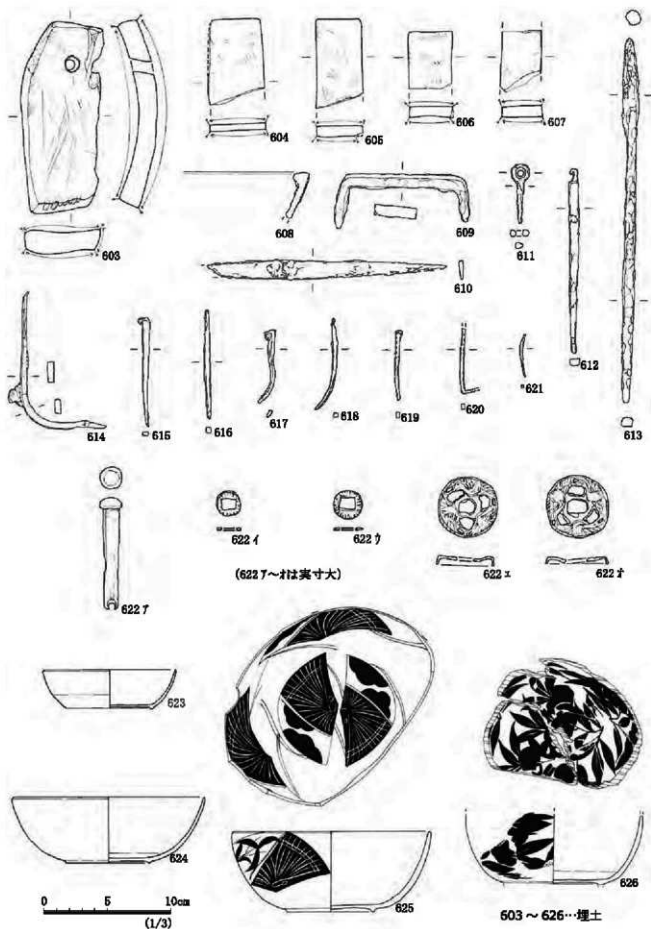
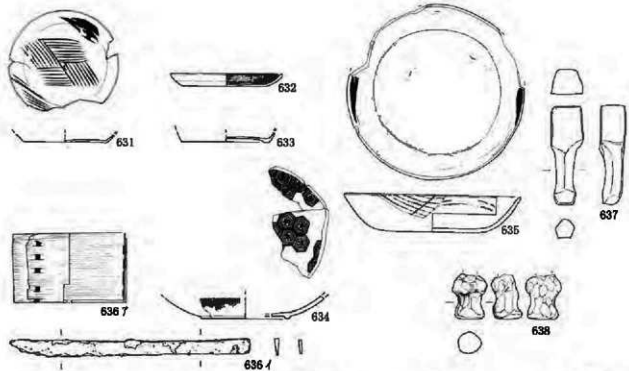
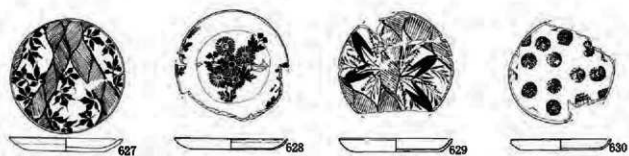
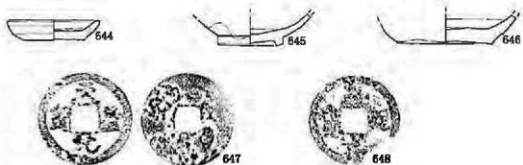


图 47 II区下層遺構面 竖穴墓物11出土遺物(2)



627 ~ 643...埋土下層



644 ~ 648...裏込め



图 48 II 区下層遺構面 竪穴施物 11 出土遺物 (3)

表4 建物11 出土物の法量(長さ)分布

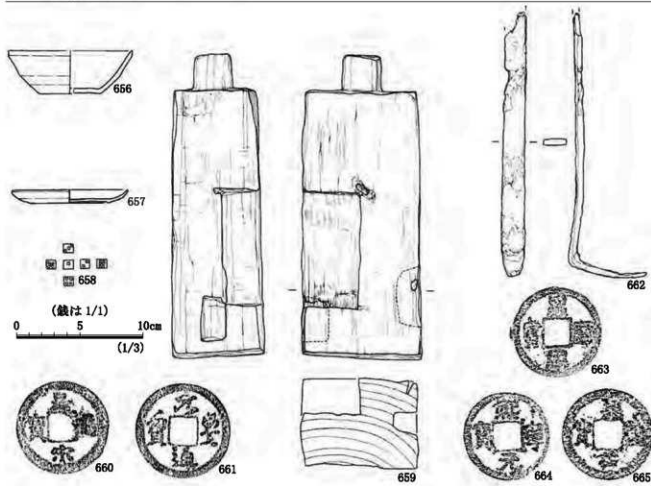
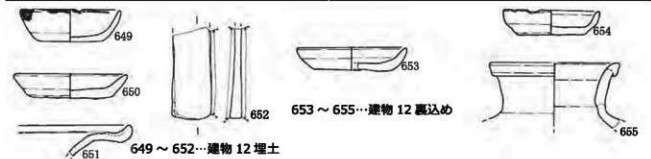
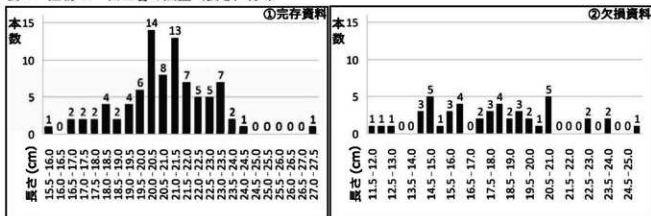


図49 II区下層遺構面 竪穴建物12-13出土遺物

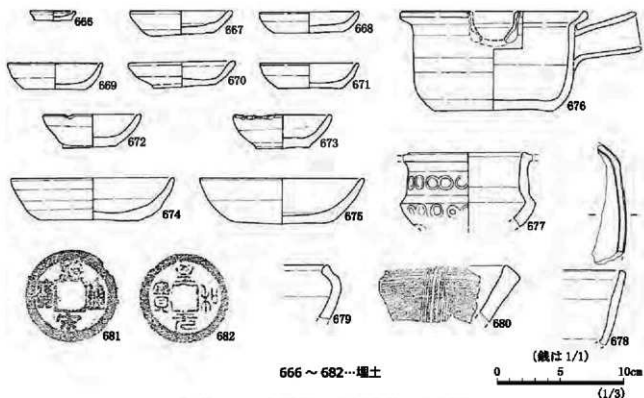


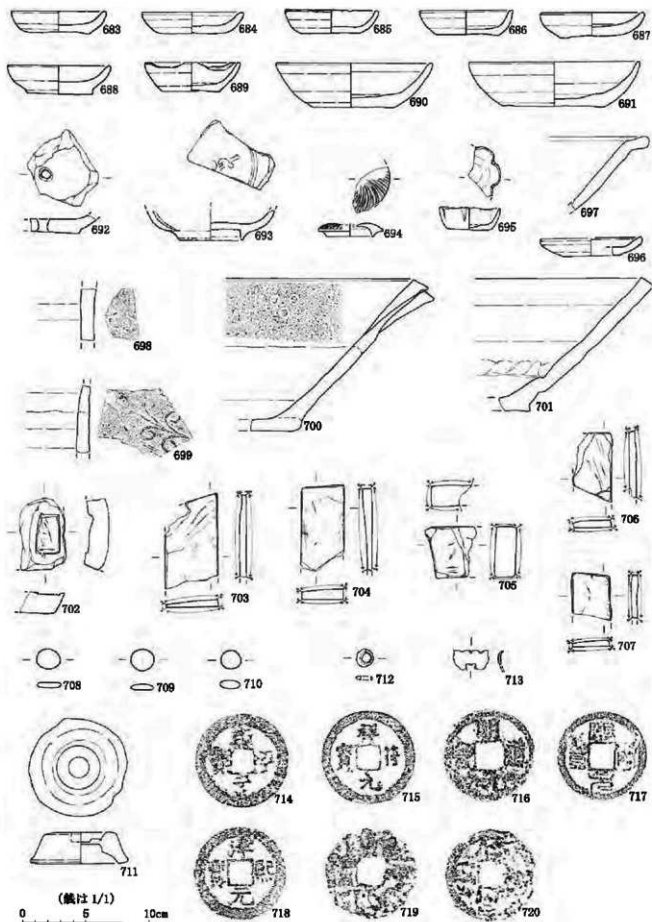
図 50 II区下層遺構面 竪穴建物 14 出土遺物

建物 11 の出土遺物 (図 46 ~ 48)

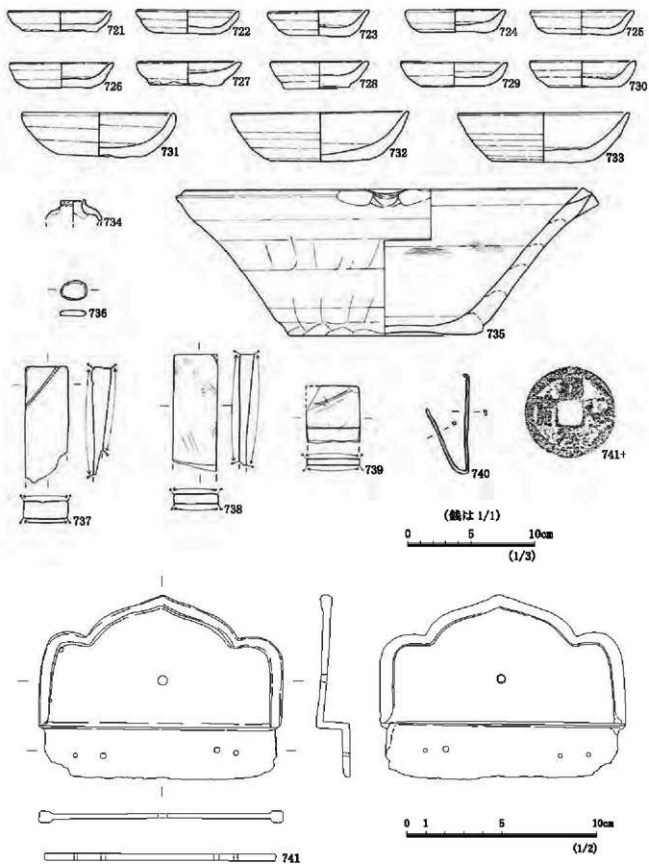
出土層位ごとに区別して掲載したが、埋土下層からの出土分は、図 46-594 ~ 601 と図 48-627 ~ 643 とに分けて提示してしまっている。622 の金銅装目釘は 5 点の部品からなり、両端の釘隠し (エ・オ) に 3 羽の鴨？をあしらった優品である。アの日釘本体は、幅 4mm × 厚さ 3mm の矩形断面を呈する。本遺構では漆器や木製品も多く出土したが、後者については整理作業の着手前、乾燥のため収縮してしまった資料が多い。このため著も本来の長さを保ってはいないが、表 4 に 5mm 刻みの計測値分布を示した。636 ア・イは同じ取り上げ袋に入れられていたが、出土位置が同じであったかは確実な記録がないため不明である。

建物 14 の出土遺物 (図 50)

ロクロかわらけの小皿には丸みを帯びて低平なもの (667・668) と小ぶりの底部から内湾気味に立ち上がる深身タイプ (672・673) の 2 種が見られ、後者の方が新相を呈していると思われる。676 の瀬戸窯柄付片口は、中期様式前半の製品であろう。



683 ~ 720...埋土
 图 51 II 区下層遺構面 竖穴建物 15 出土遺物 (1)



721 ~ 741+...床面上

图 52 II 区下層遺構面 竪穴建物 16 出土遺物 (2)

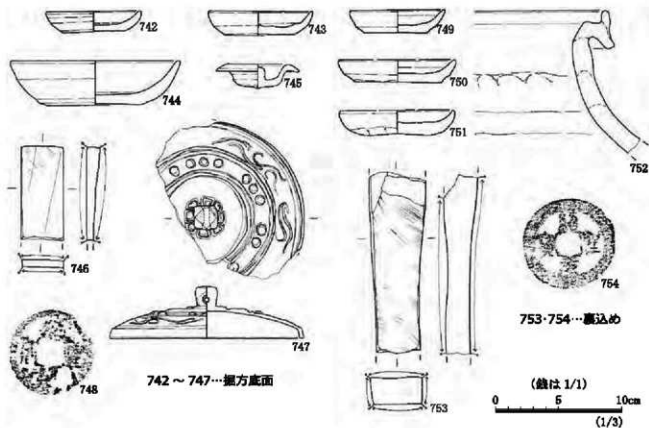
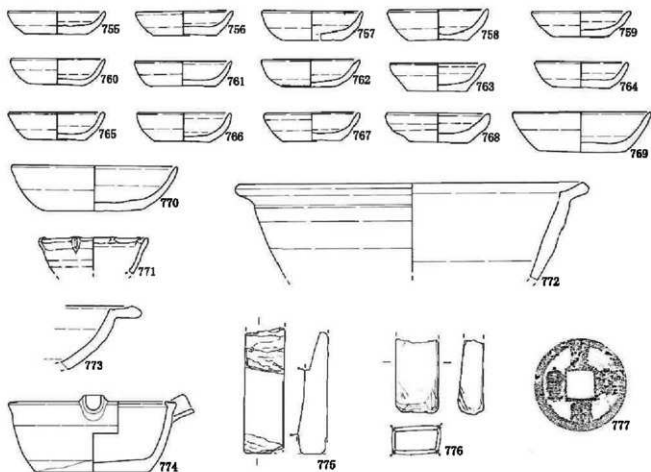


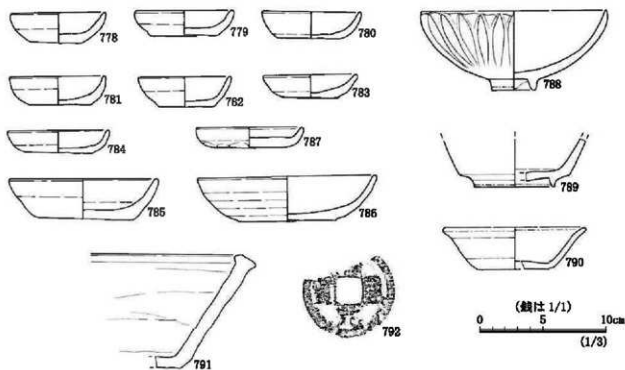
図 53 II区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (3)

建物 15 の出土遺物 (図 51 ~ 53)

「床面上」出土としたものについて、正確には床板は遺存していなかったため、土台材の掘え方と同一面と理解されたい。かわらけはロクロ成形品が大多数を占め、床面上出土の小皿は丸みを帯びた低平な資料 (721 ~ 730) が、大皿はやや深身を呈する資料が主体となる (731 ~ 733)。床面上では他に大鋸の部品である鉄製の柵板が出土し、鎌倉では唯一の事例となっている (741)。既に保存処理が施されており、その経緯や資料の属性については『かまくら考古』第 5 号で詳しく説明されている (福田 2010)。鎌倉時代初期の意匠を呈しているというが、かわらけを主体とする他の出土品は鎌倉後期の様相を示しているため、伝世品と理解すべきであろう。

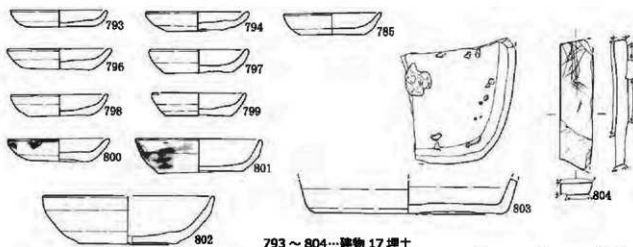


755 ~ 777...埋土



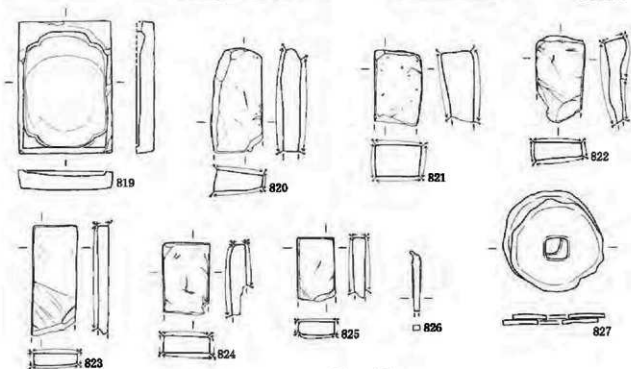
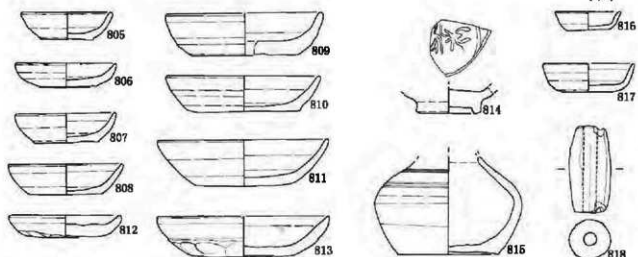
778 ~ 792...裏込め

图 54 II 区下層遺構面 竪穴建物 16 出土遺物



793 ~ 804...建物 17 埋土

0 5 10cm
(1/3)



805 ~ 827...建物 18 埋土

图 55 II 区下層遺構面 壁穴雜物 17·18 出土遺物

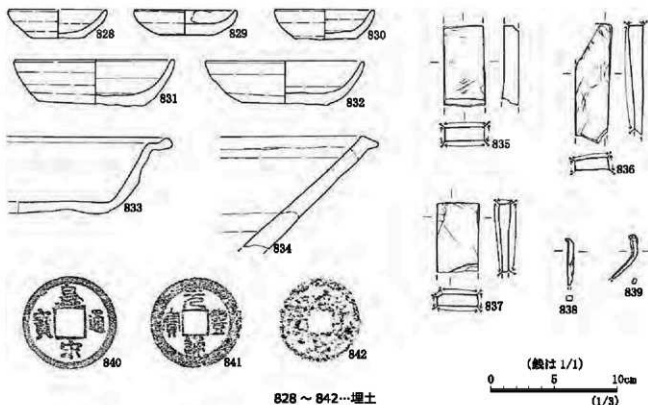


図 56 I 区下層遺構面 竪穴建物 19 出土遺物

建物 16 の出土遺物 (図 54)

ロクロかわらけは小皿を多く図示でき、埋土出土の資料は薄手で内湾・深身となる個体が目立つ (760・762 など)。先述した建物 14 出土の深身小皿 (図 50-672・673) より丸みが強く、一段階古い様相として捉えられようか。遺構間の切り合い関係とは矛盾しない。

建物 17 の出土遺物 (図 55)

ロクロかわらけの小皿を多く図示でき (793 ~ 800)、内湾しつつ低平な器形が主体となっている。803 は常滑窯の盤で、上面観が隅丸形状を呈すると見られる。

建物 18 の出土遺物 (図 55)

ロクロかわらけ (806 ~ 811) は大・小とも丸みを帯び、やや深身となる資料が主体となる。手づくねかわらけ (812・813) も図示できたが、かわらけ全体の中での構成比率は少ない。

建物 19 の出土遺物 (図 56)

ロクロかわらけ (828 ~ 832) は丸みを持ち、深身の資料が目立つ。

建物 20 の出土遺物 (図 57)

埋土出土のロクロかわらけのうち、小皿 (843 ~ 847) は丸みを持ち低平な器形の資料が主体となる。大皿 (848 ~ 850) は、やや深身の器形を呈する。

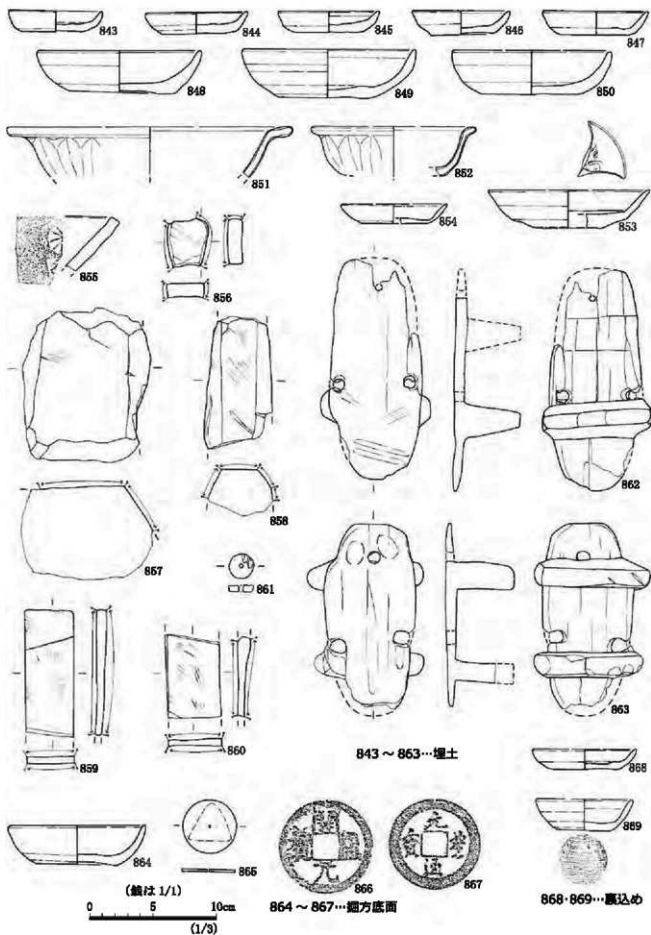


图 57 II 区下層遺構面 竪穴建物 20 出土遺物

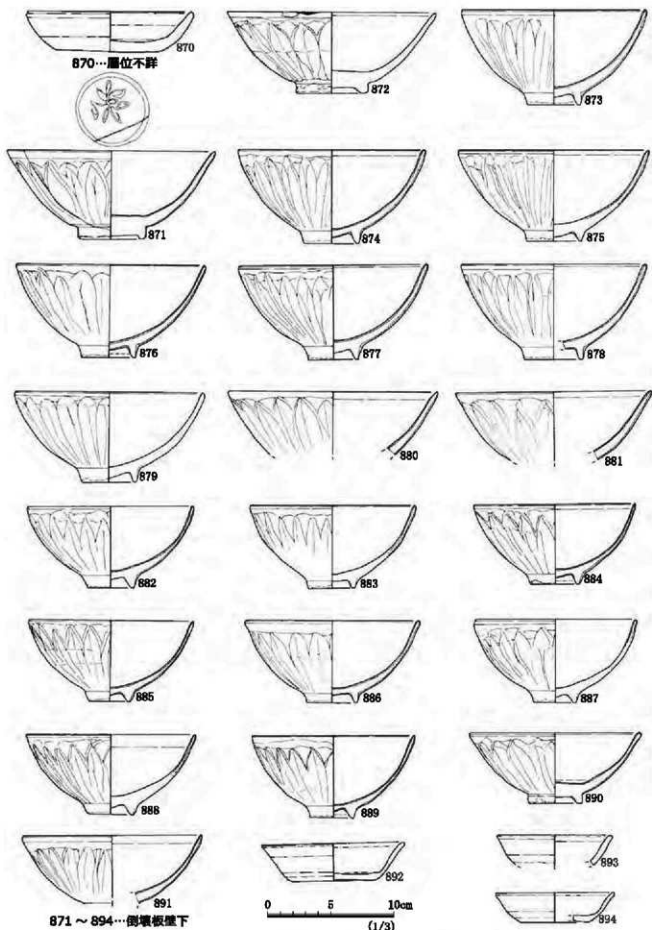


图 58 II 区下层遺構面 竖穴建物 21 出土遺物 (1)

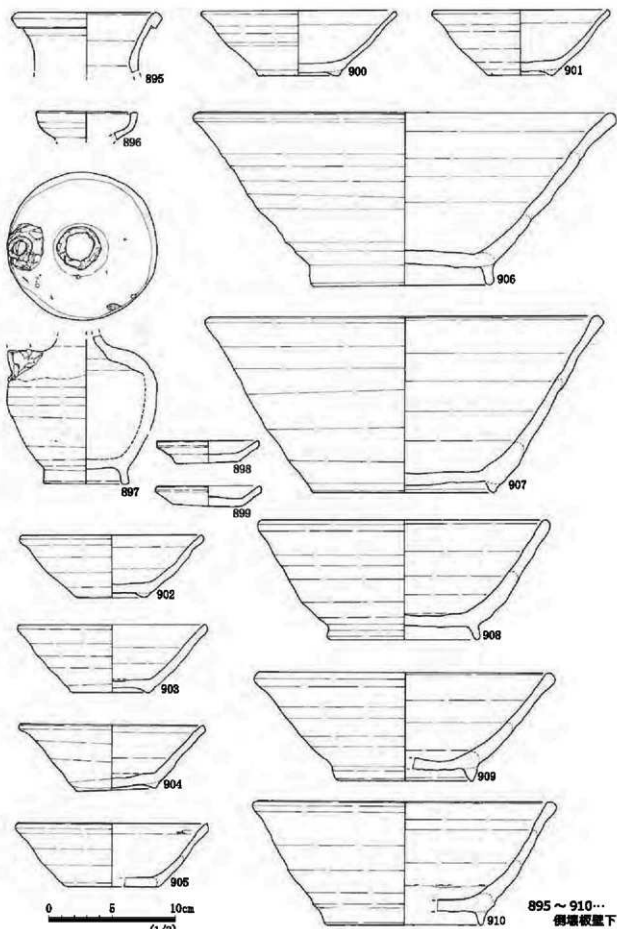


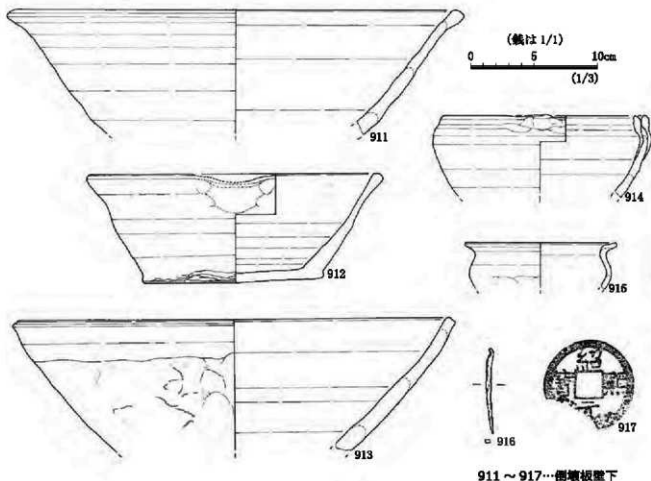
图 59 II 区下層遺構面 竖穴建物 21 出土遺物 (2)

建物 21 の出土遺物 (図 58 ~ 61)

壁板下で出土した青磁碗は全て龍泉窯系の蓮弁文碗で、Ⅲ類が大多数を占め (14 点を図示)、Ⅱ類は僅少であった (871・872・890 の 3 点を図示)。871 は破損したものを漆で接着、修復している。欠損部位のない資料はこの 1 点のみで、他はほぼ完形品でもどこかしらの部位を欠いている。いずれの個体も内外面とも釉の光沢が鮮やかで、鎌倉の出土品に通常ある微細な傷も見て取れず、未使用品という印象を受ける。こうした青磁碗の一括廃棄事例は、今のところ鎌倉では唯一の例となっている。本遺構では、尾張型の山茶碗・山皿や同系統の片口鉢Ⅰ類も、完形やそれに近い資料が一定量出土している。これらも青磁碗と同様に使用感が殆どなく、内面はざらついた感触が残る。以上の資料群については『貿易陶磁研究 No. 28』で資料紹介がなされ、竪穴建物の廃絶に際し破損などで商品価値を失った製品が一括廃棄されたものと推測され、尾張型 7 型式の存在などから 13 世紀中頃の遺物組成という認識が示されている (原 2006)。

これら壁板下出土資料の組成にはかわらけが含まれず、他の陶磁器類と異なり本建物では収蔵・保管の対象となっていなかったことが推察できる。竪穴建物の出土遺物は概して埋土中からの出土が大部分を占め、廃棄時の埋め立てに伴って流入したケースが主体である。建物使用時の遺物としては床下の埋壘といった埋納物が散見されるものの、本例のような床上～壁下での一括廃棄例は極めて珍しく、竪穴建物の具体的な使用状況を考える上で参考となる発見となった。

本建物の構築年代については、壁板裏込め土からも龍泉窯系青磁の碗・坏Ⅲ類が出土しているの、廃絶年代をさほど遡らず、13 世紀中頃以降に位置付けることができよう。



911 ~ 917…倒壊壁板下

図 60 Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (3)

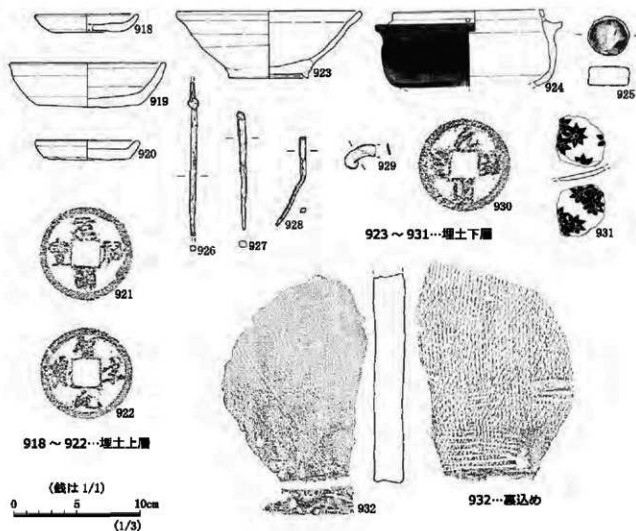


図 61 II 区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (4)

建物 23 の出土遺物 (図 62)

945 は在地土器の釜で、体下部の外面に弱いミガキ調整が施されている。用途は明確でない。

建物 24 の出土遺物 (図 62)

946 は縄文土器で、深鉢の破片か。かわらけには固化できる資料がなかったが、出土量ではロクロ成形品と手づくねでと大きな差は見られなかった。

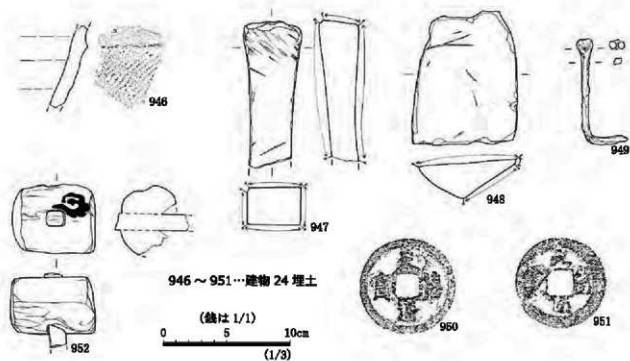
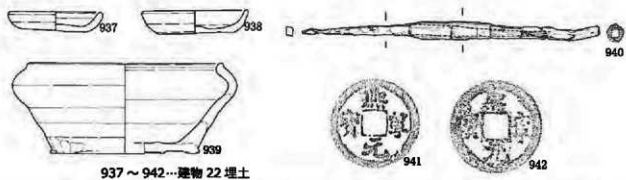
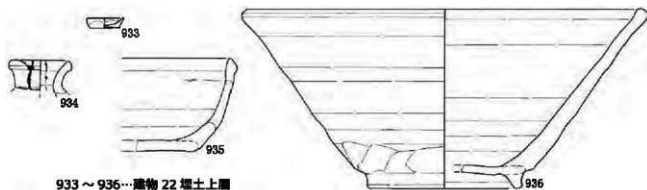
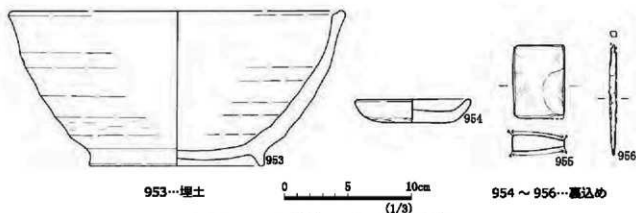


图 62 II 区下層遺構面 壑穴建物 22・23・24 出土遺物

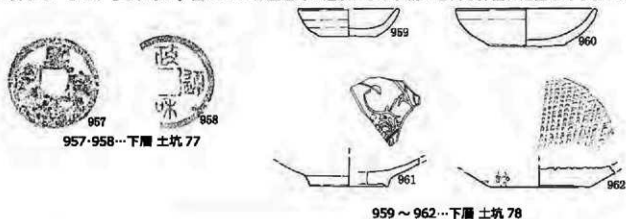


953…埋土 0 5 10cm (1/3) 954～956…裏込め

図 63 II区下層遺構面 井戸4出土遺物

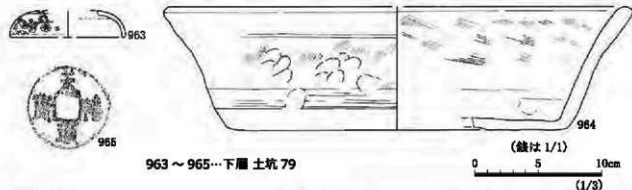
井戸4の出土遺物 (図63・図65-983)

かわらけで図化できたのは964の手づくね小皿1点のみだが、出土数を見ると埋土・裏込め出土資料ともにロクロ成形品が大多数を占めている。この点、整穴建物群に先行する遺構であっても先述の溝1とは遺物様相が異なり、井戸4の方が新相を示している。井戸としての使用・開放期間の長さを相対的に表しているのかもしれない。図65-983は整理時の過誤により、溝1と同じ押図に配置してしまった。



957・958…下層 土坑 77

959～962…下層 土坑 78



963～965…下層 土坑 79

(鉢は 1/1)

0 5 10cm (1/3)



966…下層 土坑 81

967・968…下層 土坑 84

969・970…上層 溝状遺構東側

図 64 II区上層・下層遺構面 土坑・遺構外出土遺物

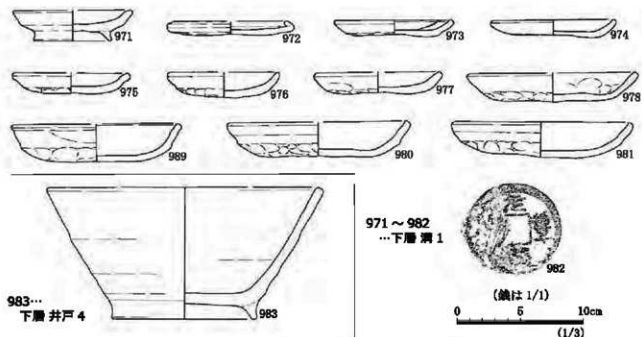


図 65 I 区下層遺構面 溝1・井戸4出土遺物

溝1の出土遺物（図65）

かわらけは手づくね成形品が出土数全体の大多数を占め、図示できた資料も、971の高台付き小皿を除き全て手づくねとなった（971～981）。大・小ともに器壁が薄く扁平な資料が目立ち、手づくねでも比較的古相の一群として評価できる。971はロクロ成形と思われ、体下部の外周は回転成形だが、高台貼り付け時の調整のためか、外底面の回転糸切り痕は残っていなかった。983は、井戸4に帰属する。

引用文献

福田 誠 2010「出土遺物の保存「梅植板」」『かまくら考古 第5号』

特定非営利活動法人鎌倉考古学研究所

原 廣志 2008「若宮大路周辺遺跡群壱穴建物出土の陶磁器」『貿易陶磁研究 No. 28』

日本貿易陶磁研究会

表5 出土遺物カウント・計量表

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区 表土				
ロクロかわらけ	小		3	89
	大		5	223
白磁	蓋?		1	7
		I	1	4
龍泉窯系青磁	碗	IIorIII	1	4
			6	269
瀬戸	折縁深皿		2	169
常滑	片口鉢	I	1	55
		II	11	930
II区 表土				
手づくわかわらけ	小		1	5
龍泉窯系青磁	碗	I	1	3
瀬戸	瓶類		1	6
常滑	片口鉢	I	3	75
		II	1	78
瓦葺土器	火鉢	I	2	163

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区 試掘坑				
尾張型	山皿		1	52
常滑	片口鉢	I	1	12
	片口鉢	II	1	89
	壺		10	715
	壺		3	85
瓦葺土器	火鉢		1	11
銅製品	鏡		1	4
自然遺物	アカニシ		1	—
自然遺物	獣骨		5	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区 上層遺構面上遺物包含層				
ロクロかわらけ	小		46	705
	大		150	2375
手づくわかわらけ	小		6	110
	大		6	92
かわらけ	小片		10	43
白かわらけ	手づくね		1	4
			3	13
土器	鈔付鉢		5	35
		皿	IX	13
白磁	納皿		1	3
		蓋		1
白磁(新)	海瓶		1	5
			3	14
青白磁	水注		1	18
		蓋		1
龍泉窯系青磁	碗	I	6	44
		IIorIII	9	39
	碗	III	3	43
	納皿		12	45
	杯	III	3	113
	小片		3	23
船載施釉陶器	緑釉盤		1	5
	襦袢壺		3	51
瀬戸	入子		2	9
		線輪小皿		1
	天口茶碗		2	22
	平碗		2	24
	碗		6	52
	洗?		1	101
	折縁皿		24	599
	御皿		17	560
	柄付片口		4	138
	筒型香炉		1	54
	瓶子		1	11
	花瓶		1	74
	壺・瓶類		17	811
	蓋		1	1
	不明		2	15
尾張型	山茶碗		2	13
常滑	片口鉢	I	59	1808
	片口鉢	II	28	1999
	壺		219	11808
	壺		6	176
	転用研磨具		2	113
親美	壺		4	81
備前	すり鉢		3	345
東播系須恵器	片口鉢		1	34
	壺		1	12
不明陶器			3	27
瓦葺土器	火鉢	A	8	560
		B	5	560
	火鉢		38	1760
石製品	滑石片	西徒件	4	155
		釜口砂岩	1	825
	荒砥		1	1265
	中砥	伊予	1	196
	中砥		1	137
	中砥or荒砥		1	180
	仕上付砥	鳴滝	1	4
	仕上付砥		7	99
銅製品	鏡		8	28
鉄製品	釘		33	380
		板状製品	8	179
骨製品	双六駒		1	3
建築部材等	漆喰		1	10

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獸骨		26	—
	Ⅱ区 上層遺構面上遺物包含層			
ロクロかわらけ	小		128	1708
	中		1	53
	大		526	7162
手づくねかわらけ	小		2	30
	大		6	121
かわらけ	転用円盤		1	7
白かわらけ	小片		40	136
土器	手づくね		1	5
	菅伊勢系鉢		3	67
	鍔付鉢		7	72
白磁	鉢		1	40
	皿	IX	18	82
	皿		1	3
	碗	IX	2	38
	碗		1	16
	壺類		1	18
青白磁	梅瓶		5	194
	合子蓋		3	14
	合子身		2	10
	皿		3	3
	碗		1	11
同安撫系青磁	碗	I	7	203
	碗	I or II	1	18
龍泉系青磁	碗	II	1	45
	碗	II or III	23	187
	碗	III	3	47
	納皿		10	33
	坏	III	6	22
	酒盃蓋		1	10
	梅輪壺		3	193
胎痕施輪陶器	縁軸小皿		1	6
	小皿		1	16
瀬戸	平碗		2	26
	碗?		2	141
	御皿		11	152
	折縁皿		21	412
	直縁大皿		1	32
	すり鉢		6	214
	皿盤		1	31
	柄付片口		3	60
	花瓶		1	123
	壺類		11	221
	不明		3	10
瀬戸? 尾張型	陶丸		1	14
	山茶碗		4	32
常滑	片口鉢	I	75	2766
	片口鉢	II	53	3044
	壺		462	22051
	壺		10	443
	転用研磨具		1	52
製瓦	壺		12	483
備前	すり鉢		5	349
東播系須恵器	片口鉢		5	140
	壺		2	45
土製品	土錘		1	17
	不明		1	28
瓦質土器	香炉	IV	1	6
	香炉		2	20
	火鉢	III	2	292
	火鉢	IV	4	232
	火鉢		40	1991
風炉?		1	25	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
瓦	軒丸	I	1	61	
	平瓦	A	1	86	
	草瓦		1	266	
	丸瓦	B	1	184	
	滑石製スタンプ		2	156	
石製品	滑石片	西笠杵	3	105	
	硯	香爐	4	361	
	硯		1	20	
	硯石		3	26	
	基石?		1	1	
	石臼		1	220	
	非製品	伊黒	1	50	
	磁石		3	77	
	仕上げ紙	鳴鹿	7	103	
	仕上げ紙	山羽	1	65	
	仕上げ紙	備水	1	27	
	仕上げ紙		9	177	
	中紙	上野	1	58	
	中紙	天草	1	152	
	中紙	伊予	2	168	
中紙		3	225		
石材	石英		1	3	
	雲母片		1	1	
銅製品	鏡		10	39	
	釘		96	647	
鉄製品	板状製品		4	53	
	鏝?		1	66	
	鉄滓		2	53	
	鉄片		3	67	
漆器	漆器		1	—	
	漆喰		3	57	
建築部材等	筭		1	—	
	筭		1	—	
自然遺物	アカニシ		1	—	
	獣骨		11	—	
	獣骨		27	—	
	獣骨		2	—	
	獣骨		6	—	
	獣骨		5	—	
	獣骨		36	—	
	人骨		1	—	
	土師器	壺?		1	13
	須恵器	転用硯		1	130
磁器(新)	不明		1	3	
	壺?		1	4	
瀬戸(新)	壺		1	16	
	壺付		1	5	
不明陶器	壺		1	36	
近世陶器	壺		1	4	
不明	不明		1	27	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区 上層～下層遺物包含層				
手づくねかわらけ	大		5	59
ロクロかわらけ	小		14	171
	大		41	540
かわらけ	小片			6
土器	南伊勢系鉢		1	3
白磁	皿	IX	3	6
青白磁	梅瓶		2	18
	皿		2	9
龍泉窯系青磁	碗	I	4	29
	碗	II or III	3	20
	碗	IV	1	35
	皿		1	1
	坏	III	1	3
船載施釉陶器	秘釉壺		1	9
	入子		2	5
瀬戸	折縁皿		1	46
	天目茶碗		1	36
尾張型	山茶碗		1	4
	片口鉢	I	24	960
常滑	片口鉢	II	10	678
	壺		68	3515
	壺		9	153
壺	壺		1	38
不明陶器	火鉢	A	1	21
瓦質土器	火鉢	B	4	334
	火鉢		14	596
	瓦	D	1	69
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	4
鉄製品	釘		2	11
自然遺物	獸骨		23	
II区 上層～下層遺物包含層				
手づくねかわらけ	小		1	6
	極小内折れ		1	7
ロクロかわらけ	小		102	1172
	大		518	5975
かわらけ	小片		259	878
白かわらけ	ロクロ		2	6
土器	南伊勢系鉢		10	36
白磁	皿	IX	13	45
	壺類		2	15
青白磁	梅瓶		3	10
	皿		4	3
	不明		1	1
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
	碗	II or III	12	70
	碗皿		10	18
	皿		1	3
	坏・壺	III	6	39
船載施釉陶器?	秘釉壺		2	55
	入子		6	32
瀬戸	天目茶碗		2	24
	平碗		3	41
	小犬目?		1	4
	碗皿		2	9
	碗皿		14	326
	折縁小皿		1	2
	折縁皿		26	802
	碗		2	33
	柄付片口		2	26
	香炉		5	44
	香炉?		1	14
	花瓶		1	80
小壺(水瀝)		3	26	
壺類		12	240	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸美濃	灯明皿		1	6
尾張型	山皿		1	4
	山茶碗		4	42
東濃型	山茶碗		1	10
	片口鉢	I	93	2196
常滑	片口鉢	II	38	2322
	壺		318	14403
	壺		23	743
	転用研磨具		1	58
福美	片口鉢		2	31
	壺		8	236
備前	ナリ鉢		1	98
	転用研磨具		1	34
東郷系須恵器	片口鉢		2	70
	壺		1	152
	甕転用硯		3	125
瓦質土器	火鉢	I	8	360
	火鉢	III	3	118
	火鉢	IV	7	447
	火鉢		22	767
	仕上げ砥	鳴滝	18	318
	仕上げ砥	出羽?	1	42
仕上げ砥	上野前田?	1	45	
仕上げ砥	中砥材	1	79	
石製品	中砥	天草	2	233
	中砥	伊予	1	102
	硯	赤間ヶ岡	1	12
	硯	鳴滝	2	74
	硯石	鳴滝	1	2
	滑石スタンプ		1	32
	滑石片	西後杵	2	9
	滑石片	西後杵	3	146
	碁石(黒)		2	5
		碁石?	1	2
石材	石英		2	7
	軽石		1	69
銅製品	鏡		13	45
	釘		131	820
鉄製品	板状製品		9	140
	不明		3	35
	鉄片		2	519
	鉄器		1	301
建築部材等	漆喰		4	758
骨製品	骨		1	—
自然遺物	獸骨		93	—
	人骨?		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区 上層 近世土坑				
ロクロかわらけ	小		2	43
	大		10	83
かわらけ	小片		8	23
土器	南伊勢系鉢		1	2
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
	碗		1	6
常滑	片口鉢		1	16
	壺		22	1135
瓦質土器	火鉢		2	130
鉄製品	釘		3	32
自然遺物	獸骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I 区上層 壁穴建物1				
手づくねかわらけ	大		6	73
	小		9	72
ロクロかわらけ	大		59	1190
	小片		—	53
白磁	碗	X	1	2
	皿	IX	5	20
	四耳壺		1	7
	瓶瓶		1	5
青白磁	梅瓶		1	20
同安楽系青磁?	皿		1	3
龍泉系青磁	碗	I	1	16
		II or III	7	39
	IV?	1	7	
	皿	I	1	4
高麗青磁	坏	III	1	14
		III-1	1	38
瀬戸	瓶子		1	52
	入子		2	34
	天目茶碗		1	5
	御皿		1	4
	折縁皿		1	33
常滑	瓶壺		3	151
	円盤状		1	39
	片口鉢	I	14	640
		II	24	1460
	壺		93	6375
壺		3	110	
菊弁	壺		1	15
束巻系	片口鉢		5	186
瓦質土器	火鉢	I	1	222
		III	2	394
		IVC	1	399
			7	329
瓦	平瓦	腰べ	1	79
石製品	硯	鳴滝	1	86
	中砥	天草 伊予	1	505
石材	石英		2	29
	片岩		1	730
	不明		1	258
銅製品	鏡		4	17
鉄製品	釘		24	165
自然遺物	獣骨		5	116
			28	—
I 区上層 建物1床面上				
手づくねかわらけ	小		2	47
	大		5	53
ロクロかわらけ	小		12	245
	大		110	1385
白磁	皿	IX	2	6
			1	1
同安楽系青磁	碗	II	1	25
		II or III	2	15
		IV?	1	7
			1	4
	碗(梅摺)		6	11
土器	不明		1	3
	南伊勢系鍋		2	31
瀬戸	御皿		1	5
尾張型	瓶瓶		1	3
	山茶碗		2	15
常滑	片口鉢	I	24	660
		II	8	395
		壺	71	3340

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
銅造	壺		3	178
不明陶器	壺?		1	44
瓦器(棟束)	坏		1	4
土製品	管状土器		1	6
瓦質土器	火鉢		8	126
石製品	碓石or鈴?		1	2
	仕上げ紙	湯桶	2	43
銅製品	鏡		2	7
	釘		26	167
鉄製品	板状製品		4	46
	鉄滓		5	166
自然遺物	皿		1	—
	獸骨		31	—
I 区下層 壁穴建物2A				
手づくねかわらけ	小		2	18
	大		13	235
ロクロかわらけ	極小		1	7
	小		70	1045
かわらけ	大		366	6415
	小片		7	7
白かわらけ	小片		3	8
	壺		3	136
白磁	皿	IX	19	103
	盤or皿		10	25
青白磁	合子蓋		1	1
	合子身		1	6
	皿		3	2
	梅瓶		11	81
同安楽系青磁	碗		2	14
龍泉系青磁	碗	I	5	52
		II	3	35
		II or III	16	122
		III	1	8
船載地軸陶器	筒皿		11	31
	折縁鉢or皿		9	65
瓦器	貝油壺		2	49
	小片		1	2
瓦質土器	火鉢	I	4	175
		III	2	77
船載地軸陶器	梅地壺		20	1050
	梅地壺		5	100
瓦	軒丸瓦	輪刻下向 劔頭文	1	209
			1	146
	丸瓦	A	2	100
		B	2	457
平瓦	不明	3	204	
骨製品	笄		3	6
石製品	滑石鍋	西飯杵	4	235
	入子		3	14
瀬戸	柄付片口鉢		1	203
	折縁皿		2	43
	花瓶	II	1	108
	瓶子		1	27
	瓶瓶		3	50
尾張型	山茶碗		5	161
	片口鉢	I	64	2713
常滑	壺	II	25	1552
		6bまで	206	17873
	壺		6	115
	転用研磨具		2	95
銅造	権鉢		1	162
不明陶器	壺?		1	22
土師器	鉢		1	310
不明土器	坏		2	39
	小片		3	29

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
石製品	礎		1	13
	仕上げ砥	鳴滝	9	228
	中砥	伊予	1	49
	荒砥		1	512
	双六駒		1	4
石材	石英		2	29
銅製品	鏡		2	8
鉄製品	板状製品		1	88
	釘		38	274
漆製品	欵洋		1	17
	鳥帽子		1	—
木製品	曲物底板		1	—
自然遺物	獣骨		101	—
	キサゴ		2	—
I 区下層 聖穴建物2A床面上				
手づくわかわらけ	小		1	9
	大		12	130
ロクロかわらけ	小		23	305
	大		59	905
かわらけ	小片		12	47
白かわらけ	小片		1	5
土器	幸伊勢系銅		1	7
白磁	皿	IX	3	27
	瓶類		2	14
青白磁	梅鉢蓋		3	7
同安楽系青磁	碗		1	1
	皿		1	3
龍泉系青磁	碗	II or III	8	48
	碗		1	6
船載施和陶器	盤		1	2
瀬戸	飯子		2	31
尾張型	山蒸碗		4	66
常滑	片口鉢	I	19	715
		II	6	273
	壺		104	4990
	壺		2	86
瀬美	壺		1	24
	火鉢	I	1	113
瓦質土器	その他火鉢		4	310
	平瓦		2	119
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	50
	滑石鍋	西彼件	2	143
	滑石片		1	3
鉄製品	釘		6	31
	鏡		3	—
漆器	膳		1	—
	鳥形		1	—
自然遺物	胡桃核		—	—
	獣骨		10	—
	アカニシ		1	—
	アリビ		1	—
	イボキサゴ		17	—
	キサゴ		1	—
	チョウセンハマグリ		2	—
ハマグリ		20	—	
I 区下層 聖穴建物2A内ビット				
ロクロかわらけ	小		1	1
	大		1	13
自然遺物	獣骨		1	—
	キサゴ		1	—
	ハマグリ		2	—
I 区下層 聖穴建物2A裏込め				
手づくわかわらけ	小		2	17
	大		6	93
ロクロかわらけ	小		6	71
	大		12	150

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
かわらけ	小片		3	10
白磁	皿	IX	3	24
青白磁	香子蓋		2	3
龍泉系青磁	碗	II	6	54
	折縁鉢		1	4
	折縁鉢		1	19
尾張型	山蒸碗		1	15
常滑	片口鉢	I	4	141
	壺		25	1955
瀬美	壺		2	59
瓦質土器	火鉢		1	29
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
骨製品	双六駒		1	2
自然遺物	獣骨		11	—
I 区下層 聖穴建物2A拡張部				
手づくわかわらけ	大		4	54
ロクロかわらけ	大		9	153
龍泉系青磁	碗	II or III	1	22
常滑	片口鉢	I	1	20
	壺		4	368
銅製品	鏡		3	11
I 区下層 聖穴建物2B掘方				
ロクロかわらけ	小		1	8
	大		1	27
船載施和陶器	火鉢		1	13
常滑	片口鉢	II	1	49
	壺		2	85
瓦質土器	火鉢		1	68
I 区下層 聖穴建物2B裏込め				
ロクロかわらけ	大		5	138
	壺		1	14
常滑	壺		2	38
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
I 区下層 聖穴建物3				
手づくわかわらけ	小		2	10
	大		5	40
ロクロかわらけ	小		5	65
	大		36	985
白磁	皿	IX	1	10
	碗	II or III	1	7
龍泉系青磁	碗	III	2	59
	碗皿		2	7
瀬戸?	飯皿		1	83
瀬戸?	小片		1	2
常滑	片口鉢	(I)	24	1180
		II	5	315
東濃型	壺		38	175
	山蒸碗		1	16
瓦器(栴藍)	龜山壺		2	177
	坏		1	3
瓦質土器	火鉢		6	195
	滑石鍋		3	241
石製品	硯	鳴滝	1	2
	仕上げ砥	鳴滝	5	81
	磁石		1	13
石材	石片	鳴滝	1	42
	鏡		3	12
鉄製品	釘		8	51
鉄製品	欵洋		1	13
漆器	膳		1	—
骨角製品	鹿角加工品		1	—
自然遺物	板皮		1	—
	獣骨		40	—
I 区下層 建物3床面上				
手づくわかわらけ	小		2	17
	大		5	79

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
ロクロかわらけ	小		16	216
かわらけ	小片		1	1
白磁	皿	IX	1	16
龍泉窯系青磁	碗	I	2	9
		II	1	15
瀬戸	入子		1	2
	御皿		1	11
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	II	2	102
		I	6	266
		壺	29	1345
自然遺物	獸骨		11	
	キサゴ		1	
	ハマグリ		6	
石製品	滑石鉢		1	196
	仕上げ砥	鳴滝	1	46
石材	石英		2	91
鉄製品	釘		6	17
I区下層 雑物3裏込め				
ロクロかわらけ	小		4	70
	大		4	66
龍泉窯系青磁	碗		1	4
常滑	片口鉢	I	2	45
		II	1	197
	壺		18	935
雑美	壺		1	28
瓦質土器	火鉢	I	1	65
瓦	平瓦	A	1	147
自然遺物	獸骨		3	—
I区下層 雑物4				
手づくねかわらけ	小		19	447
	大		16	287
ロクロかわらけ	小		46	800
	大		136	3425
かわらけ	小片		1	3
手づくね土器	碗	IX	1	22
			1	10
白磁	皿	IX	7	43
			2	17
	瓶類		3	37
青白磁	皿		1	5
同安楽系青磁	碗		3	70
龍泉窯系青磁	碗	I	4	90
		II or III	12	83
		III	2	151
船載施和陶器	盤		1	9
	椀輪巻		1	18
	椀輪?		2	76
瀬戸	御皿		1	48
	花瓶?		1	10
	瓶類		2	74
	片口鉢	I	55	2630
常滑	壺	II	7	595
			278	22320
		壺	11	860
尾張型	山茶碗		4	128
雑美	壺		8	409
瓦質土器	火鉢	I	3	458
	その他火鉢		8	401
石製品	滑石鉢		4	483
	滑石製燻石	蓋使件	1	462
	砥	鳴滝砥石材	2	39
	仕上げ砥	鳴滝	1	25
	中砥	伊予	1	212
泥岩	加工品		1	19

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	鏡		3	11
	釘		20	94
自然遺物	獸骨	アカニシ	1	—
		キサゴ	10	—
		キサゴ	1	—
		パイ	1	—
		ハマグリ	10	—
I区下層 雑物4床面上				
手づくねかわらけ	小		13	250
	大		12	184
ロクロかわらけ	内折れ椀小		1	12
ロクロかわらけ	大		31	474
			57	895
かわらけ	小片		1	1
白磁	皿		1	2
青白磁	碗		1	4
		合子or水注	3	4
同安楽系青磁	皿		1	2
	皿		1	9
	碗		2	5
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	4
		碗皿	2	14
瀬戸	瓶類		1	11
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	I	5	122
		II	2	63
		壺	52	4180
		壺	2	30
海壳	壺		2	77
線投	煎瓶		1	134
瓦輪	碗		1	3
瓦質土器	火鉢		5	101
鉄製品	鏡		2	8
	掛金具		1	17
自然遺物	釘	梅核	15	85
		獣骨	1	3
		獣骨	10	—
		アカニシ	2	—
		イボキサゴ	19	—
		ダンベイキサゴ	22	—
		ツメタ	2	—
		パイ	1	—
ハマグリ	16	—		
I区下層 雑物4裏方				
手づくねかわらけ	小		1	10
	大		1	36
ロクロかわらけ	大		2	15
	壺		3	3845
	漆器	皿	1	—
木製品	箸		6	—
	箸		1	—
自然遺物	ダンベイキサゴ		1	—
	ツメタ		1	—
I区下層 雑物4裏込め				
手づくねかわらけ	大		3	54
	小		1	21
ロクロかわらけ	大		8	219
	土器	銅付鉢	1	31
白磁	皿	IX	2	5
青白磁	碗皿		2	2
龍泉窯系青磁	碗	III	1	5
		皿	1	23
瀬戸	碗皿		1	17
		折線皿or鉢	1	21
	瓶類		1	47

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	4	124
	壺		24	1765
	壺		1	17
新美	壺		9	595
	平瓦	C・D	1	190
銅製品	鏡		1	4
鉄製品	釘		1	15
自然遺物	獣骨		9	
	ダンベイキサゴ		1	
I区下層 竪穴建物5				
手づくねかわらけ	小		2	42
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		1	13
	大		10	237
白磁	飯椀		2	13
龍泉窯系青磁	碗	IIorIII	2	6
常滑	片口鉢	I	6	143
		II	7	437
	壺	5~6	32	1670
瀬戸	入子		1	13
瓦質土器	火鉢	I	1	61
	火鉢		8	360
石製品	中砥	上野	1	178
銅製品	六茶碗		1	14
	鏡		2	7
鉄製品	釘		2	26
	鉄押		2	30
I区下層 竪穴建物5床面上				
ロクロかわらけ	大		5	146
白磁	皿	IX	1	12
船載旋輪陶器	地輪壺		1	6
瀬戸	入子		1	9
足形型	山茶碗		1	21
石製品	中砥	伊予	1	115
銅製品	鏡		1	4
鉄製品	釘		5	38
I区下層 竪穴建物5裏込め				
手づくねかわらけ	小		4	70
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		13	236
	大		10	176
かわらけ	小片		1	6
土器	南伊勢系鉢		1	13
白磁	碗		1	4
		IX	1	34
	皿		1	10
白磁or青白磁	小片		1	1
青白磁	合子蓋		1	2
	梅瓶蓋		1	6
龍泉窯系青磁	碗	IIorIII	2	9
			1	3
	坏	III	4	24
瀬戸	卸皿		1	92
	折縁皿		8	39
	飯椀		2	30
尾張型	山茶碗			14
常滑	片口鉢	I	14	296
		II	3	127
	壺	6a・bまで	28	1605
土製品	馬形		1	10
瓦質土器	火鉢	B	1	70
	その他火鉢		4	101
瓦	平瓦		1	81
	仕上げ紙	鳴滝	2	27
石製品	碁石		1	3
	滑石片		1	1

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
石材	石英		1	10
			4	14
	鉄製品	板状製品		2
	飾り金具		1	1
	釘		12	77
スラグ			1	26
自然遺物	獣骨		21	—
	機骨		1	—
I区下層 竪穴建物6				
手づくねかわらけ	大		19	461
	小		3	57
ロクロかわらけ	大		19	323
	小片		4	10
白磁	碗		3	18
		IX	13	84
	皿	X	1	2
			1	6
青白磁	合子蓋		1	6
	水圧釜		1	6
	梅瓶		1	7
龍泉窯系青磁	碗	I	1	3
		IIorIII	7	31
		III	3	24
		III?	1	11
	碗or皿		1	5
坏or鉢	III	1	2	
瀬戸	入子		1	1
	卸皿		1	8
常滑	片口鉢	I	9	640
		II	1	32
	壺	40	2141	
	壺		1	14
	転用研漉具		1	18
尾張型	山茶碗		2	110
銅製品	壺		6	350
瓦質土器	火鉢		1	46
石製品	仕上げ紙	鳴滝	1	10
	碁石		1	3
石材	石英		4	123
鉄製品	釘		1	27
自然遺物	獣骨		9	—
I区下層 竪穴建物6床面上				
瓦質土器	火鉢小片		2	30
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		2	42
ロクロかわらけ	大		5	47
白磁	口瓦皿		1	3
龍泉窯系青磁	碗	I-6	1	9
		IIorIII	1	13
常滑	片口鉢	I	1	10
		壺	3	47
鉄製品	釘		1	5
自然遺物	獣骨		1	—
	パイ		1	—
I区下層 竪穴建物6裏込め				
手づくねかわらけ	大		7	125
	小		15	270
ロクロかわらけ	大		48	750
土器	南伊勢系鉢		1	5
白磁	皿	IX	7	34
白磁	四耳壺		1	62
同安窯系青磁	碗		1	7
龍泉窯系青磁	碗	I	2	20
		III	3	30
	碗or皿		6	27

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
青白磁	皿		2	1
	梅瓶		1	20
瀬戸	御皿		3	84
	香炉		2	96
	片口鉢	I	17	506
常滑	壺	II	15	1200
	壺		103	5785
	壺		1	58
東渡型	山茶碗		1	3
備前	博鉢		6	531
東播	壺		2	45
不明	碗		1	4
瓦質土器	火鉢	I	1	288
		II	1	20
		III	5	610
			14	790
瓦	平瓦	A	3	285
	丸瓦		2	378
	仕上げ紙	薄紙	3	30
石製品	中砥	上砥	2	239
	滑石片		1	24
石材	石灰		1	64
鉄製品	釘		11	74
スラグ			1	160
骨製品	筭		1	—
自然遺物	獸骨		33	—
I区下層 壱穴壱物7上層				
手づくねかわらけ	小		3	34
	大		8	149
ロクロかわらけ	小		3	96
	大		8	195
かわらけ	小片		2	5
白磁	皿	IX	2	9
青白磁	合子蓋		1	3
龍泉窯系青磁	坏-鉢	III	1	11
瀬戸	瓶瓶		1	11
常滑	片口鉢	I	16	324
		II	1	65
	壺		47	3180
	壺		2	37
梨実	壺		2	225
益投	壺		1	61
瓦質土器	火鉢	I	1	78
瓦	平瓦	A	1	135
骨製品	筭片		1	—
建築部材	漆喰片		1	30
自然遺物	獸骨		11	—
I区下層 壱穴壱物7下層				
手づくねかわらけ	内折れ		1	24
	小		3	60
ロクロかわらけ	大		13	445
	小		2	20
かわらけ	大		3	75
かわらけ	小片		2	11
同安窯系青磁	皿		1	4
龍泉窯系青磁	碗	I	2	24
高麗青磁	皿or碗		1	3
高麗青磁	小片		1	3
船魂磁輪陶器	炭粉鉄給盤		1	1100
	緑釉盤		1	28
常滑	片口鉢	I	3	85
	壺		21	2087
梨実	壺		3	365
不明陶器	不明		1	2
東播	壺		2	2629

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瓦質土器	火鉢	I	2	119
	瓶瓶?		1	12
	平瓦	A	1	135
瓦	丸瓦	A	2	146
	軟製品		1	8
建築部材	漆喰片		1	30
自然遺物	アカニシ		1	—
	ハマグリ		10	—
I区下層 壱穴壱物7床面上				
手づくねかわらけ	大		5	55
	壺		1	28
東播	壺		1	103
自然遺物	ダンベイキテゴ			
	ハマグリ			
I区下層 壱穴壱物7内ビット10				
手づくねかわらけ	大		1	7
ロクロかわらけ	小		1	66
	大		2	298
かわらけ	小片		2	6
瓦	平瓦	A	1	21
I区下層 壱穴壱物7内ビットエ				
自然遺物	獸骨		6	—
I区下層 壱穴壱物7内ビットク				
手づくねかわらけ	小		1	10
I区下層 壱穴壱物7内ビットケ				
ロクロかわらけ	小		1	85
I区下層 壱穴壱物7内ビットタ				
自然遺物	チョウセンハマグリ		2	—
I区下層 壱穴壱物7内ビットチ				
龍泉窯系青磁	皿	I	1	9
II区下層 壱穴壱物9				
手づくねかわらけ	小		6	45
	大		8	100
ロクロかわらけ	小		120	1215
	中		1	31
かわらけ	大		358	3975
	小片		236	915
かわらけ	転用円盤		1	8
白かわらけ	手づくね小		2	8
土器	南伊勢系鍋		7	43
	御行鍋		1	14
白磁	皿	IX	16	80
	皿		2	2
	皿		2	2
青白磁	梅瓶		8	52
	合子身		1	4
	皿		2	3
	碗	I	2	31
		II	3	23
		III	8	101
龍泉窯系青磁	梅瓶		8	24
	坏	III	5	66
	盤		1	610
	香炉		2	54
船魂磁輪陶器	緑釉盤		1	7
	褐釉壺		11	220

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)		
瀬戸	軸軸小皿		1	16	瀬戸	手づくねかわらけ	小	5	17		
	卯皿		23	572		大	9	100			
	折縁皿		79	2549		口ク口かわらけ	小	14	150		
	直縁大皿		2	44		大	51	815			
	柄付片口		2	105		かわらけ	小片	4	12		
	底卸目皿		1	11		土器	南伊勢系鉢		1	5	
	香炉		2	54		白磁	瓶	IX	1	2	
	花瓶		1	31		青白磁	梅瓶		1	20	
	水注		7	203		同安楽系青磁	鉢	I	1	3	
	瓶子		4	169				I	1	1	
	四耳煮		2	34		龍泉系青磁	鉢	II	1	10	
	片口小瓶		2	47				II or III	2	5	
	瓶類		5	65		小碗			1	4	
瀬戸美濃?	碗		2	19	环	III	1	2			
尾張型	山茶碗		7	66	入子			1	4		
	山皿		2	10	卯皿			4	37		
常滑	片口鉢	I	80	2245	折縁皿			3	76		
	壺	II	45	2365	水注			1	14		
	甕		354	17942	瓶子			4	80		
	鹿口壺		2	62	不明			2	13		
	壺		4	204	山茶碗			3	40		
	転用研磨具		1	142	片口鉢			I	11	285	
瀬美	壺		5	202	常滑	片口鉢		II	12	445	
	壺		1	22	丸			65	2350		
備前	ナリ鉢		7	650	転用研磨具			1	27		
	片口鉢		4	106	洞土	壺		1	21		
瓦質土器	火鉢	I	2	115	東濃型	山茶碗		1	4		
		II	1	19	備前	ナリ鉢		1	75		
		III	14	1369	東播	片口鉢		1	15		
		IV	13	770	瓦質土器	火鉢		I	1	68	
			27	665					III	1	111
風炉		1	13					IV	1	24	
瓦	平瓦		5	321					7	182	
	滑石鍋		5	88		丸瓦	D	1	149		
石製品	滑石製腹石		1	660	厚瓦	A	3	226			
	滑石鍋再加工品		1	80	平瓦	D	3	122			
	硯	赤間	1	5	滑石鍋			1	33		
	硯漉		3	133	硯	赤間	1	21			
	硯石片	鳴滝	11	111	硯石	鳴滝	9	245			
	荒砥	上野	1	905	中砥	天草	1	180			
	中砥	天草	2	555	伊予	伊予	1	74			
	伊予		1	148	出羽		1	3			
	鳴滝		45	490	鳴滝	鳴滝	19	195			
	仕上げ砥		40	278	鳴滝美殿		1	55			
石材	砥石		2	73	石材	石英		6	80		
	緑泥片岩		1	454	石材	片岩		1	114		
	石英		3	24	銅製品	銭		3	12		
	雲母		5	7	銅製品	板状製品		1	71		
銅製品	銭		4	17	釘			48	470		
	板状製品		3	136	漆喰片			4	150		
鉄製品	釘		74	815	骨製品	加工骨		1	—		
	鉄滓		8	753	骨製品	不明		1	—		
骨製品	筭		4	—	自然遺物	獸骨		23	—		
	用途不明		2	—	II区下層 整穴器物10	手づくねかわらけ	小	2	10		
加工骨		2	—	大				2	21		
自然遺物	骨片		100	—		口ク口かわらけ	小	106	1465		
	漆骨		1	—		大		194	3925		
筭		2	—	白かわらけ		手づくね		1	4		
骨製品	用途不明		2	—		土器	南伊勢系鉢		2	12	
加工骨		2	—	不明土器				1	49		
自然遺物	骨片		100	—		白磁	III		IX	5	33
	漆骨		1	—					3	5	
	筭		2	—		青白磁	梅瓶		2	18	
	筭		2	—		青白磁	合子身		1	9	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	II	2	115
		III	3	30
			4	10
青磁	瓶類		1	4
			1	25
瀬戸	御皿		5	54
			2	205
			6	284
			2	35
			2	58
尾張型	山蒸碗		2	58
			2	58
常滑	片口鉢	I	43	1185
		II	12	755
			101	3785
器美	壺		1	8
			2	51
瓦質土器	火鉢	I	1	74
			5	127
土製品	土罐		1	7
			1	80
石製品	滑石片		2	10
			1	113
			1	144
			5	120
			1	61
石材	石英		3	28
銅製品	銭		3	11
			4	103
鉄製品	錠		1	31
			51	365
			10	495
			1	10
スラグ			1	10
建築部材	漆喰片		1	159
自然遺物	獣骨		36	—
II区下層 壱穴器物10箇方				
ロクロかわらけ	小		8	155
			54	1015
白かわらけ	大		1	3
白磁	皿	IX	1	4
		II or III	3	16
龍泉窯系青磁	碗		1	2
			1	1
			1	11
			1	5
瀬戸	瓶類		2	47
			1	5
常滑	片口鉢	I	24	950
		II	3	47
			41	2190
			1	78
器美	壺		1	98
			1	24
瓦質土器	火鉢	I	1	95
			1	66
石製品	仕上げ紙	鳴滝	1	14
石材	石英		1	37
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		2	36
建築部材	漆喰片		2	735
自然遺物	獣骨		22	—
II区下層 壱穴器物10裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	17
			2	20
ロクロかわらけ	小		9	125
			32	380
かわらけ	大		8	23
白磁	碗	V or VII	1	4
		IX	1	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	II	1	7
			2	4
		III	1	11
瀬戸	杯・壺		1	11
			2	10
常滑	片口鉢	I	7	155
		II	4	124
瓦質土器	火鉢		26	1410
			4	109
石製品	仕上げ紙	鳴滝	1	5
		新島非田?	1	18
銅製品	銭		2	7
			3	25
鉄製品	板状製品		4	21
			2	52
建築部材	漆喰片		2	52
自然遺物	獣骨		6	—
		テウソウセンハマダリ	1	—
II区下層 壱穴器物11上層				
手づくねかわらけ	小		1	12
			1	18
ロクロかわらけ	小		24	293
			66	1385
かわらけ	小片		2	7
白磁	皿	IX	6	89
			1	2
			1	18
青白磁	四耳壺		1	11
			1	14
龍泉窯系青磁	碗	I	1	6
		II	2	22
			3	8
			2	12
瀬戸	杯	III	1	8
			1	5
			1	13
常滑	御皿	I	106	5140
		II	15	1280
海菜	壺		167	11239
			4	81
瓦質土器	火鉢	I	6	199
			10	500
瓦	平瓦		3	161
			1	47
石製品	滑石鏡	D	1	67
			1	26
			5	32
石材	石英		1	60
			1	365
鉄製品	刀		1	175
			1	200
漆器	漆		3	20
			9	—
			3	—
			1	—
			1	—
			1	—
			1	—
			6	—
木製品	漆		2	—
			2	—
			2	—
			1	—
			3	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
	部材? (黒書ク)		1	—
	榫表皮		大量	—
建築部材	漆喰片		15	1342
自然遺物	桃核		6	—
	魚エラ		1	—
	獣骨		10	—
	チョウセンハマグリ		2	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		3	—
Ⅱ区下層 整穴整物11下層				
手づくわかわらけ	大		7	99
ロクロかわらけ	小		57	550
	大		319	3095
かわらけ	小片		27	72
白かわらけ			1	4
土器	南伊勢系鍋		5	29
白磁	碗	IX	1	18
	皿	IX	5	84
	瓶類		2	8
青白磁	梅瓶		1	5
	梅瓶蓋		1	5
熊泉系青磁	碗	I	3	20
		II	3	41
		III	8	48
			5	16
	坏	III	1	5
	蓋		1	7
船載施軸陶器	梅輪壺		2	19
	鉢形盤		1	7
瀬戸	入子		1	15
	細皿		3	91
	瓶子		7	870
尾張型	山菜碗		5	230
	山皿		1	15
常滑	片口鉢	I	240	4367
		II	34	2485
	片口(無類壺)		1	12
	甕		254	12770
	壺		5	300
	転用研書具		1	36
器类	甕		14	517
瓦器	坏	構築	1	3
瓦質土器	火鉢		28	1125
瓦	平瓦	A	1	104
土製品	人形		1	15
石製品	滑石鍋		3	475
	硯	鳴滝	1	8
	仕上げ砥	鳴滝	6	141
	不明		5	36
石材	石英		4	400
銅製品	銭		5	19
鉄製品	板状製品		4	139
	錠		2	258
	掛け金具		1	7
	釘・針		17	106
	裝飾金具		1	—
	火箸		1	99
漆器	桐		13	—
	皿		13	—
	烏帽子		2	—
	膳脚		1	—
	棒状		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
木製品	作物削皮		4	—	
	作物底皮		9	—	
	折敷		30	—	
	杓文字		1	—	
	座?		1	—	
	草履芯		10	—	
	刀子鞘		2	—	
	箸		132	—	
	卓		1	—	
	書串		1	—	
	門板		2	—	
	工具柄		1	—	
	ヘラ状		3	—	
	棒状		17	—	
	漆喰帆布材		2	—	
	板		多数	—	
	不明		4	—	
	建築部材	漆喰片		多量	6625
	自然遺物	桃核		1	—
		獣骨		36	—
アカニシ			5	—	
キサゴ			66	—	
サザエ			2	—	
チョウセンハマグリ			52	—	
ツメタ			1	—	
	バイ		9	—	
Ⅱ区下層 整穴整物11裏込め					
手づくわかわらけ	小		1	18	
	大		3	38	
ロクロかわらけ	小		10	132	
	大		49	830	
かわらけ	小片		2	2	
白かわらけ			1	4	
土器	南伊勢系鍋		1	19	
白磁	碗	IX	1	53	
			1	4	
	皿	IX	1	5	
青白磁	器種不明		1	3	
熊泉系青磁	碗	I	1	49	
		II	1	51	
		III	2	17	
	碗皿		4	13	
	坏	III	2	14	
船載施軸陶器	壺		1	39	
尾張型	山菜碗		3	162	
	山皿		1	6	
常滑	片口鉢	I	37	2220	
		II	8	715	
	壺		144	9305	
器类	甕		3	130	
瓦器	坏	構築	1	5	
瓦質土器	火鉢	I	6	248	
瓦	平瓦	A	1	32	
銅製品	銭		2	7	
鉄製品	釘		3	21	
石製品	滑石片		2	45	
石材	石英		1	45	
木製品	箸		13	—	
	漆喰帆布材		1	—	
建築部材	漆喰片		13	395	
自然遺物	獣骨		3	—	
	バテイラ		1	—	
Ⅱ区下層 整穴整物12					
手づくわかわらけ	小		6	82	
	大		8	121	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
ロクロかわらけ	小		7	95
	大		71	977
かわらけ	小片		6	22
白かわらけ	手づくね大		2	18
土器	南伊勢系鉢		2	68
白磁	皿	IX	2	3
青白磁	合子身		1	2
	皿		1	6
	瓶腹		2	4
龍泉窯系青磁	碗	I	3	62
	碗	II or III	4	34
	碗蓋		4	34
船載施和陶器	天目茶碗		1	5
瀬戸	御皿		1	7
常滑	片口鉢	I	30	950
		II	9	517
	壺		134	6785
舞美	片口(無類壺)		1	16
	壺		6	213
	壺		1	35
瓦質土器	火鉢	I or III	6	187
石製品	仕上げ砥		1	28
銅製品	鏡		1	3
鉄製品	板状製品		2	24
スラグ	釘		5	24
木製品	木片		1	20
建築部材	漆喰片		23	1210
自然遺物	獣骨		8	—
	貝殻		1	—
	サルボウ		1	—
	シオフキ		2	—
	ダンベイキサゴ		1	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	パイ		1	—
	ハマグリ		1	—
II区下層 竪穴建物12裏込め				
ロクロかわらけ			3	68
かわらけ	小片		1	2
白かわらけ	手づくね大		1	10
同窯系青磁	碗	I	1	6
常滑	片口鉢	I	4	203
		II	1	55
	壺		7	296
不明陶器	不明		3	14
自然遺物	アカニシ		1	—
	ダンベイキサゴ		1	—
II区下層 竪穴建物13				
手づくねかわらけ	小		3	20
	大		5	72
ロクロかわらけ	小		4	60
	大		27	426
かわらけ	小片		8	28
土器	南伊勢系鉢		4	31
白磁	皿	IX	3	14
船載施和陶器	碗蓋		1	1
	裾輪壺		1	57
	入子		1	31
瀬戸	御皿		1	7
	碗蓋		2	30
	水注		1	33
	瓶腹		4	98
	片口鉢	I	24	700
常滑	片口鉢	II	1	27
			36	1529
	壺		2	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
漆器	壺		3	122
	瓦質土器	火鉢	3	61
瓦	平瓦		1	117
石製品	滑石鍋		1	60
石材	縣石		1	17
石材	片岩		1	27
銅製品	銭		3	10
鉄製品	釘		1	8
	折敷		2	—
	草履芯		1	—
	箸		50	—
	角材		1	—
	板		2	—
竹製品	サイコロ		1	1
	獸骨		7	—
自然遺物	ササエ		1	—
	パイ		3	—
II区下層 竪穴建物13裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	13
	小		9	150
ロクロかわらけ	大		30	462
かわらけ	小片		2	4
土器	南伊勢系鉢		2	22
白磁	皿		1	6
青白磁	瓶類		1	4
同窯系青磁	碗	I	1	5
	皿	I	1	4
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	8
	坏	III	1	8
尾張型	山茶碗		1	6
瀬戸	瓶腹		4	183
常滑	片口鉢	I	15	530
		II	11	700
	壺		45	2675
常滑	壺		4	128
湖美	壺		3	199
瓦質土器	火鉢	I	2	247
	火鉢		3	203
船載施和陶器	樽軸壺		1	20
瓦	平瓦	A	1	54
石製品	滑石鍋	西笠件	2	87
	硯	鳥嶋	1	3
銅製品	銭		3	11
鉄製品	板状製品		1	9
	錠		1	88
	釘		11	56
建築部材	漆喰片		1	349
自然遺物	栗核		1	—
	獣骨		2	—
	アカニシ		1	—
	アツビ		1	—
	キサゴ		1	—
	ハマグリ		2	—
	レイシ		1	—
II区下層 竪穴建物13第6層				
龍泉窯系青磁	折縁碗or皿		1	12
木製品	杵状製品		1	—
II区下層 竪穴建物14				
手づくねかわらけ	小		1	11
	大		3	27
ロクロかわらけ	内折れ極小		1	4
	小		71	1030
	大		67	1235
白かわらけ	小片		6	5
			3	13
土器	南伊勢系鉢		1	6

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
白磁	皿	IX	11	58
	四耳壺		2	36
龍泉窯系青磁	碗	I	1	7
			2	13
			10	47
			1	13
			2	3
	坏	III	1	17
船載施和陶器	襷輪壺		2	61
瀬戸	入子		1	2
	碗		1	8
	御皿		3	55
	折縁皿		4	88
	柄付片口		1	270
	袴腰形香炉		1	48
	飯櫃		3	52
尾張型	山茶碗		6	65
常滑	片口鉢	I	49	1560
		II	22	940
	片口(無頸蓋)		1	49
	壺		77	3540
蘇美	壺		5	231
常滑	壺		4	381
備前	すり鉢		3	176
瓦質土器	火鉢	I	4	332
		III	1	62
		IV	1	80
			3	106
石製品	滑石		3	53
	硯石	鳴滝	2	17
石材	石英		1	8
	雲母片		1	7
銅製品	銭		2	6
	板状製品		3	16
鉄製品	釘		32	147
	鉄押		2	55
	散骨		36	—
自然遺物	パイ		1	—
Ⅱ区下層 壁穴器物15				
平づくねかわらけ	小		38	58
	大		15	176
ロクロかわらけ	小		146	1690
	大		718	8995
かわらけ	小片		507	2100
白かわらけ	平づくね		4	17
土器	南伊勢系鉢		9	35
土師器	壺		1	6
白磁	皿	IX	19	92
			3	6
青白磁	四耳壺		3	50
	合子身		3	6
	蓋		1	6
	梅瓶		3	8
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
	碗	II	2	12
	碗	II or III	21	120
	碗皿		3	8
	坏	III	1	30
船載施和陶器	襷輪壺		9	190
瀬戸	入子		5	20
	御皿		13	186
	折縁皿		10	464
	柄付片口		1	4
	飯櫃		10	223
	山茶碗		8	65
山道		1	16	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	117	3445
		II	51	4220
	壺		395	15881
			15	555
押入	壺		17	675
不明陶器	不明		8	57
瓦質土器	火鉢	I	1	29
		III	8	467
			19	466
	集台脚		1	182
石製品	滑石片	西板杵	6	114
	中砥	大草	2	21
	仕上げ砥	烏丸	8	127
		黒石	3	6
石材	石英		3	16
	板状製品		1	1
銅製品	銭		7	27
	不明		1	3
鉄製品	板状製品		2	29
	釘		34	134
	細片		11	134
漆器	船塗		1	—
建築部材	漆喰片		10	605
	不明種子		2	—
	取骨		120	—
	アカニシ		12	—
	サザエフタ		1	—
	ツメタ		1	—
	パイ		1	—
パティラ		1	—	
Ⅱ区下層 壁穴器物15床面上				
平づくねかわらけ	大		2	19
	小		64	1010
ロクロかわらけ	大		153	2484
	小片		35	137
かわらけ	土器	南伊勢系鉢	2	10
白磁	皿	IX	1	15
			1	8
瀬戸	入子		1	4
	御皿		1	28
	水漬?		1	4
	水注		1	23
尾張型	山茶碗		1	6
同安窯系青磁	碗(徳)		1	7
龍泉窯系青磁	碗	II	1	15
	碗皿		3	6
瀬戸	坏	III	1	5
	御皿		2	28
常滑	折縁皿		1	42
		I	20	443
常滑	壺	II	16	3540
			72	2695
瓦質土器	火鉢	IV	7	488
			11	318
瓦	軒丸瓦		1	345
		A	2	107
	平瓦	D	1	62
			1	8
石製品	滑石片	西板杵	2	115
	中砥	大草	2	35
	仕上げ砥	烏丸	8	201
	砥石	備水	1	3
	碁石		4	10
銅製品	銭		2	8

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	板状製品		2	18
	刀子		4	40
	釘		27	221
	鉄滓		15	4915
	斧		1	—
骨製品	箸		1	—
木製品	漆喰片		7	380
建築部材	桃核		1	—
自然遺物	獣骨		14	—
	アカニシ		1	—
	ウミニナ		2	—
	キサゴ		1	—
	サザエフタ		2	—
	ツメタ		2	—
	ハマグリ		2	—
Ⅱ区下層 竪穴器物15まとめ				
手づくねかわらけ	小		1	42
	大		6	88
ロクロかわらけ	小		79	650
	大		179	2100
かわらけ	小片		59	199
土器	南伊勢系鍋		5	45
	甕	IX	1	5
白磁	甕	X	1	2
	皿	IX	6	26
	碗皿		6	8
青白磁	合子蓋		3	6
	梅瓶		3	15
龍泉系青磁	碗	I	3	11
		II	1	8
		II or III	5	31
		III	1	144
	碗皿		3	8
	杯	III	1	4
	杯-盤	III	1	15
船載系釉陶器	酒会壺?		1	29
	毛靴壺		3	68
	卸皿		3	78
瀬戸	折縁皿		3	197
	瓶類		3	85
	片口鉢	I	89	2153
常滑	片口(無頸壺)	II	24	1151
	壺		3	107
	壺		199	7335
	壺		7	370
淵美	不明		1	4
不明陶器	壺?		7	290
瓦質土器	火鉢	I	3	117
		III	7	431
			8	263
瓦	平瓦?		1	113
石製品	中砥	天草	2	90
	砥石	砥沢	1	236
石材	石英		2	14
銅製品	鏡		1	4
鉄製品	釘		11	60
	棒状製品		1	25
木製品	鉄滓		2	263
建築部材	箸		1	—
	漆喰片		16	190
自然遺物	獣骨		33	—
	アカニシ		4	—
	ハマグリ		1	—
Ⅱ区下層 竪穴器物15種方				
手づくねかわらけ	大		4	44
ロクロかわらけ	小		37	460
	大		205	2520

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
かわらけ	小片		17	29
土器	南伊勢系鍋		3	23
		IX	1	2
白磁	皿	X	1	1
			1	7
青白磁	瓶類		1	4
	甕	II or III	2	13
龍泉系青磁	皿	I	1	7
	碗皿		3	3
	杯	III	5	28
	縁付壺		1	14
船載系釉陶器	毛靴壺		5	77
	卸皿		3	78
瀬戸	花瓶		1	56
	瓶類		2	52
泉流型	山茶碗		4	32
常滑	片口鉢	I	44	1215
		II	14	995
	片口(無頸壺)		1	22
	壺		58	2870
	壺		1	27
淵美	壺		5	89
不明陶器	不明		1	5
瓦質土器	火鉢	I	4	99
			1	25
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	37
	弊?		1	8
銅製品	鏡		2	6
	銅塊		1	8
	蓋		1	161
鉄製品	釘		5	35
	鉄滓		3	862
	鉄滓		3	862
建築部材	漆喰片		9	960
	獣骨		14	
	アカニシ		1	
	キサゴ		3	
	サザエ		2	
	サルボウ		1	
	パイ		4	
	ハマグリ		6	
	フジツボ?		1	
	レイシ		1	
Ⅱ区下層 竪穴器物15・20				
石材	石英・砥石・質部泥岩		1	23800
Ⅱ区下層 竪穴器物16				
手づくねかわらけ	小		1	8
ロクロかわらけ	小		50	1033
	中		1	110
かわらけ	大		229	3095
			7	24
土器	南伊勢系鍋		1	14
		野付鍋		1
白磁	甕	IX	2	22
		IX	5	23
			1	67
			2	4
青白磁	梅瓶		2	13
			2	13
龍泉系青磁	甕	I	3	49
		II	2	30
		III	3	35
			3	4
	杯	III	2	18

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	入子		2	30
	碗皿		2	12
	御皿		9	139
	折縁皿		22	793
	柄付片口		1	129
	水注		1	31
	瓶類		4	136
	不明		3	37
尾張型	山茶碗		2	50
常滑	片口鉢	I	47	1185
		II	19	1850
	甕		131	6110
	壺		1	253
備前	すり鉢		1	89
東播	片口鉢		1	31
不明陶器	碗?		1	3
瓦質土器	火鉢	I	3	183
		III	7	410
		IV	2	171
			12	233
瓦	丸瓦		1	61
	平瓦	D	1	82
建築部材	旗焼片		1	26
	滑石鍋	福岡南部	4	110
石製品	硯	赤岡紫石	1	96
	硯石	鳴滝	3	120
	虎威	伊予	1	638
	中砥	天草	1	50
		上野	1	68
		鳴滝	4	126
石材	石英		4	43
	雲母片?		1	62
銅製品	鏡		2	6
	不明銅塊		2	12
鉄製品	板状製品		1	20
	鋸?		1	66
木製品	釘		17	173
	不明		1	—
自然遺物	獸骨		53	—
	アカニシ		1	—
II区下層 竪穴器物16裏込め				
手づくわかわけ	大		1	8
	小		17	960
ロクロかわらけ	大		30	596
	小		1	7
土器	南伊勢系鍋		1	5
尾張型	不明		3	29
	山茶碗		1	5
常滑	片口鉢	I	9	645
		II	3	153
	甕		14	690
	壺口壺		1	10
瓦質土器	火鉢	I	1	89
			1	175
瓦	不明		1	23
石材	石英		1	10
鉄製品	釘		3	27
自然遺物	骨片		1	—
II区下層 竪穴器物16・21裏込め				
手づくわかわけ	小		7	97
	小		14	150
ロクロかわらけ	大		47	688
白かわらけ	大		2	12
土器	南伊勢系鍋		3	30
白磁	皿	IX	2	40
	四耳壺		1	27
龍泉系青磁	碗	II	1	11
		III	7	145
	碗皿		1	1
	坏	III	1	37

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
船載陶器	兵輪盤		1	15
	瀬戸	四耳壺	1	20
尾張型	山茶碗		7	119
	片口鉢	I	27	1892
常滑	片口(無須蓋)	II	8	470
			2	162
		甕	31	1337
		壺	2	412
洞美	甕		2	71
	壺		2	40
不明陶器	不明		1	2
	瓦質土器	火鉢	I	4
			4	185
銅製品	鏡		1	3
鉄製品	釘		5	36
自然遺物	獣骨		2	—
II区下層 竪穴器物17				
手づくわかわけ	大		1	24
	大		3	38
	小		19	474
ロクロかわらけ	中		3	117
	大		50	650
かわらけ	小片		15	68
白かわらけ	手づくお大		2	12
土器	南伊勢系鍋		2	13
	白磁	碗皿	1	2
龍泉系青磁	碗	I	1	4
		II	1	26
		IV	1	7
		III	1	6
高麗青磁	碗皿		1	5
船載陶器	楊柳壺		1	32
瀬戸	御皿		1	9
	香炉		1	32
尾張型	山茶碗		3	25
	片口鉢	I	9	206
常滑		II	9	360
	甕	5まで	18	848
	壺		1	240
	甕		2	135
洞美	片口(無須蓋)		1	106
	甕		1	14
石製品	中砥		1	143
銅製品	鏡		1	3
木製品	折敷		1	—
建築部材	漆焼片		3	53
	赤棟		1	—
	魚骨		1	—
	獣骨		5	—
	アカニシ		1	—
	ホソクミナ?		1	—
II区下層 竪穴器物18				
手づくわかわけ	小		11	132
	大		3	143
ロクロかわらけ	小		69	754
	大		227	2710
かわらけ	小片		95	316
土器	南伊勢系鍋		8	52
	野付鍋		2	17
白磁	碗	IX	1	4
	皿	IX	3	11
	その他		3	3
青白磁	合了壺		1	1

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	I	2	15
		II	6	80
		III	6	29
	坏	III-1a	1	11
	煎加?		1	5
瀬戸	人子		3	49
	大目碗		1	5
	平碗		1	7
	加皿		15	323
	折縁皿		7	133
	片口小瓶		1	26
	瓶類		9	313
尾張型	山茶碗		2	25
常滑	片口鉢	I	74	2285
		II	28	1520
	壺		172	8340
	壺		3	76
	不明		4	320
壺		5	171	
東濃型	山茶碗		1	7
東播	片口鉢		1	51
備前	平鉢		3	117
不明陶器	不明		3	15
瓦質土器	火鉢	I	3	212
		III	4	419
			18	637
	不明		1	12
土製品	管状土鉢		1	63
銅製品	銭		3	16
鉄製品	板状製品		9	96
	釘		15	154
	鉄滓		19	1224
	不明		7	36
	滑石鍋	西岐作	1	23
石製品	滑石片	福岡南部	1	62
			1	245
	硯	鳴滝	1	205
	硯石	鳴滝	3	105
	中砥	大草	1	207
	仕上げ砥	伊予	2	169
石材	石英		3	21
骨製品	筭		1	—
	加工骨		1	—
自然遺物	桃核		1	—
	獣骨		20	—
	ダンベイキサゴ		1	—
II区下層 壱穴整物19				
平づくねかわらけ	大		6	111
ロタロかわらけ	小		33	561
	大		78	1488
かわらけ	小片		3	13
白かわらけ	ロタロ小		1	9
	ロタロ大		1	11
土器	南伊勢系鍋		2	15
	不明		1	14
白磁	碗		2	10
	皿	IX	6	39
	器種不明		1	1
青白磁	梅瓶		7	25
	合子蓋		1	5
龍泉窯系青磁	碗	II	2	7
		II or III	5	10
		III	1	13
	坏	III	2	22

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	人子		1	2
	加皿		8	79
	折縁皿		7	202
	片口小瓶		1	23
	煎加		1	6
尾張型	山茶碗		2	22
常滑	片口鉢	I	53	1340
		II	18	1400
	壺		151	5520
	壺		5	116
洞室	壺		4	192
猿投	壺?		1	68
東播	壺		1	40
不明陶器			1	12
不明陶器			2	21
瓦質土器	火鉢	I	1	66
		III	6	485
		不明		6
瓦	丸瓦	A	1	59
	平瓦	A	1	189
	滑石鍋		1	9
石製品	硯?		2	104
	中砥	大草	1	36
	仕上げ砥	伊予?	1	12
	仕上げ砥	鳴滝	13	274
銅製品	銭		5	18
	飾り金具		1	3
鉄製品	釘		127	473
	鉄滓		2	93
漆器	皿		2	—
	飯背		37	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		3	—
	ササエ		2	—
	シオフキ		1	—
	パイ		1	—
自然遺物	ハマグリ		3	—
	II区下層	壱穴整物20		
平づくねかわらけ	小		6	36
	大		8	67
ロタロかわらけ	小		101	1004
	大		327	4165
かわらけ	小片		50	195
土器	南伊勢系鍋		8	42
	鐔付鍋		1	16
白かわらけ	平づくね大		1	5
			1	2
白磁	碗	IX	1	11
	皿	IX	9	74
			1	4
青白磁	碗皿		2	2
同安窯系青磁	碗		1	2
		II	2	35
龍泉窯系青磁	碗	II or III	3	14
		III	1	13
			1	6
	皿	I	1	26
	碗皿		3	9
	坏	III	3	81
龍泉窯系青磁	滑会壺?		1	30
	船載輪軸陶器	袴油壺	2	9

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	入子		2	3
	御盥		4	55
	瓶子		1	88
	四耳壺		1	16
	水注?		1	4
	不明		1	13
常滑	片口(無類壺)		1	16
	片口鉢	I	70	2030
		II	31	1704
	壺	5まで	160	6565
	壺		6	123
尾張型	山茶碗		3	77
瀬美	片口鉢		1	59
	壺		10	342
	転用研磨具		1	21
徳校?	壺?		1	78
不明陶器	不明		2	52
瓦質土器	火鉢	I	1	91
			13	260
瓦	平瓦		1	—
石製品	荒砥	天草	1	1255
	仕上げ砥	鳴滝	10	316
	中砥	天草	2	238
鉄製品	釘		6	37
	鉄棒		2	75
	鉄片		2	8
骨製品	不明(リング状)		1	2
石製品	滑石鏡		1	22
	滑石片		1	66
	硯石	天草 鳴滝	1	6
石材	石英		1	122
	曲物底板		13	—
木製品	下駄		3	—
	箆		1	—
	円板		1	—
建築部材	漆喰片		21	275
	桃核		4	—
自然遺物	炭化米		1	—
	獣骨		36	—
	アカニシ		4	—
	アリビ		1	—
	イタヤ		1	—
	ウミニナ		1	—
	キサゴ		14	—
	サザエ		1	—
	ツメタ		7	—
	パイ		3	—
ハマグリ		18	—	
II区下層 整穴整物20種方				
ロクロかわらけ	大		1	89
銅製品	鏡		2	8
鉄製品	釘		3	23
漆器	椀		1	—
	皿		1	—
木製品	曲物底板		6	—
	円板		3	—
	箆		4	—
	部材		1	—
自然遺物	アカニシ		1	—
	チャウセンハマグリ ツメタ		4 2	— —
II区下層 整穴整物20裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		2	29

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
ロクロかわらけ	小		10	120
	大		66	695
かわらけ	小片		2	5
	土器	南伊勢系納	2	25
白磁	碗	IX	1	14
	皿		1	1
	碗	I	1	3
龍泉窯系青磁	碗皿		4	13
	碗(湯)		1	9
同安窯系青磁	鉢輪盤		1	10
	片口鉢	I	10	440
常滑	II		6	270
		壺	6bまで	26
	壺		3	83
	転用研磨具		1	60
	壺		2	37
瀬美	壺		2	37
	壺		2	37
瓦質土器	火鉢	I	1	127
			2	33
建築部材			1	16
	四耳壺		2	40
瀬戸	瓶型		1	37
	板状製品		1	63
鉄製品	釘		1	2
	獣骨		2	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		1	—
自然遺物	ハマグリ		1	—
			1	—
II区下層 整穴整物21				
手づくねかわらけ	小		8	88
	大		13	144
	小		9	105
ロクロかわらけ	大		25	444
	小片		12	43
かわらけ	手づくね大		27	257
	手づくね		13	27
	南伊勢系納		42	86
土器	鈎付鍋		2	103
	鍋?		12	13
白磁	碗	VII-b?	1	19
	皿	IX	9	69
同安窯系青磁	碗皿		1	2
	碗	I	1	2
龍泉窯系青磁	碗	II	1	359
		II or III	5	26
		III	6	762
	小碗	III	1	18
	碗皿		4	6
瀬戸	水注	I	1	10
			1	670
	四耳壺		3	58
尾張型	山茶碗		41	1019
	山皿		3	140
	片口鉢	I	87	7405
常滑	II		9	1115
		片口(無類壺)		4
	壺	6bまで	25	1107
	虎口壺		1	8
	壺		1	20
瀬美	壺		3	105
瓦器	環		1	1
瓦質土器	火鉢		4	90
		円盤		1
石製品	仕上げ砥		1	13
	小片		1	1
銅製品	鏡		5	17
鉄製品	釘		8	44

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
骨製品	筭		1	4
漆器	碗		1	—
木製品	木材			
その他	炭		22	—
自然遺物	赤・梅核		12	—
	獣骨		7	—
Ⅱ区下層 竪穴建物21壁板下				
土器	南伊勢系鍋		1	15
白磁	皿	IX	3	128
			1	5
		II	2	656
龍泉窯系青磁	碗	II or III	5	260
			8	1630
		III	5	577
尾張型	山茶碗		5	577
常滑	片口鉢	I	18	3450
			1	65
			1	16
石製品	滑石鏡		1	50
自然遺物	人骨?		4	—
	アソビ		1	—
	パイ		1	—
	ハマグリ		4	—
Ⅱ区下層 竪穴建物21裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	42
	大		6	62
ロクロかわらけ	大		4	73
白かわらけ	手づくね		13	60
	手づくね大		1	6
土器	南伊勢系鍋		17	70
	蹄付鉢		3	25
龍泉窯系青磁	碗	II	2	20
		III	3	706
		III	1	6
瓦器質	黒縁碗		1	6
瓦	平瓦(土代?)		1	709
自然遺物	チョウセンハマグリ		2	—
Ⅱ区下層 竪穴建物21掘方				
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
		IV?	1	7
Ⅱ区下層 竪穴建物21ピットイ-4				
木製品	棒状製品		1	—
Ⅱ区下層 竪穴建物21ピットロ				
漆器	皿		1	—
Ⅱ区下層 竪穴建物22				
手づくねかわらけ	小		3	31
	大		4	48
ロクロかわらけ	小		15	244
	大		63	869
かわらけ	小片		8	18
土器	南伊勢系鍋		2	13
土師器	壺?		1	40
白磁	碗	IX	1	7
		IX	2	4
		瓶類	2	29
青白磁	合子蓋		1	7
		梅瓶	1	11
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
			1	5
		碗皿	3	15
龍泉窯系青磁	坏・盤		1	33
船載運和陶器	襷輪蓋		1	33

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	入子		2	16
			2	13
			1	220
			2	65
			1	34
尾張型	山茶碗		2	30
			2	23
常滑	片口鉢	I	48	2633
		II	8	644
			1	151
			49	2643
瀬美	壺		2	76
			2	128
瓦質土器	火鉢	I	4	311
			1	38
瓦	平瓦		1	30
			6	96
鉄製品	刺突具		1	—
		不明	1	64
鉄製品	銃		2	8
			1	83
石製品	滑石製根石	西软件	1	144
		滑石片	福岡南部	2
石材	経石		1	9
			1	—
			1	—
			1	—
			1	—
自然遺物	アカニシ		1	—
			1	—
			1	—
			1	—
			2	—
	ハマグリ		3	—
Ⅱ区下層 竪穴建物23				
手づくねかわらけ	小		1	18
	大		2	42
ロクロかわらけ	小		10	170
	大		37	472
かわらけ	特大(鉢?)		1	148
	小片		11	17
白磁	碗	V	1	5
青白磁	梅瓶		1	1
龍泉窯系青磁	碗	III	1	3
		III	2	19
尾張型(灰釉陶器)	山茶碗?		1	42
常滑	片口鉢	I	12	525
		II	2	105
			36	2940
瀬美	片口鉢		1	122
			4	305
瓦質土器	火鉢		2	29
瓦	平瓦	A	1	39
建築部材			2	63
自然遺物	人骨?		1	—
			1	—
			3	—
			2	—
			8	—
Ⅱ区下層 竪穴建物24				
手づくねかわらけ	小		3	50
	大		11	212
ロクロかわらけ	小		5	76
	大		17	233
土器	南伊勢系鍋		1	5
縄文土器	深鉢		1	60
白磁	皿	IX	1	7
			1	8
			3	14

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	I	1	9
		II	2	17
		II or III	2	7
			1	2
船載施釉陶器	壺輪壺		1	46
瀬戸	瓶類		3	111
尾張型	山茶碗		4	29
常滑	片口鉢	I	11	290
		II	4	405
			28	1450
	壺		1	64
	壺		3	83
瀬美	壺		3	477
瓦質土器	火鉢	I	3	124
			1	9
瓦	平瓦		1	13
建築部材			2	492
石製品	中砥	伊予	2	1
	仕上げ砥	鳴滝	1	8
銅製品	鏡		6	34
鉄製品	釘		1	222
スラグ			1	—
木製品	木箱?		6	—
自然遺物	獣骨		1	—
	ウミニナ		5	—
	キヤゴ		1	—
	サザエ		1	—
	パイ		10	—
	ハマグリ			
II区下層 壺穴整物24裏込め				
手づくわかわらけ	小		2	13
	大		3	41
ロクロかわらけ	小		2	26
	大		8	106
土器	南伊勢系鉢		6	34
	鈔付鉢		1	17
龍泉窯系青磁	碗	II	1	7
		II or III	1	6
瀬戸	瓶類		1	44
常滑	片口鉢	I	3	39
		5まで	8	420
瀬美	壺		1	14
瓦質土器	火鉢		1	23
鉄製品	釘		1	2
自然遺物	アカニシ		4	—
	パイ		1	—
	ハマグリ		5	—
II区下層 壺穴整物A(土層断面でのみ確認)				
尾張型	山茶碗		1	14
常滑	片口鉢	I	3	78
		壺	2	431
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)		
I区上層 井戸I						
手づくわかわらけ	小		5	65		
			14	310		
ロクロかわらけ	小		75	1095		
			373	6180		
かわらけ	小片		8	36		
			1	7		
土器	南伊勢系鉢		5	62		
	鈔付鉢		3	37		
白磁	皿	IX	1	5		
			6	8		
			1	3		
青白磁	梅鉢		2	11		
同安窯系青磁	碗		1	3		
		I	3	32		
		II	3	31		
		II or III	13	52		
龍泉窯系青磁	碗	皿	3	11		
		坏	4	38		
		大型花瓶?	1	38		
		小片	3	5		
船載施釉陶器	緑青釉花盆?		3	59		
瀬戸	碗		24	478		
		緑釉小皿	4	48		
		御皿	8	258		
		底印目皿	2	197		
		すり鉢	2	366		
		皿鉢	34	1015		
		柄付片口	2	95		
		香炉	3	86		
		瓶類	25	1129		
		常滑	片口鉢	I	38	1901
				II	76	5378
			すり鉢?		3	157
			壺		619	43340
			壺		7	760
			転用研磨具		1	181
瀬美	片口鉢		1	3		
東播系	壺		19	875		
			2	149		
瓦質土器	火鉢	I	1	76		
		II	1	265		
		III	11	835		
		IV	7	494		
		V	1	44		
	風炉?		1	20		
	湯釜		1	16		
	不明		36	2265		
瓦	平瓦	A	8	980		
		D	3	493		
		燃べ	9	625		
			4	705		
			2	459		
	D		3	473		
石製品	滑石スタンプ		1	10		
	硯	赤間	1	23		
	滑石鉢	西條軒	1	269		
	硯石	赤間集石	1	755		
		赤間	1	50		
	荒砥	大草	3	1850		
		伊予	1	542		
		砂岩		1	71	
	中砥	天草	3	554		
		上野		1	48	
	仕上げ砥	鳴滝		1	1	
		鳴滝葛焼		1	36	
湯沢?			1	34		
石臼			2	3090		
	茶臼		1	105		

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
製製品	鉢		4	12
鉄製品	釘		19	95
	鉄棒		7	73
骨製品	弁		1	—
	槍?		1	—
自然遺物	獣骨		111	—
	アカニシ		4	—
	アワビ		3	—
	サザエ		1	—
	ツメタ		1	—
	パイ		1	—
	ハマグリ		10	—
	ハマグリ (楕円レット)		1	—
	二枚貝		1	—
I区上層 井戸1埋土最下層				
手づくねかわらけ	大		1	19
	小		3	162
ロクロかわらけ	大		1	17
	小		1	10
龍泉窯系青磁	碗	I	1	10
瀬戸	壺類		1	21
	壺		5	366
常滑	壺		1	82
	壺		1	49
東播系	壺		1	49
I区下層 井戸3				
手づくねかわらけ	小		4	15
	大		16	128
ロクロかわらけ	小片		1	6
	大		4	63
常滑	壺		4	157
鉄製品	釘		3	17
	獣骨		2	—
自然遺物	アカニシ		1	—
	ハマグリ		1	—
I区下層 井戸4 井戸枠内				
ロクロかわらけ	小		5	57
	大		18	232
かわらけ	小片		3	8
	青花碗		1	17
龍泉窯系青磁	碗	II	2	20
船載施利陶器	天目茶碗		1	26
瀬戸	瓶類		1	48
	片口鉢	I	13	1390
常滑	片口鉢	II	5	528
	壺		32	2321
不明陶器	壺		1	35
	壺		1	85
瓦質土器	火鉢	I	1	25
建築部材	漆喰		4	—
	動物産板		1	—
木製品	箸		3	—
	木片		6	—
	獣骨		8	—
自然遺物	アワビ		3	—
	イボキサゴ		1	—
	サザエ		1	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	パイ		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区下層 井戸4 井戸枠表込め				
手づくねかわらけ	小		3	105
	大		10	105
ロクロかわらけ	小		43	185
	大		78	906
土器	南伊勢系鉢		4	18
白磁	皿	IX	6	28
		I	2	15
	碗	II or III	5	40
			1	4
龍泉窯系青磁	坏・盤	III	1	24
	水注		1	22
瀬戸	瓶類		1	156
	片口鉢	I	32	1450
常滑	壺	II	19	1070
			117	7787
壺		2	58	
壺		4	270	
瓦質土器	火鉢	I	4	226
石製品	仕上げ砥	鳥焼	1	52
石材	石莢		1	12
龜山	壺		1	42
	釘		3	24
鉄製品	鉄滓		1	165
	不明		1	169
建築部材	漆喰		6	194
木製品	箸		12	—
	木片		1	—
自然遺物	梅or桃核		2	—
	獣骨		11	—
	アカニシ		3	—
	アワビ		1	—
	キサゴ		3	—
	サザエ		3	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	ツメタ		2	—
パイ		4	—	
ハマグリ		13	—	
II区上層 井戸伏土坑				
手づくねかわらけ	小		1	13
ロクロかわらけ	大		8	205
	小		2	43
土器	南伊勢系鉢		1	16
白磁	皿	IX	2	19
			2	16
青白磁	合子蓋		1	4
	皿		1	1
	梅皿		3	9
龍泉窯系青磁	碗	I	1	8
	碗皿		2	3
瀬戸	坏	III	1	12
	碗		1	11
	即皿		3	15
	瓶類		2	76
常滑	片口鉢	I	19	695
		II	3	385
壺		20	1010	
	壺		1	30
龍泉窯系青磁	壺		3	138
	壺		1	81
瓦	平瓦		1	82
瓦質土器	火鉢		2	89
石製品	滑石片		1	4
鉄製品	鐵		1	4
鉄製品	釘		6	47
	獣骨		1	—
自然遺物	アカニシ		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
Ⅱ区上層 方形竪穴状土坑1					
手づくねかわらけ	小		4	84	
	大		5	37	
ロクロかわらけ	小		69	1133	
	大		306	3714	
かわらけ	小片		15	37	
白かわらけ			2	7	
土器	銚付鉢		6	114	
	不明品		1	11	
白磁	皿	IX	4	29	
		X	1	4	
青白磁	合子身		1	4	
	皿		2	4	
阿波瀬系青磁	梅瓶		2	20	
	壺	I	1	7	
龍泉系青磁	碗	I	1	18	
		II	2	10	
		II or III	7	47	
		III	2	21	
青磁	坏		1	8	
	皿		2	15	
舶載施和陶器	祝瓶壺		1	22	
青白磁	合子蓋		7	47	
	入子		1	1	
	天目茶碗		3	27	
	平碗		1	12	
	碗		1	10	
	御皿		30	520	
	折縁皿		25	465	
	直縁大皿		1	8	
	柄付片口		4	129	
	花瓶		2	163	
	四耳壺		13	330	
	常滑	片口鉢	I	34	855
			II	28	1965
		壺		250	11412
壺			3	227	
転用研鉢具		4	237		
壺		5	162		
壺美	壺		1	4	
東濃型	山形碗		4	283	
備前	すり鉢		2	101	
東播	片口鉢		1	29	
	壺		2	128	
瓦質土器	火鉢	I	19	1195	
		III	2	78	
	香炉		1	135	
	平瓦	A	2	90	
瓦	不明		1	4	
ガラス	淨石鉢	西後件	7	508	
			1	6	
	硯	赤間	2	162	
		鳴滝	4	245	
			1	16	
		硯石	鳴滝	4	96
	中砥	天草	3	372	
		伊予	1	32	
		上野	1	73	
		出羽	2	44	
仕上げ砥	鳴滝	9	360		
石材	石英		5	28	
銅製品	鏡		9	32	
鉄製品	蓋		1	59	
	釘		60	624	
骨製品	筭		2	—	
	加工骨		1	—	
	不明		1	—	
建築部材	漆喰		3	55	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獸骨		63	—
	イルカ骨		21	—
	サメ骨		1	—
	マダロ骨		3	—
Ⅱ区上層 方形竪穴状土坑1床面上				
手づくねかわらけ	大		1	18
	小		16	190
ロクロかわらけ	大		71	725
	南伊勢系鉢		1	3
白磁	皿	IX	1	4
青白磁	合子身		2	4
龍泉系青磁	碗	II or III	2	16
	碗		4	23
瀬戸	平碗		2	12
	御皿		7	77
	折縁皿		1	83
		I	5	137
常滑	片口鉢	II	10	420
			1	17
	壺	7まで	38	1875
	鹿口壺		1	22
壺		1	27	
滑美	壺		1	97
東播	片口鉢		1	47
	壺		1	24
瓦質土器	火鉢	IV	4	125
	瓦	A	1	16
		D	2	209
製製品	鏡		4	14
	釘		10	41
鉄製品	鉄滓		5	113
	滑石鉢		1	22
	中砥	伊予	3	399
	仕上げ砥	鳴滝	2	34
		鳴滝美殿	2	110
竹製品	筭		1	—
建築部材	漆喰		5	69
自然遺物	獸骨		12	—
Ⅱ区上層 方形竪穴状土坑2				
瀬戸	小皿		1	63
瀬戸	洗or折縁皿		1	108
自然遺物	魚の骨椎		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区下層 方形土坑1				
手づくねかわらけ	小		6	77
	大		17	287
ロクロかわらけ	小		3	31
	大		34	673
土器	不明		1	11
同安樂系青磁	皿		2	7
常滑	壺		9	401
奈良	壺		2	86
鉄製品	釘		2	14
自然遺物	獣骨		6	—
Ⅱ区下層 方形土坑3				
手づくねかわらけ	小		2	8
	大		12	153
ロクロかわらけ	小		2	17
	大		3	23
かわらけ	小片		3	12
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	1	19
常滑	片口鉢	Ⅱ	2	63
	壺		11	35
建築部材	漆喰		1	9
自然遺物	アカニシ		1	—
	アワビ		1	—
	サルボウ?		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層 樹壺遺構				
手づくねかわらけ	大		3	31
	小		35	398
ロクロかわらけ	大		161	1943
	小片		16	36
かわらけ	小片		1	2
白かわらけ	手づくね内折れ		1	1
青白磁	小片		1	1
龍泉窯系青磁	杯	Ⅲ	1	9
船載産物陶器	緑釉盤		1	6
	楊柳器?		1	116
瀬戸	卮血		1	5
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	I	30	1198
		Ⅱ	17	928
	壺		141	30309
	壺		1	44
奈良	壺		5	168
東播	片口鉢		1	24
備前	すり鉢		4	417
瓦質土器	火鉢	I	2	126
			8	375
石製品	中砥	伊予	1	24
	仕上げ砥		2	52
鉄製品	板状製品		1	34
	釘		9	78
自然遺物	獣骨		6	—
	不明貝殻		1	—
Ⅱ区上層 樹壺遺構東方				
常滑	片口鉢	I	1	12
	壺		3	5091
鉄製品	釘		1	5
	鉄鍋		1	121

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層 溝状遺構西側				
手づくねかわらけ	大		1	10
	小		1	5
ロクロかわらけ	大		6	46
	小		1	2
白磁	皿	IX	1	2
瀬戸	壺類		2	22
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	I	3	33
		Ⅱ	1	26
	壺		7	133
	壺		2	41
瓦質土器	火鉢		1	23
石製品	滑石片		1	17
	磯石	燻燻	1	2
鉄製品	釘		1	1
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層 溝状遺構東側				
手づくねかわらけ	大		4	41
ロクロかわらけ	小		4	36
	大		26	361
かわらけ	小片		17	73
土器	南伊勢系鉢		1	2
白磁	皿	IX	1	3
龍泉窯系青磁	碗	I	1	33
石製品	滑石片		1	2
瓦質土器	火鉢		4	73
自然遺物	獣骨		3	—
瀬戸	卮血		1	7
	折縁皿		2	34
	瓶類		1	6
	片口鉢	I	10	245
常滑	壺	Ⅱ	3	91
			25	945
石製品	仕上げ砥	鳴鐘	1	2
鉄製品	鉄		2	—
鉄製品	釘		8	46
鉄製品	鉄片		2	16
Ⅰ区最下層 溝1				
手づくねかわらけ	小		58	611
	大		100	1302
ロクロかわらけ	小		5	72
	大		6	73
かわらけ	小片		11	19
白磁	瓶類		1	10
青白磁	合子		1	2
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
	碗	Ⅱ or Ⅲ	3	14
瀬戸	瓶類		2	30
常滑	壺		6	116
奈良	壺		1	63
瓦質土器	火鉢		1	190
不明陶器	皿		1	2
鉄製品	釘		3	11
自然遺物	獣骨		7	—
	アカニシ		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I 区上層 土坑1				
手づくねかわらけ	小		3	12
	大		3	29
ロクロかわらけ	小		1	90
	大		6	73
瀬戸	折縁皿or鉢		1	45
常滑	片口鉢	I	3	55
		II	4	118
	壺	9	455	
	壺	2	72	
瀬製品	鉢		1	5
土製品	管状土鉢		1	9
鉄製品	釘		1	7
自然遺物	獣骨		4	—
I 区上層 土坑2				
手づくねかわらけ	小		1	4
	大		3	27
ロクロかわらけ	小		8	74
	大		22	206
かわらけ	小片		10	31
瀬戸	瓶類		1	15
常滑	片口鉢	II	3	153
	壺		8	212
瓦質土器	火鉢	III	1	136
石製品	滑石製スタンプ		4	63
			1	76
瀬製品	仕上げ甍	鳴滝	1	12
鉄製品	釘		7	43
自然遺物	獣骨		2	—
I 区上層 土坑3				
ロクロかわらけ	小		2	55
	大		11	107
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	12
常滑	片口鉢	I	3	82
		II	1	50
	壺	2	89	
瓦質土器	火鉢	III	1	35
自然遺物	獣骨		6	—
I 区上層 土坑4				
手づくねかわらけ	大		1	5
ロクロかわらけ	大		2	22
瀬戸	人子		1	10
瓦質土器	火鉢		1	23
常滑	壺		3	128
石製品	仕上げ甍	鳴滝	1	2
瀬製品	鉢		1	4
鉄製品	釘		2	19
自然遺物	獣骨		2	—
I 区上層 土坑5				
ロクロかわらけ	小		5	38
	大		28	299
かわらけ	小片		12	38
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3
常滑	片口鉢	I	1	39
		II	1	38
	壺	7	220	
自然遺物	獣骨		2	—
I 区上層 土坑6				
ロクロかわらけ	小		4	55
	大		2	51
尾張型	山皿		1	8
常滑	片口鉢	I	2	35
	壺		3	84
瓦質土器	火鉢		1	21
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I 区上層 土坑7				
手づくねかわらけ	小		2	19
	大		3	27
ロクロかわらけ	小		2	11
	大		1	20
かわらけ	小片		4	17
常滑	片口鉢	I	2	21
		II	2	116
	壺	22	518	
	壺	1	17	
自然遺物	獣骨		2	—
I 区上層 土坑8				
ロクロかわらけ	小		10	124
	大		23	252
かわらけ	小片		2	9
龍泉窯系青磁	碗	III	1	14
瓦質土器	火鉢	III	2	185
		IV	1	87
			5	247
瀬戸	折縁皿		1	23
	折縁深皿		4	100
常滑	片口鉢	I	4	112
		II	1	69
	壺		13	113
備前	すり鉢		1	43
東播磨	鉢		1	56
近世遺物	不明		1	26
鉄製品	釘		7	61
骨製品	骨針		1	—
自然遺物	人骨		1	—
	獣骨		11	—
I 区上層 土坑9				
手づくねかわらけ	大		1	10
ロクロかわらけ	大		4	77
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	4
瀬戸	折縁皿		1	12
常滑	片口鉢	I	2	26
		II	1	26
	壺		6	208
瓦質土器	火鉢		1	18
鉄製品	釘		2	51
自然遺物	獣骨		3	—
I 区上層 土坑10				
手づくねかわらけ	小		3	49
	大		5	73
ロクロかわらけ	小		3	26
	大		16	322
常滑	片口鉢	I	2	28
	壺		9	438
	壺		1	28
	釘		1	7
鉄製品	破片		1	33
木製品	板(釘付き)		1	—
自然遺物	魚骨		1	—
	獣骨		9	—
I 区上層 土坑11				
手づくねかわらけ	小		2	13
	大		6	89
ロクロかわらけ	小		5	127
	大		11	377
かわらけ	小片		2	4
白磁	碗	IX	1	9
	碗	I or II	1	7
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	7
	酒会壺		1	24

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	平碗		1	11
	御盥		1	22
常滑	片口鉢	I	6	380
	壺		7	534
銅製品	煙管吸口		1	9
鉄製品	釘		4	43
	鉄片		1	2
自然遺物	獸骨		11	
I 区下層 土坑13				
手づくねかわらけ	大		4	40
	大		1	10
ロクロかわらけ	片口鉢	I	1	32
	片口鉢	II	3	203
常滑	壺		5	177
	壺		1	20
東播	鉢		1	28
瓦質土器	火鉢	III	1	142
	火鉢		1	55
I 区下層 土坑14				
手づくねかわらけ	大		6	208
I 区上層 土坑15				
ロクロかわらけ	小		2	26
	大		2	47
常滑	壺		2	142
銅製品	鐵		2	4
自然遺物	獸骨		3	
I 区下層 土坑17				
手づくねかわらけ	大		4	81
	小		2	33
ロクロかわらけ	小		2	16
	大		4	100
白磁	皿	IX	1	65
龍泉系青磁	碗	I	3	10
瀬戸	瓶類		3	76
	片口鉢	I	2	61
常滑	壺		3	264
	高口壺		1	31
瀬美	壺		2	78
自然遺物	獸骨		2	
I 区下層 土坑18				
手づくねかわらけ	大		2	23
	小		1	20
ロクロかわらけ	大		1	12
	常滑	壺	2	158
東播	壺		1	174
不明			1	168
I 区下層 土坑19				
手づくねかわらけ	大		6	82
	大		8	142
ロクロかわらけ	小		1	8
	瀬戸	四耳壺	1	23
常滑	片口鉢	I	2	67
	壺		3	166
	壺		1	18
瀬美	壺		1	73
東濃	山茶碗		1	21
I 区下層 土坑20				
手づくねかわらけ	小		2	23
	大		2	20
ロクロかわらけ	大		8	98
	白磁	皿	IX	1
青白磁	碗皿		1	1
龍泉系青磁	碗	III	6	68
	坏・瓶	III	1	34

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	18	715
		II	1	17
	壺		10	790
瀬美	壺		2	145
瓦質土器	火鉢	I	1	51
東濃	山茶碗		1	17
自然遺物	獸骨		10	
II 区上層 土坑24				
ロクロかわらけ	大		25	281
	小		11	76
龍泉系青磁	碗皿		1	8
龍泉系青磁	坏	III	1	8
龍泉系青磁	襦袢壺		1	12
瀬戸	天目茶碗		1	11
	御盥		3	66
	折縁皿		1	18
	瓶類		1	30
常滑	片口鉢	I	3	33
	壺	II	4	168
	壺		14	680
	壺		2	59
瓦質土器	火鉢	III	2	182
	火鉢		1	44
鉄製品	釘		5	
自然遺物	獸骨		5	
II 区上層 土坑26				
鉄製品	釘		2	25
II 区上層 土坑27				
鉄製品	釘		1	8
II 区上層 土坑28				
ロクロかわらけ	大		18	156
	小		7	28
かわらけ	小片		46	157
土器	南伊勢系鉢		2	6
白磁	皿	IX	1	3
常滑	片口鉢	I	1	16
	壺		13	385
	壺		1	19
瀬美	壺		2	67
瓦質土器	火鉢	I	1	104
石製品	基石?		2	3
鉄製品	釘		6	42
建築部材	漆喰片		1	31
自然遺物	獸骨		7	
	アカニシ		1	
II 区上層 土坑29				
ロクロかわらけ	小		8	34
	大		12	123
かわらけ	小片		6	16
土器	小壺		1	19
	南伊勢系鉢		1	8
白磁	小片		1	0
龍泉系青磁	坏	III	1	3
瀬戸	瓶類		1	9
常滑	片口鉢	I	1	13
	壺		9	238
	壺		1	42
銅製品	不明品		1	5
鉄製品	釘		3	23
自然遺物	獸骨		2	
II 区上層 土坑30				
手づくねかわらけ	小盥		1	6
ロクロかわらけ	小		3	24
	大		6	45
かわらけ	小片		4	11
土器	南伊勢系鉢		1	28
龍泉系青磁	皿		1	8
尾張型	山茶碗		1	4

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	3	65
		II	1	11
	壺		6	261
瓦質土器	火鉢		2	43
Ⅱ区上層 土坑31				
ロクロかわらけ	小		13	153
	大		84	1963
かわらけ	小片		4	9
白かわらけ	手づくね		1	4
青白磁	瓶類		1	6
龍泉窯系青磁	碗	II	1	3
			2	6
瀬戸	入子		1	6
	天目茶碗		1	4
	縁輪小皿		1	4
	御皿		2	27
	折縁皿		4	88
	直縁大皿		1	20
	柄付片口		2	79
	飯椀		3	28
常滑	片口鉢	I	3	112
		II	2	142
	壺		12	815
	壺		1	11
東渡型 備前	山茶碗		1	27
	すり鉢		1	33
瓦質土器	火鉢	III	1	443
		IV	1	36
瓦	平瓦	D	2	618
近世遺物	滑石片		2	12
石製品	滑石片	西彼岸	1	13
	中砥	天草	1	407
鉄製品	釘		15	73
自然遺物	獣骨		6	
Ⅱ区上層 土坑32				
ロクロかわらけ	小		10	56
	大		78	670
かわらけ	小片		3	2
土器	南伊勢系鉢		1	7
	鈔付碗		1	9
白磁	皿	IX	1	5
龍泉窯系青磁	碗		1	4
瀬戸	瓶子		1	54
	瓶類		1	8
尾張型	山茶碗		1	14
常滑	片口鉢	II	9	590
			27	1225
	壺		5	80
	壺		2	46
備前	すり鉢		1	57
瓦質土器	火鉢		1	31
瓦	丸瓦		1	164
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	8
	不明?		1	1
銅製品	鏡		2	7
鉄製品	板状		2	161
骨製品	筭		1	3
建築部材	漆喰		7	131
自然遺物	獣骨		11	
	アカニシ		1	
Ⅱ区上層 土坑33				
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		1	12
ロクロかわらけ	小		11	152
	大		55	495

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
かわらけ	小片		24	106
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	7
瀬戸	南伊勢系鉢	折縁皿	2	24
		柄付片口	1	26
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	I	6	59
		II	6	307
	壺		11	434
瓦質土器	火鉢	IV	1	74
	火鉢		2	35
石製品	礎石	鳴滝	1	4
	仕上げ砥	鳴滝	4	18
鉄製品	釘		4	22
自然遺物	獣骨		18	
	アカニシ		1	
Ⅱ区上層 土坑34				
ロクロかわらけ	大		42	616
	小		12	76
かわらけ	小片		8	25
青白磁	舍利		2	3
瀬戸	御皿	御皿	2	26
		折縁皿	2	63
		鉢	1	76
		瓶類	1	49
常滑	片口鉢	I	2	37
		II	2	55
	壺		6	419
瓦質土器	火鉢		4	93
瓦	野丸瓦		1	63
石製品	滑石片	西彼岸	1	3
	礎石	鳴滝	1	114
	中砥	伊予	1	44
	仕上げ砥	鳴滝	1	3
自然遺物	獣骨		5	
Ⅱ区上層 土坑35				
ロクロかわらけ	大		55	526
	小		11	84
かわらけ	小片		47	177
青白磁	皿		1	1
龍泉窯系青磁	碗	I	2	15
		II	1	4
瓦質土器	折縁皿		1	3
	香炉		1	101
	火鉢		4	165
	入子		1	8
	縁輪小皿		1	8
瀬戸	御皿		1	56
	折縁皿		6	200
	洗		1	32
	柄付片口		1	15
	水注		1	24
	瓶類		2	17
常滑	片口鉢		3	107
			15	1875
備前	すり鉢		3	670
石製品	仕上げ砥	鳴滝	4	7
石材	粘板岩		4	41
Ⅱ区上層 土坑36				
ロクロかわらけ	大		82	1875
	小		24	295
白磁	碗	V?	1	7
			1	7
		四耳煮?	1	6
青白磁	水注		1	4

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	I	3	85
		II or III	2	12
		III	2	7
			2	4
瀬戸	入子		1	15
	平碗		1	2
	即皿		8	273
	折縁皿		10	267
	柄付片口		1	39
	花瓶		2	61
	瓶子		2	38
瓶類		3	64	
尾振型	山茶碗		1	26
蓋类	壺		3	140
近世磁器	不明		1	2
常滑	片口鉢	I	29	819
		II	12	740
		壺	105	7205
		壺	1	38
備前	すり鉢		3	1465
瓦質土器	火鉢	III	3	296
		IV	2	191
			7	195
		香炉	1	57
石製品	滑石片	西製件	2	132
	硯石	粘板岩	1	88
	中砥	天草	1	367
	仕上げ砥	香滝	1	20
	仕上げ砥?	凝灰岩	1	51
	陶製品	磁	5	19
鉄製品	刀鏝		1	37
	釘		53	378
建築部材	漆喰		8	302
骨製品	筭		1	—
自然遺物	獸骨		3	—
II区上層 土坑38				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		23	172
かわらけ	小片		5	15
白かわらけ	手づね		1	2
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	8
	坏	III	1	7
瀬戸	入子		1	2
	折縁皿		2	18
常滑	片口鉢	I	12	506
		II	8	311
		壺	19	630
		壺	2	59
備前	すり鉢	B	1	57
瓦質土器	火鉢		1	142
石製品	仕上げ砥	香滝	1	22
石製品	石製型火打石		1	8
鉄製品	釘		1	10
建築部材	漆喰		3	46
貝	不明		2	—
II区上層 土坑39				
ロクロかわらけ	大		237	5015
	小		72	1122
かわらけ	小片		26	47
白磁	皿	IX	3	10
青白磁	皿		1	0
	梅瓶		1	4
龍泉窯系青磁	碗	II or III	4	12

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	天目茶碗		2	11
	平碗		2	21
	即皿		3	17
	縁飾小皿		2	49
	折縁皿		4	141
	瓶類		2	46
尾振型	山茶碗		1	13
常滑	片口鉢	I	22	495
		II	2	22
	壺		60	2650
	壺		1	33
瀬美	壺		3	232
瓦質土器	火鉢	I	1	85
			8	522
瓦		C	1	226
土製品	管状土罐		1	18
	滑石片	西製件		—
不製品	中砥	伊予	1	554
	仕上げ砥	香滝	2	20
	銭		1	4
鉄製品	釘		12	767
骨製品	サイコロ		1	1
自然遺物	獸骨		12	—
II区上層 土坑39最下層				
ロクロかわらけ	大		90	1040
	小		23	398
かわらけ	小片		7	14
白磁	皿	IX	2	13
龍泉窯系青磁	碗	I	1	37
	碗 or 皿		2	2
瀬戸	天目茶碗		1	22
	折縁皿		1	29
	碗皿		1	2
	柄付片口		1	20
	片口鉢	I	9	440
常滑	片口鉢	II	1	20
		壺	31	1815
瀬美	壺		1	19
瓦質土器	火鉢		9	312
		瓦	A	1
鉄製品	銭		1	4
建築部材	漆喰		1	4
自然遺物	獸骨		2	—
II区上層 土坑40				
手づくねかわらけ	大		1	15
ロクロかわらけ	大		4	38
土器	南伊勢系鉢		1	31
常滑	片口鉢	I	1	7
		壺	7	364
自然遺物	獸骨		4	—
II区上層 土坑41				
ロクロかわらけ	小		1	18
ロクロかわらけ	大		18	90
土器	伊勢系鉢		1	2
常滑	片口鉢	II	1	65
		壺	5	199
瓦質土器	火鉢		1	32
自然遺物	獸骨		1	—
II区上層 土坑42				
手づくねかわらけ	大		3	26
ロクロかわらけ	小		1	35
	大		28	362
かわらけ	小片		18	62
胎範施釉陶器	埴輪壺		1	26

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
常滑	片口鉢	I	2	68	
		II	2	158	
鉄製品	壺		9	414	
		釘	1	21	
自然遺物	獣骨		5	—	
		アカニシ	2	—	
II区上層 土坑43					
ロクロかわらけ	小		3	41	
	大		8	139	
青白磁	合子蓋		1	7	
	梅瓶		1	4	
龍泉窯系青磁	壺	II or III	1	2	
		天目茶碗	1	30	
瀬戸	折縁皿		3	210	
	花瓶		1	11	
常滑	片口鉢		2	62	
		壺	3	173	
舞美	壺		1	16	
		火鉢	III	1	86
瓦質土器	火鉢		1	120	
		壺	III	1	39
石製品	硯石	鳴滝	2	61	
		中砥	伊予	1	39
鉄製品	板状製品		1	49	
	釘		3	18	
II区上層 土坑44					
ロクロかわらけ	大		3	27	
船載施釉陶器	高脚盤		1	8	
	御皿		3	47	
瀬戸	酒付片口		1	57	
	片口鉢	I	1	188	
II		1	117		
常滑	壺		4	163	
	火鉢		1	35	
鉄製品	板状製品		3	51	
	釘		9	94	
II区上層 土坑45					
ロクロかわらけ	大		6	82	
瀬戸	御皿		2	32	
	小片		1	2	
常滑	片口鉢	I	1	16	
		II	1	30	
石製品	壺		5	280	
	硯	鳴滝	1	30	
石製品	仕上げ砥	鳴滝	2	24	
		鳴滝	1	15	
		中砥	天草	1	229
		釘		5	30
II区上層 土坑46					
手づくねかわらけ	大		2	24	
ロクロかわらけ	小		39	438	
	大		174	1640	
かわらけ	小片		18	80	
白かわらけ	ロクロ		1	3	
土器	南伊勢系鉢		2	5	
白磁	皿	IX	1	2	
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	17	
	碗		2	3	
瀬戸	入子		1	5	
	御皿		1	7	
常滑	片口鉢	I	7	271	
	鉢		36	940	
舞美	壺		2	123	
	壺		1	65	
瓦質土器	火鉢		1	9	
瓦	平瓦		1	63	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	釘		9	103
		II区上層 土坑47		
手づくねかわらけ	大		5	42
		小		6
ロクロかわらけ	大		35	309
		土器	南伊勢系鉢	
龍泉窯系青磁	不明		1	8
	碗	II or III	1	25
瀬戸	不明		1	3
	折縁皿		1	70
常滑	片口鉢	I	12	188
		II	1	19
備前	すり鉢		12	476
		壺		1
瓦質土器	火鉢		1	53
		鉄製品	銭	3
鉄製品	釘		1	4
		斧		4
建築部材	漆喰?		1	—
		獣骨		1
自然遺物	獣骨		2	—
		II区上層 土坑48		
ロクロかわらけ	大		3	26
かわらけ	小片		2	7
	御皿		2	41
瀬戸	飯皿		2	146
		不明		1
常滑	片口鉢	I	1	68
		II	2	110
鉄製品	鉄滓		11	547
		瓦質土器	火鉢	1
自然遺物	獣骨		1	48
		II区上層 土坑49		
ロクロかわらけ	小		2	16
かわらけ	大		18	140
	小片		7	24
白磁	碗	V?	1	4
青白磁	皿		1	8
龍泉窯系青磁	飯皿		1	27
	天目茶碗		1	52
瀬戸	御皿		1	12
	折縁皿		4	81
尾張型	水筒?		1	10
		山茶碗		1
常滑	片口鉢	I	2	32
		II	2	207
舞美	壺		14	1000
		壺		1
石製品	硯	鳴滝	1	60
鉄製品	釘		2	12
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 土坑50				
手づくねかわらけ	大		4	55
ロクロかわらけ	小		21	232
	大		54	610
かわらけ	小片		16	55
白かわらけ	手づくねかわらけ		1	3
土器	南伊勢系鉢		1	5
白磁	皿	IX	2	10
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
船載施釉陶器	縁角盤		1	10
瀬戸	御皿		1	8
尾張型	山茶碗		2	7

産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	26	569
		II	5	244
	壺		27	1220
		蓋		4
瓦質土器	火鉢		5	261
	平瓦		1	98
石製品	仕上げ砥	滑石	6	69
銅製品	鏡		1	3
鉄製品	板状製品		1	50
		釘	9	76
	II区上層 土坑51			
ロクロかわらけ	大		1	21
土器	南伊勢系鉢		1	1
白磁	皿	IX	1	2
龍泉窯系青磁	碗	II or III	4	26
瀬戸	入子		1	3
常滑	片口鉢	II	2	413
		壺	2	63
近世瓦			1	19
自然遺物	獣骨		1	—
	II区上層 土坑52			
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		5	89
常滑	壺		11	615
鉄製品	釘		3	45
自然遺物	ササエ		1	—
建築部材	漆喰		1	89
	II区上層 土坑53			
ロクロかわらけ	小		1	39
	大		1	41
常滑	片口鉢	I	1	71
		II	1	34
		壺	6	393
瀬美	壺		1	95
	II区上層 土坑54			
ロクロかわらけ	小		16	160
	大		25	245
かわらけ	小片		80	231
白磁	皿	X ?	1	1
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3
瀬戸	即皿		1	8
常滑	片口鉢	I	10	117
		II	6	212
	壺		24	785
瀬美	壺		3	159
	鉢		1	28
瓦質土器	火鉢		2	47
鉄製品	板状製品		2	66
		釘	7	67
自然遺物	獣骨		23	—
	貝片		1	—
	II区上層 土坑55			
ロクロかわらけ	小		4	61
	大		15	221
かわらけ	小片		4	13
白磁	皿	IX	1	1
龍泉窯系青磁	碗		1	1
瀬戸	即皿		2	21
		碗	1	7
		瓶頸	1	9
常滑	片口鉢	I	2	23
		II	2	82
	壺		6	117
瀬美	壺		1	22
備前	すり鉢		1	42
不明陶器	碗		1	6

産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	釘		9	103
	II区上層 土坑47			
手づくねかわらけ	大		5	42
		小	6	95
ロクロかわらけ	大		35	309
		南伊勢系鉢		1
土器	不明		1	8
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	25
		不明	1	3
瀬戸	折縁皿		1	70
		瓶頸	1	20
常滑	片口鉢	I	12	188
		II	1	19
		壺	12	476
	蓋		1	12
備前	すり鉢		1	53
瓦質土器	火鉢		3	100
銅製品	鏡		1	4
鉄製品	釘		4	20
骨製品	筭		1	—
建築部材	漆喰?		1	3
自然遺物	獣骨		2	—
	II区上層 土坑48			
ロクロかわらけ	大		3	26
	かわらけ	小片	2	7
瀬戸	即皿		2	41
		瓶頸	2	146
土器	不明		1	17
常滑	片口鉢	I	1	68
		II	2	110
		壺	11	547
鉄製品	鉄滓		1	72
瓦質土器	火鉢		1	48
自然遺物	獣骨		1	—
	II区上層 土坑49			
ロクロかわらけ	小		2	16
	大		18	140
かわらけ	小片		7	24
白磁	碗	V ?	1	4
青白磁	皿		1	8
龍泉窯系青磁	瓶頸		1	27
瀬戸	天目茶碗		1	52
		即皿	1	12
		折縁皿	4	81
	水筒?		1	10
尾張型	山茶碗		1	30
常滑	片口鉢	I	2	32
		II	2	207
	壺		14	1000
瀬美	壺		1	60
石製品	硯	滑石	1	60
鉄製品	釘		2	12
自然遺物	獣骨		2	—
	II区上層 土坑50			
手づくねかわらけ	大		4	55
ロクロかわらけ	小		21	232
	大		54	610
かわらけ	小片		16	55
白かわらけ	手づくねかわらけ		1	3
土器	南伊勢系鉢		1	5
白磁	皿	IX	2	10
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
胎較高袖陶器	縁角盤		1	10
	瀬戸		1	8
尾張型	山茶碗		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	26	569
		II	5	244
	甕		27	1220
	蓋		4	95
瓦質土器	火鉢		5	251
瓦	平瓦		1	98
石製品	仕上げ紙	鳥滝	6	59
銅製品	鏡		1	3
鉄製品	板状製品		1	50
	釘		9	76
II区上層 土坑51				
ロクロかわらけ	大		1	21
土器	南伊勢系鉢		1	1
白磁	皿	IX	1	2
龍泉窯系青磁	碗	II or III	4	26
瀬戸	入子		1	3
常滑	片口鉢	II	2	413
		甕	2	63
近世瓦			1	19
自然遺物	獸骨		1	—
II区上層 土坑52				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		5	89
常滑	甕		11	615
鉄製品	釘		3	45
自然遺物	ササエ		1	—
建築部材	漆喰		1	89
II区上層 土坑53				
ロクロかわらけ	小		1	39
	大		1	41
常滑	片口鉢	I	1	71
		II	1	34
	甕		6	393
雜美	甕		1	95
II区上層 土坑54				
ロクロかわらけ	小		16	150
	大		25	245
かわらけ	小片		80	231
白磁	皿	X?	1	1
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3
瀬戸	即皿		1	8
常滑	片口鉢	I	10	117
		II	6	212
	甕		24	785
雜美	甕		3	159
	鉢		1	28
瓦質土器	火鉢		2	47
鉄製品	板状製品		2	66
	釘		7	67
自然遺物	獸骨		23	—
	貝片		1	—
II区上層 土坑55				
ロクロかわらけ	小		4	61
	大		15	221
かわらけ	小片		4	13
白磁	皿	IX	1	1
龍泉窯系青磁	碗皿		1	1
瀬戸	即皿		2	21
	碗		1	7
瀬戸	瓶壺		1	9
		I	2	23
常滑	片口鉢	II	2	82
		甕	6	117
雜美	甕		1	22
備前	すり鉢		1	42
不明陶器	碗		1	6

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瓦質土器	火鉢		2	59
鉄製品	釘		4	27
自然遺物	獸骨		1	—
II区上層 土坑57				
ロクロかわらけ	小		2	23
	大		3	79
瀬戸	柄付片口		1	25
常滑	片口鉢	I	3	83
		II	2	237
	甕		3	127
備前	すり鉢		1	65
瓦質土器	火鉢		3	86
瓦	平瓦		1	164
肥前系磁器	集付 糞支猪口		1	14
近世陶器	不明		1	49
石製品	礎石	鳥滝	2	67
石製品	中砥	上野	1	124
自然遺物	貝片		1	—
II区上層 土坑58				
手づくかわらけ	小		2	9
	小		5	53
ロクロかわらけ	大		26	382
	小片		3	5
白磁	皿	IX	2	7
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	8
肥前系陶器	壺?		1	26
常滑	片口鉢	I	7	228
		II	1	26
	甕		16	471
	蓋		1	38
建築部材	漆喰		4	109
瀬戸	皿		1	11
石製品	滑石片		1	8
鉄製品	釘		5	50
自然遺物	貝片		1	—
II区上層 土坑60				
手づくかわらけ	大		2	18
ロクロかわらけ	小		14	112
	大		41	381
かわらけ	小片		41	157
青白磁	梅瓶		1	5
龍泉窯系青磁	碗皿		1	1
常滑	片口鉢	I	6	130
		II	4	147
	甕		13	454
瀬戸	折鉢皿		4	54
	瓶壺		1	21
雜美	甕		1	36
不明陶器	不明		1	9
石製品	仕上げ紙	鳥滝	1	1
石材	雲母片		1	—
鉄製品	鏡		2	7
鉄製品	釘		5	24
自然遺物	獸骨		10	—
II区上層 土坑61				
ロクロかわらけ	小		23	140
	大		72	645
かわらけ	小片		10	31
白かわらけ			1	1
瀬戸	即皿		2	23
		折鉢皿	9	248
	瓶壺		1	28
常滑	片口鉢	I	2	57
		II	4	207
	甕		15	399

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
鋳造	壺		2	27	
瓦質土器	火鉢	IV	1	118	
			3	79	
石製品	滑石鉢		1	33	
	仕上げ砥	滑石	2	31	
鉄製品	鉄釘片		38	196	
自然遺物	獣骨		11	—	
Ⅱ区上層 土坑62					
ロクロかわらけ	小		16	203	
		大	47	635	
かわらけ	小片		32	114	
龍泉窯系青磁	小片		1	2	
		人子	2	4	
瀬戸	御皿		1	15	
		折縁皿	2	31	
		花皿	1	79	
		片口鉢	I	5	39
常滑	壺	II	1	21	
			12	523	
銅製品	銭		2	8	
鉄製品	釘		13	127	
		鉄滓	6	181	
自然遺物	獣骨		5	—	
Ⅱ区上層 土坑64					
ロクロかわらけ	大		3	56	
土器	南伊勢系鉢		1	6	
白磁	皿	IX	1	6	
常滑	片口鉢	I	3	96	
		II	2	250	
		壺	5	277	
		火鉢	1	61	
銅製品	銭		1	4	
自然遺物	獣骨		2	—	
Ⅱ区上層 土坑65					
ロクロかわらけ	小		4	76	
		大	21	299	
かわらけ	小片		4	13	
白磁	合子身		1	8	
		皿	IX	4	21
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3	
		III	1	6	
青磁?	碗		1	13	
瀬戸	御皿		1	24	
		折縁皿	2	41	
		碗	1	2	
		柄付片口	1	29	
		花瓶	1	41	
尾張型	山茶碗		1	4	
		片口鉢	I	3	69
		壺	24	1454	
		壺	1	9	
瓦質土器	火鉢	I	1	61	
		転用研磨具	1	130	
銅製品	銭		1	3	
鉄製品	板状製品		1	7	
		釘	8	40	
Ⅱ区上層 土坑66					
ロクロかわらけ	小		5	24	
		大	59	367	
かわらけ	小片		14	52	
白かわらけ	小片		1	1	
土器	柄付鉢		1	2	
白磁	合子蓋		1	1	
		花瓶	1	14	
種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
瀬戸	御皿		1	54	
		碗	1	6	
		水筒	1	4	
常滑	片口鉢	I	6	197	
		II	1	21	
		壺	20	533	
		火鉢	III	1	83
瓦質土器	火鉢		2	62	
		碗	1	14	
石製品	仕上げ砥	鳴滝	2	59	
		石英	1	4	
鉄製品	釘		3	17	
自然遺物	獣骨		2	—	
Ⅱ区上層 土坑67					
ロクロかわらけ	小		4	82	
		大	10	248	
白磁	皿	IX	1	3	
青白磁	合子身		1	2	
		碗	1	1	
龍泉窯系青磁	碗	I	1	6	
		坏・盤	III	1	6
瀬戸	御皿		1	9	
		折縁皿	1	68	
		片口鉢	I	8	452
		II	1	16	
		壺	34	1705	
常滑	壺		2	33	
		壺	1	183	
瓦質土器	火鉢	滑石製粗石	西彼杵	1	18
		滑石片		2	223
		碗		2	34
		中砥	伊予	1	182
		仕上げ砥		2	22
		石英		1	7
鉄製品	釘		3	65	
自然遺物	獣骨		4	—	
Ⅱ区上層 土坑68					
ロクロかわらけ	大		8	66	
瀬戸	縁軸小皿		1	4	
常滑	片口鉢	II	1	87	
常滑	壺		5	232	
瓦器	小片		1	56	
鉄製品	釘		2	1	
自然遺物	獣骨		1	—	
Ⅱ区上層 土坑69					
ロクロかわらけ	小		1	6	
		大	10	107	
かわらけ	小片		6	22	
瀬戸	小片		1	3	
常滑	片口鉢	I	3	169	
瓦質土器	火鉢		1	10	
鉄製品	釘		1	7	
自然遺物	獣骨		2	—	
Ⅱ区上層 土坑70					
ロクロかわらけ	大		9	75	
かわらけ	小片		2	6	
白磁	皿	IX	2	3	
瀬戸	御皿		1	4	
		片口鉢	1	32	
常滑	壺		4	295	
		壺	1	5	
鉄製品	釘		8	52	
自然遺物	獣骨		1	—	
Ⅱ区上層 土坑71					
ロクロかわらけ	小		2	12	
		大	20	227	
かわらけ	小片		14	43	
龍泉窯系青磁	碗		2	7	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	2	44
	壺		9	393
建築部材	漆喰		2	55
自然遺物	アカニシ		1	—
Ⅱ区上層 土坑72				
ロクロかわらけ	小		1	22
	大		1	30
青白磁	皿		1	1
	片口鉢	I	1	97
常滑	壺		14	825
	銭		1	5
鉄製品	釘		3	23
	鉄釘		1	47
Ⅱ区上層 土坑73				
ロクロかわらけ	小		1	49
	片口鉢	II	1	58
常滑	壺		1	23
Ⅱ区上層 土坑74				
手づくねかわらけ	小		1	13
	大		4	93
ロクロかわらけ				
龍泉窯系青磁	碗	I	1	5
常滑	片口鉢	I	1	10
	壺		5	226
磁美	壺		1	131
建築部材	漆喰		1	11
Ⅱ区下層 土坑75				
常滑	壺		1	22
	磁美		2	112
自然遺物	片破片		1	—
Ⅱ区下層 土坑76				
手づくねかわらけ	大		7	87
Ⅱ区下層 土坑77				
手づくねかわらけ	大		1	30
	小		3	45
ロクロかわらけ	大		5	101
かわらけ	小片		3	17
	白磁			
龍泉窯系青磁	碗	V ?	1	14
		I or III	1	16
尾張型	山皿		1	2
			1	10
常滑	片口鉢	I	5	70
		II	1	49
	壺		42	2260
	壺		1	11
磁美	壺		7	199
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		4	34
自然遺物	鉄骨		2	—
Ⅱ区下層 土坑78				
手づくねかわらけ	大		2	20
	小		1	44
ロクロかわらけ	大		9	218
	小片		4	14
白磁	皿	X	1	26
常滑	片口鉢	I	1	13
	壺		7	397
瓦質土器	火鉢	I	1	44
			1	32
鉄製品	釘		1	4
Ⅱ区下層 土坑79				
手づくねかわらけ	小		2	10
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		3	23
	大		22	209
かわらけ	小片		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
青白磁	合子蓋		1	7
	梅瓶		1	9
龍泉窯系青磁	碗	I	1	5
常滑	片口鉢	I	3	95
	壺		9	372
瓦質土器	火鉢		1	75
	石製品	仕上げ砥	塀	1
銅製品	銭		1	3
鉄製品	釘		1	7
自然遺物	鉄骨		7	—
Ⅱ区下層 土坑80				
常滑	壺		1	45
Ⅱ区下層 土坑81				
手づくねかわらけ	小		1	3
かわらけ	小片		4	12
鉄製品	釘		1	8
Ⅱ区下層 土坑82				
手づくねかわらけ	小		1	5
かわらけ	小片		4	27
石製品	滑石片		1	19
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		1	4
自然遺物	ハマグリ		1	—
Ⅱ区下層 土坑84				
手づくねかわらけ	小		1	3
	大		5	54
ロクロかわらけ	小		3	67
	大		16	156
かわらけ	小片		6	25
	白磁			
	皿	IX	1	8
		I	1	10
常滑	片口鉢	II	2	90
	壺		24	825
	壺		2	19
磁美	壺		4	97
自然遺物	鉄骨		8	—
石製品	滑石鍋		1	12
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		7	47
鉄製品	鉄片		1	15
鉄製品	鉄洋		2	170
建築部材	漆喰		1	26
Ⅱ区下層 土坑85				
手づくねかわらけ	大		2	18
磁美	壺		1	40
漆器	椀		1	—
自然遺物	鉄骨		1	—
Ⅱ区下層 土坑86				
手づくねかわらけ	大		1	15
磁美	壺		1	35
自然遺物	鉄骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I 区上層 ビット1				
ロクロかわらけ	大		10	75
龍泉窯系青磁	壺	I	1	9
瀬戸	袋物		1	30
常滑	壺		2	44
瓦質土器	火鉢		2	120
鉄製品	釘		2	12
自然遺物	獸骨		1	—
I 区上層 ビット2				
手づくねかわらけ	小		1	8
	大		1	7
ロクロかわらけ	小		2	29
	大		17	181
かわらけ	小片		9	30
白かわらけ	小片		1	1
瀬戸	折縁皿	I	2	91
	片口鉢	I	3	153
常滑	壺	II	3	108
	壺		11	359
瓦質土器	火鉢		3	42
石製品	仕上げ砥	鳴鶴	1	8
石材	石英		1	27
銅製品	鉈		1	4
鉄製品	釘		3	25
I 区上層 ビット3				
ロクロかわらけ	大		7	53
	片口鉢	I	1	19
		II	2	90
常滑	壺		2	28
	蓋		1	17
瓦質土器	火鉢		1	26
鉄製品	釘		1	11
自然遺物	獸骨		1	—
I 区上層 ビット4				
常滑	片口鉢	I	1	12
	壺		1	191
鉄製品	釘		1	18
自然遺物	獸骨		3	—
I 区上層 ビット5				
ロクロかわらけ	小		1	4
	大		6	60
常滑	片口鉢	I	1	18
	壺		1	17
自然遺物	獸骨		2	—
I 区上層 ビット6				
ロクロかわらけ	小		1	7
	大		3	29
龍泉窯系青磁	折縁皿		1	4
常滑	壺		1	39
自然遺物	獸骨		1	—
I 区上層 ビット7				
手づくねかわらけ	小		2	5
	大		1	13
ロクロかわらけ	大		1	9
白磁	皿	IX	1	4
常滑	片口鉢	I	1	160
自然遺物	獸骨		2	—
I 区上層 ビット8				
ロクロかわらけ	小		3	48
	大		6	58
かわらけ	小片		4	11
常滑	片口鉢	I	1	31
	壺		9	398
瓦質土器	火鉢		2	217
自然遺物	獸骨		1	—
I 区上層 ビット9				
ロクロかわらけ	小		1	11
	大		3	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	皿		1	17
	碗	II or III	1	16
常滑	片口鉢	I	3	66
	壺		1	35
備前	すり鉢		1	181
瓦質土器	火鉢		1	38
銅製品	銭		1	4
石材	石英		1	3
自然遺物	獸骨		4	—
I 区下層 ビット10				
ロクロかわらけ	大		1	52
常滑	壺		1	36
自然遺物	獸骨		3	—
I 区下層 ビット11				
ロクロかわらけ	大		1	34
手づくねかわらけ	小		1	3
	大		5	181
常滑	片口鉢	I	2	179
	壺		3	416
I 区下層 ビット12				
常滑	壺		1	25
I 区下層 ビット13				
ロクロかわらけ	大		1	10
I 区下層 ビット14				
手づくねかわらけ	小		1	11
	大		2	14
ロクロかわらけ	小		1	13
	大		1	7
同安窯系青磁	皿		1	28
常滑	壺		1	50
I 区下層 ビット15				
常滑	壺		1	57
自然遺物	獸骨		3	—
I 区下層 ビット16				
常滑	片口鉢	I	1	11
		II	1	14
	壺		3	58
瀬島	鉢		1	19
I 区下層 ビット17				
ロクロかわらけ	大		4	35
東濃	山茶碗		1	18
I 区下層 ビット19				
鉄製品	釘		3	39
II 区上層 ビット20				
ロクロかわらけ	大		1	5
	小		18	115
白磁	皿	IX	2	13
	片口鉢	I	4	70
常滑	壺		4	98
	蓋		1	23
自然遺物	獸骨		1	—
II 区上層 ビット21				
手づくねかわらけ	小		5	16
	大		6	29
ロクロかわらけ	小		4	48
	大		31	242
かわらけ	小片		15	42
同安窯系青磁	皿		1	2
	皿		1	21
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
瀬戸	瓶類		2	32
常滑	片口鉢	I	2	57
		II	2	39
	壺		28	805
尾張型	山茶碗		1	5
越前	壺		2	48
銅製品	銭		1	7
鉄製品	釘		16	109
建築部材	漆喰		1	548

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獸骨		3	—
Ⅱ区上層 ビット22				
常滑	片口鉢	I	1	39
		II	1	21
	壺	2	128	
Ⅱ区上層 ビット23				
ロクロかわらけ	小		2	9
	大		16	124
瀬戸	煎茶碗		1	13
	碗		1	35
瓦質土器	火鉢	D	1	107
石製品	仕上げ砥		1	6
自然遺物	獸骨		3	—
Ⅱ区上層 ビット24				
手づくねかわらけ	小		1	4
ロクロかわらけ	小		9	49
	大		16	118
かわらけ	小片		10	33
瀬戸	折縁皿		1	12
	柄付片口		2	108
	皿鉢		1	20
常滑	片口鉢	II	1	23
	壺		9	236
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	1
鉄製品	板状製品		1	20
自然遺物	獸骨		2	—
Ⅱ区上層 ビット25				
瀬戸	瓶子		1	266
Ⅱ区上層 ビット26				
ロクロかわらけ	大		12	82
常滑	片口鉢	I	3	62
		II	1	39
	壺	12	451	
不明陶器	不明		1	5
瓦質土器	火鉢		1	17
石製品	仕上げ砥		1	2
鉄製品	釘		1	2
自然遺物	獸骨		1	—
Ⅱ区上層 ビット27				
手づくねかわらけ	大		3	32
ロクロかわらけ	小		3	13
	大		14	126
観音堂系青磁	碗	II or III	1	2
常滑	片口鉢	I	5	116
		II	1	7
	壺	16	850	
瓦質土器	火鉢	I	1	31
		III or IV	1	133
鉄製品	釘		1	12
自然遺物	獸骨		2	—
Ⅱ区上層 ビット28				
ロクロかわらけ	小		3	25
	大		72	600
かわらけ	小片		14	57
土器	南伊勢系編		2	52
観音堂系青磁	碗	I	1	9
船形施輪陶器	碗皿		2	3
瀬戸	襷輪壺		1	26
	加温		1	8
常滑	片口鉢	I	9	128
		II	2	125
	壺	23	910	
蒔美	壺		2	80
瓦質土器	火鉢	I	1	37
			2	41
石製品	荒砥	天草	1	26
		鳴滝	1	40
鉄製品	釘		8	72
建築部材	漆喰		1	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獸骨		3	—
Ⅱ区上層 ビット29				
ロクロかわらけ	大		6	37
白磁	水注		1	7
自然遺物	獸骨		1	—
Ⅱ区上層 ビット30				
白磁	皿	IX	1	19
Ⅱ区上層 ビット31				
ロクロかわらけ	大		1	13
鉄製品	釘		2	26
自然遺物	獸骨		2	—
Ⅱ区上層 ビット32				
ロクロかわらけ	大		7	61
常滑	片口鉢	I	1	13
		II	1	70
鉄製品	釘		3	14
自然遺物	獸骨		2	—
Ⅱ区上層 ビット33				
ロクロかわらけ	小		2	8
	大		5	60
瀬戸	御皿		1	31
	煎茶碗		1	4
鉄製品	釘		1	1
Ⅱ区上層 ビット34				
手づくねかわらけ	小		2	14
	大		3	40
ロクロかわらけ	小		7	36
	大		11	108
白磁	皿	IX	1	4
瀬戸	御皿		1	22
	折縁皿		1	24
	煎茶碗		1	17
常滑	片口鉢	I	3	27
			7	537
蒔美	壺		1	23
瓦質土器	火鉢		1	23
鉄製品	釘		11	92
			1	36
自然遺物	獸骨		1	—
Ⅱ区上層 ビット35				
ロクロかわらけ	小		9	93
	大		39	465
かわらけ	小片		19	83
土器	南伊勢系編		2	13
瀬戸	折縁皿		3	38
	柄付片口		1	39
	山茶碗		5	9
尾張型	片口鉢	I	16	445
		II	13	678
常滑	壺		30	1630
			6	158
			5	122
瓦質土器	火鉢	I	5	46
鉄製品	滑石スタンプ		5	20
自然遺物	獸骨		2	—
Ⅱ区上層 ビット36				
ロクロかわらけ	大		10	94
かわらけ	小片		2	7
尾張型	山茶碗		1	6
常滑	片口鉢	II	1	30
			1	60
蒔美	壺		1	8
Ⅱ区上層 ビット37				
かわらけ	小片		3	14
常滑	片口鉢	I	3	91
鉄製品	釘		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層 ビット38				
ロクロかわらけ	内折れ極小		1	3
	小		3	18
	大		5	32
かわらけ	小片		1	14
土器	南伊勢系鉢		1	1
瀬戸	折縁皿		1	7
常滑	片口鉢	I	3	128
		II	1	99
	壺		4	64
	火鉢		1	27
瓦質土器	仕上げ紙	鳴滝	1	3
鉄製品	釘		5	41
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層 ビット39				
鉄製品	釘		2	7
Ⅱ区上層 ビット40				
手づくねかわらけ	小		1	4
ロクロかわらけ	小		5	20
	大		19	110
かわらけ	小片		2	3
常滑	片口鉢	I	1	13
	壺		3	55
鉄製品	釘		1	410
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層 ビット41				
ロクロかわらけ	小		9	42
	大		8	95
常滑	片口鉢	I	1	16
		II	2	265
備前	すり鉢		1	58
石製品	滑石片		1	10
	中砥	天草	1	80
鉄製品	鉄片		2	4
Ⅱ区上層 ビット42				
龍泉風系青磁	坪	III	1	2
常滑	片口鉢	II	1	735
		壺	3	53
Ⅱ区上層 ビット43				
ロクロかわらけ	小		1	3
	大		3	30
かわらけ	小片		2	7
瀬戸	御皿		1	5
	折縁皿		1	9
常滑	片口鉢	II	2	65
		壺	1	98
	壺		1	13
瀬美	壺		1	71
	壺		1	68
石製品	仕上げ紙	鳴滝	1	10
Ⅱ区上層 ビット45				
ロクロかわらけ	大		2	25
白磁	皿		1	1
常滑	片口鉢	I	1	15
		II	2	65
	壺		2	56
鉄製品	釘		2	21
	鉄滓		1	44
Ⅱ区上層 ビット46				
ロクロかわらけ	小		1	8
	大		5	69
かわらけ	小片		2	4
瀬戸	御皿		1	12
常滑	片口鉢	I	1	16
	壺		4	284
瓦質土器	火鉢		1	14
鉄製品	釘		1	3
自然遺物	獣骨		9	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層 ビット47				
ロクロかわらけ	小		8	61
	大		19	162
かわらけ	小片		4	10
白かわらけ	手づくね		1	6
胎載点輪海器	襦袢壺		2	36
瀬戸	御皿		1	67
常滑	片口鉢	I	1	5
		II	1	44
	壺		10	635
瓦質土器	火鉢		1	11
銅製品	鉢		1	3
鉄製品	刀子		2	165
	釘		10	62
Ⅱ区上層 ビット49				
ロクロかわらけ	小		6	66
	大		19	186
かわらけ	小片		5	12
常滑	片口鉢	I	3	68
		II	1	14
	壺		3	175
瀬美	壺		1	37
石製品	碾石		1	72
鉄製品	釘		1	4
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層 ビット50				
ロクロかわらけ	大		2	42
	片口鉢	I	1	11
常滑	壺		1	32
不明陶器	不明		1	11
Ⅱ区上層 ビット51				
手づくねかわらけ	大		1	14
ロクロかわらけ	小		1	14
	大		12	179
土器	南伊勢系鉢		1	8
常滑	壺		5	106
瓦質土器	火鉢		1	11
石製品	仕上げ紙	鳴滝	1	9
鉄製品	釘		3	12
Ⅱ区下層 ビット52				
ロクロかわらけ	小		2	31
	大		1	6
常滑	壺		1	15

表6 出土遺物観察表

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面庄底		色調	出土遺物・土層ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押し伏	板状	ム3状		
図20-1	在土土器	ロクロかわらけ・小	6.8	4.3	1.8	3/4		○		○		黄灰	I区表土 白針
図20-2	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.0	3.8	2.1	ほぼ完形	43.4	○		○		明黄灰	I区表土 白針
図20-3	在土土器	ロクロかわらけ・大	(12.0)	(6.4)	3.7	1/6		○		○		橙	I区表土 白針
図20-4	在土土器	ロクロかわらけ・大	(12.0)	(8.0)	3.3	1/4		○		○		黄橙	I区表土 白針
図20-5	陶器	常滑壺	—	—	[7.3]	口小片						暗赤褐	I区表土 9型か
図20-6	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.3	4.8	1.8	完形	40.2	○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20-7	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.6	5.4	1.6	2/3		○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20-8	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.4	5.2	2.1	ほぼ完形	44.3	○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20-9	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.1	4.7	2.1	ほぼ完形	40.1	○		○		赤橙	I区上層遺構面上 白針
図20-10	在土土器	ロクロかわらけ・小	(7.4)	(4.7)	2.4	1/2		○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20-11	在土土器	ロクロかわらけ・大	12.0	7.0	3.2	2/3		○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20-12	在土土器	ロクロかわらけ・大	(13.8)	(8.6)	3.6	1/3		○				黄橙	I区上層遺構面上 白針
図20-13	胎磁磁器	龍泉堂系青磁 牙黒-40型	(11.6)	(5.5)	4.0	1/3 (口1/8~底3/4)						灰緑 不透明	I区上層遺構面上
図20-14	胎磁磁器	白磁 水作	—	—	—	注口部小片						水透明	I区上層遺構面上
図20-15	陶器	瀬戸折腰深皿	(22.6)	(15.1)	5.8	1/6						淡灰緑	I区上層遺構面上: 中期様式前下
図20-16	陶器	瀬戸御皿	(16.2)	(5.9)	3.4	1/4						淡黄灰	I区上層遺構面上 後I期
図20-17	陶器	瀬戸底御皿	—	—	[2.2]	残片						灰緑	I区上層遺構面上
図20-18	陶器	常滑壺	—	—	[7.2]	口小片						褐	I区上層遺構面上 9型式
図20-19	陶器	備前すり鉢	—	—	[9.2]	口~胴片						暗赤褐	I区上層遺構面上
図20-20	陶器	備前すり鉢	—	—	[5.3]	口小片						赤褐	I区上層遺構面上
図20-21	陶器	備前すり鉢	—	—	—	胴片						赤褐	I区上層遺構面上
図20-22	在土土器	踏付鍋	(10.0)	—	[3.9]	口1/6						淡灰黄	I区上層遺構面上
図20-23	陶器	常滑片 瓶用研磨具	長さ 5.4	幅 6.7	厚さ 1.1	磨削部片	45.3					褐	I区上層遺構面上
図20-24	陶器	常滑片 瓶用研磨具	長さ 7.6	幅 6.1	厚さ 1.2	磨削部片	64.7					褐	I区上層遺構面上
図21-25	石製品	砥石	長さ (12.0)	幅 (7.8)	厚さ 8.6	一部欠損	[196]	○		○		黒灰	I区上層遺構面上: 荒砥(天志)
図21-26	石製品	砥石	長さ (11.2)	幅 7.9	厚さ 7.5	一部欠損	[566.4]					灰黒	I区上層遺構面上: 包砥(管口)
図21-27	石製品	砥石	長さ [6.2]	幅 4.6	厚さ 4.1	一部欠損	[180]					灰	I区上層遺構面上: 中砥
図21-28	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 4.7	厚さ 3.6	一部欠損	[196]						I区上層遺構面上: 中砥(伊予)
図21-29	石製品	砥石	長さ [7.3]	幅 4.7	厚さ 3.6	一部欠損	[197.2]					白	I区上層遺構面上: 中砥
図21-30	石製品	砥石	長さ [4.7]	幅 [3.0]	厚さ 0.9	一部欠損	[21.5]					淡黄灰	I区上層遺構面上: 仕上げ砥(鳥嶋)
図21-31	石製品	砥石	長さ [3.9]	幅 3.0	厚さ 0.7	一部欠損	[13.5]					淡黄灰	I区上層遺構面上: 仕上げ砥(鳥嶋)
図21-32	鉄製品	釘	長さ 7.7	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5					—	I区上層遺構面上:
図21-33	銅製品	鏡 洋幣元寶(真鍮)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面上: 中国北宋代 1009年
図21-34	銅製品	鏡 明造元寶(真鍮)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面上: 中国北宋代 1032年

() = 復元値 [] = 現存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面狂值		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押し伏	板状	ムラ		
図21-35	銅製品	鏡 無銘元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面上 中国北宋代 1068年
図21-36	銅製品	鏡 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面上 中国北宋代 1078年
図21-37	銅製品	鏡 元豊通寶 (行書)	直径 2.3	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面上 中国北宋代 1078年
図21-38	銅製品	鏡 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.8					—	I区上層遺構面上 中国北宋代 1086年
図21-39	銅製品	鏡 咸和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	3					—	I区上層遺構面上 中国北宋代 1111年
図21-40	骨角製品	双六駒	—	直径 2.0	厚さ 0.6	完形	3.2					黄白	I区上層遺構面上
図22-41	在地土器	ロクロかわらけ・小	6.2	4.2	1.8	1/2		○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図22-42	在地土器	ロクロかわらけ・小	6.1	4.6	1.9	完形	35.8	○				橙	II区上層遺構面上 白針
図22-43	在地土器	ロクロかわらけ・小	6.5	4.8	1.9	2/3				○		黄橙	II区上層遺構面上 白針
図22-44	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.0	4.8	2.3	3/4						橙	II区上層遺構面上 白針
図22-45	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.4)	(4.4)	2.7	口小～底完存		○		○		橙	II区上層遺構面上 白針
図22-46	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.2	4.3	2.3	ほぼ完形	41.7	○		○		橙	II区上層遺構面上 白針
図22-47	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.6	4.9	2.2	2/3		○		○		橙	II区上層遺構面上 白針 口縁部付近欠損
図22-48	在地土器	ロクロかわらけ・大	(12.2)	(8.0)	3.0	1/3		○		○		黄橙	II区上層遺構面上 白針
図22-49	陶器	海丸	—	直径 2.4	厚さ 2.4	完形	14					橙	II区上層遺構面上
図22-50	土製品	双六駒	長さ 2.9	幅 2.6	厚さ 0.8	完形	7					黄橙	II区上層遺構面上
図22-51	土製品	新羅車?	最大径 (5.4)	厚さ 2.2	孔径 0.5	1/2	(28.1)					灰	II区上層遺構面上
図22-52	土製品	管状土師	長さ 4.4	幅 2.4	孔径 1.6	完形	16.8					橙	II区上層遺構面上
図22-53	石製品	滑石鍔片 転用スタンプ	長さ 7.3	幅 4.4	厚さ 2.5	ほぼ完形	(80.8)					—	II区上層遺構面上
図22-54	石製品	滑石鍔片 転用スタンプ	長さ 4.4	幅 6.2	厚さ 2.3	ほぼ完形	(78.2)					—	II区上層遺構面上
図22-55	石製品	硯	長さ [7.4]	幅 8.5	厚さ 2.1	一部欠損	(80.5)						II区上層遺構面上 輪切硯
図22-56	石製品	砥石	長さ [6.4]	幅 2.9	厚さ 1.9	一部欠損	(57.9)						II区上層遺構面上 中砥(上野)
図22-57	陶器	茶器器片 転用研磨具	—	—	—	磨削部片	129.6					暗灰	II区上層遺構面上
図22-58	舶載磁器	青白磁 海瓶	—	8.7	[2.1]	底部のみ 完形						灰 半透明	II区上層遺構面上
図22-59	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.8	5.1	1.7	ほぼ完形	55.8	○		○		暗黄灰	II区上層遺構面上 B-5 白針
図22-60	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.5	4.7	2.4	2/3		○		○		明黄灰	II区上層遺構面上 B-5 白針
図22-61	石製品	砥石	長さ [8.7]	幅 3.3	厚さ 1.3	一部欠損	(41.2)					灰白	II区上層遺構面上 B-5 白針
図22-62	銅製品	鏡 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	II区上層遺構面上 B-5 白針
図22-64	舶載磁器	白磁 網目煎	(15.4)	—	[5.8]	口～体1/6						灰白 透明	II区上層遺構面上 B-10
図22-65	陶器	瀬戸 碗	(13.8)	—	[5.9]	口～体1/3						緑灰	II区上層遺構面上 B-10
図22-66	陶器	瀬戸 盥?	最大径 4.5	—	1.3	完形						暗赤褐	II区上層遺構面上 B-10
図22-67	陶器	滑石片 転用研磨具	長さ 6.0	幅 5.5	厚さ 1.0	磨削部片	52.2					暗赤褐	II区上層遺構面上 B-10
図22-68	石製品	砥石	長さ [7.3]	幅 3.1	厚さ 2.2	一部欠損	(83.8)					灰白	II区上層遺構面上 B-10 中砥(伊子)
図22-69	石製品	砥石	長さ [4.9]	幅 3.4	厚さ 2.6	一部欠損	(64.5)					樟灰白	II区上層遺構面上 B-10 仕上げ砥(出羽か)

() = 復元値 [] = 現存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面狂直		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押	板状	ムラ状		
図22-70	銅製品	鏡 型宋元寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 上 B-10 中国北宋代 1101年
図22-71	銅製品	鏡 咸和通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 上 B-10 中国北宋代 1111年
図22-72	在胎土器	ロクロ口かわらけ・中	(9.2)	(5.6)	2.6	2/3		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 上 C-5 白針
図22-73	在胎土器	ロクロ口かわらけ・大	12.6	7.8	3.5	2/3		○		○		灰黄灰	Ⅱ区上層遺構面 上 C-5 白針
図22-74	在胎土器	ロクロ口かわらけ・大	13.9	8.1	3.7	2/3				○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 上 C-6 白針
図22-75	船載陶器	褐釉釜	(5.6)	—	[6.7]	口1/4						灰黄	Ⅱ区上層遺構面 上 C-6 口縁のみ強い
図22-76	陶器	瀬戸花瓶ⅠA型	—	—	—	胴下部のみ						灰綠	Ⅱ区上層遺構面 上 C-5
図22-77	銅製品	鏡 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.1					—	Ⅱ区上層遺構面 上 C-5 中国北宋代 1038年
図22-78	銅製品	鏡 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 上 C-5 中国北宋代 1038年
図22-79	銅製品	鏡 銭種不明	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.1					—	Ⅱ区上層遺構面 上 C-6
図22-80	石製品	磁石	長さ [5.4]	幅 3.3	厚さ 0.6~0.8	一部欠損	[86.1]					橙	Ⅱ区上層遺構面 上 C-9 土下層(角錐)
図22-81	銅製品	鏡 元祐通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 上 C-9 中国北宋代 1086年
図22-82	陶器	尾瀬瓶 山茶碗小皿	8.5	6.7	2.0	2/3						灰	Ⅱ区鉄匠坑内
図22-83	在胎土器	ロクロ口かわらけ・小	(7.8)	6.3	1.6	1/2		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 近世土坑 白針
図22-84	在胎土器	ロクロ口かわらけ・大	(12.0)	8.0	3.4	2/3		○		○		橙	I区上層遺構面 建物1 白針
図22-85	在胎土器	ロクロ口かわらけ・大	12.7	(8.2)	3.5	1/2		○		○		黄橙	I区上層遺構面 建物1 白針
図22-86	在胎土器	ロクロ口かわらけ・大	13.5	8.0	3.6	4/5		○				橙	I区上層遺構面 建物1 白針
図22-87	船載磁器	高麗青磁 菓子	—	—	—	胴部小片						灰 透明	I区上層遺構面 建物1
図22-88	船載磁器	龍泉窯青磁 坏皿-1a型	(12.0)	(6.5)	4.4	1/4						灰青 不透青	I区上層遺構面 建物1
図22-89	陶器	瀬戸入子	—	4/5	[3.2]	底4/5						灰白	I区上層遺構面 建物1
図22-90	陶器	常滑壺	(23.7)	—	[9.6]	口~胴片						灰褐	I区上層遺構面 建物1 6号型
図22-91	瓦質土器	火鉢IVc型	—	—	[11.6]	口~底片						橙灰	I区上層遺構面 建物1
図22-92	在胎土器	かわらけ 転用内瓶	—	径 4.7	厚さ 1.1	ほぼ完形						暗赤褐	I区上層遺構面 建物1
図22-93	石製品	硯	長さ [6.0]	幅 7.6	厚さ 1.9	一部欠損	[86.5]					赤褐	I区上層遺構面 建物1 焼物
図22-94	石製品	磁石	長さ [6.5]	幅 [8.8]	厚さ [7.0]	一部欠損	[806]					灰白~明赤灰	I区上層遺構面 建物1 中庭(天幕)
図22-95	石製品	磁石	長さ [16.3]	幅 [7.9]	厚さ 4.7	一部欠損	[43.3]					灰白	I区上層遺構面 建物1 中庭(伊予)
図22-96	銅製品	鏡 開元通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国唐代 621年
図22-97	銅製品	鏡 皇宋通寶 (真書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1038年
図22-98	銅製品	鏡 元豐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1078年
図22-99	銅製品	鏡 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1086年
図22-100	在胎土器	ロクロ口かわらけ・小	8.0	5.9	1.8	3/5		○		○		黄橙	I区上層遺構面 建物1床面上 白針
図22-101	在胎土器	ロクロ口かわらけ・小	(8.5)	(6.7)	1.8	1/2		○		○		黄灰	I区上層遺構面 建物1床面上 口針
図22-102	在胎土器	ロクロ口かわらけ・大	(12.6)	(8.8)	3.0	1/2				○		灰黄	I区上層遺構面 建物1床面上 白針
図22-103	土製品	管状土罐	長さ [4.7]	径 1.3	孔径 0.5	一部欠損	[5.6]					橙	I区上層遺構面 建物1床面上

() = 復元値 [] = 現存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 行 行状	外底面正値 板状 3/3状	色別	出土遺構・ 出土ほかの特徴
			口径	底径	器高						
図24 104	石製品	砥石	長さ [8.0]	幅 4.4	厚さ 0.7		部欠損	[34.4]		緑灰	I区上層遺構面 遺物1床面上 仕上付石(特選)
図24 105	石製品	双六駒	—	径 2.1	厚さ 0.2		ほぼ完形	2		緑灰状	I区上層遺構面 遺物1床面上
図24 106	銅製品	鍍 富近造寶	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1		完形	3		—	I区上層遺構面 遺物1床面上 中国隋宋代 1208年
図24 107	銅製品	鍍 皇口元寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1		完形	3		—	I区上層遺構面 遺物1床面上
図25 108	在土土器	コクロ かわらけ・小	(10.2)	(4.0)	1.8	1/2		○	○	緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 109	在土土器	コクロ かわらけ・小	(5.8)	(3.7)	2.0	2/5		○	○	緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 110	在土土器	コクロ かわらけ・小	(5.8)	(3.6)	1.8	1/3		○	○	緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 111	在土土器	コクロ かわらけ・小	6.3	3.9	2.0	ほぼ完形	37.1		○	緑	I区上層遺構面 井戸1 白針 二次変成か
図25 112	在土土器	コクロ かわらけ・小	(5.8)	4.7	1.8	1/3		○		淡緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 113	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.0)	(4.2)	2.4	1/2		○	○	淡緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 114	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.7)	4.8	2.0	1/2		○	○	緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 115	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.8)	4.8	2.2	2/3		○	○	黄緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 116	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.6)	4.3	2.4	4/5		○	○	淡緑	I区上層遺構面 井戸1 白針 □縁部一部欠損
図25 117	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	4.9	2.6	ほぼ完形	67.2	○	○	緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 118	在土土器	コクロ かわらけ・小	(8.7)	6.6	2.4	1/3		○	○	黄緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 119	在土土器	コクロ かわらけ・小	(10.4)	(6.4)	2.4	1/4		○	○	淡緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 120	在土土器	コクロ かわらけ・中	(8.6)	6.2	3.2	1/4		○	○	緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 121	在土土器	コクロ かわらけ・大	(11.0)	(7.6)	3.6	1/3		○	○	黄緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 122	在土土器	コクロ かわらけ・大	(11.4)	(7.4)	3.3	1/4		○	○	淡緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 123	在土土器	コクロ かわらけ・大	(12.8)	(10.0)	2.9	1/4		○	○	淡緑	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 124	粘機陶器	新羅系 花盆か	—	—	—	—	体片			褐～青灰	I区上層遺構面 井戸1
図25 125	陶器	瀬戸 小天目	(11.7)	5.0	3.4	□～底2/3				暗赤褐	I区上層遺構面 井戸1 後土器か
図25 126	陶器	瀬戸 碗	—	(4.4)	[2.7]	底片				黒褐	I区上層遺構面 井戸1
図25 127	陶器	瀬戸 緑釉小皿	—	—	[2.4]	口小片				灰緑	I区上層遺構面 井戸1
図25 128	陶器	瀬戸 緑釉小皿	—	—	[2.3]	口小片				灰緑	I区上層遺構面 井戸1
図25 129	陶器	瀬戸 御皿	(16.6)	(8.0)	4.4	1/4				淡緑～淡黄	I区上層遺構面 井戸1 平形前半か
図25 130	陶器	瀬戸 御皿	(11.6)	(6.0)	2.6	□～底1/4				灰緑	I区上層遺構面 井戸1 平形前半か
図25 131	陶器	瀬戸 底御井皿	—	8.8	[3.0]	底2/3				灰	I区上層遺構面 井戸1
図25 132	陶器	常滑 広口壺	(14.8)	—	[6.0]	口1/3				黒褐	I区上層遺構面 井戸1 6型式
図25 133	陶器	常滑 壺	—	—	[7.2]	口小片				褐	I区上層遺構面 井戸1 10型式
図25 134	陶器	常滑 壺	—	—	—	体片				灰	I区上層遺構面 井戸1
図25 135	陶器	常滑 壺	—	—	—	体片				茶褐	I区上層遺構面 井戸1
図25 136	陶器	常滑 壺	—	—	—	体片				赤褐	I区上層遺構面 井戸1
図25 137	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ型	—	—	[5.7]	口小片				赤褐	I区上層遺構面 井戸1 8型式
図25 138	陶器	常滑 瓶用研磨具	長さ 12.0	幅 5.5	厚さ 1.5	磨削部片	130.5			褐	I区上層遺構面 井戸1

() = 復元値 [] = 現存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕	色類	出土遺構・跡土ほかの特徴	
			口径	底径	器高			打	押				
図25 139	石製品	磁	長さ [7.0]	幅 6.0	厚さ 1.3	一部欠損	[69.4]				黒褐色	I区上層遺構面 井戸1 燻硝室	
図25 140	石製品	磁 不明板用品	長さ [2.4]	幅 [2.8]	厚さ 1.8	不明	[22.8]				暗土紫	I区上層遺構面 井戸1 赤銅・雲金石	
図26 141	石製品	磁石	長さ [16.3]	幅 [7.9]	厚さ 4.7	一部欠損	[640]				黒褐色~灰	I区上層遺構面 井戸1 灰底(天草)	
図26 142	石製品	磁石	長さ [10.3]	幅 6.5	厚さ 5.6	一部欠損	[665]				黒褐色~灰	I区上層遺構面 井戸1 灰底(天草)	
図26 143	石製品	磁石	長さ [11.0]	幅 6.4	厚さ [6.6]	一部欠損	[540]				灰	I区上層遺構面 井戸1 灰底(伊予)	
図26 144	石製品	磁石	長さ [8.6]	幅 [4.8]	厚さ 3.5	一部欠損	[266]				灰	I区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)	
図26 145	石製品	磁石	長さ [12.6]	幅 5.1	厚さ 3.5	一部欠損	[68.4]				灰	I区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)	
図26 146	石製品	磁石	長さ [3.6]	幅 4.2	厚さ 1.1	一部欠損	[22.3]				灰白	I区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)	
図26 147	石製品	磁石	長さ [7.6]	幅 1.7	厚さ 1.8	一部欠損	[47.5]				灰緑	I区上層遺構面 井戸1 仕上付底(上野)	
図26 148	石製品	磁石	長さ [4.0]	幅 3.5	厚さ 1.2	一部欠損	[34.2]				灰緑	I区上層遺構面 井戸1 仕上付底(湯沢?)	
図26 149	石製品	加工石	長さ [4.0]	幅 [4.7]	厚さ 2.2	一部欠損	[70.6]				黒褐色~灰	I区上層遺構面 井戸1	
図26 150	骨角製品	検?	長さ 2.2	長さ 1.1	長さ 1.0	完形	3.1					I区上層遺構面 井戸1 骨角器	
図26 151	貝製品	漆パレット	長さ 7.6	長さ [7.5]	長さ 0.6	一部欠損						I区上層遺構面 井戸1 ハマダ?	
図26 152	銅製品	鍍 元巻通寶 (鎌倉)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	2				—	I区上層遺構面 井戸1 中国北宋代 1078年	
図26 153	銅製品	鍍 元口元寶	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	2/3	1				—	I区上層遺構面 井戸1	
図26 154	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.3	6.3	2.3	ほぼ完形	54			○	灰黄	I区上層遺構面 井戸1敷下層 白針 口唇部欠付者	
図26 155	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.8	4.1	2.2	ほぼ完形	53		○	○	赤橙	I区上層遺構面 井戸1敷下層 白針 口唇部欠付者	
図26 156	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.6	1.9	ほぼ完形	55		○	○	黄灰	I区上層遺構面 井戸1敷下層 白針	
図27 157	陶器	常滑 壺	(48.8)	21.6	77.0	口2/3~ 底完存						赤褐色	I区上層遺構面 湯久保遺構 7型式カ
図27 158	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.9	1.6	2/3		○		○	灰黄	II区上層遺構面 湯久保遺構 白針	
図27 159	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.6	1.9	3/4		○		○	灰黄	II区上層遺構面 湯久保遺構 白針	
図27 160	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.0	1.9	ほぼ完形	65.2	○		○	灰黄	II区上層遺構面 湯久保遺構 白針	
図27 162	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(7.6)	(5.2)	1.8	1/2		○			黄橙	II区上層遺構面 湯久保遺構 白針	
図27 162	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.2	8.0	3.4	3/4		○		○	黄橙	II区上層遺構面 湯久保遺構 白針	
図27 163	陶器	ロクロ かわらけ・大	12.5	6.8	3.6	4/5		○			○	橙	II区上層遺構面 湯久保遺構 白針
図27 164	陶器	常滑 壺	—	—	[8.3]	口小片						赤褐色	II区上層遺構面 湯久保遺構
図27 165	陶器	備前 すり鉢	—	—	[8.0]	口~胴片						赤褐色	II区上層遺構面 湯久保遺構 166と同一器体カ
図27 166	石製品	備前 すり鉢	—	—	[6.6]	底~胴片						赤褐色	II区上層遺構面 湯久保遺構 165と同一器体カ
図27 167	石製品	磁石	長さ [5.5]	幅 [3.8]	厚さ 1.1	ほぼ完形	[31.6]				淡黄灰	II区上層遺構面 湯久保遺構 仕上付底(湯澤)	
図27 168	石製品	磁石	長さ [4.3]	幅 3.3	厚さ 0.9	一部欠損	[28.4]				淡黄灰	II区上層遺構面 湯久保遺構 仕上付底(湯澤)	
図28 169	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.5	1.5	ほぼ完形	50.6	○		○	淡橙	II区上層遺構面 壺穴状遺構1 白針	
図28 170	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.8)	1.7	1/2		○		○	淡橙	II区上層遺構面 壺穴状遺構1 白針	
図28 171	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(5.6)	2.0	1/3		○		○	淡橙	II区上層遺構面 壺穴状遺構1 白針	
図28 172	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.6	2.0	3/4		○		○	黄灰	II区上層遺構面 壺穴状遺構1 白針	
図28 173	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	2.3	1/2		○		○	橙	II区上層遺構面 壺穴状遺構1 白針	

() = 復元値 [] = 測存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			測存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・出土層の特徴
			口径	底径	器高			打	押	板状	凹凸		
第28-174	在土土器	コクロかわらけ・小	7.6	5.0	2.1	4/5		○	○	○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針
第28-175	在土土器	コクロかわらけ・小	7.0	4.1	2.2	3/5		○	○	○		橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-176	在土土器	コクロかわらけ・小	7.4	4.0	2.4	2/3		○	○	○		橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-177	在土土器	コクロかわらけ・小	7.2	4.4	2.4	3/4		○	○	○		橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-178	在土土器	コクロかわらけ・小	7.6	5.2	2.2	ほぼ完形	52.1					黄橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-179	在土土器	コクロかわらけ・小	7.5	5.1	2.1	完形	54.8					淡橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-180	在土土器	コクロかわらけ・小	7.8	5.0	2.0	4/5		○	○	○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針
第28-181	在土土器	コクロかわらけ・小	7.1	4.3	1.9	ほぼ完形	41.1					黄橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-182	在土土器	コクロかわらけ・大	(13.1)	(7.7)	3.8	1/3		○	○	○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針
第28-183	煎餅甕	手づくねかわらけ・小	8.0	—	2.0	1/2						淡橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-184	煎餅甕	白磁合子蓋	最大径(7.6)	—	[2.1]	1/2弱						水透明	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1白針 □縁部盛付着
第28-185	陶器	瀬戸花瓶1A型	—	—	[1.7]	嵩小片						水透明	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1平1断面
第28-186	陶器	瀬戸花瓶1B型	3.7	4.5	10.4	ほぼ完形						褐	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1平形様式か
第28-187	陶器	常滑片口鉢1型	—	—	[7.6]	口～体片						赤褐	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-188	陶器	常滑転用研磨具	長さ11.5	幅9.3	厚さ0.9	不明						褐	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-189	陶器	常滑転用研磨具	長さ6.8	幅4.4	厚さ0.9	不明						灰	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-190	陶器	常滑転用研磨具	長さ3.2	幅3.7	厚さ1.2	不明						灰褐～褐	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-191	陶器	常滑転用研磨具	長さ4.2	幅4.2	厚さ1.3	不明						茶褐	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-192	瓦葺土器	香炉	(9.1)	(8.0)	6.5	2/3						暗灰～黒灰	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-193	石製品	砥石	長さ[7.5]	幅[5.6]	厚さ5.5	一部欠損	(28.9)					灰白	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1宇砥(天竺)
第28-194	石製品	砥石	長さ[7.0]	幅3.1	厚さ0.9	一部欠損	(72.7)					淡黄	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1任上仔砥(鳥磯)
第28-195	石製品	砥石	長さ[4.5]	幅3.0	厚さ2.5	一部欠損	(76.5)					黒褐	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1宇砥(天竺)
第28-196	石製品	砥石	長さ[4.6]	幅3.3	厚さ0.5	部欠損	(13.1)					灰白	Ⅱ区上層遺構面 任上仔砥(鳥磯)
第28-197	石製品	砥石	長さ[5.5]	幅3.4	厚さ1.0	一部欠損	(31.4)					灰白	Ⅱ区上層遺構面 任上仔砥(鳥磯)
第28-198	石製品	砥石	長さ[4.9]	幅3.6	厚さ1.2	一部欠損	(37.1)					灰黄	Ⅱ区上層遺構面 任上仔砥(鳥磯)
第28-199	鉄製品	砥石	長さ[3.5]	幅[2.5]	厚さ0.7	部欠損	(11.6)					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1任上仔砥(鳥磯)
第28-200	鉄製品	董	9.8	—	3.4	ほぼ完形	(68.1)					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-201	鉄製品	棒状製品	長さ[12.4]	幅0.6	厚さ0.6	一部欠損	(9.9)					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1煎餅甕の軸棒か
第28-202	ガラス片	器種不明	—	—	—	小片	(2.9)					青	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1
第28-203	銅製品	鏡 威平元寶(真吾)	直径2.5	孔径0.6	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1中国北宋代 998年
第28-204	銅製品	鏡 素祐元寶(真吾)	直径2.5	孔径0.7	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1中国北宋代 1034年
第28-205	銅製品	鏡 息米造寶(蓋書)	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1中国北宋代 1038年
第28-206	銅製品	鏡 息米造寶(蓋書)	直径2.4	孔径0.6	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1中国北宋代 1038年
第28-207	銅製品	鏡 元益造寶	直径2.5	孔径0.7	厚さ0.2	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1中国北宋代 1078年
第28-208	銅製品	鏡 元祐造寶(行書)	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.2	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構1中国北宋代 1086年

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面庄産		色調	出土遺構・跡土深さの特微
			口径	底径	器高			行	特状	板状	ム/凸		
図28 209	銅製品	鏡 高定通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 中国唐宋代 1208年
図29 210	在土土器	口クロ かわらけ・小	(7.3)	4.4	1.6	1/3		○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構4 (灰土上) 白針
図29 211	在土土器	口クロ かわらけ・小	(7.8)	4.8	1.8	1/4~ 底完存		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 (灰土上) 白針
図29 212	在土土器	口クロ かわらけ・小	(7.8)	(5.0)	1.8	1/3		○		○		灰橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構3 (灰土上) 白針
図29 213	在土土器	口クロ かわらけ・小	(7.2)	(4.5)	2.0	1/3		○		○		灰橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 白針
図29 214	陶器	常滑 壺	—	—	[5.1]	口小片						桃	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 6形式
図29 215	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ型	—	—	[8.0]	口~欠片						灰褐色	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上)
図29 216	陶器	東郷英昭志 片口鉢	—	—	[2.6]	口小片						灰	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上)
図29 217	石製品	硯	長さ [6.4]	幅 [3.6]	厚さ 2.8	一部欠損	100.8					灰	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上)
図29 218	石製品	砥石	長さ [3.4]	幅 3.3	厚さ 2.4	一部欠損	(51.1)					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 平砥(橋南)
図29 219	石製品	砥石	長さ [9.0]	幅 5.3	厚さ 4.4	一部欠損	(47.6)					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 平砥(伊予)
図29 220	銅製品	鏡 泉字通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 中国北宋代 1039年
図29 221	銅製品	鏡 嘉祐元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 中国北宋代 1056年
図29 222	銅製品	鏡 熙寧元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 中国北宋代 1059年
図29 223	銅製品	鏡 元符通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構1 (灰土上) 中国北宋代 1099年
図30 224	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.4	3.6	2.3	1/2						橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針 内外面砥付
図30 225	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.2	4.6	2.2	2/3						橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針 口縁部砥付
図30 226	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.4	4.1	2.4	ほぼ完形	45	○				橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針 口縁部砥付
図30 227	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.1	4.6	2.0	ほぼ完形	37	○				桃	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 228	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.8	4.9	2.3	1/2		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 229	在土土器	口クロ かわらけ・小	(7.0)	5.0	2.0	1/2		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 230	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.9	5.2	1.7	2/3		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 231	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.8	4.5	2.2	2/3		○				黄灰	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 232	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.2	2/3		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 233	在土土器	口クロ かわらけ・小	7.5	4.1	2.2	ほぼ完形	51	○				橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 234	在土土器	口クロ かわらけ・中	(9.5)	(5.5)	3.0	1/4		○				灰橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 235	在土土器	口クロ かわらけ・大	(12.4)	7.6	3.3	1/2		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 236	在土土器	口クロ かわらけ・大	(13.2)	7.6	3.6	3/4		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 237	鉛板磁器	龍泉型系青磁 算木文香炉	(13.1)	—	[3.5]	口小片						緑 半透明	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 238	鉛板磁器	龍泉型系青磁 香炉	—	—	[3.6]	口小片						緑	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 白針
図30 239	陶器	瀬戸 折輪深皿	(22.6)	—	[4.7]	口1/4						桃灰黄	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 中期様式
図30 240	陶器	瀬戸 折輪深皿	(21.6)	—	[5.6]	口1/6						灰白	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 中期様式
図30 241	陶器	瀬戸 折輪深皿	(21.8)	—	[5.6]	口1/4						桃灰緑	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 中期様式
図30 242	陶器	瀬戸 煎豆	(14.0)	—	[3.0]	口小片						桃灰緑	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 中期様式
図30 243	陶器	瀬戸 煎豆	(15.0)	—	[5.3]	口1/4						桃灰緑	Ⅱ区上層遺構面 彫穴状遺構2 中期様式

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面形状		外底面形状	色調	出土遺構・ 出土層からの特徴
			口径	底径	器高			打	押			
3030 244	陶器	宮清 壺	—	—	[6.6]	口小片					茶褐色	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 6a型式
3030 245	陶器	宮清 壺	—	—	[5.6]	口小片					暗褐色	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 6a型式
3030 246	陶器	宮清 片口鉢Ⅱ型	—	—	[7.0]	口小片					暗赤褐色	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 7~8型式
3030 247	陶器	宮清 片口鉢Ⅱ型	—	—	[3.4]	口小片					暗赤褐色	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 7~8型式
3030 248	陶器	東播磨系須恵 片口鉢	—	—	[4.8]	口小片					灰	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2
3030 249	陶器	東播磨系須恵 片口鉢	—	—	[3.3]	口小片					灰	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2
3030 250	土製品	かわらけ 転用門轆	長さ [2.4]	幅 2.9	厚さ 0.7	一部欠損	[5.6]				橙	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
3030 251	在土土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	8.6	3.3	1/3		○	○		橙	Ⅱ区上層遺構面 井戸状遺構 白針
3030 252	銅製品	鏡 短形元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3				—	Ⅱ区上層遺構面 井戸状遺構 中国北宋代 1094年
3031 253	土製品	笠状土師	長さ 7.1	幅 1.2	孔径 0.6	一部欠損	[9.1]				暗褐色	I区上層遺構面 土坑1
3031 254	石製品	滑石鏡片 転用スタンプ	長さ 4.6	幅 4.9	厚さ 2.8	ほぼ完形	[76.4]				—	I区上層遺構面 土坑2
3031 255	石製品	滑石鏡片 転用スタンプ	長さ [1.9]	幅 3.4	厚さ 0.9	小片					—	I区上層遺構面 土坑2
3031 256	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	1.6	完形	43.6	○	○		明黄褐色	I区上層遺構面 土坑3 白針 口唇部残存
3031 257	銅製品	鏡 嘉定通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4				—	I区上層遺構面 土坑5 中国北宋代 1086年
3031 258	陶器	宮清 壺	(36.4)	—	[8.4]	口1/5~ 体片					暗赤褐色	I区上層遺構面 土坑8 8~9型式
3031 259	瓦質土器	火鉢ⅣA型	—	—	[5.5]	口小片					桃褐色	I区上層遺構面 土坑8
3031 260	骨製品	筆軸	長さ 3.9	直径 1.2	孔径 0.6	3/4	[2.8]				黒褐色	I区上層遺構面 土坑8
3031 261	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	2.2	ほぼ完形	39.4	○	○		橙	I区上層遺構面 土坑11 白針
3031 262	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.3	1.6	4/8		○	○		明黄褐色	I区上層遺構面 土坑11 白針
3031 263	在土土器	ロクロ かわらけ・大	(11.6)	6.9	3.3	1/5		○	○		明黄褐色	I区上層遺構面 土坑11 白針
3031 264	在土土器	平づくね かわらけ・大	13.4	—	3.0	3/4		○			橙	I区上層遺構面 土坑14 白針
3031 265	陶器	東播磨系須恵 壺	—	—	[7.1]	口小片					黒褐色	I区上層遺構面 土坑18
3031 266	在土土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	(4.7)	2.2	1/3		○	○		黄褐色	I区上層遺構面 土坑24 白針 口唇部打ち欠き 盛付着
3031 267	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.6	2.1	ほぼ完形	46.6	○	○		淡褐色	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針
3031 268	在土土器	ロクロ かわらけ・中	10.7	6.6	3.3	完形	150	○	○		黄褐色	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針
3031 269	在土土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.4	3.3	2/3		○	○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針
3031 270	在土土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	8.3	3.8	完形	201	○	○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針 内外面に盛付着
3031 271	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.3	2.3	完形	48.5	○	○		橙	I区上層遺構面 土坑33 白針 口唇部打ち欠き 口縁~底部に盛付着
3031 272	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	2.2	3/4		○	○		黄褐色	I区上層遺構面 土坑33 白針
3031 273	在土土器	ロクロ かわらけ・大	13.2	7.2	3.7	1/2		○	○		橙	I区上層遺構面 土坑34 白針
3032 274	陶器	備前 すり鉢	(29.0)	—	[11.8]	口1/5~ 体1/4					暗赤褐色	Ⅱ区上層遺構面 土坑35
3032 275	陶器	備前 すり鉢	—	—	—	胴部小片					暗褐色	Ⅱ区上層遺構面 土坑35
3032 276	瓦質土器	香炉?	最大径 (9.4)	(7.0)	[4.3]	1/3					灰~黒	I区上層遺構面 土坑35 外底面の一部残存
3033 277	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.8	2.3	3/4		○	○		橙	I区上層遺構面 土坑36 白針

() = 復元値 [] = 現存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 打・押5状	外底面庄度 板状 1/3状	色調	出土遺構・ 跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高						
図33 278	在産土器	ロクロ かわらけ・大	13.1	8.1	3.8	完形	203.7	○	○	黄橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 279	在産土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.5	3.7	3/4		○	○	黄橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 280	在産土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	8.5	3.5	4/5		○	○	明橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 281	在産土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	7.2	3.2	ほぼ完形	176.2	○	○	黄橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 282	陶器	備前 すり鉢	(26.6)	14.0	13.3	口1/8～ 底1/2部				橙	I区上層遺構面 土坑36
図33 283	陶器	備前 すり鉢	(26.8)	(13.2)	12.0	1/4				橙	I区上層遺構面 土坑36
図33 284	瓦質土器	香炉	(10.3)	(8.6)	4.6	1/3				淡橙	I区上層遺構面 土坑36
図33 285	瓦質土器	火鉢IV類	—	—	[11.8]	口～体1/3				橙灰白	I区上層遺構面 土坑36
図33 286	石製品	砥石	長さ [6.7]	幅 6.0	厚さ 6.8	一部欠損	[365]			橙灰	I区上層遺構面 土坑36 中庭(大塚)
図33 287	鉄製品	釧り金具	—	—	厚さ 6.2	ほぼ完形	[21.3]			—	I区上層遺構面 土坑36
図33 288	銅製品	鏡 西漢元寶 (行書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	I区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 995年
図33 289	銅製品	鏡 南唐通寶 (真書)	直径 2.8	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	I区上層遺構面 土坑36 中国南宋代 1208年
図33 290	銅製品	鏡 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3			—	I区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 1038年
図33 291	銅製品	鏡 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3			—	I区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 1038年
図34 292	在産土器	ロクロ かわらけ・小	(6.0)	(4.3)	1.5	1/3		○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 293	在産土器	ロクロ かわらけ・小	5.8	4.0	2.0	完形	34.9	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 294	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.7	4.2	1.9	ほぼ完形	31.2	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 295	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.0	4.9	2.0	完形	35.3	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 296	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	5.1	1.8	完形	36.3	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 297	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	5.4	2.0	完形	39.4	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 298	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.2	5.5	2.1	完形	45.7	○	○	黄橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 299	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.4	4.9	1.9	完形	38.8	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 300	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.3	4.8	2.3	完形	46.3	○	○	淡橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 301	在産土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.6	2.3	ほぼ完形	39.6	○	○	橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 302	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.5	5.5	2.3	完形	44.6	○	○	橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 303	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.9	4.5	2.2	完形	43.3	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 304	在産土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	1.7	ほぼ完形	48.2	○	○	黄灰	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 305	在産土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.2	ほぼ完形	65.4	○	○	黄橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 306	在産土器	ロクロ かわらけ・小	6.7	5.3	2.0	完形	62.3	○	○	橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 307	在産土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.5	2.6	完形	61.5	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 308	在産土器	ロクロ かわらけ・中	9.1	6.6	3.0	2/3		○	○	橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 309	在産土器	ロクロ かわらけ・中	9.7	7.4	3.0	3/4		○	○	橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 310	在産土器	ロクロ かわらけ・中	(10.5)	6.7	3.3	1/4		○	○	淡橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 311	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.0	6.7	2.9	完形	104.6	○	○	橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 312	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.0	7.3	3.0	完形	107	○	○	橙	II区上層遺構面 土坑39 白針

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 打ノ 押ノ	外底面庄度 板状ノ 凹状ノ	色調	出土遺構・ 出土ほかの特徴
			口径	底径	器高						
図34 313	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.8	7.1	3.0	ほぼ完形	131.8	○	○	橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 314	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.2	6.9	2.8	2/3		○	○	橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 315	在産土器	ロクロ かわらけ・中	11.2	7.0	2.9	3/4		○	○	明橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 316	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.2	5.5	3.0	完形	108.6	○	○	橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 317	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.4	6.0	3.3	2/3		○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 318	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.2	7.1	2.8	ほぼ完形	102.5	○	○	橙	I区上層遺構面 土坑39
図34 319	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.0	3.1	完形	130.6	○	○	黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 320	在産土器	ロクロ かわらけ・中	10.8	6.9	3.2	完形	142	○	○	黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 321	在産土器	ロクロ かわらけ・大	(12.2)	(8.7)	3.2	2/3		○	○	淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 322	陶器	瀬戸 緑釉小皿	(11.2)	(5.0)	3.0	1/4				時緑	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 後Ⅱ～Ⅲ期か
図34 323	土製品	管状土埴	長さ 4.2	最大径 2.6	孔径 1.2	ほぼ完形	(18.1)			赤橙	I区上層遺構面 土坑39
図34 324	石製品	砥石	長さ (6.2)	幅 2.4	厚さ 2.0	一部欠損	(53.7)			灰白	I区上層遺構面 土坑39 中層(伊予)
図34 325	石製品	火打石	長さ 3.2	幅 2.1	厚さ 0.8	ほぼ完形	(8.3)			白色半透明	I区上層遺構面 土坑39
図34 326	骨製品	簀子	長さ 0.8	幅 0.8	厚さ 0.8	ほぼ完形	(0.6)			—	I区上層遺構面 土坑39 イカサマ(骨製貝のみ)
図34 327	銅製品	銭 嘉祐通寶 (行雲)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3			—	I区上層遺構面 土坑39 中国北宋代 1056年
図34 328	銅製品	銭 元祐通寶 (兼雲)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	I区上層遺構面 土坑39 中国北宋代 1078年
図34 329	在産土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.5	2.1	2/3		○	○	橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑42 白針 口縁部に煤付着
図34 330		天目茶碗	—	—	[5.9]	口～胴片				黄灰	I区上層遺構面 土坑43
図34 331	在産土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.2	1.7	4/5		○	○	黄灰	I区上層遺構面 土坑46 白針 口縁部打ち欠き 全体に黒変
図34 332	在産土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	5.0	1.7	2/3		○	○	黄橙	I区上層遺構面 土坑46 白針
図34 333	在産土器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	(3.9)	2.3	1/3		○	○	橙	I区上層遺構面 土坑46 白針
図34 334	在産土器	ロクロ かわらけ・大	12.5	7.9	3.3	4/5		○	○	黄灰	I区上層遺構面 土坑46 白針
図34 335	銅製品	銭 宋元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4			—	I区上層遺構面 土坑47
図34 336	陶器	瀬戸 天目茶碗A型	(11.0)	(4.7)	[5.9]	1/4				灰緑	I区上層遺構面 土坑49
図34 337	石製品	硯	長さ [5.6]	幅 [5.6]	厚さ 1.2	一部残存	(40.2)	○	○	灰褐	I区上層遺構面 土坑49
図34 338	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 4.4	厚さ 3.9	同層欠損	[219]			灰橙	I区上層遺構面 土坑49 中層(伊予)
図34 339	石製品	砥石	長さ [5.8]	幅 2.7	厚さ 0.6	同層欠損	(14.8)			灰黄	I区上層遺構面 土坑49 件上げ区(鳥居)
図35 340	在産土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(5.6)	1.7	1/3		○	○	黄橙	I区上層遺構面 土坑50 白針
図35 341	銅製品	銭 皇宋通寶 (兼雲)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.1			—	I区上層遺構面 土坑50 中国北宋代 1038年
図35 342	陶器	常滑 甕	(32.2)	—	[10.2]	口1/6				褐	I区上層遺構面 土坑50
図35 343	在産土器	ロクロ かわらけ・小	(7.5)	(5.4)	1.7	1/3		○	○	黄橙	I区上層遺構面 土坑53 白針
図35 344	在産土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(4.9)	2.3	1/3		○	○	黄灰	I区上層遺構面 土坑54 白針
図35 345	在産土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.2	完形	47.1	○		黄橙	I区上層遺構面 土坑55 白針
図35 346	銅製品	押笄	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4			—	I区上層遺構面 土坑57 上部「鬼」の文字刻印

() = 復元値 [] = 現存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 打 ¹ 押 ² 伏	外底面庄度 板 ³ / ⁴ 凹 ⁵	色調	出土遺構・ 跡ほかの特徴	
			口径	底径	器高							
図35 347	石製品	砥石	長さ [10.2]	幅 3.0	厚さ 2.6	完形	124.2				灰緑白	I区上層遺構面 土坑57 中砦(上野)
図35 348	銅製品	鏡 元景造寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4				—	I区上層遺構面 土坑60 中国北宋代 1078年
図35 349	銅製品	鏡 康成元寶 (行書)	直径 2.6	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3				—	I区上層遺構面 土坑60 中国北宋代 1094年
図35 350	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.2	2.1	3/4		○	○		黄緑	II区上層遺構面 土坑62 白針 口唇部 部露付着
図35 351	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.8	2.3	ほぼ完形	47.9	○	○		黄緑	II区上層遺構面 土坑62 白針 露付着
図35 352	在土土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.1	3.1	完形	110.7	○	○		緑	II区上層遺構面 土坑62 白針
図35 353	銅製品	鏡 元祐造寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3				—	I区上層遺構面 土坑62 中国北宋代 1086年
図35 354	銅製品	鏡 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I区上層遺構面 土坑64 中国北宋代 1094年
図35 355	銅製品	鏡 治平元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I区上層遺構面 土坑65 中国北宋代 1094年
図35 356	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.7	2.2	完形	47.9	○	○		黄緑	I区上層遺構面 土坑67 白針
図35 357	在土土器	ロクロ かわらけ・大	(11.8)	(7.2)	3.5	1/3		○	○		緑	I区上層遺構面 土坑67 白針
図35 358	鉛筆線器	龍泉系青磁 転用研磨具	長さ [3.9]	—	[2.7]	断片	37.8				灰緑 半透明	I区上層遺構面 土坑67 横I or II型
図35 359	石製品	滑石鏡片 転用風石か	長さ 10.3	幅 7.7	厚さ 1.4	不明	[99.2]				—	I区上層遺構面 土坑67
図35 360	石製品	砥石	長さ [10.7]	幅 3.7	厚さ 3.6	ほぼ完形	[94.1]				黄白	I区上層遺構面 土坑67 中砦(伊予)
図35 361	石製品	砥石	長さ 6.4	幅 2.1	厚さ 0.7	ほぼ完形	[16.3]				灰黄	I区上層遺構面 土坑67 仕上げ砥(角砥)
図35 362	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.9	1.8	3/4		○	○		緑	II区上層遺構面 土坑68 白針
図35 363	銅製品	鏡 瀧口造寶 (行書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4				—	I区上層遺構面 土坑72
図35 364	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.3	5.9	1.6	2/3		○	○		黄灰	II区上層遺構面 土坑73 白針
図36 365	銅製品	鏡 元景造寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I区上層遺構面 ビット2 中国北宋代 1078年
図36 366	在土土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(4.0)	2.3	1/3		○	○		黄灰	I区上層遺構面 ビット8 白針
図36 367	在土土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.5)	2.0	1/3		○	○		黄灰	I区上層遺構面 ビット8 白針
図36 368	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.3	1.6	ほぼ完形	51.8	○	○		緑	I区上層遺構面 ビット10 白針
図36 369	鉛筆線器	同泉系青磁 且I型	—	(4.6)	[1.1]	体~底 1/2弱					オリーブ灰 透明	I区上層遺構面 ビット14
図36 370	銅製品	鏡 皇宋造寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2				—	I区上層遺構面 ビット17 中国北宋代 1038年
図36 371	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.9	6.0	1.9	ほぼ完形	66.1	○	○		黄灰	I区上層遺構面 ビット19 白針
図36 372	在土土器	ロクロ かわらけ・大	12.9	10.1	2.4	2/3		○	○		暗黄灰	I区上層遺構面 ビット19 白針
図36 373	在土土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	9.1	2.6	3/4		○	○		暗黄灰	I区上層遺構面 ビット19 白針
図36 374	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.5	1.8	3/4		○	○		黄緑	II区上層遺構面 ビット19 白針
図36 375	陶器	瀬戸 器台輪	(9.9)	(4.7)	4.1	口1/8~ 底1/2弱					灰	I区上層遺構面 ビット21 口縁~体部は天目系紋形
図36 376	陶器	瀬戸 柄付口	(14.2)	—	[6.1]	口1/4 ~底片					淡緑	II区上層遺構面 ビット24
図36 377	陶器	瀬戸 瓶子	(4.0)	—	[5.0]	注口~ 肩部片					淡緑	II区上層遺構面 ビット25 I or II型 前期様式
図36 378	石製品	砥	長さ [12.2]	幅 [7.4]	厚さ [0.7]	形残存	[114]				灰黒	I区上層遺構面 ビット34
図36 379	石製品	砥石	長さ [6.4]	幅 2.6	厚さ 1.6	一部欠損	[43.7]				黄白	I区上層遺構面 ビット34
図36 380	石製品	滑石鏡片 転用スタンプ	長さ 5.9	幅 3.5	厚さ 1.1	ほぼ完形	[47]				—	I区上層遺構面 ビット35
図36 381	在土土器	ロクロ かわらけ・壺小	(4.1)	(3.9)	0.6	2/5					淡緑	II区上層遺構面 ビット38 白針

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内面調整		外面調整		色調	出土遺構・跡ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押	板状	ムラ		
図36 382	石製品	砥石	長さ [8.1]	幅 2.9	厚さ 2.2	一部欠損						淡赤灰白	I区上層遺構面 ビット41 中砦(天竺)
図36 383	銅製品	鏡 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 ビット41 中国北宋代 1086年
図36 384	陶器	常滑 片口鉢II類	(27.6)	(16.0)	11.0	1/4						黄緑～灰褐	I区上層遺構面 ビット42 6b形式
図36 385	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(5.3)	2.5	1/2		○		○		黄緑	I区上層遺構面 ビット49 白針 外底底付着
図37 386	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	3.7	2.7	0.8	5/6				○		黄緑	II区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 387	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.9	2.1	ほぼ完形	33.6	○		○		赤橙	II区上層遺構面 B-8～10 白針 口唇底付着
図37 388	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.8	1.8	3/4		○		○		黄灰	II区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 389	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.4	3.0	ほぼ完形	123.7	○				橙	II区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 390	陶器	瀬戸 折腰深皿	—	—	[7.8]	口～胴片						淡黄灰	II区上層遺構面 B-8～10 中期様式
図37 391	陶器	瀬戸 煎皿	—	—	[3.4]	口～底片						淡黄灰	II区上層遺構面 B-8～10
図37 392	石製品	滑石鏡片 組用スタンプ	長さ [3.9]	幅 [3.7]	厚さ 2.1	体部片	32.3					黒～黄灰	II区上層遺構面 B-8～10
図37 393	石製品	滑石鏡片 組用砥石か	長さ [10.3]	幅 9.0	厚さ 3.5	体部片	40.5					黄灰	II区上層遺構面 B-8～10
図37 394	石製品	砥石	長さ [8.3]	幅 3.0	厚さ 1.5	一部欠損	[56.6]					緑味灰	II区上層遺構面 B-8～10 仕上付砦(鳥籠)
図37 395	石製品	砥石	長さ [8.0]	幅 3.9	厚さ 1.9	一部欠損	[77.8]					黄灰	II区上層遺構面 B-8～10 仕上付砦
図37 396	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 3.6	厚さ 1.3	一部欠損	[45]					灰白	II区上層遺構面 B-8～10 仕上付砦(上野・沼田)
図37 397	鉄製品	釘	長さ 6.0	幅 0.5	厚さ 0.4	完形	3.5					—	II区上層遺構面 B-8～10
図37 398	銅製品	鏡 崇寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1086年
図37 399	銅製品	鏡 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1078年
図37 400	銅製品	鏡 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1078年
図37 401	銅製品	鏡 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	8					—	II区上層遺構面 B-8～10 2枚重ね 中国北宋代 1086年
図37 402	銅製品	鏡 政和通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1111年
図37 403	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.7	1.9	2/3		○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 404	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.9	2.0	ほぼ完形	45.1	○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 405	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.6	5.4	2.3	完形	65.6	○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 406	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.2)	(4.4)	2.3	1/3		○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 407	陶器	瀬戸 水注	5.2	—	[5.9]	口頸部片						灰白～灰	II区上層遺構面 C-8～10 形式不明
図37 408	陶器	瀬戸 天目茶碗	—	—	[3.7]	口小片						暗灰緑	II区上層遺構面 C-8～10
図37 409	陶器	東播磨須恵器 甕	—	—	[5.7]	口小片						橙	II区上層遺構面 C-8～10
図37 410	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 4.5	厚さ 2.7	一部欠損	[109.2]					黄灰	II区上層遺構面 C-8～10 中砦(天竺)
図37 411	石製品	砥石	長さ [5.7]	幅 3.9	厚さ 3.2	一部欠損	[103.9]					黄灰	II区上層遺構面 C-8～10 中砦(天竺)
図37 412	石製品	砥石	長さ [6.7]	幅 4.4	厚さ 4.5	一部欠損	[102]					灰白	II区上層遺構面 C-8～10 中砦(伊予)
図37 413	石製品	砥石	長さ 8.0	幅 3.9	厚さ 1.4	ほぼ完形	[74]					黄灰	II区上層遺構面 C-8～10 仕上付砦(鳥籠)
図37 414	石製品	砥石	長さ [7.8]	幅 3.4	厚さ 1.2	一部欠損	[48.7]					灰白	II区上層遺構面 C-8～10 仕上付砦
図37 415	石製品	砥石	長さ [4.7]	幅 3.2	厚さ 0.8	一部欠損	[25]					黄灰	II区上層遺構面 C-8～10 仕上付砦(鳥籠)
図37 416	石製品	砥石	長さ 3.5	幅 3.5	厚さ 2.0	ほぼ完形	[42.3]					灰白	II区上層遺構面 C-8～10 仕上付砦(出羽)

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面庄度		色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押し伏	板状	ムツ状		
図37 417	銅製品	鏡 天輪造寶 (真書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 C-8~10 中国北宋代 1017年
図37 418	銅製品	鏡 高巻造寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.7					—	Ⅱ区上層遺構面 C-8~10 中国南宋代 1201年
図38 419	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.0	ほぼ完形	40	○		○		黄褐色	Ⅱ区上層遺構面 B-C-7 白針 口縁→底部内面に遺付着
図38 420	在土土器	ロクロ かわらけ・大	(13.0)	(8.4)	3.0	1/3		○		○		明黄灰	Ⅱ区上層遺構面 B-C-7 白針
図38 421	銅製品	鏡 乳元造寶 (行書)	直径 2.1	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区上層遺構面 B-C-7 中国唐代 758年
図38 422	銅製品	鏡 祥符元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	郭欠損	3					—	Ⅱ区上層遺構面 B-C-7 中国北宋代 1009年
図38 423	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.3	1.7	完形	45.9	○		○		黄褐色	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10 白針
図38 424	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	1.9	完形	50.8	○		○		明黄灰	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10 白針 口縁部打ち欠き、縁付着
図38 425	銅製品	鏡 丕和造寶 (篆書)	直径 2.6	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10 中国北宋代 1054年
図38 426	銅製品	鏡 □□□寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	2/3	3					—	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10
図39 427	在土土器	ロクロ かわらけ・壺小	(6.8)	(4.8)	1.0	1/4		○				黄褐色	I区下層遺構面 壺穴埴物2 白針
図39 428	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.4	2.3	3/4		○		○		黄褐色	I区下層遺構面 壺穴埴物2 白針
図39 429	在土土器	ロクロ かわらけ・大	(12.8)	(8.1)	3.2	2/3		○		○		黄	I区下層遺構面 壺穴埴物2 白針
図39 430	在土土器	ロクロ かわらけ・大	12.6	8.0	3.3	3/4		○				黄褐色	I区下層遺構面 壺穴埴物2 白針
図39 431	舶載磁器	白磁 合子身	(4.2)	—	[1.8]	底片						黄灰緑	I区下層遺構面 壺穴埴物2
図39 432	陶器	瀬戸 花瓶I B型	5.5	—	[8.9]	口・腹部のみ						暗緑青	I区下層遺構面 壺穴埴物2 中形式か
図39 433	陶器	瀬戸 風韻	—	—	—	胴片						茶褐色	I区下層遺構面 壺穴埴物2 花瓶(中→大形)か
図39 434	石製品	砥石	長さ [7.8]	幅 [8.2]	厚さ [6.6]	一部欠損	[510]					暗灰	I区下層遺構面 壺穴埴物2 或感(大部)
図39 435	石製品	砥石	長さ [4.2]	幅 2.9	厚さ 2.4	一部欠損	[48.9]					黄黄白	I区下層遺構面 壺穴埴物2 中形(伊予)
図39 436	石製品	砥石	長さ [6.9]	幅 3.8	厚さ 0.6	一部欠損	[83.3]					黄黄灰	I区下層遺構面 壺穴埴物2 仕上げ感(鳥縄)
図39 437	石製品	砥石	長さ [7.2]	幅 4.0	厚さ 0.8	一部欠損	[33.9]					灰白	I区下層遺構面 壺穴埴物2 仕上げ感(鳥縄)
図39 438	石製品	砥石	長さ [7.1]	幅 3.5	厚さ 1.1	一部欠損	[48.3]					灰白	I区下層遺構面 壺穴埴物2 仕上げ感(鳥縄)
図39 439	骨製品	双六駒	—	直径 2.0	厚さ 0.6	完形	4.1					黒灰	I区下層遺構面 壺穴埴物2
図39 440	土師器	高台付埴	(12.9)	—	[1.9]	底1/8						赤褐色	I区下層遺構面 壺穴埴物2 在地面盤状埴・8cm高
図39 441	土師器	埴	—	—	[3.0]	口小片						黄褐色	I区下層遺構面 壺穴埴物2
図39 442	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.4	6.5	1.8	3/4		○		○		黄褐色	I区下層遺構面 壺穴埴物2 白針
図39 443	在土土器	ロクロ かわらけ・大	(11.9)	(7.0)	3.4	1/4		○				黄灰	I区下層遺構面 壺穴埴物2 白針
図39 444	石製品	砥石	長さ [7.1]	幅 3.7	厚さ 1.0	一部欠損	[83.3]					黄黄灰	I区下層遺構面 壺穴埴物2 仕上げ感(鳥縄)
図39 445	木製品	漆器筒	—	6.5	[2.3]	底部欠						黒漆地 朱文様	I区下層遺構面 壺穴埴物2
図39 446	木製品	漆器り 調音具部品	長さ 2.3	幅 [7.6]	厚さ 0.7	不明						黒漆地	I区下層遺構面 壺穴埴物2 膳などの彫形装飾か
図39 447	木製品	彫像?	長さ [3.9]	幅 1.9	厚さ 2.1	不明	[1.8]					—	I区下層遺構面 壺穴埴物2 表面彫像 仏像などの彫部か
図39 448	在土土器	小形壺	(9.0)	—	[3.2]	口1/4						灰黄	I区下層遺構面 壺穴埴物2 (裏込め)
図39 449	骨製品	双六駒	—	直径 1.9	厚さ 0.7	完形	2.3					黄白	I区下層遺構面 壺穴埴物2 (裏込め)
図39 480	銅製品	鏡 息末造寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 壺穴埴物2 (北信託街トレンチ) 中国北宋代 1038年

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面庄底	色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押し伏			
※39 451	銅製品	鏡 元豊通寶 (蓋蓋)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4				—	I 区下層遺構面 竪穴建物2 (北信託裏トレンチ) 中国北宋代 1078年
※39 452	銅製品	鏡 天口元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4				—	I 区下層遺構面 竪穴建物2 (北信託裏トレンチ)
※40 453	在土土器	クワロ かわらけ・犬	12.6	7.2	3.8	ほぼ完形	176.1	○		○	淡橙	I 区下層遺構面 竪穴建物3 白針 口縁部打ち欠き 内面採付蓋
※40 454	在土土器	クワロ かわらけ・犬	13.4	8.1	3.4	ほぼ完形	171.3	○		○	橙	I 区下層遺構面 竪穴建物3 白針
※40 455	陶器	常滑 片口鉢 I 型	(20.4)	(13.2)	6.0	口1/3~ 底片					黄灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3 髹高台
※40 456	陶器	常滑 片口鉢 I 型	—	—	[6.8]	口~底片					灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3 髹高台
※40 457	陶器	東播磨系曲輪 壺	—	(21.0)	[4.6]	底片					黄灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3
※40 458	陶器	高趾 器種不明	長さ 3.2	幅 [5.8]	厚さ 1.5	小片					黄褐	I 区下層遺構面 竪穴建物3
※40 459	石製品	砥石	長さ [6.2]	幅 4.0	厚さ 0.6	一部欠損	[22.4]				灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(巻捲)
※40 460	石製品	砥石	長さ [4.3]	幅 3.0	厚さ 1.2	一部欠損	[28.9]				灰白~灰黄	I 区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(巻捲)
※40 461	石製品	砥石	長さ [3.7]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	[9.3]				緑白	I 区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(巻捲)
※40 462	骨製品	不明	—	直径 2.8	厚さ 1.5	完形	[8.5]					I 区下層遺構面 竪穴建物3 葬加工
※40 463	木製品	漆塗り 鏡蓋具の品	長さ [5.5]	幅 2.2	厚さ 2.5	脚部下					黒褐色 朱澤	I 区下層遺構面 竪穴建物3 鏡蓋具
※40 464	銅製品	鏡 嘉祐元寶 (裏蓋)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竪穴建物3 中国北宋代 1056年
※40 465	銅製品	鏡 元豊通寶 (裏蓋)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2				—	I 区下層遺構面 竪穴建物3 中国北宋代 1078年
※40 466	石製品	砥石	長さ [8.3]	幅 3.6	厚さ 1.0	一部欠損	[45.7]				灰白	I 区下層遺構面 竪穴建物3 (床面上) 仕上げ砥(巻捲)
※40 467	鉄製品	釘	長さ 7.9	幅 0.4	厚さ 0.2	完形	2.6				—	I 区下層遺構面 竪穴建物3 (床面上)
※40 468	在土土器	クワロ かわらけ・小	(8.4)	6.8	1.6	1/2					淡橙	I 区下層遺構面 竪穴建物3 (蓋込め) 白針
※41 469	在土土器	クワロ かわらけ・小	12.2	7.8	3.0	3/4		○		○	橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 470	在土土器	クワロ かわらけ・小	7.6	5.2	1.8	5/6		○			黄橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 471	在土土器	クワロ かわらけ・小	(6.1)	(6.3)	1.7	1/3		○		○	黄橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 472	在土土器	クワロ かわらけ・犬	12.0	7.0	3.1	ほぼ完形	155	○			橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 473	在土土器	クワロ かわらけ・犬	12.2	7.8	3.0	3/4				○	橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 474	在土土器	クワロ かわらけ・犬	11.5	7.0	3.3	完形	138.4	○			橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 475	在土土器	クワロ かわらけ・犬	13.0	7.8	3.5	2/3		○		○	黄黄緑	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 476	在土土器	クワロ かわらけ・犬	11.9	8.0	3.3	5/6		○		○	黄灰	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
※41 477	在土土器	不明器種	3.5	2.9	2.5	完形					黄橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針 口縁に3か所の窪み
※41 478	鉛磁磁器	陶系磁系青磁 碗Ⅱ型	(12.2)	3.8	6.0	1/3					黄灰	I 区下層遺構面 竪穴建物4
※41 479	鉛磁磁器	河安磁系青磁 碗Ⅰ-1b 型	—	(5.2)	[3.0]	底片					黄緑 透明	I 区下層遺構面 竪穴建物4
※41 480	鉛磁磁器	吉白磁 型厚文皿	—	2.2	[0.7]	底片					吉白 透明	I 区下層遺構面 竪穴建物4
※41 481	陶器	常滑 壺	(9.0)	—	[4.8]	口1/3					黄褐	I 区下層遺構面 竪穴建物4
※41 482	陶器	常滑 壺	—	—	—	肩削片					黄灰	I 区下層遺構面 竪穴建物4
※41 483	土製品	器種不明	—	直径 5.4	厚さ 1.8	1/2	[19.1]				灰	I 区下層遺構面 竪穴建物4

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕	色調	出土遺構・ 出土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押			
図41 484	石製品	滑石鏡片 転用磁石	長さ 15.0	幅 8.7	厚さ 1.7		460				黒灰	I 区下層遺構面 竈穴建物4
図41 485	石製品	磁石	長さ [9.3]	幅 4.7	厚さ 3.3	一部欠損	[207.4]				淡黄白	I 区下層遺構面 竈穴建物4 中底(砂子)
図41 486	鉄製品	釘	長さ 9.6	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5.4				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4
図41 487	鉄製品	釘	長さ 8.4	幅 0.6	厚さ 0.5	完形	6.9				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4
図41 488	銅製品	銭 祥符元寶 (行書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 中国北宋代 1009年
図41 489	銅製品	銭 聖宋元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 中国北宋代 1101年
図41 490	銅製品	銭 □□元寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4
図41 491	在地土器	コクロ かわらけ・小	8.0	5.5	1.7	ほぼ完形	54.2	○		○	黄橙	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上) 白針
図41 492	鉄製品	鎌金具	長さ 11.6	幅 0.5	厚さ 0.5	完形	16.5				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上)
図41 493	鉄製品	釘	長さ 9.0	幅 0.7	厚さ 0.4	完形	15.2				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上)
図41 494	鉄製品	釘	長さ 8.7	幅 0.5	厚さ 0.2	完形	3.5				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上)
図41 495	鉄製品	釘?	長さ 12.4	幅 0.6	厚さ 0.4	完形	10.5				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上)
図41 496	銅製品	銭 祥符元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上) 中国北宋代 1174年
図41 497	銅製品	銭 聖寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上) 中国北宋代 1068年
図41 498	銅製品	銭 聖宋元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	2				—	I 区下層遺構面 竈穴建物4 (灰土上) 中国北宋代 1101年
図42 499	陶器	甕戸 入子	4.2	3.6	1.0	完形					灰	I 区下層遺構面 竈穴建物5
図42 500	石製品	磁石	長さ [9.5]	幅 4.5	厚さ 3.7	一部欠損	[178.2]				黄灰	I 区下層遺構面 竈穴建物5 中底(上野)
図42 501	銅製品	銭 開元通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	2				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 中国唐代 621年
図42 502	銅製品	銭 至和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 中国北宋代 1054年
図42 503	鉄製品	釘	長さ [8.7]	幅 0.3	厚さ 0.4	一部欠損	[3.9]				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰土上)
図42 504	銅製品	銭 紹聖元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰土上) 中国北宋代 1094年
図42 505	在地土器	コクロ かわらけ・小	7.4	4.4	1.8	3/4		○			黄橙	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め) 白針
図42 506	在地土器	コクロ かわらけ・小	7.3	6.0	1.65	ほぼ完形	45.6	○			橙	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め) 白針
図42 507	在地土器	甕形品	(8.0)	—	[2.9]	口1/4		○			黄黄橙	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め)
図42 508	陶器	甕戸 煎豆	(15.2)	(11.0)	4.3	1/8					黄灰	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め) 煎豆期か
図42 509	土製品	馬形 (土馬)	長さ [2.7]	幅 [4.0]	高さ [1.6]	不明	[9.7]				橙	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め)
図42 510	銅製品	六銖小錢	3.9	2.4	1.2	ほぼ完形	13				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め)
図42 511	銅製品	銭 天聖元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め) 中国北宋代 1023年
図42 512	銅製品	銭 至和通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め) 中国北宋代 1054年
図42 513	銅製品	銭 聖宋元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め) 中国北宋代 1101年
図42 514	銅製品	銭 □□通寶	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め)
図42 515	銅製品	銭 銭銘なし	直径 1.7	孔径 0.3	厚さ 0.1	不明	0.5				—	I 区下層遺構面 竈穴建物5 (灰込め) スリ銭
図42 516	在地土器	コクロ かわらけ・小	7.8	5.5	1.8	2/3		○		○	橙	I 区下層遺構面 竈穴建物5
図42 517	舶載磁器	青白磁 甕	4.6	—	1.0	1/2					淡緑 透明	I 区下層遺構面 竈穴建物5
図42 518	舶載磁器	青白磁 瓶腹瀬	2.8	—	1.4	2/3					淡緑白 透明	I 区下層遺構面 竈穴建物5

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	打状	板状	3/3状		
図42-519	前織磁器	青白磁型押皿	—	—	[1.6]	□小片						灰水透明	I区下層遺構面 竈穴建物6
図42-520	在土土器	ロクロかわらけ・大	—	—	—	底小片						暗黄灰	I区下層遺構面 竈穴建物6 底部外周に墨色
図42-521	陶器	瀬戸入り	(3.5)	(2.6)	0.9	1/4						淡黄灰	I区下層遺構面 竈穴建物6
図42-522	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.2	4.3	2.2	3/4		○		○		緑	I区下層遺構面 竈穴建物6 (裏込め) 白針
図42-523	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.3	4.9	2.1	ほぼ完形	51.3	○				黄灰	I区下層遺構面 竈穴建物6 (裏込め) 口縁部煤付着
図42-524	石製品	砥石	長さ [9.5]	幅 3.5	厚さ 2.9	一部欠損	(179.4)					黄灰	I区下層遺構面 竈穴建物6 (裏込め) 中砥(上野班沢)
図42-525	石製品	砥石	長さ [6.0]	幅 2.6	厚さ 2.0	一部欠損	(96.6)					灰緑	I区下層遺構面 竈穴建物6 (裏込め) 中砥(上野)
図43-526	在土土器	ロクロかわらけ・小	8.7	6.6	1.8	4/5		○		○		淡橙	I区下層遺構面 竈穴建物7 白針 底部内外周墨色
図43-527	在土土器	手づくねかわらけ・小	(6.8)	—	1.3	1/2						緑	I区下層遺構面 竈穴建物7 白針
図43-528	在土土器	手づくねかわらけ・大	12.6	—	3.2	2/3						淡橙	I区下層遺構面 竈穴建物7 白針
図43-529	前織陶器	泉井須弥堂 1~2車	—	—	[5.7]	□小片						明緑	I区下層遺構面 竈穴建物7
図43-530	陶器	常滑壺	—	—	[9.7]	□小片						赤褐	I区下層遺構面 竈穴建物7 9面式
図43-531	鉄製品	釘	長さ [10.7]	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	7.5					—	I区下層遺構面 竈穴建物7
図43-532	前織陶器	泉井須弥堂 1~2車	(35.8)	(31.0)	9.8	□2/3~底片						黄褐	I区下層遺構面 竈穴建物7 (下層) 黄地鉄胎遺
図43-533	陶器	常滑須弥堂	—	—	[4.2]	□小片						黒褐	I区下層遺構面 竈穴建物7 (床面上)
図43-534	在土土器	ロクロかわらけ・小	9.4	7.0	2.1	ほぼ完形	86.1			○		黄灰	I区下層遺構面 竈穴建物7 (ピット・ク) 底部側成後立孔 白針
図44-535	陶器	瀬戸小杯	8.7	4.7	2.0	完形						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9
図44-536	陶器	瀬戸洗(盤)	(13.7)	(8.8)	4.9	1/3						茶褐	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 小型品 中層様式
図44-537	陶器	瀬戸持鉢形香炉	—	—	[6.5]	1/8						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 中型様式(Ⅱ~Ⅳ)か
図44-538	石製品	滑石鏡片 船用鏡石	長さ 15.0	幅 8.7	厚さ 2.1	一部欠損	[660]					灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9
図44-539	石製品	滑石鏡片 不明船用品	長さ [8.0]	幅 3.2	厚さ 2.0	体割片	79					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9
図44-540	石製品	砥石	長さ [17.5]	幅 6.3	厚さ 5.0	一部欠損	[910]					灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 墨砥(上野) 2次加工品
図44-541	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 7.8	厚さ 3.1	一部欠損	[390]					灰褐~黒	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 中砥(天守)
図44-542	石製品	砥石	長さ [8.2]	幅 4.0	厚さ 2.9	一部欠損	(167.6)					黄味灰白	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 中砥(伊予)
図44-543	石製品	砥石	長さ [8.2]	幅 4.0	厚さ [3.3]	一部欠損	[177]					灰褐	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 中砥(天守)
図44-544	鉄製品	釘	長さ 6.8	幅 0.6	厚さ 0.6	完形	4.9					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9
図44-545	鉄製品	釘	長さ [6.0]	幅 0.7	厚さ 0.3	一部欠損	[4.7]					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9
図44-546	鉄製品	釘	長さ [10.5]	幅 0.6	厚さ 0.6	一部欠損	(12.6)					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9
図44-547	前織磁器	龍泉窯青磁盤	—	(22.3)	[5.1]	体1/3~底片						暗灰緑半透明	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (下層) 坏田・4b大型品
図44-548	陶器	折縁深鉢	(30.0)	—	[6.2]	1/4						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (下層)
図44-549	銅製品	鏡 玉道元寶(篆書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (床面上) 中国北宋代 995年
図44-550	銅製品	鏡 龜末通寶(真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (床面上) 中国北宋代 1038年
図44-551	銅製品	鏡 元豊通寶(行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (床面上) 中国北宋代 1078年
図44-552	銅製品	鏡 銘跡不明	直径 2.0	孔径 0.5	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (床面上) スリ鏡

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 打 打5打	外底面圧痕 板状 Δ/3状	色調	出土遺構・ 出土層の特徴
			口径	底径	器高						
図44 553	銅製品	鏡 三重元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (原面上) 中国北宋代 996年
図44 554	銅製品	鏡 天福通寶 (篆書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物9 (原面上) 中国北宋代 1017年
図45 555	在土土器	手づくね かわらけ・小	(5.8)	(5.5)	0.8	1/6		○		乳白	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 556	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.3	5.0	1.5	3/4		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 557	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.4	5.1	1.7	2/3		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 558	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.4	5.0	1.7	完形	39.2	○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 559	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.8	5.1	1.6	3/4		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 560	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.4	7.0	3.3	ほぼ完形	196.5	○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 561	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.7	7.8	3.7	3/4		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 562	在土土器	コクロ かわらけ・大	13.2	7.5	3.6	3/4		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 563	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.3	7.6	3.5	ほぼ完形	184.8	○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 白粉
図45 564	鉛鍍磁器	白磁 合子身	(8.9)	(6.5)	2.7	1/8				水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10
図45 565	鉛鍍磁器	白磁 皿底-1瓶	(11.6)	(7.0)	2.7	口~底1/5				灰白	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10
図45 566	陶器	瀬戸 入子	5.6	3.2	1.9	ほぼ完形	25.4			灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10
図45 567	土製品	管状土罐	長さ 6.3	径 1.2	孔径 0.6	一部欠損	[7]			橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10
図45 568	石製品	砥石	長さ [7.9]	幅 4.0	厚さ 1.2	一部欠損	[67.8]			黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 什上灯籠(焼物)
図45 569	鉄製品	用途不明	長さ 10.5	幅 1.6	厚さ 0.6	完形	23.6			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10
図45 570	銅製品	鏡 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 中国北宋代 1038年
図45 571	銅製品	鏡 高宗通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 中国南宋代 1208年
図45 572	銅製品	鏡 □□□寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10
図45 573	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.6)	2.0	1/2		○		暗橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 (掘方底) 白粉
図45 574	在土土器	コクロ かわらけ・大	(10.8)	(6.7)	3.0	1/3		○		明橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 (掘方底) 白粉
図45 575	在土土器	コクロ かわらけ・大	(12.0)	(7.6)	3.0	1/4		○		暗橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 (掘方底) 白粉
図45 576	鉛鍍磁器	白磁 皿底-2瓶	(9.4)	5.6	2.8	口~ 底1/2				灰白 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 (掘方底)
図45 577	銅製品	鏡 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6		完形	3.7			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 (掘方底) 中国南宋代 1038年
図45 578	銅製品	鏡 開元通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7		1/3	2			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物10 (掘方底) 中国唐代 621年
図46 579	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	5.7	1.7	3/4		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11 白粉
図46 580	在土土器	コクロ かわらけ・大	(12.6)	(7.7)	2.9	1/2弱		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11 白粉
図46 581	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.8	7.8	3.7	ほぼ完形	165.9	○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11 白粉
図46 582	鉛鍍磁器	花瓶形?	高台径 3.5	—	[2.3]	胴部のみ				橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11
図46 583	陶器	常滑 壺	—	—	[10.4]	口~体片				橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11
図46 584	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ型	—	—	[10.6]	口~体片				橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11 6号式か
図46 585	石製品	砥石	長さ [4.5]	径 3.7	厚さ 1.1	ほぼ完形	[28.9]			橙灰白	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11 性上灯籠(出所)
図46 586	鉄製品	釘	長さ 5.3	径 0.5	厚さ 0.3	完形	2.5			—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物11

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕	色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押し伏			
要46 587	鉄製品	釘	長さ 10.3	径 0.6	厚さ 0.3	完形	7.7				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11
要46 588	鉄製品	釘	長さ 12.1	径 0.7	厚さ 0.4	完形	9.4				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11
要46 589	木製品	撫子柄	長さ 13.0	径 6.9	厚さ 3.2	ほぼ完形					黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 掘削
要46 590	木製品	朽文字	長さ 23.3	径 [5.2]	厚さ 0.8	ほぼ完形					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11
要46 591	木製品	輪索	—	直径 4.2	厚さ 3.5	輪郭欠					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 孔径0.2cm
要46 592	木製品	漆塗り 製道具部品	長さ 7.0	幅 4.3	厚さ 1.7	脚部のみ					黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 掘削
要46 593	木製品	漆塗り 製道具部品	長さ [2.2]	幅 8.1	厚さ 0.7	不明					黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 雲形装飾
要46 594	在土土器	クワコ かわらけ・小	7.6	5.0	1.7	3/4		○	○		椀	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 白粉
要46 595	在土土器	クワコ かわらけ・大	(12.6)	(6.6)	3.4	1/3		○	○		椀	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 白粉
要46 596	在土土器	クワコ かわらけ・大	14.2	7.9	3.7	3/4		○	○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 白粉
要46 597	鉛製磁器	白磁 皿取付座	—	(6.0)	[2.6]	1/2					硝灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 内面黒付
要46 598	陶器	瀬戸 入子	(7.8)	(5.3)	2.4	1/3強					硝灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 内面黒付
要46 599	陶器	瀬戸 瓶子II型	—	8.4	[6.2]	胴下部 ～底欠存					灰緑～灰褐色	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要46 600	陶器	尾張型 山茶碗	13.6	6.4	5.1	2/3					灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 第6型式か
要46 601	陶器	常滑 壺	(10.6)	—	[6.0]	口1/5 ～体片					暗緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要46 602	陶器	常滑 片口鉢II型	(36.4)	(15.8)	15.0	口1/4～ 底1/2					椀	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 6a型式か
要46 603	石製品	捺石納片 転用磁石	長さ 14.7	幅 6.8	厚さ 1.8	体部片	345				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 604	石製品	磁石	長さ [6.8]	幅 4.3	厚さ 0.5	一部欠損	132.7				黄灰白	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 仕上げ磁(陶磁)
要47 605	石製品	磁石	長さ [7.2]	幅 3.6	厚さ 0.9	一部欠損	141.2				黄灰黄	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 仕上げ磁(陶磁)
要47 606	石製品	磁石	長さ [4.5]	幅 3.4	厚さ 0.8	一部欠損	[26]				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 仕上げ磁(陶磁)
要47 607	石製品	磁石	長さ [4.8]	幅 3.2	厚さ 0.9	一部欠損	121.3				黄灰白	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 仕上げ磁(陶磁)
要47 608	鉄製品	鍋	—	—	[3.6]	口小片	186.4				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 609	鉄製品	鋳形品	長さ 16.5	幅 3.2	厚さ 0.9	完形	209.6				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 610	鉄製品	刀子	長さ [18.9]	幅 1.5	厚さ 0.4	一部欠損	126.6				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 611	鉄製品	鍔頭釘	長さ 4.7	径 0.6	厚さ 0.5	完形	6.3				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 鉄金具部品か
要47 612	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 14.4	径 0.8	厚さ 0.6	完形	21.3				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 613	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 28.6	径 0.9	厚さ 0.8	完形	98.5				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 火者か
要47 614	在土土器	用途不明 棒状具	長さ 15.6	径 1.5	厚さ 0.5	完形	32.8				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 火者などか
要47 615	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 8.6	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	6.5				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 616	鉄製品	釘	長さ 8.5	径 0.5	厚さ 0.4	完形	5.9				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 617	鉄製品	釘	長さ 5.8	径 0.6	厚さ 0.3	完形	5				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 618	鉄製品	釘	長さ 7.3	径 0.4	厚さ 0.3	完形	3.5				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 619	鉄製品	釘	長さ 6.4	径 0.2	厚さ 0.4	完形	1.4				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 620	鉄製品	釘	長さ [5.0]	径 0.2	厚さ 0.4	西端欠損	3.5				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
要47 621	鉄製品	針	長さ [3.1]	径 0.2	厚さ 0.3	西端欠損	0.5				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 行/枠/状	外底面庄度 板状/ム/状	色調	出土遺構・ 出土ほかの特徴
			口径	底径	器高						
要47 6227	銅製品	飾り金具	長さ 3.0	径 0.4	厚さ 0.3	完形	1.9	○	○	—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 扉部分
要47 6227	銅製品	飾り金具	直径 0.7	孔径 0.4	厚さ 0.1	完形	0.1	○	○	—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 扉金
要47 6229	銅製品	飾り金具	直径 0.7	孔径 0.2	厚さ 0.06	完形	0.1	○	○	—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 扉金
要47 6222	銅製品	飾り金具	直径 1.6	直径 0.4	0.3	完形	0.8	○	○	—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 扉金(錫33%)
要47 6222	銅製品	飾り金具	直径 1.6	直径 0.5	0.2	完形	0.8	○	○	—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 扉金(錫33%)
要47 623	木製品	漆器椀	(10.4)	7.0	3.0	1/3				黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 無文
要47 624	木製品	漆器椀	(15.0)	6.8	5.2	1/3				黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 無文
要47 625	木製品	漆器椀	(15.4)	6.9	6.3	口小～ 底完存				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要47 626	木製品	漆器椀	—	8.0	[5.4]	体片～ 底完存				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 627	木製品	漆器皿	9.8	6.7	1.0	ほぼ完形				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 628	木製品	漆器皿	8.8	6.6	0.8	3/4				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 629	木製品	漆器皿	8.8	7.2	1.0	3/4				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要3 63	鉛鍍器	福泉原系青銅 鍍皿類	(16.6)	—	[4.8]	口～体1/4				灰緑 半透明	Ⅱ区上層遺構面(8-10)
要48 630	木製品	漆器皿	(7.8)	6.4	0.8	3/4				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 631	木製品	漆器皿	—	(6.4)	[0.6]	底部3/4				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 632	木製品	漆器皿	8.7	6.7	1.0	4/5				黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 無文
要48 633	木製品	漆器皿	—	(7.0)	[0.7]	体～ 底完存				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 無文
要48 634	木製品	漆器椀	—	(6.9)	[1.8]	体～底片				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 635	木製品	漆器椀	13.8	6.7	2.9	4/5				黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 6367	木製品	曲物椀	直径 8.9	高さ 5.5	底版厚さ 0.2	ほぼ完形				—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 側板厚さ0.1cm 底板に穿孔1か所
要48 636f	鉄製品	刀子	長さ 18.9	幅 1.3	厚さ 0.4	完形	18			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 636fの遺構内
要48 637	木製品	漆塗り 銅鍍具部品	長さ 7.6	幅 2.4	厚さ 1.4	脚部のみ				黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層) 扉部
要48 638	土製品	人形	高さ [3.6]	幅 1.8	厚さ 1.7	頭部欠損	[15.2]			灰黄	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)
要48 639	銅製品	鍍 元禄通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)中国北宋代 1078年
要48 640	銅製品	鍍 元禄通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)中国北宋代 1078年
要48 641	銅製品	鍍 元禄通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)中国北宋代 1086年
要48 642	銅製品	鍍 元禄通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)中国北宋代 1086年
要48 643	銅製品	鍍 元和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (下層)中国北宋代 1111年
要48 644	在来土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.8	1.8	4/5		○	○	赭灰	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (表込め) 白針
要48 645	鉛鍍器	白銅 鍍皿-2a型	—	5.2	[2.4]	体片～ 底完存				灰白 不透明	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (表込め)
要48 646	陶器	尾張型 山茶碗	—	7.4	[2.2]	体片～ 底完存				埋赤褐色	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (表込め) 高台割落か
要48 647	銅製品	鍍 天禄元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	—	完形	3.2			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (表込め)中国西夏代 1158年
要48 648	銅製品	鍍 □口□寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	4			—	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物11 (表込め)
要49 649	在来土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.3	2.6	4/5			○	赭	Ⅱ区下層遺構面 聖穴建物12 白針 登明皿

() = 復元値 [] = 現存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押し状	板状	ム/凹状		
図49-600	在土土器	手づくねかわらけ・小	(8.6)	—	3.3	1/2						橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物12 白針
図49-651	土器	南伊勢系 鉢	—	—	[2.6]	口小片						明灰～黒灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物12
図49-652	石製品	砥石	長さ [5.3]	幅 2.8	厚さ 2.2	部欠損	[27.5]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物12 中砥(上野)
図49-653	在土土器	ロクロかわらけ・小	8.6	6.0	1.8	1/2		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物12 (裏込め) 白針
図49-654	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.4	5.1	1.9	完形	46.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物12 (裏込め) 白針
図49-655	陶器	常滑 盥	(9.9)	—	[5.1]	口1/4						暗緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物12 (裏込め) 6帯式
図49-656	陶器	瀬戸入り	(9.7)	(4.6)	3.4	1/4						灰橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13
図49-657	木製品	播磨皿	9.2	6.4	1.0	ほぼ完形						黒漆塗	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 彫文
図49-658	骨製品	簪子	長さ 0.7	幅 0.8	厚さ 0.7	完形	0.7						Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13
図49-659	木製品	用途不明	長さ 23.9	幅 9.2	厚さ 6.7	不明						—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 腰盤面付か
図49-660	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4.2					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 中国北宋代 1038年
図49-661	銅製品	銭 元徳通寶 (行書)	直径 2.6	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 中国北宋代 1078年
図49-662	鉄製品	用途不明	長さ [25.5]	幅 1.7	厚さ 0.5	一部欠損	[81.9]					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 (裏込め)
図49-663	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 (裏込め) 中国北宋代 1038年
図49-664	銅製品	銭 西華元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 (裏込め) 中国北宋代 1068年
図49-665	銅製品	銭 皇口口寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物13 (裏込め)
図50-666	在土土器	ロクロかわらけ・壺小	(3.3)	(3.0)	0.8	1/3						黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-667	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.9	5.4	1.9	完形	54.7	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-668	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.8	5.5	1.6	1/2		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-669	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.3	4.8	2.1	完形	48.1	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-670	在土土器	ロクロかわらけ・小	8.1	4.9	2.0	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-671	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.6	5.0	2.0	完形	44.9	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-672	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.6	4.2	2.6	ほぼ完形	49.1	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針 口縁部打ち欠き3ヶ所 内外面傷付着
図50-673	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.6	4.3	2.7	ほぼ完形	55.7	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針 口縁部3ヶ所の打ち欠き 1内面傷付着
図50-674	在土土器	ロクロかわらけ・大	12.7	7.9	3.3	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-675	在土土器	ロクロかわらけ・大	12.7	7.9	3.6	ほぼ完形	187.9	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 白針
図50-676	陶器	瀬戸 柄付片口	14.3	9.4	7.9	2/3						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14
図50-677	陶器	瀬戸 神形香か	(9.0)	—	[5.8]	1/4						暗緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 中1部か
図50-678	陶器	常滑 角形鉢?	—	—	[5.9]	口小片						暗緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14
図50-679	陶器	常滑 片口碗	—	—	[4.2]	口小片						暗緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14
図50-680	陶器	備前 すい鉢	—	—	[4.4]	口小片						橙	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14
図50-681	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 中国北宋代 1038年
図50-682	銅製品	銭 元徳通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物14 中国北宋代 1074年
図51-683	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.3	5.2	1.6	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴跡物15 白針

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面庄底	色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押			
図51-684	在土土器	ロクロかわらけ・小	(7.8)	(5.5)	1.7	2/3	○	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-685	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.2	4.7	1.9	4/5	○	○	○	黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-686	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.2	5.0	2.0	ほぼ完形	○	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-687	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.9	4.7	1.8	完形	71.9	○	○	黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-688	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.8	5.1	2.3	3/4	○	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-689	在土土器	ロクロかわらけ・小	7.4	4.5	2.3	3/4	○	○	○	黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-690	在土土器	ロクロかわらけ・大	(12.6)	(6.5)	3.5	3/4	○	○	○	緑	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-691	在土土器	ロクロかわらけ・大	13.4	8.5	3.4	2/3	○	○	○	黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針	
図51-692	在土土器	ロクロかわらけ・大	—	—	[1.4]	底小片	○	○	○	黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15白針 底部形成後の貫通孔	
図51-693	鉛鍍銀器	護身符系背銀片型-小型	—	(5.0)	[2.4]	底部1/6				灰緑	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-694	鉛鍍銀器	青白磁蓋	(3.8)	最大径(5.5)	[1.0]	1/4				水青透明	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物16	
図51-695	陶器	瀬戸入子	(4.6)	(3.3)	1.8	1/3				明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-696	陶器	瀬戸折縁深皿	—	—	[5.7]	口小片				灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物16	
図51-697	陶器	尾張型山系碗小皿	(7.8)	(4.6)	1.5	1/4				灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物16	
図51-698	陶器	常滑壺	—	—	—	胴部小片				暗褐	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-699	陶器	常滑壺	—	—	—	胴部小片				褐	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物16	
図51-700	陶器	常滑片口鉢止型	—	—	[12.0]	口~底1/4				暗褐	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 7~8型式	
図51-701	陶器	常滑片口鉢止型	—	—	[10.4]	口~底1/4				灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物16 6~7型式	
図51-702	石製品	滑石製板用品用途不明	長さ [5.7]	幅 [3.4]	厚さ 1.6	体部片か	58.8			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物16	
図51-703	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 4.2	厚さ 0.5	一部欠損	133.3			黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 土上付底(烏焼)	
図51-704	石製品	砥石	長さ [6.6]	幅 3.4	厚さ 0.8	一部欠損	137.7			灰黄	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 土上付底(烏焼)	
図51-705	石製品	砥石	長さ 4.0	幅 [3.3]	厚さ 1.6	一部欠損	131.9			灰黄	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 土上付底(烏焼)	
図51-706	石製品	砥石	長さ [5.3]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	115.7			灰黄	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 土上付底(烏焼)	
図51-707	石製品	砥石	長さ [3.5]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	8.2			黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物16 土上付底(烏焼)	
図51-708	石製品	基石(黒)	長さ 1.9	幅 1.6	厚さ 0.4	完形	2.1			黒	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-709	石製品	基石(黒)	長さ 1.9	幅 1.8	厚さ 0.5	完形	2.1			黒	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-710	石製品	基石(黒)	長さ 1.6	幅 1.5	厚さ 0.6	完形	2.2			黒	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-711	木製品	標識り測定具部品	—	7.8	[2.6]	台座のみ				黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 備台(打台)の脚台か	
図51-712	銅製品	用途不明	—	直径 1.4	厚さ 0.3	ほぼ完形	[1.4]			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-713	銅製品	用途不明	長さ [1.5]	幅 2.8	厚さ 0.2	不明	[2.7]			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15	
図51-714	銅製品	鍍金平元寶(真善)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 中国北宋代 998年	
図51-715	銅製品	鍍金祥符元寶(真善)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 中国北宋代 1009年	
図51-716	在土土器	鍍金明道元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3.3			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 中国北宋代 1032年	
図51-717	在土土器	鍍金崇寧元寶(真善)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 中国北宋代 1068年	
図51-718	銅製品	鍍金祥符元寶(真善)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 壺穴建物15 中国北宋代 1174年	

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 打 押5次	外底面圧痕 板状 3/2次	色調	出土遺構・ 跡土層の特徴
			口径	底径	器高						
図51 719	銅製品	鍍 鍍銘不明	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15
図51 720	在土土器	鍍 鍍銘不明	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16
図52 721	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.4	1.6	ほぼ完形	41.5	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 722	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.2	1.8	完形	53.6	○	○	淡緑灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (床面上) 白針
図52 723	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	4.8	1.9	完形	57.2	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 724	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.7	1.8	完形	57.4	○	○	淡黄緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 725	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.3	1.9	完形	56.6	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 726	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.8	2.0	完形	57.4	○	○	黄緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 727	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.7	1.8	ほぼ完形	65.8	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 728	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.1	2.1	完形	66.2	○	○	黄緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 729	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.0	1.9	ほぼ完形	67.2	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 730	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.5	2.0	完形	65.1	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (床面上) 白針
図52 731	在土土器	ロクロ かわらけ・大	11.7	6.8	3.5	ほぼ完形	138.2	○	○	淡黄緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 732	在土土器	ロクロ かわらけ・大	13.9	7.3	3.9	ほぼ完形	203.9	○	○	淡黄緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 733	在土土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	7.9	3.9	ほぼ完形	184.6	○	○	黄緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 734	陶器	瀬戸 水筒	(1.9)	—	[1.6]	口1/2～ 1体片				灰緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 白針
図52 735	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ型	(31.4)	(14.2)	11.5	口～底1/3				緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 6a型式か
図52 736	石製品	礫石(黒)	長さ 1.5	幅 2.0	厚さ 0.5	完形	2.5			黒	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (床面上)
図52 737	石製品	礫石	長さ [9.2]	幅 3.4	厚さ 1.4	一部欠損	[68.1]			淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (床面上) 仕上付瓦(鳴滝)
図52 738	石製品	礫石	長さ [9.2]	幅 3.5	厚さ 1.0	一部欠損	[44.4]			暗灰白	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 仕上付瓦(鳴滝)
図52 739	石製品	礫石	長さ [4.4]	幅 6.1	厚さ 0.5	一部欠損	[68.3]			灰白	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (床面上) 仕上付瓦(鳴滝)
図52 740	鉄製品	用途不明	長さ 13.7	幅 0.4	厚さ 0.2	ほぼ完形	[3.6]			—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上)
図52 741	鉄製品	檜椀板	長さ [9.6]	幅 12.8	厚さ 0.6	一部欠損	81.2			緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上)
図52 741+	銅製品	鍍 鍍銘元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (床面上) 中国北宋代 1094年
図53 742	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	1.7	完形	48.3	○	○	暗緑灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (掘方底) 白針
図53 743	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.2	1.9	ほぼ完形	53.2	○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底) 白針
図53 744	在土土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	7.7	3.5	ほぼ完形	206.5	○	○	暗緑灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底) 白針
図53 745	鉛磁磁器	鉢 蓋	最大径 (6.5)	—	1.9	2/3				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (掘方底)
図53 746	石製品	礫石	長さ [7.4]	幅 3.3	厚さ 1.0	一部欠損				淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底) 仕上付瓦(鳴滝)
図53 747	鉄製品	蓋	15.2	—	4.1	2/3	[68.4]			—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底)
図53 748	銅製品	鍍 元寶形元寶 (篆書)	直径 2.3	孔径 0.6	—	完形	2.1			—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物16 (掘方底) 中国北宋代1078年
図53 749	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	1.7	2/3		○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底) 白針
図53 750	在土土器	ロクロ かわらけ・小	(9.1)	(6.8)	1.8	1/3		○	○	暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底) 白針
図53 751	在土土器	手づくね かわらけ・小	(9.0)	(7.8)	1.9	1/2				緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底) 白針
図53 752	陶器	常滑 壺	—	—	[11.3]	ほぼ完形				暗青	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物15 (掘方底) 6a型式

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕	色調	出土遺構・出土層からの特徴
			口径	底径	器高			打	押			
図53 763	石製品	砥石	長さ [14.1]	幅 3.4	厚さ 2.5	一部欠損	126.9				淡灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物15 (竈込め)中庭(土野碓沢)
図53 764	銅製品	鏡 銅型元寶 (蓋書)	直径 2.4	孔径 0.6		完形	3.4				緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物15 (竈込め)中国北宋代 1094年
図54 765	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.5)	5.0	1.8	3/4		○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 766	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	5.0	1.8	ほぼ完形	44.3	○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 767	在土土器	コクロ かわらけ・小	(8.8)	(4.6)	2.3	1/2		○	○		黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針 口縁部露付書
図54 768	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.7)	4.6	2.4	4/5		○	○		黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 769	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.8)	4.6	2.0	3/5		○	○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 760	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.1	3/5		○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 761	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	5.3	2.0	3/4					黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 762	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	4.4	2.2	4/5		○	○		橙～灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針 赤底面 二次焼成か
図54 763	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.6)	2.2	1/2		○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 764	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.1	4.4	2.0	ほぼ完形	42.1	○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 765	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.4	4.5	2.1	4/5		○	○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 766	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.3	4.5	2.3	ほぼ完形	43.5	○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 767	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.3	4.6	2.2	1/2		○	○		黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 768	在土土器	コクロ かわらけ・小	8.0	5.0	2.3	4/5		○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 769	在土土器	コクロ かわらけ・中	10.8	6.8	3.2	ほぼ完形	110.3	○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 770	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.8	8.2	3.6	ほぼ完形	157.3	○	○		黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 白針
図54 771	陶器	瀬戸 入子	(8.3)	—	[2.8]	口1/3						Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16
図54 772	陶器	瀬戸 折縁深皿	(27.0)	—	[7.7]	口～体片						Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 平形様式・カ
図54 773	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[5.0]	口小片					灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 平形様式・カ
図54 774	陶器	瀬戸 新竹片口	(12.2)	(8.6)	5.6	1/2						Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 内底面に6葉瓣痕
図54 775	石製品	砥石	長さ [9.6]	幅 3.1	厚さ 2.3	一部欠損	198.2				淡黄	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 土上打跡(逸焼)
図54 776	石製品	砥石	長さ [5.8]	幅 3.3	厚さ 2.0	一部欠損	[67.8]				緑灰白	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物17 中庭～土上打跡(土野碓沢)
図54 777	銅製品	鏡 皇宋通寶 (蓋書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3				—	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 中国北宋代 1038年
図54 778	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.35	4.0	2.4	完形	49				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針
図54 779	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.0	ほぼ完形	43	○			緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (竈込め) 白針
図54 780	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.1	ほぼ完形	41	○	○		にぶい緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (竈込め) 白針
図54 781	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.4	4.8	2.2	2/3		○			淡黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針
図54 782	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.35	完形	43	○			にぶい緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針
図54 783	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.2	4.3	1.9	完形	46	○			にぶい緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針
図54 784	在土土器	コクロ かわらけ・小	8.0	5.0	1.8	ほぼ完形	43.7	○	○		黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針
図54 785	在土土器	コクロ かわらけ・大	11.4	7.6	3.1	完形	157.8	○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針
図54 786	在土土器	コクロ かわらけ・大	14.0	7.7	3.5	3/4		○			淡黄緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針
図54 787	在土土器	手づくね かわらけ・小	(8.3)	—	1.7	4/5					緑	Ⅱ区下層遺構面 竈穴建物16 (近込め) 白針

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	打状	板状	凹凸		
図54 788	鉛酸磁器	徳島系青磁 碗Ⅱ-2形	(14.6)	3.4	6.3	1/6						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物16 (裏込め)
図54 789	鉛酸磁器	徳島系青磁 杯Ⅱ-1a型	—	(6.4)	[3.7]	体片～ 底1/2部						灰赤 不透明	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物16 (裏込め)
図54 790	鉛酸磁器	白磁 Ⅱ区Ⅰc型	(11.2)	(5.7)	3.3	1/4						灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物16 (裏込め)
図54 791	瓦質土器	火鉢1C型	—	—	[9.0]	口～底片						灰黒	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物16 (裏込め)
図54 792	銅製品	鏡 □元活寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	3/4	2					—	Ⅱ区上層遺構面 壺穴遺物16 (裏込め)
図55 793	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.5	5.3	1.4	完形	35	○				灰白	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 794	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.9	4.5	1.6	完形	48	○	○			黄灰	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 795	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.4	5.0	1.8	完形	47	○	○			灰白	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 796	在土土器	コクロ かわらけ・小	8.0	5.2	1.8	ほぼ完形	52	○				にぶい壁	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 797	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.0	5.2	1.9	完形	51	○	○			緑	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 798	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.5	4.9	1.7	ほぼ完形	41	○				にぶい壁	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 799	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.2)	5.1	1.8	口1/8～ 底完形		○	○			緑	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 800	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.8	4.8	1.8	2/3		○	○			緑	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針 口縁部に傷付着
図55 801	在土土器	コクロ かわらけ・中	9.7	6.6	2.7	3/4		○				にぶい壁	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針 体～底面に傷付着
図55 802	在土土器	コクロ かわらけ・大	(13.4)	7.7	3.8	1/3		○				にぶい壁	Ⅱ区上層遺構面 壺穴状遺構2 白針
図55 803	陶器	常滑 角形壺	—	(14.7)	[2.8]	底小片						灰褐	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物17
図55 804	石製品	砥石	長さ [10.3]	幅 2.5	厚さ 1.1	一部欠損	[48.1]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物17 石製品(鴨)
図55 805	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.0	4.2	2.2	ほぼ完形	43.2	○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針 口縁部5分程度に傷付着
図55 806	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.8	4.9	1.9	4/5						黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針 口唇部に傷付着
図55 807	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.8	5.2	2.3	4/5		○	○			黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針
図55 808	在土土器	コクロ かわらけ・小	8.8	5.7	2.5	ほぼ完形	68.8	○	○			緑	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針
図55 809	在土土器	コクロ かわらけ・大	(12.1)	(8.0)	3.3	1/3		○	○			緑	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針
図55 810	在土土器	コクロ かわらけ・大	11.9	8.8	2.8	4/5		○	○			黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針
図55 811	在土土器	コクロ かわらけ・大	13.4	7.7	3.7	3/4		○				緑	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針
図55 812	在土土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	1.7	1/3						黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針
図55 813	在土土器	手づくね かわらけ・大	(13.4)	—	3.2	2/3		○				黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 白針
図55 814	鉛酸磁器	徳島系青磁 碗Ⅰ型	—	(4.4)	[2.0]	底1/3						灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18
図55 815	陶器	常滑 磨口壺	—	8.0	[7.6]	胴以下1/2						茶褐	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18
図55 816	陶器	瀬戸 入子	5.0	3.4	1.5	完形						灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18
図55 817	陶器	瀬戸 入子	(7.0)	(4.2)	2.2	1/4						灰白	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18
図55 818	土製品	管状土錫	長さ 6.9	幅 3.2	孔径 1.1	ほぼ完形	[62.8]					灰橙	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18
図55 819	石製品	砥	長さ 10.4	幅 7.3	厚さ 1.5	ほぼ完形	[38.3]					暗灰	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18
図55 820	石製品	砥石	長さ [8.1]	幅 4.0	厚さ 1.8	一部欠損	[68.3]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 半砥(伊予)
図55 821	石製品	砥石	長さ [5.6]	幅 3.7	厚さ 2.5	一部欠損	[88.1]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 半砥(伊予)
図55 822	石製品	砥石	長さ [6.8]	幅 3.8	厚さ 1.5	一部欠損	[48.1]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 壺穴遺物18 半砥

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量	内底面調整 打子 打子状	外底面正値 板状 1/2状	色調	出土遺構・ 土層ほかの特徴
			口径	底径	高さ						
図55 823	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 3.6	厚さ 0.9	一部欠損	[58.2]			灰	Ⅱ区下層遺構面 出土遺物18 仕上付底(尚残)
図56 824	石製品	砥石	長さ [5.7]	幅 3.2	厚さ 1.4	一部欠損	[48.9]			灰燼	Ⅱ区下層遺構面 出土付底(尚残) 堅穴遺物18
図55 825	石製品	砥石	長さ [5.0]	幅 2.9	厚さ 1.1	一部欠損	[28.2]			灰	Ⅱ区下層遺構面 出土付底(尚残) 堅穴遺物18
図55 826	鉄製品	釘	長さ [4.7]	幅 0.6	厚さ 0.4	一部欠損	[3.7]			—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物18
図56 827	銅製品	鏡 鏡銘不明 (2枚残存)	直径 2.4	孔徑 —	厚さ 0.3	ほぼ完全	6.3			—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物18 2枚が磨いで付着
図56 828	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.6)	(4.0)	2.3	1/3		○	○	黄燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19 白針
図56 829	在土土器	コクロ かわらけ・小	8.0	4.3	2.0	ほぼ完全	63.9	○	○	黄燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19 白針 口唇部欠付着
図56 830	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.7	5.0	2.4	完形	56.1	○	○	黄燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19 白針
図56 831	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.4	8.3	3.6	3/4		○	○	黄燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19 白針
図56 832	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.3	6.9	3.4	3/4		○	○	黄燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19 白針
図56 833	陶器	瀬戸 折輪盆皿	—	—	[5.9]	口～ 底小片				灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19
図56 834	陶器	常滑 片白鉢皿類	—	—	[8.7]	口小片				暗褐色	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19
図56 835	石製品	砥石	長さ [6.3]	幅 3.2	厚さ 1.3	同輪欠損	[51.2]			灰黄	Ⅱ区下層遺構面 出土付底(尚残) 堅穴遺物19
図56 836	石製品	砥石	長さ [9.2]	幅 2.7	厚さ 1.2	一部欠損	[40.2]			黄灰	Ⅱ区下層遺構面 出土付底(尚残) 堅穴遺物19
図56 837	石製品	砥石	長さ [5.5]	幅 3.3	厚さ 1.0	部欠損	[30.6]			黄灰	Ⅱ区下層遺構面 出土付底(尚残) 堅穴遺物19
図56 838	鉄製品	釘	長さ [3.7]	幅 0.5	厚さ 0.4	一部欠損	[1.8]			—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19
図56 839	鉄製品	釘	長さ [4.2]	幅 0.5	厚さ 0.3	一部欠損	[1.3]			—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19
図56 840	銅製品	鏡	直径 2.5	孔徑 0.7	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19 景宋造景 中国北宋代 1038年
図56 841	銅製品	鏡 元景造景	直径 2.4	孔徑 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19 中国北宋代 1078年
図56 842	銅製品	鏡 鏡銘不明	直径 2.2	孔徑 0.5	厚さ 0.2	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物19
図57 843	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.2	4.6	1.7	完形	45.8	○	○	灰燼灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 844	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.8	5.3	1.7	1/2		○	○	暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 845	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.8	5.2	1.7	完形	63.8	○	○	暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 846	在土土器	コクロ かわらけ・小	7.6	5.0	1.9	1/2強		○	○	暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 847	在土土器	コクロ かわらけ・小	8.2	5.4	1.9	1/2強		○	○	黄燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 848	在土土器	コクロ かわらけ・大	12.8	7.8	3.3	ほぼ完全	169.9	○	○	灰燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 849	在土土器	コクロ かわらけ・大	13.4	7.4	3.8	ほぼ完全	176.5	○	○	明燼	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 850	在土土器	コクロ かわらけ・大	(12.4)	(7.8)	3.5	1/2弱		○	○	暗燼灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 白針
図57 851	胎磁磁器	瀬戸系青磁 盤	(22.2)	—	[4.0]	口1/6 ～体片				明灰燼 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 坯厚4型
図57 852	胎磁磁器	瀬戸系青磁 坏皿4型	(12.6)	—	[3.8]	口1/6 ～体片				オリブ 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20
図57 853	胎磁磁器	白磁 皿4～1a型	(12.6)	(5.3)	3.0	1/6				灰燼 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20
図57 854	胎磁磁器	瀬戸系青磁 皿1～1b型	(8.2)	(5.4)	1.6	1/4				淡灰燼 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20
図57 855	陶器	常滑 片白鉢皿類	—	—	[4.7]	口小片				暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20 6形式か 内面に菊花文・斜格子文の押印
図57 856	陶器	常滑片 飯川研磨具	長さ [3.6]	幅 3.0	厚さ 1.1	磨面部片	20.5			暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴遺物20

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面正値	色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	打伏			
NS7 867	石製品	砥石	長さ [12.2]	幅 [10.2]	厚さ [7.2]	一部欠損	[1850]				灰緑灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 瓦版(天草)
NS7 858	石製品	砥石	長さ [10.2]	幅 [5.0]	厚さ [3.5]	一部欠損	[209]			○	暗緑灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 中略(天草)
NS7 859	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 3.7	厚さ 0.8	一部欠損	[49.4]				淡灰白	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 仕上り底(丸瀬)
NS7 860	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 4.3	厚さ 1.0	一部欠損	[38.5]				淡灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 仕上り底(丸瀬)
NS7 861	骨製品	用途不明 有孔円盤	—	直径 1.9	厚さ 0.6	ほぼ完全形	[1.9]					Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
NS7 862	木製品	遮蓋下駄	長さ (17.4)	幅 7.1	高さ 5.2	一部欠損					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
NS7 863	木製品	遮蓋下駄	長さ (14.6)	幅 7.0	高さ 5.6	一部欠損					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
NS7 864	在土土器	コクロ かわらけ・中	10.6	6.2	3.1	4/5		○			緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (東方区) 白針
NS7 865	木製品	用途不明 有孔円盤	—	直径 4.2	厚さ 0.2	不明						Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (東方区)
NS7 866	銅製品	鏡 圓形通寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完全形	4				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (東方区) 中国唐代 621年
NS7 867	銅製品	鏡 圓形通寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完全形	3				—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (東方区) 中国北代末 1078年
NS7 868	在土土器	コクロ かわらけ・小	(8.0)	(4.8)	1.6	1/2弱		○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (丸瀬) 白針
NS7 869	在土土器	コクロ かわらけ・小	(7.4)	4.0	2.4	1/4		○			緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (丸瀬) 白針 静止系切り
NS8 870	在土土器	コクロ かわらけ・大	(12.9)	(8.3)	3.2	1/3					黄緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 871	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-b類	16.5	5.0	7.0	完全形	455				灰白 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下) 漆器で修復 口縁一部に漆付着
NS8 872	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-b類	16.5	5.2	6.6	3/4	[360]				灰白 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下) 口縁に漆付着
NS8 873	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(14.4)	4.3	7.5	口1/4～ 底4/5					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 874	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(14.6)	4.4	7.4	口1/2弱 ～底4/5					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 875	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(15.0)	(4.3)	7.2	3/4					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 876	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	15.1	4.2	7.4	4/5					淡灰緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 877	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(14.7)	(3.9)	7.4	口1/2弱 ～底完全					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 878	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(14.5)	(4.6)	7.6	1/3					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 879	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	14.8	4.2	7.1	ほぼ完全形	[320]				灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 880	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-b類	(16.4)	—	[5.0]	1/4					緑灰 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 881	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(15.4)	—	[5.4]	1/6					緑灰 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 882	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(13.0)	3.6	6.5	口1/3～ 底完全					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 883	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	13.0	3.7	6.5	3/4					水 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 884	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	12.8	3.8	6.3	ほぼ完全形	[188.2]				灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 885	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	13.0	3.3	6.5	ほぼ完全形	[188.4]				灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 886	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	(13.5)	4.0	6.5	口1/2弱 ～底4/5					青灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 887	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	12.6	3.3	6.6	ほぼ完全形	[188.1]				灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 888	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	13.3	3.5	6.3	ほぼ完全形	[210]				灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 889	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-2c類	12.9	3.5	6.5	ほぼ完全形	[188.4]				淡灰緑 半不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)
NS8 890	鉛磁磁器	萬葉系青磁 碗Ⅱ-b類	(13.4)	4.0	5.6	口1/3～ 底完全					灰 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (御蔵塚下)

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕	色調	出土遺構・ 跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押			
図58 891	舶載磁器	他島系青磁 碗皿類ホカ	(14.0)	—	[5.4]	1/3					緑灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図58 892	舶載磁器	白磁 皿IX-1c型	11.0	6.6	3.0	4/5					灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図58 893	舶載磁器	白磁 皿IX-2型	(8.7)	—	[2.4]	1/6					灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図58 894	舶載磁器	白磁 皿IX-1b型	(9.1)	(5.4)	2.4	1/6					白 透明	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図59 895	陶器	瀬戸 四耳壺	(11.0)	—	[4.8]	1/6					灰白～灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) Ⅱ区溝カ
図59 896	陶器	瀬戸 水注I型	(7.8)	—	[2.2]	1/4					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図59 897	陶器	瀬戸 水注I型	—	6.8	[11.7]						緑灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) Ⅱ区溝カ
図59 898	陶器	尾張型 山茶碗小皿	8.1	4.9	1.8	完形	63.6				灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式
図59 899	陶器	尾張型 山茶碗小皿	8.1	5.4	1.6	完形	68.8				灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式
図59 900	陶器	尾張型 山茶碗	(15.0)	(6.3)	5.1	4/5					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式
図59 901	陶器	尾張型 山茶碗	(14.0)	(5.2)	4.2						灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式
図59 902	陶器	尾張型 山茶碗	(14.1)	(5.0)	4.9	1/3					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式
図59 903	陶器	尾張型 山茶碗	14.5	6.1	5.3	完形	266.5				灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式
図59 904	陶器	尾張型 山茶碗	14.4	6.3	5.2	4/5					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式
図59 905	陶器	尾張型 山茶碗	(14.8)	(7.1)	6.0	1/2弱					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 第7型式 高台剥離カ
図59 906	陶器	常滑 片口鉢I型	33.0	13.9	13.6	4/5					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式
図59 907	陶器	常滑 片口鉢I型	30.5	14.1	13.9	1/2					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式
図59 908	陶器	常滑 片口鉢I型	(22.4)	(11.5)	9.3	1/2					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式
図59 909	陶器	常滑 片口鉢I型	(22.9)	(10.5)	8.5	1/3					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式
図59 910	陶器	常滑 片口鉢I型	(23.0)	(12.2)	9.6	1/3					橙	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式
図60 911	陶器	常滑 片口鉢I型	(34.8)	—	[9.8]	1/4					赤橙	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式 無高台
図60 912	陶器	常滑 片口鉢I型	23.6	14.3	8.6	ほぼ完形					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式 無高台
図60 913	陶器	常滑 片口鉢II型	(33.8)	—	[10.3]	1/3					灰黄～緑灰黄	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 5～6a型式
図60 914	常滑	片口鉢	(14.9)	—	[6.4]	1/3					茶褐	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図60 916	在地土器	小型壺	(11.8)	—	[4.0]	1/6					灰白	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図60 916	鉄製品	釘	長さ 6.7	幅 0.35	厚さ 0.3	完形	2.5				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)
図60 917	銅製品	銭 紹明元寶 (真赤)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	4/5					—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下) 中国南宋代 1109年
図61 918	在地土器	コクロ かわらけ・小	(7.9)	(5.2)	1.4	1/3		○	○		橙	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 白粉
図61 919	在地土器	コクロ かわらけ・大	(12.0)	(7.9)	3.5	2/3		○	○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 白粉
図61 920	在地土器	手づくね かわらけ・小	(7.8)	—	1.6	1/3					橙	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 白粉
図61 921	銅製品	銭 元祐通寶 (兼書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 中国北宋代 1086年
図61 922	銅製品	銭 崇寧元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 中国北宋代 1101年
図61 923	陶器	尾張型 山茶碗	14.4	6.2	5.3	4/5					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴建物21 (倒壊壁下)

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕	色調	出土遺構・跡土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	押し状			
図61-924	在土土器	脚付鍋	(11.3)	—	[6.6]	1/2弱					灰黄白	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層) 口縁に貫通孔4ヶ所
図61-925	土製品	かわらけ 転用内甕	—	底径 3.0	厚さ 1.6	完形	13.3				灰～黒灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層) 二次焼成
図61-926	鉄製品	用途不明 棒状製品	長さ [12.1]	幅 0.4	厚さ 0.4	一部欠損	[18.2]				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層) 火差などか
図61-927	鉄製品	釘	長さ 9.3	幅 0.6	厚さ 0.6	完形	8.2				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層)
図61-928	鉄製品	釘	長さ 7.6	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	3.3				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層)
図61-929	銅製品	用途不明	長さ [2.7]	幅 0.8	厚さ 0.1	不明	[1.6]				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層)
図61-930	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層) 中国北宋代 1068年
図61-931	木製品	漆器柄	—	—	—	胸小片					黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (下層)
図61-932	瓦	平瓦	長さ [16.6]	幅 [11.0]	厚さ 2.6	広端部 小片					灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物21 (裏込め) 夫坂寺五王A跡か
図62-933	陶器	瀬戸 入子	2.8	2.3	0.8	完形	5.3				灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 (上層)
図62-934	陶器	瀬戸 瓢子	4.5	—	[2.6]	口縁部					明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 (上層) 藤原朝の接合部
図62-935	陶器	瀬戸 鉢(蓋)	—	—	[7.4]	1/8		○	○		明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 (上層)
図62-936	陶器	常滑 片口鉢1型	(31.0)	(11.8)	14.2	1/4					緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 (上層) 6型式か
図62-937	在土土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	5.0	1.6	3/4		○	○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 白針
図62-938	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	6.0	1.8	2/3		○			黄灰	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 白針
図62-939	陶器	常滑 片口鉢	(16.0)	(11.7)	7.2	1/4					緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22
図62-940	鉄製品	用途不明 用棒状製品	長さ 23.4	幅 0.7	厚さ 0.6	ほぼ完形	[28.2]				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 木質(竹)付者 鎌か
図62-941	銅製品	銭 康平元寶 (真書)	直径 2.3	孔径 0.7	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.4				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 中国北宋代 1068年
図62-942	銅製品	銭 康平元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.8				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物22 中国北宋代 1068年
図62-943	在土土器	ロクロ かわらけ・小	8.9	6.8	1.8	完形	81.6	○	○		緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23 白針
図62-944	陶器	灰精陶器 碗	—	(7.3)	[1.8]	体片～ 底1/3					灰白	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23
図62-945	在土土器	遺物?	(26.4)	—	[5.9]	1/5					緑	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23
図62-946	在土土器	縄文土器 深鉢?	—	—	—	破片					褐～灰黒	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23
図62-947	石製品	砥石	長さ [11.1]	幅 4.3	厚さ 3.1	一部欠損	[210]				黄白	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23 平砥
図62-948	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 7.8	厚さ 2.7	一部欠損	[285]				灰黒～黄橙	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23 平砥
図62-949	鉄製品	腰刀釘	長さ 10.9	幅 0.6	厚さ 0.5	ほぼ完形	(18.1)				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23 拵金具の部品か
図62-950	銅製品	銭 天禧通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23 中国北宋代 1017年
図62-951	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3				—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物23 中国北宋代 1068年
図62-952	木製品	小皿	長さ [6.0]	幅 6.6	厚さ [5.5]	不明					—	Ⅱ区下層遺構面 壱穴遺物24 黒色系漆付者
図63-953	陶器	常滑 片口鉢1型	(26.0)	(13.4)	12.2	口～底1/3					灰白	Ⅱ区下層遺構面 井戸4
図63-954	在土土器	手づくね かわらけ・小	(8.7)	—	1.8	2/3		○			黄橙	Ⅱ区下層遺構面 井戸4 (裏込め) 白針
図63-955	石製品	砥石	長さ 5.8	幅 4.1	厚さ 1.3	ほぼ完形	[53]				灰黄白	Ⅱ区下層遺構面 井戸4 (裏込め) 台上17低(溝)
図63-956	鉄製品	釘か	長さ [8.6]	幅 0.5	厚さ 0.4	一部欠損	[6]				—	Ⅰ区最下層遺構面 溝1
図63-957	銅製品	銭 康平元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	6				—	Ⅱ区下層遺構面 土坑77 中国北宋代 1068年
図64-958	銅製品	銭 政和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	2/3	3				—	Ⅱ区下層遺構面 土坑77 中国北宋代 1111年

() = 復元値 [] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整 行' 行' 行'	外底面圧痕 板状 A/2状	色調	出土遺構・ 出土層からの特徴
			口径	底径	器高						
図04 959	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(4.4)	2.2	1/2		○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑78 白針
図04 960	在地土器	ロクロ かわらけ・中	11.0	6.0	3.0	3/4		○	○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑78 白針
図04 961	鉛磁磁器	白磁 皿	—	(6.2)	[2.3]	底1/4				白 透明	Ⅱ区下層遺構面 土坑78
図04 962	陶器	磁戸 御盃	—	(8.0)	[1.7]	底1/4				灰緑	Ⅱ区下層遺構面 土坑78
図04 963	鉛磁磁器	青白磁 合子壺	(9.0)	—	[2.1]	11/8				洗水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 土坑79
図04 964	瓦質土器	火鉢1B類	(36.0)	(27.0)	9.7	11/4				暗灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑79
図04 965	銅製品	銭 天福通寶	直径 2.2	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 土坑79 中国北宋代 1017年
図04 966	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区下層遺構面 土坑82 中国北宋代 1086年
図04 967	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.4	1.5	完形	49.4	○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 土坑84 白針
図04 968	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4			—	Ⅱ区下層遺構面 土坑84 中国北宋代 1086年
図04 969	銅製品	銭 □□□貫 (篆書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3			—	Ⅱ区上層遺構面 溝状遺構穴内
図04 970	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	5			—	Ⅱ区上層遺構面 埋状遺構穴内 中国北宋代 1086年
図05 971	在地土器	高台付ロクロ かわらけ・小	(9.2)	(6.0)	2.4	1/3		○		橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 972	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	2.0	1/2				黄灰	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 973	在地土器	手づくね かわらけ・小	9.2	—	1.1	ほぼ完形	54.6			橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 974	在地土器	手づくね かわらけ・小	9.6	—	1.1	1/2		○		橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 975	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.0)	—	1.6	1/2		○		橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 976	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	2.0	1/2				橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 977	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.7)	—	1.6	1/2		○		橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 978	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.1)	—	2.3	1/3		○		淡黄橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 979	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.1)	—	3.0	1/3		○		橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 980	在地土器	手づくね かわらけ・大	(14.0)	—	2.7	1/3				橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 981	在地土器	手づくね かわらけ・大	13.8	—	2.9	2/3		○		橙	I区最下層遺構面 溝1 白針
図05 982	陶器	常滑 片口鉢1型	(21.2)	(11.2)	10.4	口~底1/3				灰	I区最下層遺構面 溝1 S型式・C
図05 983	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3			—	I区最下層遺構面 溝1 中国北宋代 1078年

第五章 若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析

1. はじめに

鎌倉市の若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目 333 番 2 地点）において行われた発掘調査で、土坑が検出された。この土坑埋土より採取された土壌試料について、プラント・オパール分析と花粉分析を行った。

2. 試料と分析方法

試料は、若宮大路周辺遺跡群の土坑 18 の埋土より採取された 2 試料 (WW1、WW2) である。土相について、WW1 は炭混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 細粒砂、WW2 は暗灰黄色 (2.5Y5/2) 細粒砂である。これら 2 試料について、以下の手順にしたがって分析を行った。

2-1. プラント・オパール分析

秤量した試料を乾燥後再び秤量する（絶対乾燥重量測定）。別に試料約 1g（秤量）をトールビーカーにとり、約 0.02g のガラスビーズ（直径約 0.04mm）を加える。これに 30% の過酸化水素水を約 20～30cc 加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波洗浄機による試料の分散後、沈降法により 0.01mm 以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作製し、検鏡した。同定および計数は、機動細胞珪酸体由来するプラント・オパールについて、ガラスビーズが 300 個に達するまで行った。また、植物珪酸体の写真を撮り、図版 1 に載せた。

2-2. 花粉分析

試料（湿重量約 3g）を遠沈管にとり、10% 水酸化カリウム溶液を加え、10 分間湯煎する。水洗後、46% フッ化水素酸溶液を加え、1 時間放置する。水洗後、比重分離（比重 2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し、水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続いてアセトリシス処理（無水酢酸 9：濃硫酸 1 の割合の混酸を加え 20 分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを滴下し、保存用とする。検鏡は、この残渣より適宜プレパラートを作製して行った。プレパラートは全面を検鏡し、その間に現れる花粉・胞子を全て数えた。

3. 分析結果

3-1. プラント・オパール分析

同定・計数された各植物のプラント・オパール個数とガラスビーズ個数の比率から、試料 1g 当たりの各プラント・オパール個数を求め（付表 1）、それらの分布を図 1 に示した。以下に示す各分類群のプラント・オパール個数は、試料 1g 当たりの検出個数である。

検鏡の結果、両試料よりイネのプラント・オパールが検出された。検出個数は 180,000 個前後を示し

付表 1 試料 1g 当たりのプラント・オパール個数

試料	イネ (個/g)	イネ類破片 (個/g)	ネザサ節型 (個/g)	ササ属型 (個/g)	他のクケ重科 (個/g)	ヨシ属 (個/g)	シバ属 (個/g)	キビ族 (個/g)	ウシクサ族 (個/g)	不明 (個/g)
WW1	179,100	1,000	31,000	3,900	4,800	2,900	0	28,100	44,500	3,900
WW2	184,000	0	47,900	3,800	5,600	900	900	45,100	47,900	15,000

ている。また、イネの類に形成される珪酸体の破片(イネ類破片)が WW1 で、イネ型短細胞珪酸体は両試料で観察された。

イネ以外ではネザサ節型やウシクサ族が多く検出された。また、キビ族は両試料ともに 10,000 個を超えている。その他には、ササ属型やヨシ属、シバ属などが検出されている。

3-2. 花粉分析

2 試料の検鏡を行った結果、十分な量の花粉化石が得られなかった。WW2 からは花粉が検出されず、WW1 からはイネ科とヨモギ属が検出された。産出花粉・シダ植物胞子の一覧を付表 2 に示す。なお、十分な量の花粉化石が得られていないため、分布図は示していない。

4. 考察

WW1 と WW2 からは十分な量の花粉化石が得られなかった。一般的に、花粉は湿乾を繰り返す環境に弱く、酸化的環境に堆積すると、紫外線や土壌バクテリアなどによって分解され消失してしまう。そのため、堆積物が酸素と接触する機会が多い堆積環境では花粉化石が残りにくい。よって、試料採取地点は堆積時か堆積後において、好氣的環境に晒されていた可能性がある。あるいは、堆積速度が速くて堆積物中に花粉が取込まれなかった可能性もある。一方で、植物珪酸体はガラス質であるため、乾燥的環境においても良好に保存される。以下では、分析試料から産出した植物珪酸体に基づき、土坑 18 の特徴について検討した。

WW1 と WW2 の 2 試料ともに突出して多く検出されたのがイネ機動細胞珪酸体であるため、埋土内に稲藁が多く混入していたとみられる。試料を採取した土坑 18 は、その形状からトイレ跡の可能性が考えられている(※)。稲藁とトイレ跡との関係性は不明であるが、ひとつに、トイレ跡が稲藁等の廃棄の場になっていた可能性が推測される。

※編者註

第四章で述べたように、現地調査の段階で土坑 18 と土坑 20 とが混同されてしまった節がある。

土坑 20 については、下層埋土について「トイレの可能性も含む」とのメモ書きが残されている。

付表 2 産出花粉胞子一覧表

学名	和名	WW1	WW2
草本			
Gramineae	イネ科	1	-
Artemisia	ヨモギ属	1	-
Arboreal pollen	樹木花粉	-	-
Nonarboreal pollen	草本花粉	2	-
Sporae	シダ植物胞子	-	-
Total Pollen & Spores	花粉・胞子総数	2	-
unknown	不明	-	-

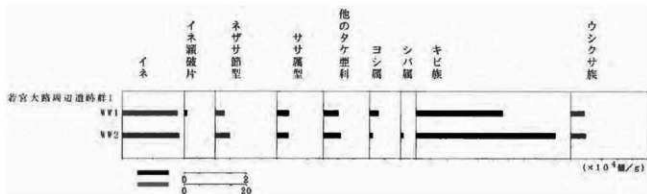
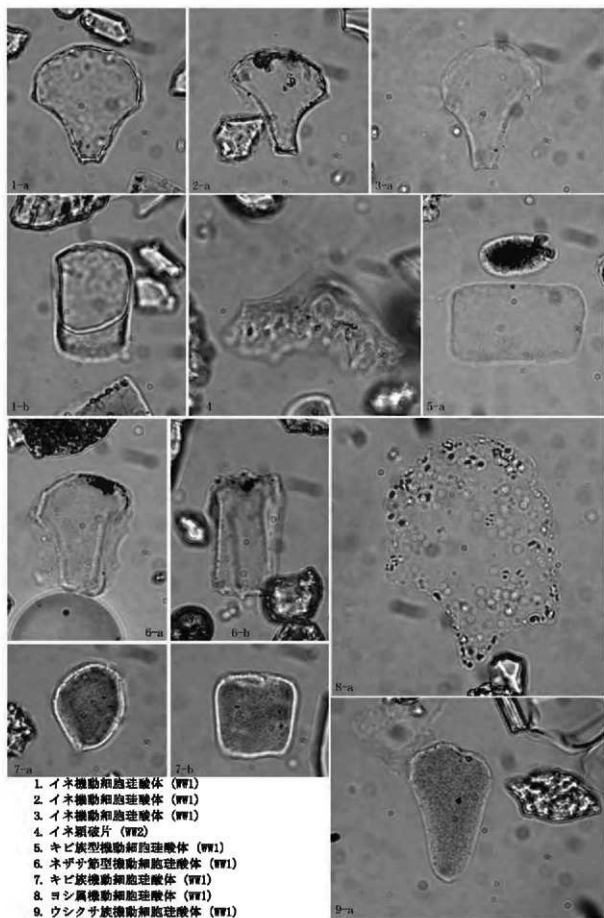


図 1 プラント・オパール分布図



1. イネ機動細胞珪酸体 (WW1)
 2. イネ機動細胞珪酸体 (WW1)
 3. イネ機動細胞珪酸体 (WW1)
 4. イネ類破片 (WW2)
 5. キビ族型機動細胞珪酸体 (WW1)
 6. ネザサ型節型機動細胞珪酸体 (WW1)
 7. キビ族機動細胞珪酸体 (WW1)
 8. コシ属機動細胞珪酸体 (WW1)
 9. ウシタサ族機動細胞珪酸体 (WW1)
- a: 断面 b: 側面

図版1 若宮大路周辺遺跡群1から産出した植物珪酸体

0.02mm

第六章 調査成果のまとめ

第1節 遺物点数・重量の提示方法について

ここまで、大掴みな説明に終始してきた。時間的制約のためとはいえ現地調査時の精細な記録と所見を大幅に省略した内容となった点、お詫びしたい。

本報告では出土遺物の点数（破片数）と重量を遺構・層位単位で区別して表5に示した。地点全体の総量は提示しなかったが、各々の分析視点に応じて数値を合算し、利用いただきたい。

遺構ごとに遺物数を示すことで、遺構間の新旧関係と遺構内の遺物組成とがどのような相関性を持つのか知り得るが、本報告ではそこまで踏み込んだ検討は行えなかった。本地点のように同一の層位上で繰り返し遺構が形成された遺跡では整然とした遺物組成を見出すことは難しいが、それでも上層遺構面の土坑39や、下層遺構面の竪穴建物21・溝1などではままとまりのある遺物を抽出でき、これに遺構の新旧関係を加味して考えることで、ある程度の年代幅を抑えることは可能となろう。

重量については、かわらけはロクロ：手づくね、および大：小の量的構成を破片数と併せて客観的に示すことができ、そこに一定量の完形品が含まれていれば、個体重量の平均値（もしくは集中値）から個体数の概算値を得ることも可能となる。陶磁器類についてはかわらけと同じ効果は望めないが、情報として開示することに無駄はないと考えている。報告書の刊行がなされた後、実測図が掲載されない遺物が原則として「お蔵入り」されている現状を鑑みるに、現地での出土・取り上げ状況を第三者にも復元できる提示方法が必要であり、実物に代わる基礎データとして位置付けたい思いがある。各遺物の分類認定など、現行の研究水準を反映できていない部分も多いが、今後、少しでも改善すべく心掛けたい。

第2節 遺構の変遷と遺物様相

前置きが長くなったが、以下、前節の視点にも照らしながら遺構の変遷と遺物様相について整理し、まとめたい。

(1) 上層遺構面

I・II区とも土坑を主体とする遺構が検出された。同一面上での重複が著しく、また下層竪穴建物の埋土を掘り込む遺構も多くあり、基本的に新旧の遺物が混在する状況下にあったといえる。そうした中、I区井戸1やII区掘夷遺構、方形竪穴状土坑（＋土坑31）、土坑36・39などで一定の特徴を見出せる遺物が出土している。

井戸1では、かわらけはロクロ成形品が大多数を占め、大～小までの4法量とも器壁の分厚い資料が主体となる。瀬戸窯製品には浅い碗（小鉢か＝図25-125）など後II期と思しき製品、常滑には9型式前後の甕片（同133）など15世紀前半の要素が散見される。在地産かわらけが最も新しく製作されたという前提に立てば、井戸1の廃絶～埋没時期を15世紀前半以降に置くことが可能となる。

掘夷遺構では8型式頃の常滑大甕（図27-157）が埋設され、この据え方土坑内で出土したかわらけはロクロ成形品が殆どを占め、小皿は丸みを帯びて低平、大皿は内湾・深身器形を呈する（158～163）。大甕を14世紀後半の製品とすると、かわらけはこれより古い印象を受ける。近年では8型式を14世紀前半に置く見方も支持されているので（藤澤・山本2015）、かわらけに引き寄せて遡らせることも可能

かもしれない。

方形竪穴状土坑1は上部に土坑31が重なり、本報告では同一遺構の可能性があったとした。土坑31のロクロかわらけ大皿(図31-268～269)は口縁を外方に引き伸ばして仕上げている点、方竪状1の内湾器形(図28-182)より後出する要素を有する。土坑31の非図化遺物には瀬戸窯の縁軸小皿が含まれることから、14世紀中頃～後半まで下らせ得る。方竪状1埋土の小皿(図28-169～181)は内湾器形を基調とし、低平と深身の2種が認められる。床面上の小皿(図29-210～213)は低平タイプが占める。埋土出土の瀬戸窯花瓶(図28-186)は中Ⅱ期頃の製品と見られ、総体として14世紀前葉～中頃の遺物様相と捉えられる。

土坑36のロクロかわらけ(図33-277～281)は、比較的薄い体部が直線的に開く。備前窯すり鉢(282・283)は、口縁が肥厚する282が新しい。両者で中世3a～3b期への移行期の資料と見なせ、14世紀の中頃～後半に位置付けられようか。本遺構に切られる土坑67では大・小とも内湾するロクロかわらけが出土しており(図35-356・357)、資料数は少ないが器形変化を示す事例となろう。

土坑39は、重複するどの遺構よりも新しい。ここでは完形率の高いロクロかわらけが一括廃棄され、大6055g、小皿1520gが出土した。大は口径9～10cm 台前半で107g 前後の中皿と、口径10.5～11cm 前後で136g 前後の大皿に分けられる。小には口径6～7cm で40g 前後の小皿と、口径7～8cm で60g 前後の準小皿があり、これを核として、やや幅のある法量分布を示している。基本的には以上の4法量で構成されるが、破片資料ではこれら4種を判別できないため、正確な個体数も算出できない。試みに大120g・小50gという平均値で割り出すと、大51個・小30個に換算され、図化できた資料とは異なる構成比を示す。いずれの法量でも器壁が厚く、体部～口縁が直線的ないし外反する資料が主体となり、先述した井戸1の資料と近い印象を受ける。細部を見ると、本土坑の方が外反する傾向が強く、小型品では底部脇の突出する資料が目立ち、井戸1より粗雑化が進んだ要素と見なせる(図34-292～321)。伴出した陶磁器類は僅少で破片資料が占めるが、瀬戸窯の縁軸小皿(322)は低い削り出し高台を有し、後Ⅳ期以降の製品と見なせる。1/4程度が残存するもので、完形品が主体のかかわらけは、これより後に製作されたと理解すべきだろう。従って15世紀中頃以降の年代を与えることができ、「中世都市鎌倉」としては最終段階のかかわらけ一括廃棄例とも評価し得る。

以上を総合すると、本地点の上層遺構面では14世紀前葉～中頃に土坑主体の土地利用へと移行し、井戸をとめないながら15世紀中頃までは一定の営みがあったことになる。下層遺構面の竪穴建物群がいつ頃に機能を失って行ったのか、参考としたい。

(2) 下層遺構面

竪穴建物間の新旧関係は各図面に記載したので繰り返さないが、整理すると、下記のような建物変遷を提示できる。

I期：竪穴底面の四周に柱穴を巡らせる掘立柱構造。→建物7・21

II期：土台材から柄組みの柱を立てる土台構造。

→建物2・4・6・9・11・12・13・15・16・17・19・20・22・24

III期：土台構造と思われるが、遺構間の切り合いで最も新しい建物。小規模な例が散見される。

→建物3・5・10・14・18

遺構間の切り合いや構造材の腐朽によって必ずしも構造が明確な例ばかりではないが、以上のようにまとめた。竪穴建物の主な用途は倉庫で、建物21のように破損した未使用陶磁器を打ち棄てた状況は、そのことを端的に物語っている。前章でも述べたように、同様の廃棄例は鎌倉でも唯一であり、床下の

埋壺などを除いては、建物への帰属が明確に分かる出土遺物は稀である。

以下、各期の年代観について検討する。

I 期（建物 7・21）

I 区建物 7 の出土かわらけは、埋土上層・下層ともロクロ成形と手づくねの数量が拮抗する。床面上では手づくねのみ、柱穴では遺物の全体量が少ないが、ロクロ・手づくね双方が出土している。陶磁器では埋土の上層で白磁皿Ⅸ類や龍泉窯系青磁坏・盤Ⅲ類、8～9 型式の常滑甕（図 43-530）が出土し、新しい要素が混在している。下層～床面上・柱穴では、こうした傾向は見えにくくなる。柱穴 P-7 では略完形のロクロかわらけ小皿が出土し（533）、広い底部から丸みを帯びた低い体部が立ち上がる。

II 区建物 21 では龍泉窯系青磁碗Ⅲ類や白磁皿Ⅸ類、尾弧型 7 型式の山茶碗・山皿が倒壊した壁板下からまとまって出土し、その多くに明瞭な使用痕が見て取れなかったことから、鎌倉への搬入から間もない 1250 年前後、もしくはそれ以降に建物としての廃絶期を想定できる。また、壁材の裏込め土からも龍泉窯系青磁碗Ⅲ類が出土しているため、構築～廃絶の期間は短かったことが推察できる。掘方からは龍泉窯系青磁碗Ⅳ類と思しき小片が出土しているが、これは 14 世紀以降の要素なので、分類比定の錯誤か、または何らかの理由による混入品と理解したい。

以上 2 例から検討すると、I 期の堅穴建物は 13 世紀中頃の短期間のうちに構築～廃絶を迎え、II 期の土台構造建物群へと移行したことが推察される。

II 期（建物 2・4・6・9・11・12・13・15・16・17・19・20・22・24）

対象となる建物が多いので、遺物量の多い事例に限って検討したい。

I 区建物 4 は建物 7 より新しく、13 世紀中頃以降の構築が前提となる。出土かわらけはロクロ成形が主体で、図化資料は大・小ともに底広で丸みを帯び、小皿は低平、大皿はやや深身となる。

II 区建物 11 は造り替えて 2 時期あり、古段階の 11B は西隣の建物 12 と同一遺構となる可能性を示した。11A は掘方底面の高さを変えずに土台材を据え直して構築されており、埋土からの出土遺物については殆どが 11A の埋没時に流入したものと考えられる。上・下層を問わず、かわらけはロクロ成形品が大半を占め、丸みを帯びた体部で低平な小皿と深身の皿とで構成される。建物 11B = 12 では埋土から薄手・深身の小皿が出土している。

II 区建物 15 では、埋土・床面上から多くのロクロかわらけが出土している。床面上の小皿は低平で、口縁が外方に引き伸ばされた資料が目立つ（図 52-723～727 など）。大皿も口縁が薄く引き伸ばされ（732・733）、丸みを帯びて深身の器形である。埋土出土の小皿は丸みを帯び低平なものを主体に、深身器形の資料が加わる（図 51-689）。大皿は内湾して深身器形である（690・691）。特に小皿について、床面上と埋土出土分には器形差が見出せる。

II 区建物 16 の出土遺物もロクロかわらけが主体で、埋土出土の小皿は内湾して深身の資料が主体となる（図 54-757～767 など）。ここでは中皿も 1 点だが認められた（769）。裏込め出土の小皿にも深身器形の資料があり、低平小皿が主体となる建物よりも新しく位置付けられそうである。

II 区建物 17 は建物 21 より新しく、13 世紀中頃以降の構築であることが前提となる。ここでも出土遺物はロクロかわらけが主体で、埋土出土の小皿は丸みを帯びて低平な資料が主体となり（図 55-793～800）、本遺構を切る建物 16 の深身小皿より古い様相であることを指摘できる。

建物 19 でもロクロかわらけが主体で、大・小とも内湾して深身の資料が目立つ。

II 区建物 20 の出土品もロクロかわらけが主体となる。大・小とも体部は丸みを帯び、小皿は低平、大皿はやや深身器形を取る。建物 15 床面上に先行する資料で、目立った器形差はないものの、本遺構

の方が体部の丸みが強いようにも見受けられる。

Ⅱ区建物 24 は土台構造だが、遺構間の切り合いでは最も古い建物である。かわらけは埋土・裏込めともロクロ成形と手づくねの数量には大差がなく、建物 21 の裏込めと近い傾向を示している。掘立柱構造ではないが、Ⅰ期遺構として考えることも可能である。

Ⅲ期（建物 3・5・10・14・18）

Ⅰ区建物 3 のロクロかわらけ大皿（図 40-453・454）は、体部が丸みを帯び深身器形となる。

Ⅰ区建物 5 では、底径が小さく体部が内湾する小皿（図 42-505）が見られる。

Ⅱ区建物 10 では、出土遺物の大多数をロクロかわらけが占めている。埋土出土の大・小とも体部に丸みを持ち、小皿は低平（図 45-556～559）、大皿は深身器形を呈する（560～563）。掘方出土の大皿（574-575）は、埋土出土のものより若干小振りである。

Ⅱ区建物 14 でもロクロかわらけが主体で、大・小ともに体部に丸味を帯び、小皿には低平（図 50-667・668）と深身（672・673）、その中間形態（669・671）も設定できようか。瀬戸窯の柄付片口（676）と袴腰形香炉（677）は中期前半の製品なので、13 世紀末～14 世紀前葉以降には埋没が進んだことを指摘できる。

Ⅱ区建物 18 でも、出土遺物の主体はロクロかわらけである。大・小とも薄手で丸みを持つ器形で、深身の資料が目立つ。

以上、竪穴建物間の新旧関係からⅡ期とⅢ期を設定したが、双方の遺物様相に顕著な差を見出すことはできず、短期間のうちに廃絶（埋め立て）と新設とを繰り返した状況が窺える。どの建物においても出土遺物の主体となるのはロクロかわらけで、大・小とも体部に丸みを帯び、浅いものから深身器形に移行することが確認できた。こうした深身への器形変化は、小皿の方が認識しやすい。

それぞれの遺物に正確な年代を当てることは難しいが、Ⅰ期建物の廃絶からⅢ期建物の埋没期となる 13 世紀中頃～14 世紀前葉頃の中で建物群の展開があったことは指摘できよう。とすると、一部は上層遺構面の上限年代に重なる可能性があり、14 世紀前葉頃に土地利用上の大きな転換期が訪れたことが分かる。鎌倉幕府の滅亡を契機に当エリアの竪穴建物群（倉庫群）も次第に需要を失い、14 世紀中頃～後半には土坑中心の土地利用に移行したと考えるのが妥当だろう。ただ、そうした変化がどの程度の速さで進んだのか、他地点・他エリアの成果も踏まえて総合的に検討する必要がある。

Ⅰ期以前（溝 1・井戸 4・方形竪穴状遺構 3）

竪穴建物群に先行する遺構として、Ⅰ区の溝 1 とⅡ区の井戸 4・方形竪穴状土坑 3 が挙げられる。

溝 1 はⅠ期の建物 7 に切れ、本地点に建物群が展開する以前に機能していたと考えて間違いない。出土かわらけは手づくね成形品が大多数を占める点、本地点では唯一の遺構である。重量ベースで計算すると、大で 95%、小で 90% を手づくねが占める。大・小ともに器壁が非常に薄く扁平な器形を呈し、手づくねでも古い特徴を有している（図 65-972～981）。13 世紀前葉でも、古く位置付けて良いだろう。971 の高台付小皿は通常のかかわらけ組成には入らない特殊品で、ロクロ成形だが胎土の特徴は手づくねと比べて差がなく、滑らかである。

井戸 4 はⅡ区東端部の建物 15 より古い。かわらけはロクロ成形品が大部分を占め、井戸枠裏込め土から白磁皿Ⅸ類や龍泉窯系青磁坏・盤のⅢ類が出土するなど、Ⅰ期の竪穴建物と変わらない遺物組成を示している。図 63-953 と図 65-983 の常滑片口鉢Ⅰ類は 5～6 型式と見られ、13 世紀中頃以降の構築・使用期間を想定できる。井戸枠南辺から建物 21 の北辺までは約 2 m の距離があり、これら遺物組成と遺構間の新旧関係を勘案すると、両遺構が同時期に存続していた可能性も指摘できる。よって本遺構

については、堅穴建物群Ⅰ期に属するものと理解したい。

方形堅穴状遺構3については出土遺物が全くないため年代を特定できず、結果として溝1のみが確実にⅠ期を遡る遺構ということになる。遺物像相だけを見ると、13世紀前葉でも早い段階に溝1が廃絶・埋没した後、一定期間を隔てて13世紀中葉に建物7・21と井戸4が構築され、以後、14世紀前葉まで堅穴建物が建て替えを繰り返しながら展開したという変遷が考えられる。

小括

上記の検討からは、建物Ⅱ・Ⅲ期の中で個々の遺構がいつ頃に存続・廃絶し、どの建物と併存関係にあったのか、具体的には明らかにできなかった。13世紀後半～14世紀前葉＝鎌倉時代後期は都市鎌倉の稠密化が顕著になる時期で、本地点でも、そのことを追認する成果が得られた。この時期はかわらけの編年も含め、細かく解きほぐして検討することが積年の課題となっているが、本章でも不十分な考察に終始した。引き続き、検討を重ねたい。

第3節 「マグソ」の分析結果について

前章で示されたように、Ⅱ区下層の土坑18では、埋土の試料からイネのプラント・オパールが大量に検出されている。試料は有機質腐植土であり、鎌倉の遺跡調査者が「マグソ」と呼ぶ土である。稲葉に由来する可能性が高いことは従来から指摘されていたが、分析結果を得たことで、その推測が裏付けられたことになる。土坑内に稲葉を捨てる目的については明確でなく、これも今後の課題として残る。今回の分析は、現地調査が終了してから10年以上を経た後に依頼したものであった。よって試料採取の意図を十分に反映した内容とならなかったかもしれない。今後、同種の遺構・土壌を確認した際には、より多角的な検討に資する情報を得ることができるよう、留意したい。

参考文献

藤澤良祐・山本智子 2015 「中世常滑窯編年の再検討—5型式以降を中心に—」『上県2号窯跡 第9次発掘調査報告書』愛知学院大学文学部歴史学科



1. I区上層 西半部 (西から)



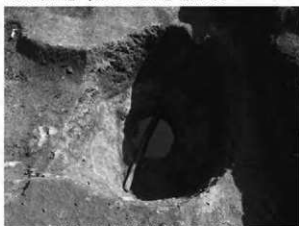
2. I区上層 井戸1埋土上層 槓検出状況 (東から)



4. I区上層 井戸1埋土下層 (東から)

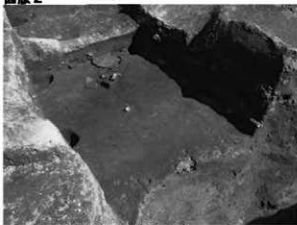


3. I区上層 井戸1埋土上層 (東から)



6. I区上層 井戸1完掘状況 (西から)

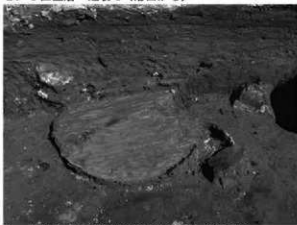
図版 2



1. I区上層 建物1 (南西から)



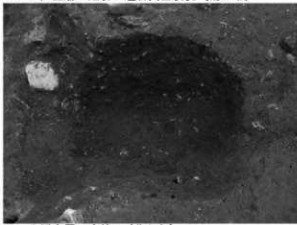
5. I区下層 建物2A西半部 (北から)



2. I区上層 建物1遺物出土状況 (南から)



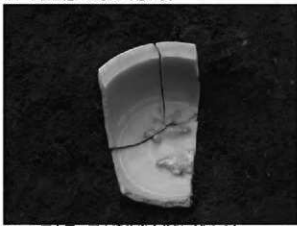
6. I区下層 建物2A遺物出土状況 (北から)



3. I区上層 土坑1 (北から)



7. I区下層 建物2A遺物出土状況 (東から)



4. I区上層 面上遺物出土状況 (北から)



8. I区下層 建物2A遺物出土状況 (南から)



1. I区下層 建物2A 視太材 (南から)



6. I区下層 建物2A (北から)



2. I区下層 建物2A 視太材 (東から)



6. I区下層 建物2A 南辺土土台材 (東から)



3. I区下層 建物2A 柱材倒置状況 (北から)



4. I区下層 建物2A 東柱検出状況 (東から)



7. I区下層 建物2A 柱穴= (左)・ホ (東から)

図版 4



1. I区下層 建物 2A 柱穴ハ (南西から)



2. I区下層 建物 2A・2B (南から)



3. I区下層 建物 2A・2B (西から)



4. I区下層 建物 2B 南辺壁板 (西から)



5. I区下層 建物 2B 東辺土台材 (南から)



6. I区下層 建物 2B 南辺土台材 (東から)



1. I区下層 建物3・4 (西から)



2. I区下層 建物3南辺壁倒壊状況 (北から)



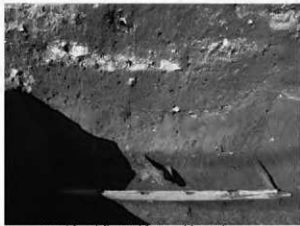
3. I区下層 建物4土層断面 (東から)



4. I区下層 建物4土層断面 (東から)



5. I区下層 建物3土台材 (西から)



6. I区下層 建物3土層断面 (南から)



7. I区下層 建物3東辺壁 (西から)



1. I区下層 全景(東から)



2. I区下層 全景(西から)



1. I区下層 建物4土台材(北から)



5. I区下層 建物6(北西から)



2. I区下層 建物5(南から)



6. I区下層 建物6(北から)



3. I区下層 建物5壁板(東から)



4. I区下層 建物5裏込め土内遺物出土状況(北から)



7. I区下層 建物7南辺壁板・柱穴(北から)



1. I区下層 建物4(手前)・建物7(北から)



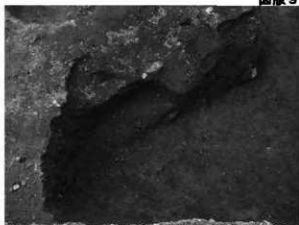
2. I区下層 建物7正面柱穴列(南から)



3. II区下層 棟1・南辺道脇状遺構(東から)



1. II区上層 掘強遺構断面 (南から)



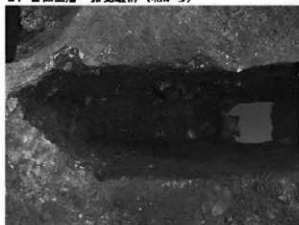
5. II区上層 方壺状土坑1遺物出土状況 (北から)



2. II区上層 掘強遺構 (北から)



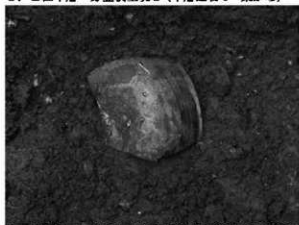
6. 同上 アップ (北から)



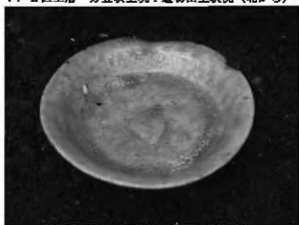
3. II区下層 方壺状土坑2 (下層遺物9・東から)



7. II区上層 方壺状土坑1遺物出土状況 (北から)



4. II区上層 方壺状土坑1遺物出土状況 (北から)



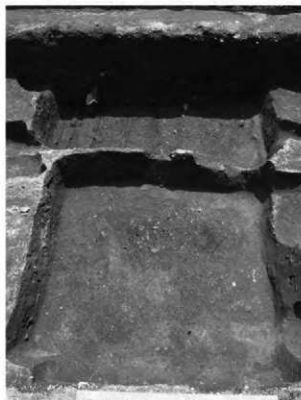
8. II区下層 遺物9遺物出土状況 (東から)



1. II区上層 全景 (東から)



2. II区上層 全景 (西から)



1. II区上層 方整状土坑1 (北から)



2. II区上層 方整状土坑2 (下層雑物9)
底面横太旗 (南から)



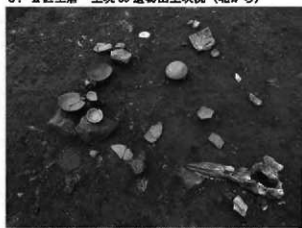
3. II区上層 土坑36 遺物出土状況 (北から)



4. II区上層 土坑39 遺物出土状況 (北から)



5. II区上層 土坑39 遺物出土状況 (北から)



6. II区上層 土坑31 遺物出土状況 (北から)



7. 同上 イルカ頭骨アップ (北から)



1. II区上層 溝状遺構 (東から)



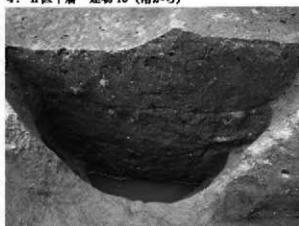
2. II区下層 建物10土層断面 (南から)



3. II区下層 建物10床面炭層 (北から)



4. II区下層 建物10 (南から)



6. II区下層 井戸2土層断面 (東から)



6. II区下層 井戸3 (西から)



7. II区下層 井戸3土層断面 (東から)



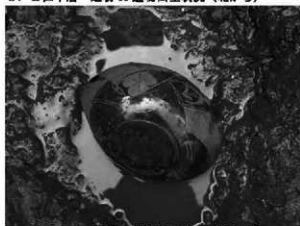
1. II区下層 建物11遺物出土状況(西から)



2. II区下層 建物11遺物出土状況(西から)



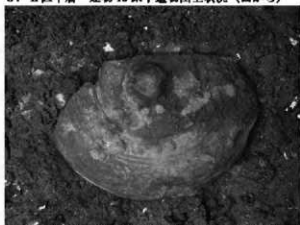
3. II区下層 建物11遺物出土状況(北から)



4. II区下層 建物11遺物出土状況(東から)



5. II区下層 建物15床下遺物出土状況(西から)



6. II区下層 建物15床下遺物出土状況(西から)



7. II区下層 建物16(東から)



8. II区下層 建物16掘り方(南から)



1. II区下層 建物11(左)・建物12(北から)



2. II区下層 建物11(奥)・建物12(西から)



3. II区下層 建物11西辺壁板(東から)



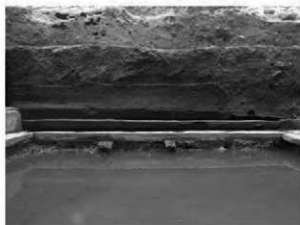
4. II区下層 建物12(南から)



1. II区下層 建物11(手前)・建物12(東から)



2. II区下層 建物11・12南辺土台材(北から)



3. II区下層 建物11・12南辺壁板(北から)



4. II区下層 建物11南辺土台材アップ(北から)



5. II区下層 建物11東辺土台材(西から)



6. II区下層 建物12西部(北から)



7. II区下層 建物12西部(南東から)



1. II区下層 建物 15・20 (東から)



2. II区下層 建物 15 (北から)



3. II区下層 建物 15 遺物出土状況 (北から)



4. II区下層 建物 15 根木材 (東から)



5. II区下層 建物 15 根木材 (北から)



6. II区下層 建物 15 北辺壁板 (南から)



7. II区下層 建物 15 掘り方遺物出土状況 (南から)



1. II区下層 建物19 (東から)



2. II区下層 建物19・24 (東から)



3. II区下層 建物17・21 (南から)



4. II区下層 建物22C (南から)



5. II区下層 建物22C床板 (西から)



6. 同上 アップ (西から)



1. II区下層 全景（東から）



2. II区下層 全景（西から）



1. II区下層 建物 21 北辺壁板倒潰状況 (南から)



2. II区下層 建物 21 北辺壁板倒潰状況 (東から)



3. II区下層 建物 21 壁板下遺物出土状況 (東から)



1. II区下層 建物21壁板下遺物出土状況(南から)



2. 同上 アツプ(南から)



1. II区下層 建物21掘り方底面(南から)



2. II区下層 建物21西側遺物出土状況(東から)



4. II区下層 井戸4(東から)



3. II区下層 整穴状土坑3(南から)



5. 同上(北から)



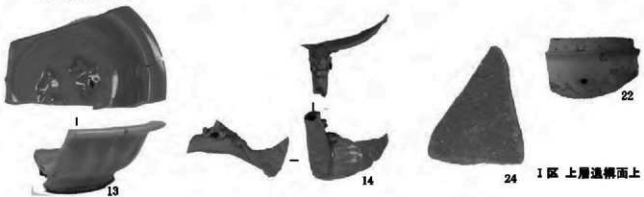
1. II区北壁 土層断面 (建物 11・12 の新旧関係 南から)



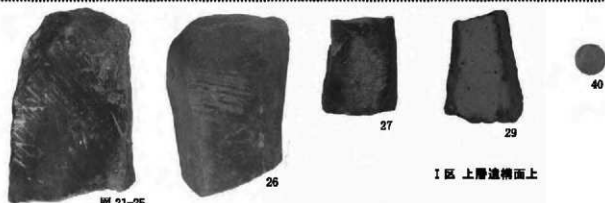
2. II区南壁 土層断面 (建物 17・21 の新旧関係 北から)



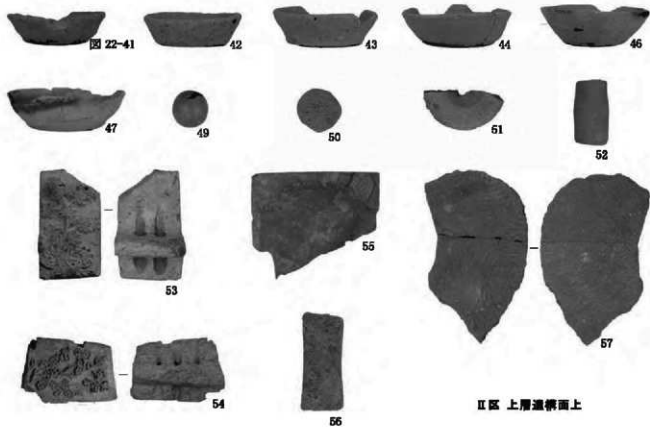
图 20-2
I 区 表土



I 区 上层透柄面上



I 区 上层透柄面上



II 区 上层透柄面上

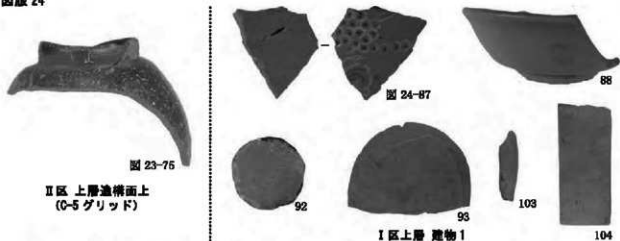


図 23-75

Ⅱ区 上層遺構面上
(0-5 グリッド)

I 区上層 建物 1

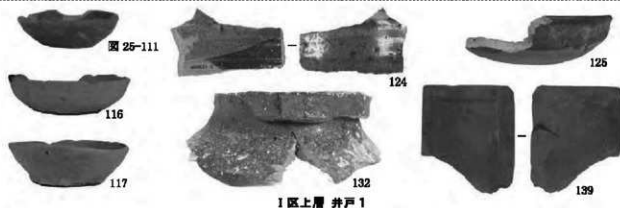


図 25-111

I 区上層 井戸 1

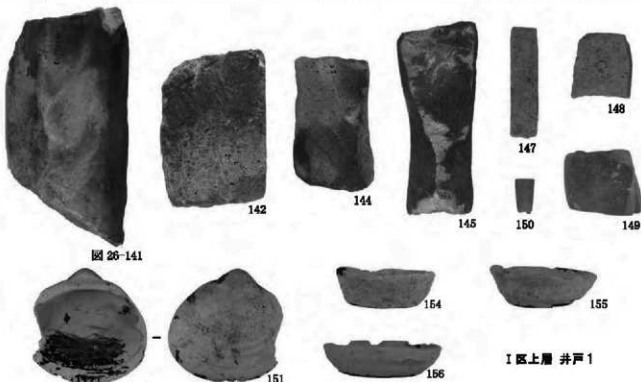


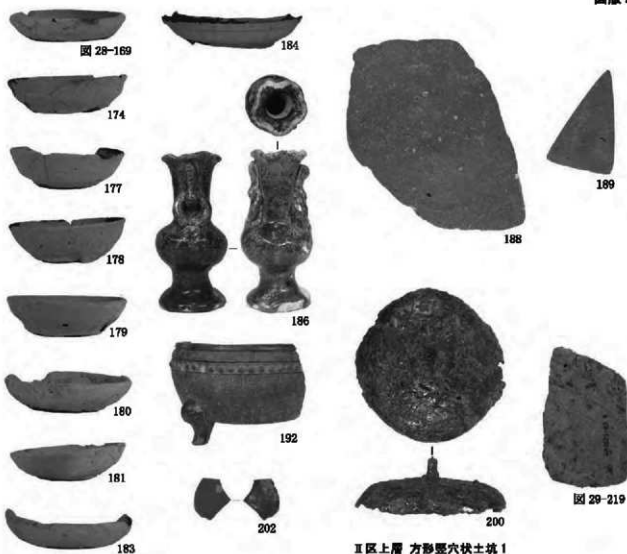
図 26-141

I 区上層 井戸 1



図 27-169

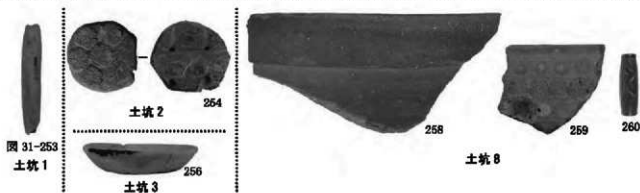
Ⅱ区上層 掘壁遺構



Ⅱ区上层 方形竖穴土坑 1



Ⅱ区上层 井状竖穴



Ⅱ区上层 土坑



261



262

土坑 11



267



268

土坑 31



269



270



264

土坑 14



271

土坑 33



272



273

土坑 34



圖 32-276

土坑 36



圖 33-278

281



285



圖 34-293



302



296

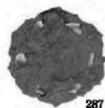


303



284

土坑 36



287



296



304



310



316



297



305



312



318



298



306



313



319



299



307



323



326



320

土坑 39

Ⅱ區上層 土坑



図 34-329
土坑 42



331



332

土坑 46

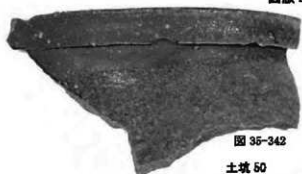


図 36-342

土坑 50



336

土坑 49



345

土坑 56



346

土坑 57

土坑 67



358



356



350



351



359



360



352

土坑 62



土坑 68

362



364

土坑 73

Ⅱ区上層 土坑



374

図 36-368
P10



376

P24



377

P25



371

P19



375

P21

I区上層 ビット

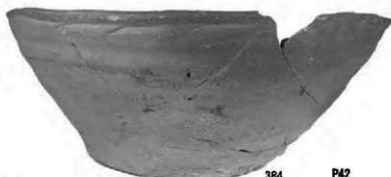


380

P35



380



384

P42

Ⅱ区上層 ビット



図 37-404



405

I 区 上層遺構面下
(C-8~10グリッド)



図 38-419

I 区 上層遺構面下
(B・C-7グリッド)



図 38-439 449



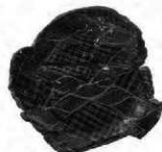
447



図 40-453



455

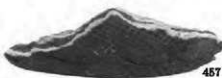


455

I 区下層 遺物 2



454



457



466

I 区下層 遺物 3



466



図 41-469



470



482



483



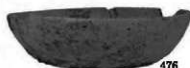
472



477



474



476



478



490



484



491



492

I 区下層 遺物 4



圖 42-499

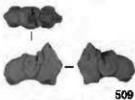
500



505



506



509

I 區下層 遺物 5



510



517



518



519

I 區下層 遺物 6



圖 43-535



536



548

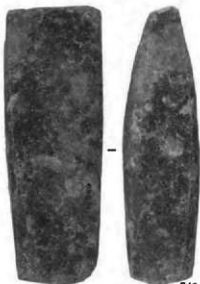
II 區下層 遺物 9



538



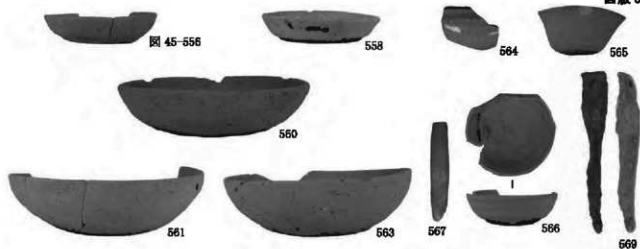
539



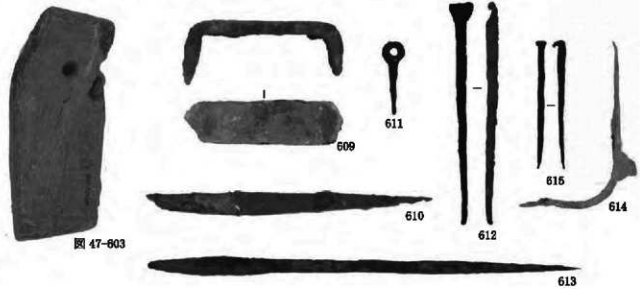
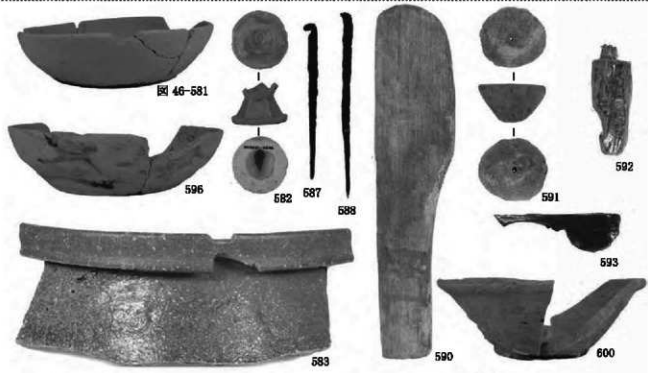
540



I 區下層 遺物 7



II区下层 器物 10



II区下层 器物 11

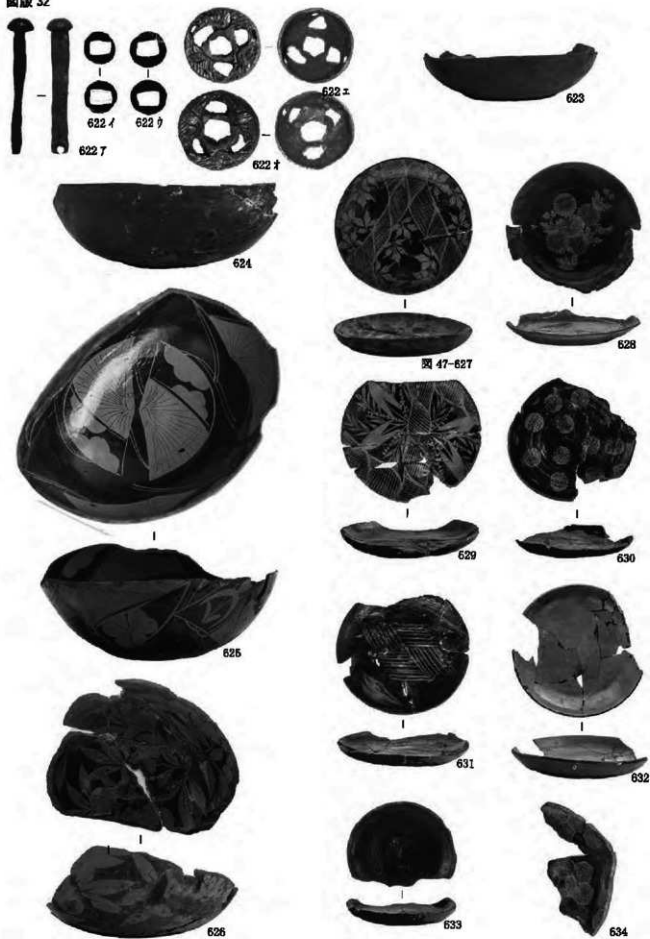


图 47-627

II 区下层 器物 11



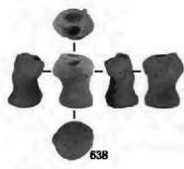
図 49-635



636 f



637



638



大量の筥



樹皮 (曲げ物の顔じ紐)

Ⅱ区下層 遺物 11



図 49-649

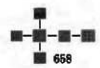


651

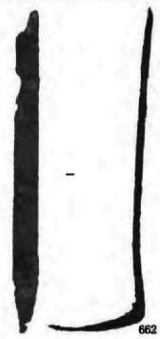
Ⅱ区下層 遺物 12



657

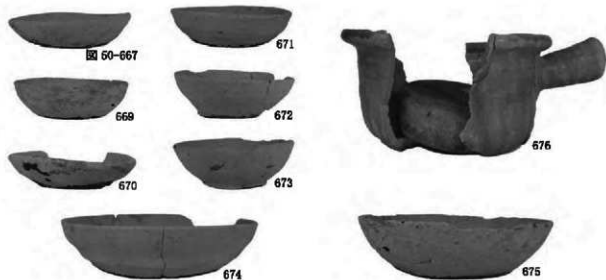


658

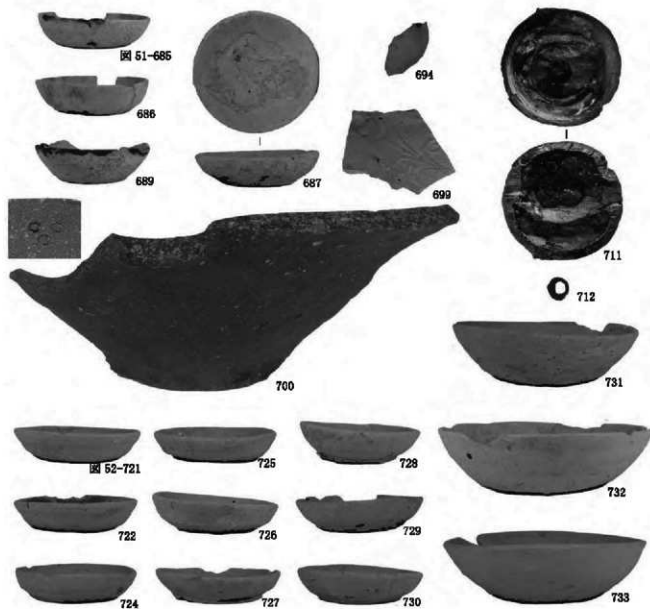


662

Ⅱ区下層 遺物 13



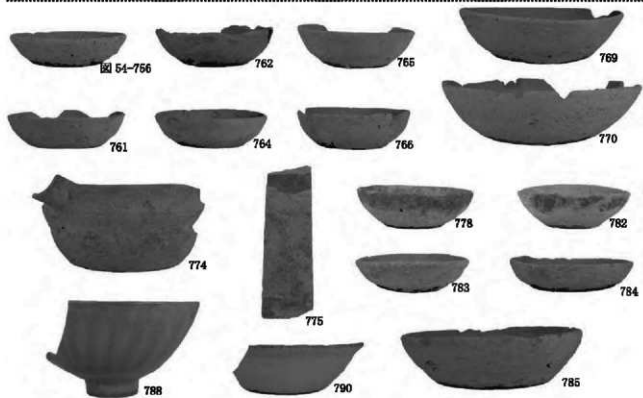
II 区下层 遗物 14



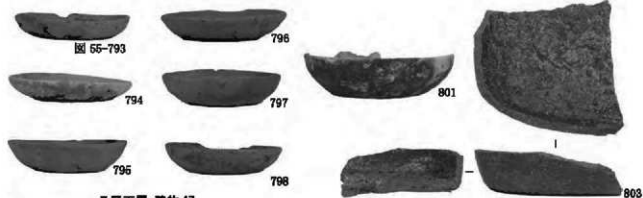
II 区下层 遗物 15



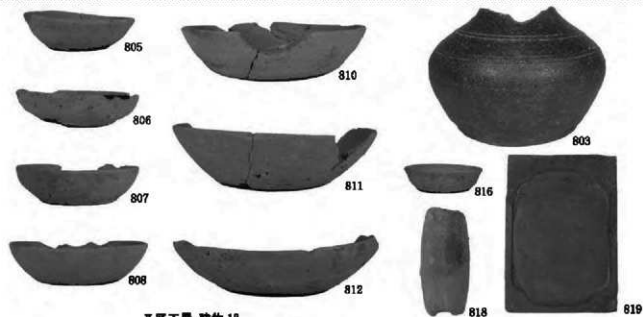
Ⅱ区下层 器物 15



Ⅱ区下层 器物 16



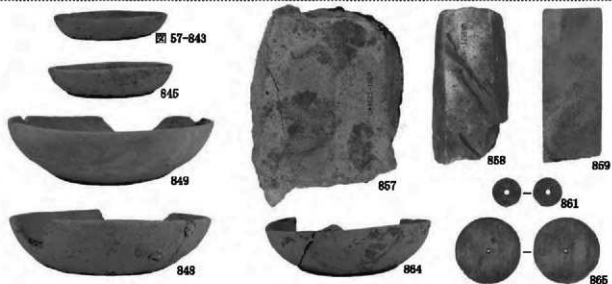
Ⅱ区下層 遗物 17



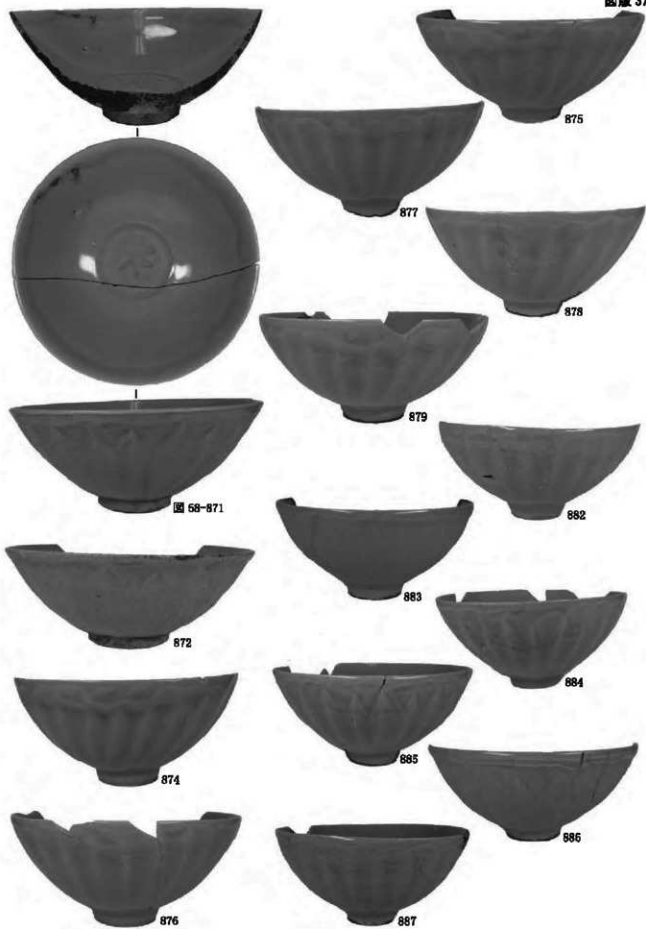
Ⅱ区下層 遗物 18



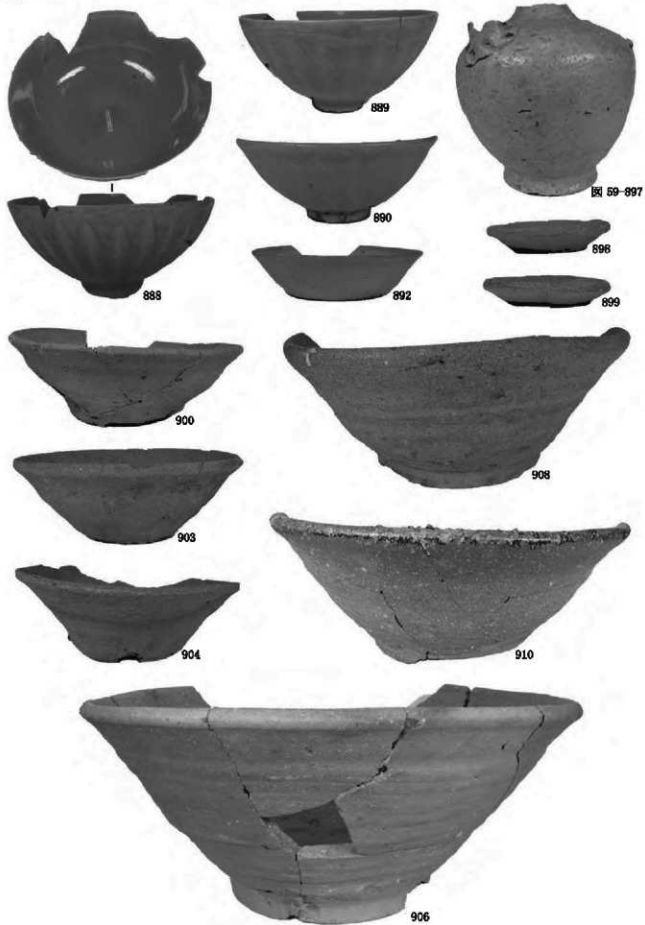
Ⅱ区下層 遗物 19



Ⅱ区下層 遗物 20 壤土



II 区下层 器物 21



Ⅱ区下層 建物 21



图 60-912



914



图 61-919



924



923



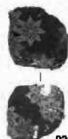
925



926



927



931

II 区下層 遺物 21

图 62-933



934



937



935



939



936



940

II 区下層 遺物 22



图 62-943

Ⅱ区下層 建物 23



图 63-954

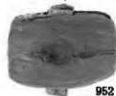
Ⅱ区下層 井戸 4



图 64-959



949



952

Ⅱ区下層 建物 24



963

Ⅱ区下層 土坑 79



967

Ⅱ区下層 土坑 84



960

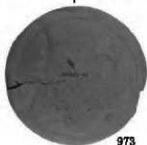


961

Ⅱ区下層 土坑 78

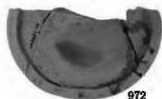


图 65-971



973

Ⅰ区最下層 溝 1



972



981



图 62-741

Ⅱ区下層 建物 15

若宮大路周辺遺跡群 (No.242)

小町二丁目281番2地点

例言

1. 本書は鎌倉市小町二丁目281番2地点における個人住宅建設に伴う発掘調査報告書である。調査面積は104㎡である。
2. 調査は平成24年1月23日から同年4月20日にかけて実施した。
3. 調査体制は以下の通りである。

主任調査員	伊丹まどか
調査員	小野夏菜・渡邊美佐子
	測量：須佐仁和・梅岡ケイト
調査作業員	赤坂進・安達澄代・安藤宗幸・倉沢六郎・杉浦永章・鈴木道明・丹野正弘・長野幹晴・宝珠山秀雄・吉沢功
4. 本報作成分担当は以下の通りである。

遺物実測	小野夏菜・清水由加里・正木恵子・吉田桂子
遺構図版作成	清水由加里・吉田桂子
遺物図版作成	岡本夏菜・清水由加里・正木恵子・吉田桂子
グリッド図作成	清水由加里
遺物観察表	田畑衣里・伊丹まどか
遺構計測表	清水由加里
破片遺物集計表	清水由加里・田畑衣理
遺構写真	伊丹まどか
遺物写真	須佐仁和
写真図版作成	小野夏菜
執筆・編集	伊丹まどか
5. 出土品等発掘調査に係る資料は鎌倉市教育委員会が管理している。
6. 本報図版の遺構・遺物の縮尺は以下の通りである。

遺構全測図	1/50	個別遺構図	1/40	遺物実測図	1/3（*銭は原寸）
-------	------	-------	------	-------	------------

なお各挿図にはスケールを表示してある。
7. 検出した遺構の計測値・実測遺物観察・実測できなかった遺物を含む総出土点数は表にまとめて掲載した。

復元した遺物の計測値には（ ）を付して表してある。

本文中「かわらけ」と記載したものはロクロ成形のかわらけを示し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。

ロクロ成形のかわらけの底径は回転糸切りの外径部分で計測し、手づくねかわらけは口径と器高のみを報告し底径は掲載していない。
8. 発掘調査に係る出土品の注記については、遺跡名の略号を「WA1106」とした。
9. 出土遺物に関しては生産地での編年を参考に観察表に年代を示したが、破片の為に不安の残るものに関しては割愛した。常滑製品は中野晴久氏。瀬戸製品は藤澤良祐氏。火鉢は河野眞知郎氏の編年に基づいて分類した。
10. 発掘調査及び報告書作成に際して以下の方よりご教授、ご協力を賜りました。記して深謝いたします。

押木弘己・菊川英政・後藤健・齋木秀雄・汐見一夫・松尾宜方・馬淵和雄・富田眞・山口正紀
（五十音順・敬称略）

本文目次

第一章 遺跡の位置と歴史的環境	195
第1節 歴史的環境 (図1)	
第2節 遺跡位置とグリッド配置図 (図2)	
第3節 堆積土層 (図3)	
第二章 発見された遺構と遺物	202
第1節 第1a面の遺構と遺物 (図4・図6～図22)	
第2節 第1b面の遺構と遺物 (図4・図23～図37)	
第3節 第2面の遺構と遺物 (図5・図38～図42)	
第4節 最終確認トレンチ (図5)	
第5節 表土から第1面・廃土山採集遺物 (図43～図45)	
第三章 まとめ	259
第1節 検出した遺構と遺物	
第2節 まとめ	

表目次

遺構計測表	262
遺物観察表	266
破片遺物計測表	292

挿図目次

図1 調査地点と周辺の遺跡	196	図17 第1a面個別遺構図・出土遺物	215
図2 遺跡位置とグリッド配置図	198	図18 第1a面・遺構195・遺構196・遺構195出土遺物	216
図3 堆積土層図	199	図19 第1a面・遺構196出土遺物	217
図4 第1a面・第1b面全測図	200	図20 第1a面・遺構197・出土遺物	218
図5 第2面・最終トレンチ全測図	201	図21 第1a面・遺構198・遺構199・遺構202・出土遺物(1)	219
図6 第1a面・遺構1	203	図22 第1a面・遺構202出土遺物(2)	220
図7 第1a面・遺構1出土遺物(1)	204	図23 第1b面個別遺構図(1)	222
図8 第1a面・遺構1出土遺物(2)	205	図24 第1b面個別遺構図(2)	224
図9 第1a面・遺構1出土遺物(3)	206	図25 第1b面個別遺構図(3)	226
図10 第1a面・遺構1出土遺物(4)	207	図26 第1b面個別遺構出土遺物(1)	227
図11 第1a面・遺構1出土遺物(5)	208	図27 第1b面個別遺構出土遺物(2)	228
図12 第1a面・遺構1出土遺物(6)	209	図28 第1b面個別遺構出土遺物(3)	229
図13 第1a面・遺構1出土遺物(7)	210	図29 第1b面・遺構99・出土遺物(1)	231
図14 第1a面・遺構1出土遺物(8)	211	図30 第1b面・遺構99・出土遺物(2)	232
図15 第1a面・遺構1出土遺物(9)	212		
図16 第1a面・遺構1出土遺物(10)	213		

図31	第1b面・遺構216・出土遺物(1)	235
図32	第1b面・遺構216・出土遺物(2)	236
図33	第1面・面上出土遺物(1)	242
図34	第1面・面上出土遺物(2)	243
図35	第1面・構成土出土遺物(1)	244
図36	第1面・構成土出土遺物(2)	245
図37	第1面・構成土出土遺物(3)	246
図38	第2面・個別遺構図(1)	248
図39	第2面個別遺構図(2)柱穴列1	249

図40	第2面個別遺構図(3)柱穴列2	251
図41	第2面個別遺構図(4)柱穴列3	253
図42	第2面個別遺構・面上出土遺物	254
図43	表土～第1面採集遺物(1)	256
図44	表土～第1面採集遺物(2)	257
図45	廃土山採集遺物	258

図版目次

図版1	I区 第1面(第1a面・第1b面)全景(東から)・II区 第1a面全景(東から)・II区 第1b面全景(西から)	293
図版2	I区 第2面全景(西から)・II区 第2面全景(東から)・II区 最終トレンチ(北から)	294
図版3	第1a面(遺構1・遺構195・遺構196)	295
図版4	第1b面(遺構216)	296
図版5	第1b面(遺構258・遺構267・遺構270・遺構281)	297
図版6	第2面(遺構119・遺構150)	298
図版7	第2面(遺構154・遺構312・遺構342・343)	299
図版8	第1a面遺構1(11・12層)	300
図版9	第1a面遺構1(12・13・16・17・18層)	301
図版10	第1a面遺構1(17～19層)	302
図版11	第1a面遺構1(17～19層)	303
図版12	第1a面遺構1(17～19層)	304
図版13	第1a面遺構1(20層)	305
図版14	第1a面遺構1一括	306

図版15	第1a面(遺構6・12・27・200・201・195)	307
図版16	第1a面(遺構195下層・196)	308
図版17	第1a面(遺構197)	309
図版18	第1a面(遺構198・199・202)	310
図版19	第1b面(遺構2・25・32・40・66・75・79・81・95・102・205)	311
図版20	第1b面(遺構206・207・208・213・214・229・236・240・246・252・265・268・272)	312
図版21	第1b面(遺構273・遺構284)	313
図版22	第1b面(遺構99)	314
図版23	第1b面(遺構216)	315
図版24	第1面面上	316
図版25	第1面構成土	317
図版26	第1面構成土	318
図版27	第2面(遺構110・119・137・150・155・157・191・301・346)・第2面面上・表土	319
図版28	表土	320
図版29	表土	321

第一章 遺跡の位置と歴史的環境

第1節 歴史的環境(図1)

本調査地点が位置する若宮大路周辺遺跡群(Na242)は、鎌倉市街地を南北に走る若宮大路を中心に南北約1.1km×東西約0.6kmにわたる広い範囲を呼称し、東は朝比奈切通を源に由比が浜に注ぐ滑川、西は若宮大路とほぼ平行して南北に走る今小路、北は一部を除き鶴岡八幡宮南辺、南は旧東海道と推定され、中世においては大町大路であったと考える現県道311号鎌倉葉山線を境とする。遺跡名の由来となる若宮大路は源頼朝によって造営された鎌倉幕府の都市づくりにおける基軸線であり、造営以降、現在に至るまで鎌倉の基幹道路として機能している。若宮大路には「段葛」と通称する、源頼朝が寿永元年(1182)妻政子の安産を祈願し、大路の中央に二列の堤を築き堤の脚部に石を置いて大路から一段高く造営した参詣道がある。鶴岡八幡宮への参詣道としての意味も持つ若宮大路は神聖な神の道であるため下馬すべき空間として、上の下馬・中の下馬・下の下馬の三つの橋が架けられていた。橋の位置は現在字名として残っている若宮大路と県道311号線が交差する下馬四つ角辺が「下の下馬橋」と推定され、「中の下馬橋」は享保十七年(1732)の鶴岡八幡宮境内絵図にも描かれる扇ヶ谷川が若宮大路を横切る現在の二の鳥居付近。「上の下馬橋」は諸種の資料にその名が現れないが、『吾妻鏡』建保六年六月二十七日条に「宮寺橋」の記事がみえ、三の鳥居辺にある「赤橋」が「上の下馬橋」であったと考えられている。

遺跡範囲を外れる若宮大路の西側八幡宮寄りには北条時房・顕時邸跡と云われ、三の鳥居から二の鳥居(上の下馬から中の下馬)の東は若宮大路幕府、宇津宮辻子幕府、北条氏の屋敷をはじめとする有力な御家人の居館が並んでいたといわれる。遺跡範囲となる若宮大路西側および二の鳥居以南は、調査成果から武家屋敷とやや庶民的な様相を示す遺構・遺物が多く発見され、遺跡範囲の最南端、下馬付近は「好色家」が立ち並ぶ繁華な歓楽街であったことが『吾妻鏡』などの記事に見え、若宮大路の東と西・南と北では居住者の様相が大きく変わる。若宮大路の名は鶴岡八幡宮若宮にちなんだ名であるが、「若宮大路」と表記されるのは『吾妻鏡』のみで、中世の記録・文書ではいずれも「若宮小路」となっている。

近年の調査成果から若宮大路の両側には箱掘状に掘り下げた溝底に枛を穿った角材を据え、枛穴に柄柱を立て、柄柱と溝壁の間に横板をかませ、底面と地表面で柄柱を横梁で引く構造を持つ、幅約3.0m、深さ約1.5mの規模を持つ木組みの側溝があったことがわかっている。東西の側溝の芯芯距離は36.6メートル、東側溝の西壁から西側溝の東壁までの距離は33.6メートルであったと推測され現在の大路幅よりも広いが、木組みの側溝は何度かの造り替えが行われ、そのたびに若干の位置移動が行われていることも分かった。また、若宮大路の東側は西側に比べて土手が高く、側溝の外側に塀を構築し防衛が厳重だったこと、屋敷は若宮大路を背に向けて建てられ、大路沿いに門、架け橋の発見がないことから、大路側からの出入りがほぼなかったこと等も明らかになってきている。

本調査地点は鎌倉市小町二丁目281番2地点に所在する。若宮大路西側に位置し、JR鎌倉駅の北方約300m、二の鳥居から北に約150m、三の鳥居から南に約380mの距離にある。調査地点の南には東西に走る小道があり、この道を東に進み若宮大路を横断し約80m行くと「宇津宮稲荷」に突き当たり、この小道以北は宇津宮辻子御所(幕府)跡といわれている。宇津宮御所は初代執権北条義時の死後嘉禄元年(1225)に、鶴岡八幡宮の東、大倉の地におかれていた御所(幕府)が失火等の厄災等を理由に移転が論議された後、嘉禎2年(1236)に若宮大路御所に移るまでの11年間と云う短い期間であったが將軍九条頼経の御所(幕府)として移徙されている。



図1 調査地点と周辺の遺跡

『鎌倉市史（総説編）』では「宇津宮船荷」のある路地(辻子)を宇津宮御所城の南限と考えているが、二の島居の南から小町大路に抜ける道を南限と想定する説も多くの支持を受けている。

本調査地周辺では多くの発掘調査が実施されている。若宮大路を挟んで宇津宮御所と対面する位置に調査地点は所在し重要な区域であったことが考えられる。

第2節 遺跡位置とグリッド配置図(図2)

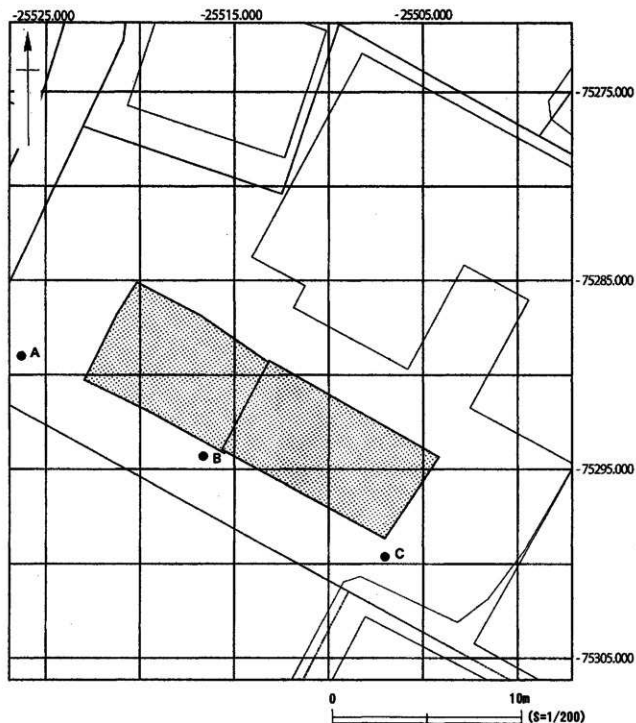
調査開始にあたり調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Aと、見返り点Bを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Aと、見返り点Bは鎌倉市4級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、調査時の成果表は日本測地系(座標AREA 9)の国土座標値を使用しているため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系IX形に変換し、図2に表記した。

第3節 堆積土層(図3)

調査前、現地表海抜高は約8.20mを測った。約80cmの厚さで堆積していた現代埋土(表土)を重機によって除去し2枚の生活面を検出した。第1面とした地業層は現代埋土と攪乱土坑によって大きく削平を受けていたために一部遺構と遺物の混乱があり、整理作業時にa・bと2面に分けて報告している。表土は現代遺物と共に多くの中世遺物を含んでいた。

以下、確認した生活面の海抜高と構成土について述べる。

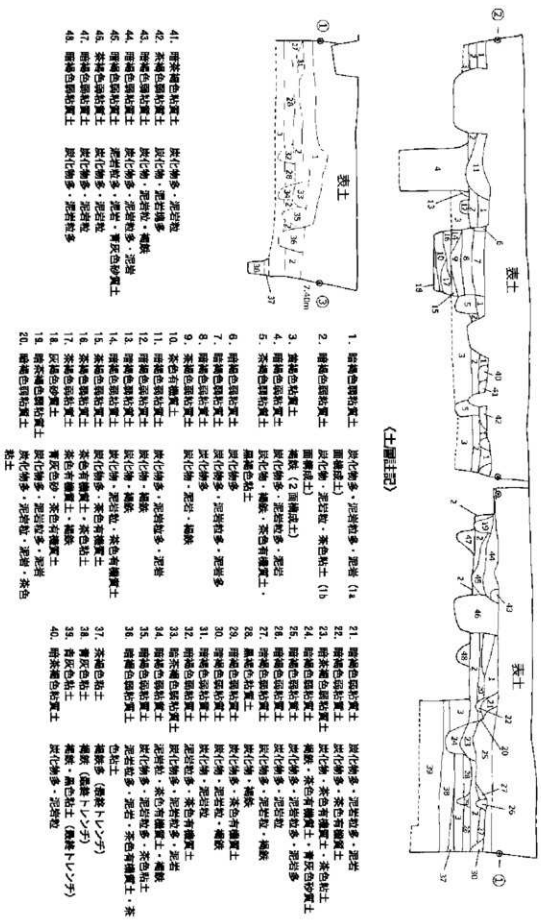
第1a面は炭化物多量・泥岩粒多量・泥岩を含む暗褐色弱粘質土の地業層上で発見した。確認レベルは海抜7.40m、第1b面は炭化物多量・泥岩粒・泥岩・茶色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土上で検出した。確認レベルは海抜7.30mである。第2面は褐鉄・炭化物を含む黄褐色粘質土で検出した。確認レベルは海抜7.00mである。I区・II区ともに第2面検出後、トレンチを任意に設定し下層の土層堆積を確認した。I区のトレンチ土層図は最終確認トレンチ位置図(図5)で、II区のトレンチ土層図は調査区壁南壁土層堆積図で報告している。第2面下層の堆積状況はI区とII区では若干の違いが見られた。I区トレンチでは茶色有機質土を多く含む堆積層が北から南に向かって緩やかに下る堆積を観察し、堆積層からの出土遺物は無く、有機質土と自然木が含まれていた。II区トレンチでは褐鉄と若干の炭化物を含む暗褐色粘質土が平坦に堆積しており、最下層はI区トレンチで確認することのできなかった中世地山である青灰色粘土の堆積を確認している。



地点	世界測地系	
	X	Y
A	-75288.996	-25526.292
B	-75294.309	-25516.657
C	-75299.619	-25507.026

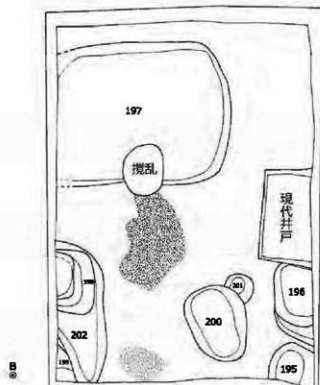
図2 遺跡位置とグリッド配置図

圖3 屋敷土層断面

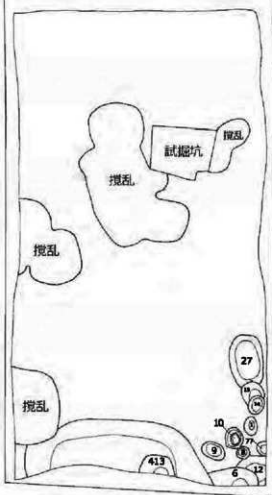


※Section Point位置圖は図5を参照

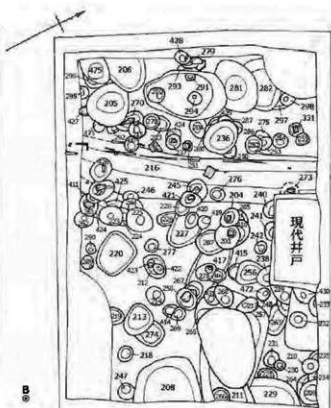




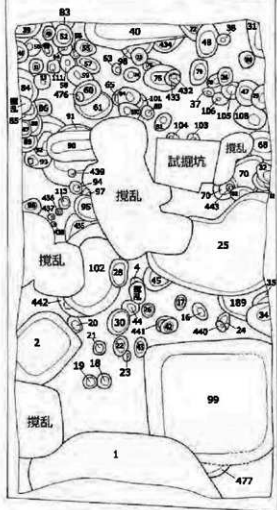
B



C



B



C

0 4m (S-1/80)

圖4 第1a面・第1b面全測圖

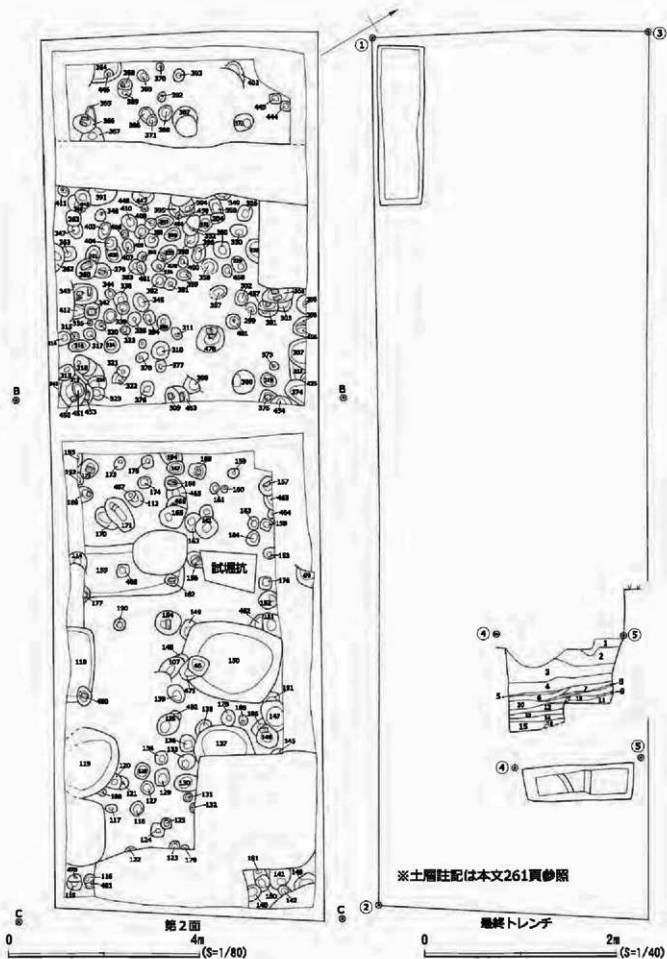


図5 第2面・最終トレンチ全測図

第二章 発見された遺構と遺物

重機で表土を約80cm～90cm除去し、黄茶褐色弱粘質土(炭化物・泥岩を含む)の中世遺物包含層を検出したが、現代埋土と攪乱坑による削平部分が大きく広がっていたため、人力により更に掘り下げ第1面確認面を検出した。本調査では2枚の生活面を確認し調査・記録を行ったが、前述したように第1面は削平を受け、遺構・遺物の混乱があったため、整理作業時にa・bの2面に分けて報告している。表土からは現代遺物と共に多くの中世遺物を発見している。調査前現地地表海拔高は約8.20mであった。

発見した生活面は上層より順に報告している。本調査はⅠ区・Ⅱ区に分けて調査しているため、Ⅰ区に付した番号はⅡ区よりも若い番号となっており、必ずしも番号の新旧が遺構の新旧を表してはいない。実測遺物は遺物観察表に詳細を記し、本文中では遺物名だけを報告している。

第1節 第1a面の遺構と遺物(図4・図6～図22)

第1a面は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土上で検出した。発見した遺構は土坑10基・ビット6穴・竪穴建物2軒である。Ⅱ区遺構197の東で泥岩粒・泥岩細片による地葉の痕跡(図4-スクリーントーン貼付)を一部発見しているが、調査区全体では現代埋土によって削平を受け遺存していない。第1a面検出時に不整形なプランを多く発見し、半載して確認したが、その大半は攪乱、あるいは地葉の際にできた堆積層の異なりであった。遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・青白磁・白磁・褐釉・常滑・南伊勢系土鍋・瓦・金属製品釘・銅銭・砥石・滑石鍋・獣骨・果核・土師器が出土している。

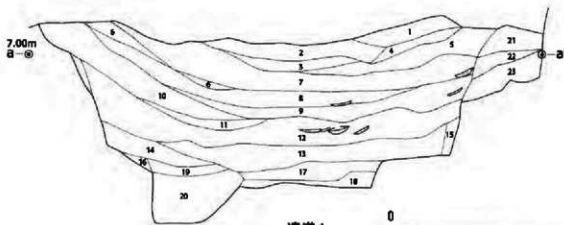
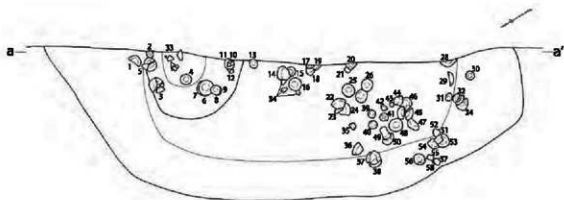
・遺構1(図6)

調査区の東側に位置する。遺構の大半が調査区外に延び規模・形状は不明となった。遺構の壁がほぼ垂直に立ち上がり、遺構底面は平坦な方形を呈する形状から竪穴建物の可能性を窺えたが、建物址の堀方にあたる堆積を調査区壁から発見することが出来ず、大型の土坑であった可能性もある。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。覆土内からは火熱を受けた安山岩を多く発見している。覆土最下層は湧水が激しく、泥岩塊とともに多量の木製品を検出した。

・出土遺物(図7～図16)

出土遺物は、堆積土層図に示した層位に準じて採集し、ほぼ中層辺の11層・12層の遺物はまとまって出土したため個別に平面図に記録し、記録した遺物は枝番を付して示している。出土遺物の内、特にかわらけの出土量が突出し、出土したかわらけの大半は完形品、あるいは完形品に準ずる器形であった。かわらけ・手づくねは報告したものを含め総出土片数は、かわらけ(大)1969片・(中)31片・(小)530片。手づくね(大)28片・(小)15片。内折れ(手づくね)10片を数えた。

1は第6層出土。常滑片口鉢Ⅱ類である。その他に遺物は出土していない。2～7は第11層出土。かわらけである。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類が破片で出土している。8～54は第11層・第12層出土。かわらけである。出土した遺物はNaを付して採集した。それぞれの採集Naは平面図と観察表を参考にしていただきたい。その他に遺物は出土していない。55～63は第12層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。64～65は第13層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。66～82は第16層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。83～91は第17層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。92～93は18層出土。92は手づくね。93はかわらけ。その他に遺物は出土していない。94～259は17層～19層出土。94～98は手づくね。99～246はかわらけ。247～248は青磁竊連弁文碗。249は



遺構 1

(註記)

- | | | | |
|-------------|--------------------|--------------|---------------------|
| 1. 暗褐色弱粘質土 | 褐鉄・炭化物・泥岩粒多・泥岩 | 13. 暗褐色弱粘質土 | 炭化物・茶色有機質土多 |
| 2. 暗褐色弱粘質土 | 褐鉄・炭化物・泥岩粒・炭化物多 | 14. 暗茶褐色弱粘質土 | 炭化物多・泥岩粒多・泥岩・茶色有機質土 |
| 3. 褐色弱粘質土 | 泥岩粒多・泥岩多 | 15. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒 |
| 4. 暗褐色弱粘質土 | 炭化物多 | 16. 茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒 |
| 5. 暗褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩粒多・泥岩多 | 17. 青灰色砂質土 | 黒褐色砂質土 |
| 6. 暗褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩粒・黄褐色砂 | 18. 黄褐色砂質土 | 炭化物・褐色砂 |
| 7. 黒褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩粒・遠隔處面に炭化物堆積 | 19. 青灰色砂質土 | 炭化物・茶色有機質土 |
| 8. 黒褐色弱粘質土 | 炭化物多・泥岩粒・泥岩 | 20. 青灰色砂質土 | 黒色砂質土・褐色砂 |
| 9. 茶褐色粘質土 | 炭化物・泥岩・茶色有機質土 | 21. 暗褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩粒・泥岩 |
| 10. 明褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩粒多・泥岩 | 22. 暗褐色弱粘質土 | 炭化物多・泥岩粒 |
| 11. 暗褐色粘質土 | 炭化物 | 23. 茶褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩・褐鉄 |
| 12. 暗褐色弱粘質土 | 炭化物多・泥岩・茶色有機質土 | | |

図6 第1a面・遺構1

青磁坏。250は山茶碗。251は常滑片口鉢Ⅰ類。252～254は常滑甕。255～258はかわらけ加工品。かわらけ底部を円盤状に加工している。257は底部中央に穿孔があるが、加工前の整形か加工後の整形かは不明。259は須恵器坏。260～371は20層出土。260～309はかわらけ。310は黄釉甕。311～313は漆器。311は柄、312は蓋、313は化粧刷毛の軸。314～371は木製品。314～322は箸。323～332・346は板折敷。333～345・347～354は経木折敷。355～358は篋状製品。359～369は棒状製品。370は形代。371は用途不明、半月状製品。17～19層と20層からは、その他に手づくね・青白磁梅瓶・瀬戸碗・常滑片口鉢Ⅱ類・土製品・平瓦・瓦器碗・獸骨・貝・果核が破片で出土している。372～520は地積層別に分けることが出来なかった遺物を遺構1一括遺物として報告した。372～610はかわらけ。611～612は青磁碗。613～614は白磁口瓦皿。615は山茶碗。616～617は常滑片口鉢Ⅰ類。618は南伊勢系土鍋。619～620は金属製品。619は鉄製品釘。620は用途不明。その他に破片で手づくね・青磁折縁皿・青白磁梅瓶・白磁口瓦碗・瀬戸碗・常滑片口鉢Ⅱ類・平瓦・

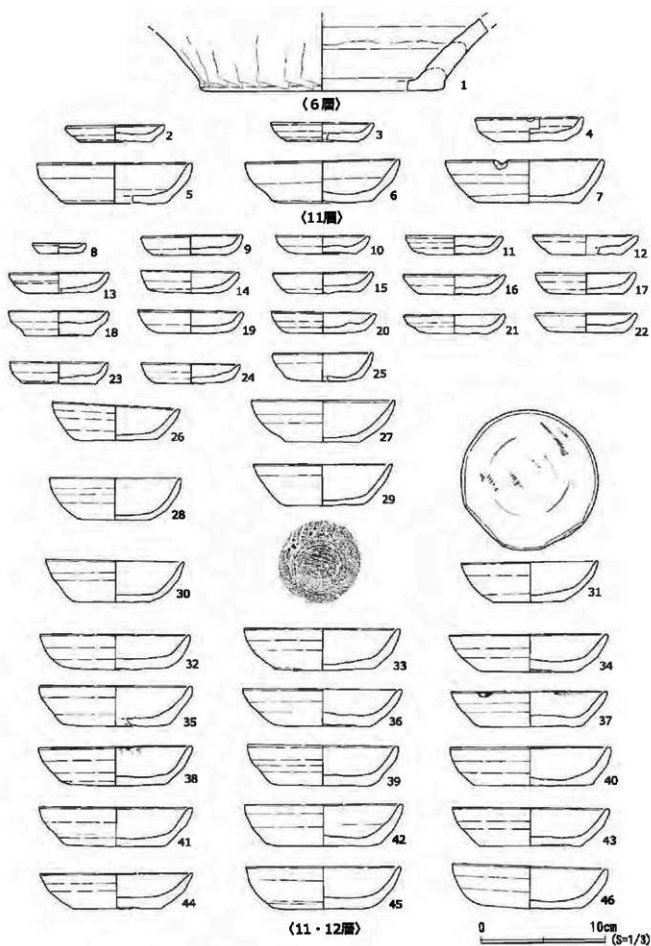


図7 第1a面・遺構1出土遺物(1)

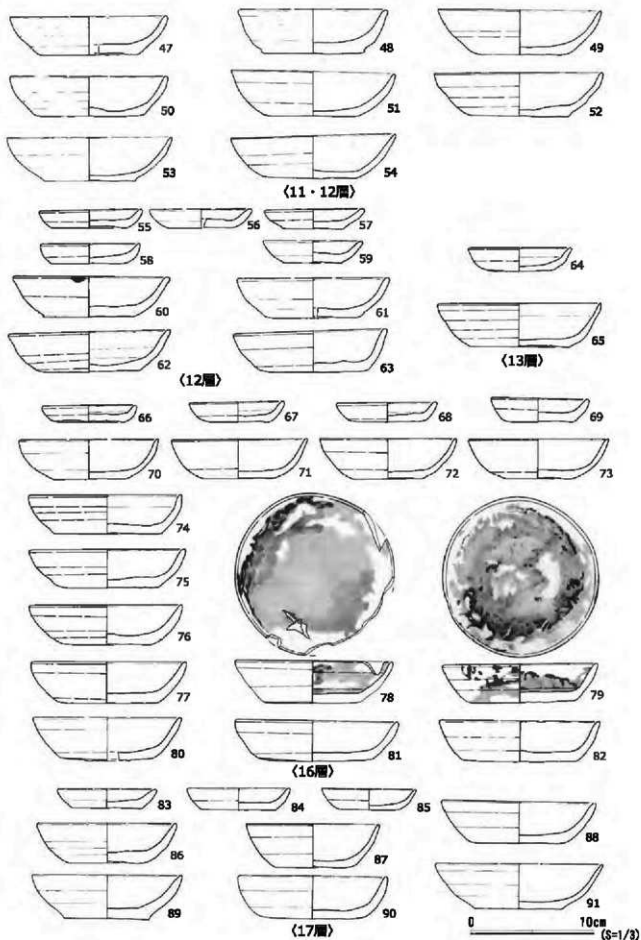


図8 第1面・遺構1出土遺物(2)

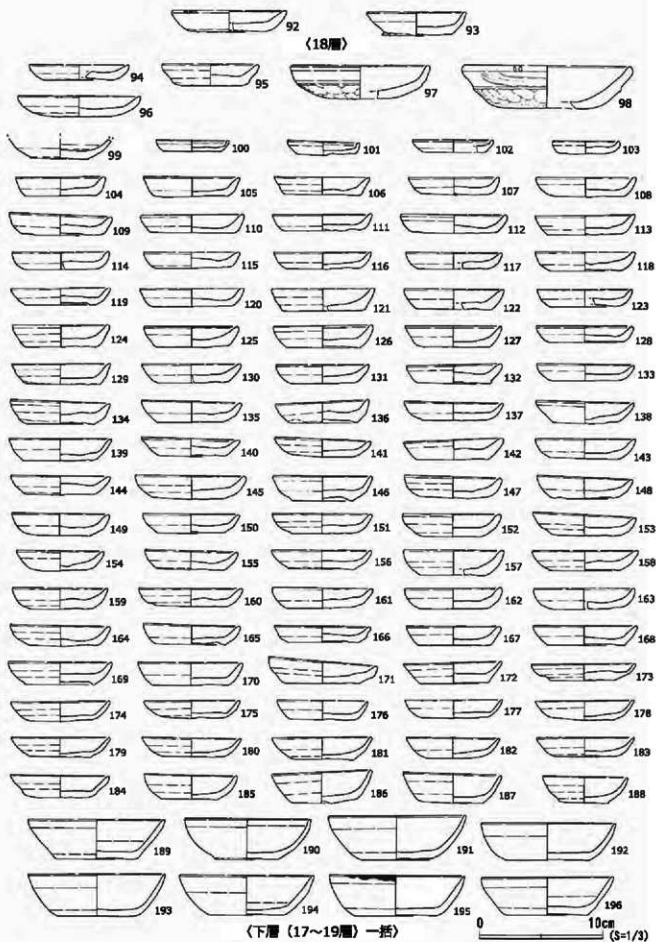


図9 第1a面・遺構1出土遺物(3)

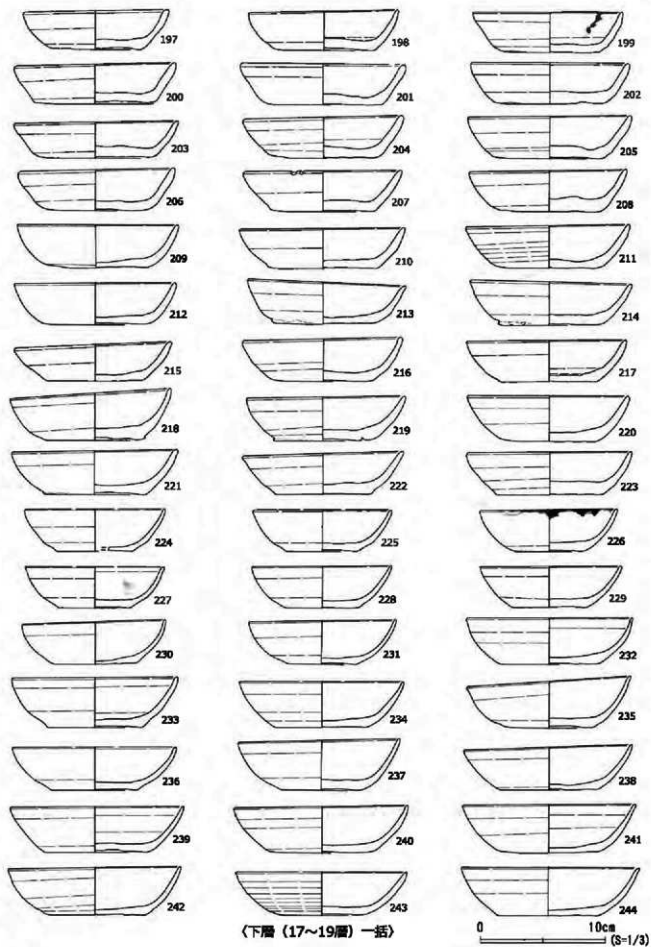
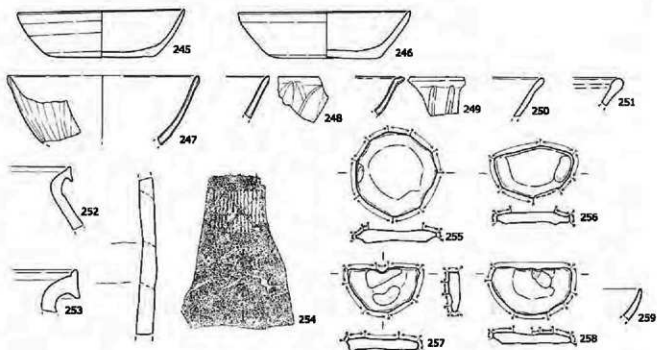
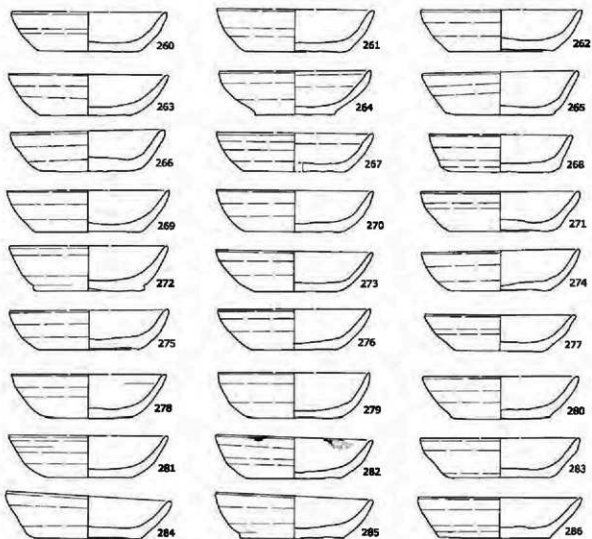


圖10 第1a面・遺構1出土遺物(4)



〈下層 (17~19層) 一括〉



〈20層一括〉

0 10cm (S=1/3)

圖11 第1a面・遺構1出土遺物(5)

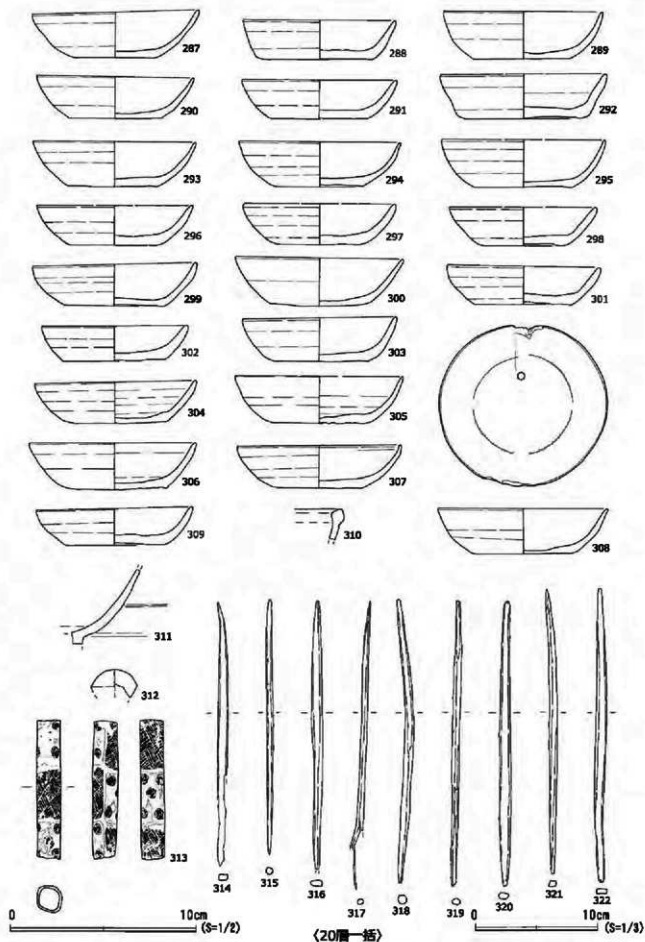


圖12 第1 a 面・遺構1出土遺物(8)

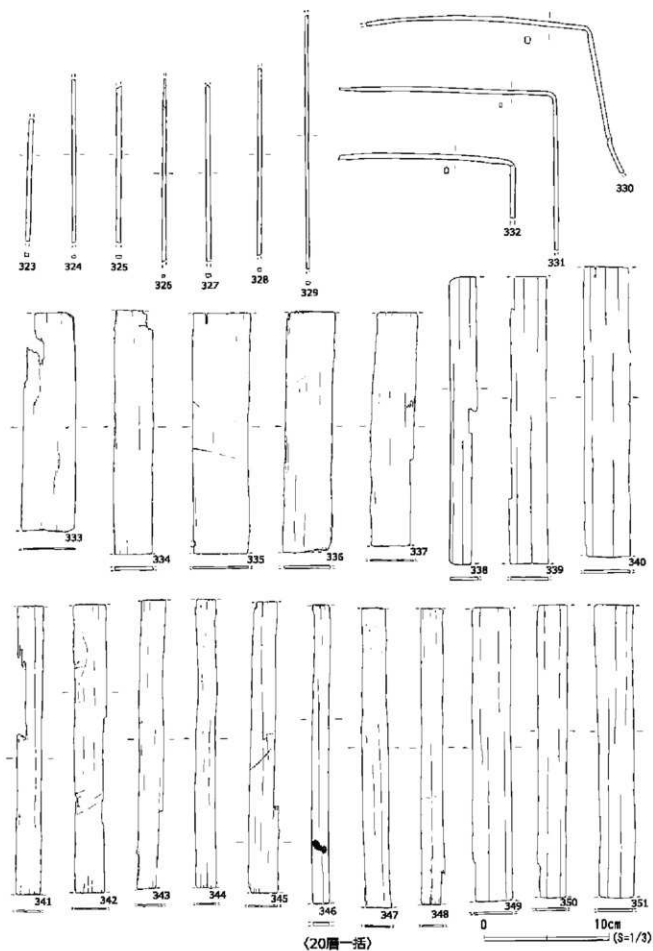
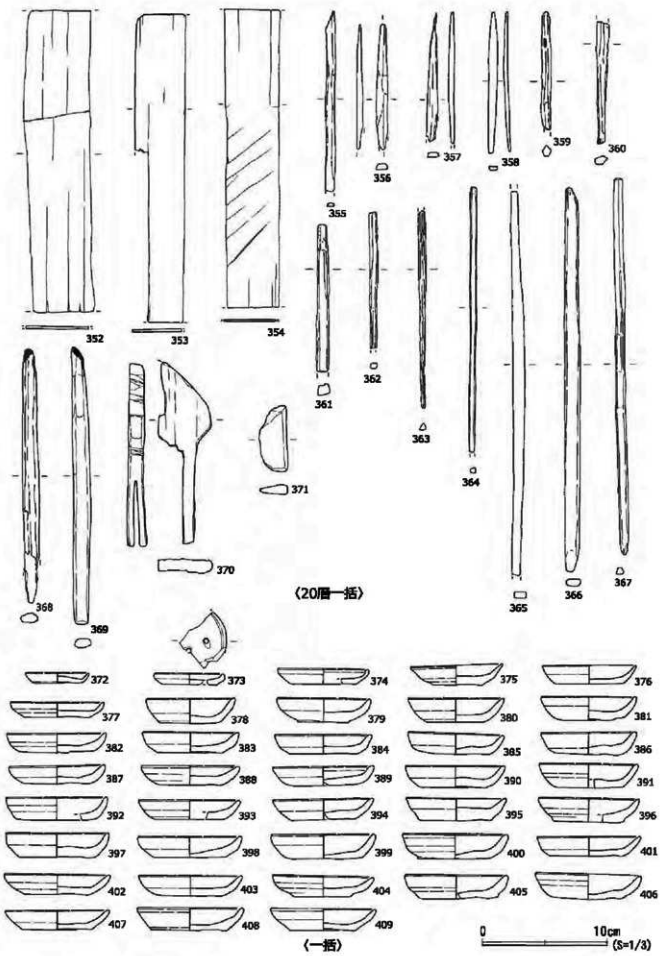


圖13 第1a面・遺構1出土遺物(7)



(20層一括)

(一括)

圖14 第1a面・遺構1出土遺物(8)

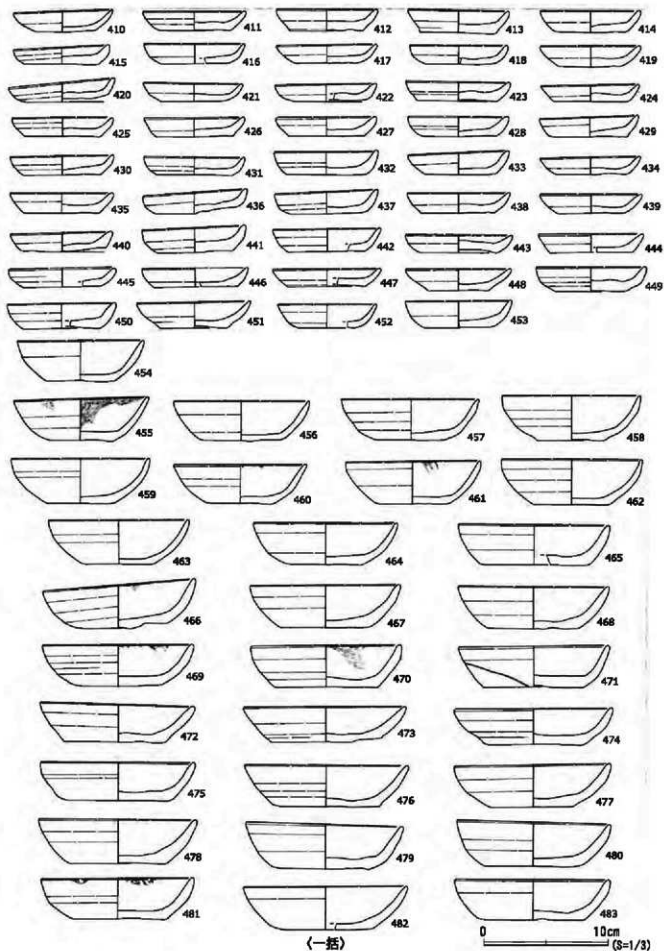


图15 第1a面・遺構1出土遺物(9)

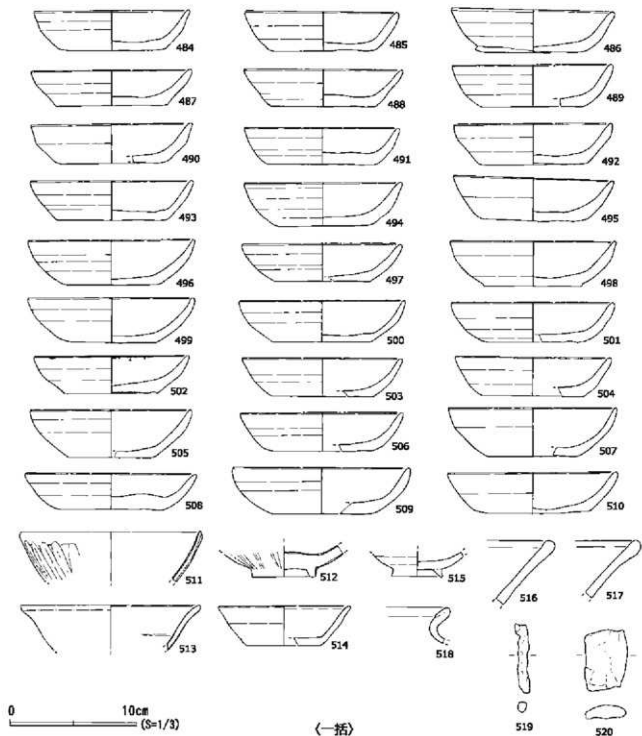


図16 第1a面・遺構1出土遺物(10)

瓦器碗・砥石・獣骨・貝・果核が破片で出土している。

・遺構6(図17)

遺構1に切られ、遺構12を切る。調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

1~4は手づくね。5はかわらけ。その他に破片で常滑甕・鉄製品釘が出土している。

・遺構8(図17)

円形を呈するピットである。遺構12を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

6は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に遺物は出土していない。

・遺構9(図4)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構12(図4)

遺構6に切れ、調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。個別遺構図は掲載していない。土坑である。遺構覆土は泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

7は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構14(図17)

円形を呈するピットである。遺構15を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土だが、覆土の大半は炭化物であった。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構15(図17)

不正円形を呈するピットである。遺構14に切れ、遺構27を切る。深さ67cmを測り建物址の柱穴であったと考えている。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

8は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構27(図17)

楕円形を呈する土坑である。遺構15に切られる。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

9～10は手づくね。11～14はかわらけ。15は青磁碗。16は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に破片で瓦器質火鉢が出土している。

・遺構195(図18)

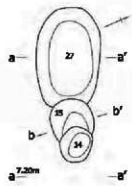
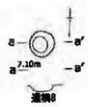
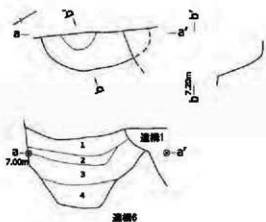
調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土内からは多量のかわらけを採集しており、かわらけ廃棄土坑であったと考えている。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。出土したかわらけ・手づくねの総破片数は報告遺物も含めて、かわらけ(大)216片・(中)3片・(小)51片。手づくね(大)74片・(小)8片であった。

・出土遺物(図18)

1～35は遺構上層でまとまって出土したため、遺物にNoを付して採集し記録した遺物もある。それぞれの採集Noは平面図と観察表を参考にしていきたい。1～34はかわらけ。35は常滑片口鉢Ⅰ類。36～41は下層の堆積土から出土した遺物である。36～37は手づくね。38～39はかわらけ。40は常滑甕。41は銅銭。その他に破片で常滑壺・金属製品鉄釘・獣骨が破片で出土している。

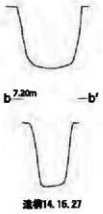
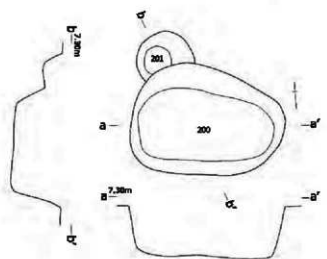
・遺構196(図18)

現代井戸に切れ、調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構195同様にかわらけ廃棄遺構であったと考えているが、遺構覆土も遺構195に近似しており、ほぼ同時期に存続した遺構と思われる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。出土したかわらけ・手づくねの総破片数は報告遺物も含めて、かわらけ(大)338片・(小)58片・白かわらけ1片。手づくね(大)7片・(小)3

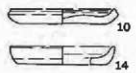
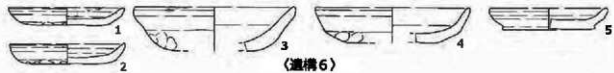


〈土層註記〉

1. 暗褐色弱砂質土
炭化物多・泥炭粒
2. 褐色弱粘質土
泥炭粒多
3. 暗褐色弱砂質土
炭化物多・泥岩粒多
4. 暗褐色弱砂質土
炭化物多・泥岩粒
茶色有機質土



0 2m (S=1/40)



〈遺構200〉

〈遺構201〉

0 10cm (S=1/3)

圖17 第1面・個別遺構圖・出土遺物

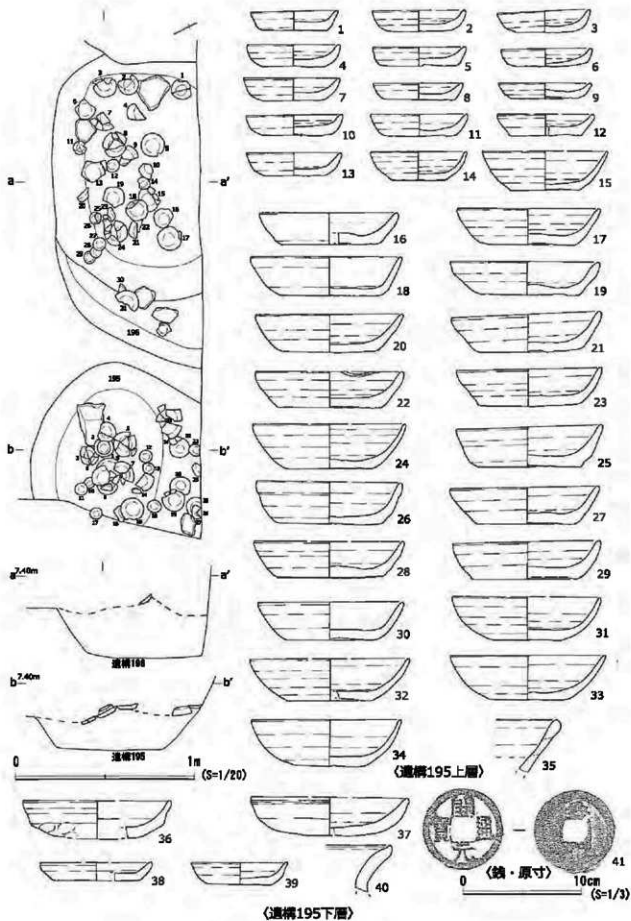


图18 第1a面・遺構195・遺構196・出土遺物(1)

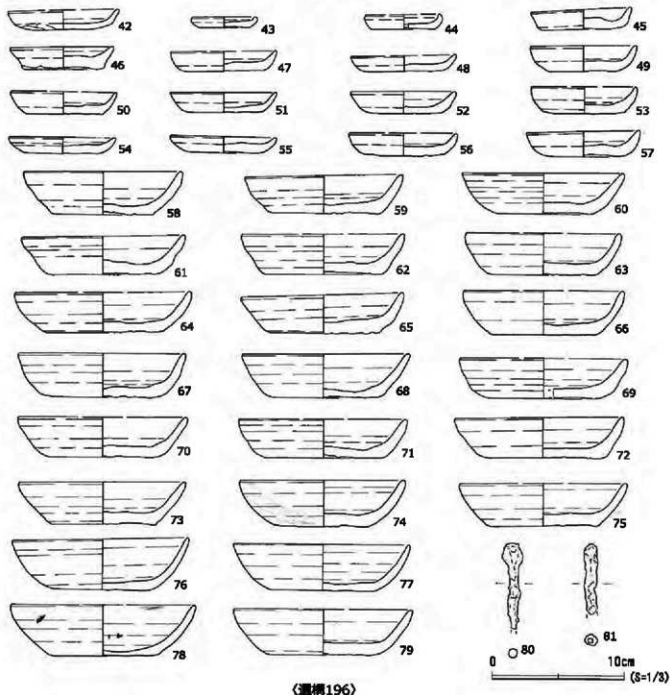


図19 第1面・遺構195・遺構196・出土遺物(2)

片・内折れ(手づくね)2片であった。

・出土遺物(図19)

42は手づくね。43～79はかわらけ。80～81は鉄釘。遺物にNoを付して採集している。それぞれの採集Noは平面図と観察表を参考にしていきたい。その他に破片で常滑壺・常滑片口鉢I類・獣骨・果核が出土している。

・遺構197(図20)

上層に堆積する現代埋土によって削平を受けたためか遺構深度は浅い。遺構は調査区外に延びているが方形を呈すると思われる、堅穴建物であった可能性を考えている。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物・

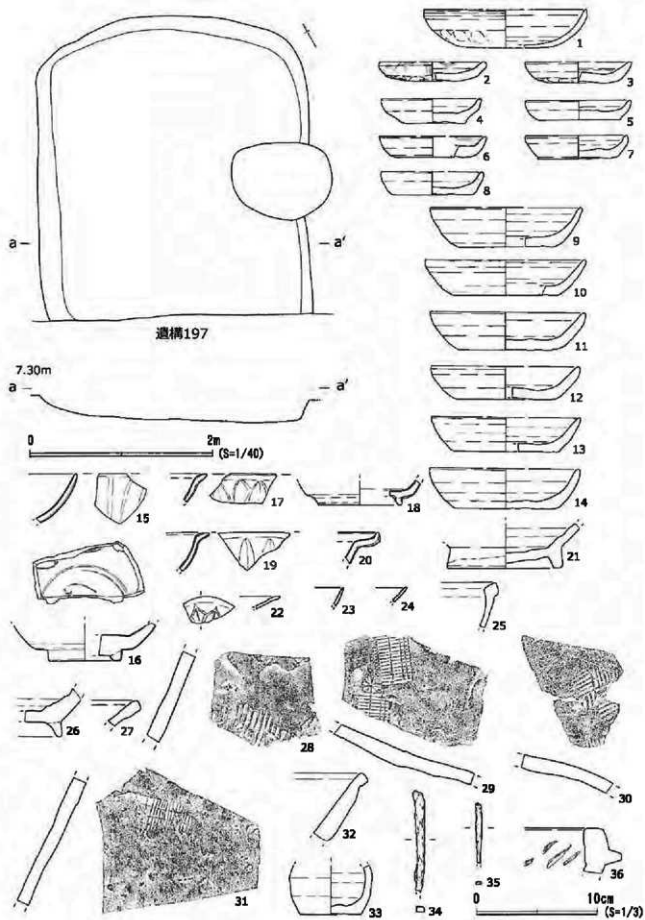


圖20 第1面・遺構197・出土遺物

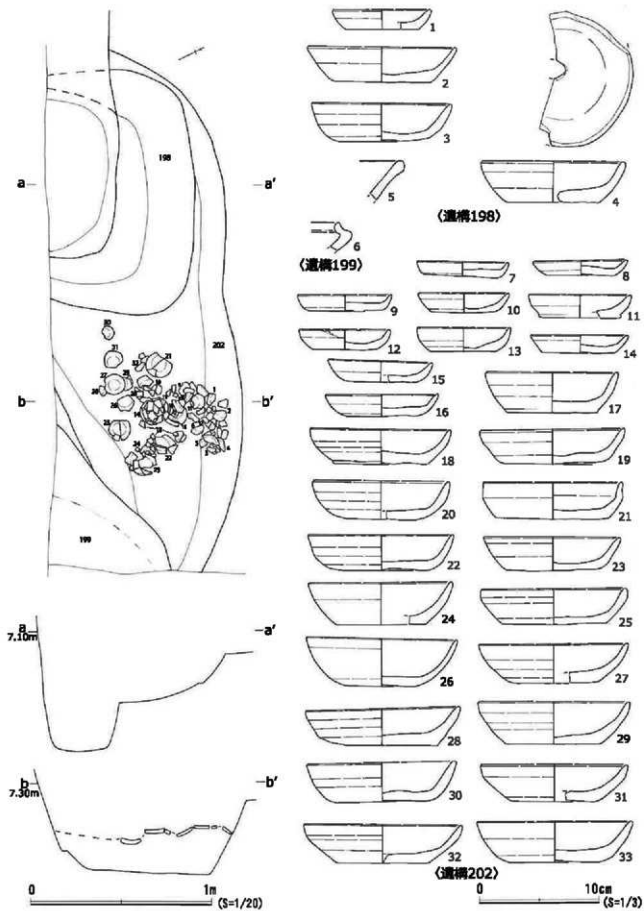


图21 第1 a面 遺構198・遺構199・遺構202出土遺物(1)

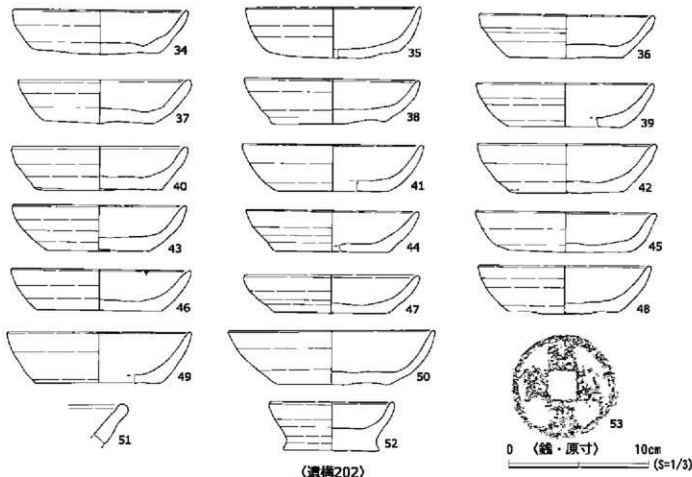


図22 第1a面・遺構198・遺構199・遺構202出土遺物(2)

黄褐色粘土を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図20)

1～3は手づくね。4～14はかわらけ。15～16は青磁碗。17～19は青磁坏。20は青磁鉢。21は白磁壺。23は青白磁皿。24は青白磁碗。25は黄釉盤。26は常滑片口鉢Ⅰ類。27は常滑片口鉢Ⅱ類。28～31は常滑甕。32は産地不明鉢。33は土製品壺。34～35は鉄釘。36は滑石鍋。報告した手づくね・かわらけは14点であるが、破片でかわらけ(大)284片・(小)36片・白かわらけ3片。手づくね(大)10片・(小)5片が出土している。その他に破片で青白磁梅瓶・白磁口元皿・褐釉器種不明・平瓦・石製品砥石・獸骨・果核が出土している。

・遺構198(図21)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構202を切る。土坑である。遺構覆土は泥岩粒・多量の茶色有機質土・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図21)

1～4はかわらけ。5は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に破片で常滑甕・獸骨・果核が出土している。

・遺構199(図21)

遺構202に切られ、遺構の大半は調査区外に延びていたため規模・形状は不明である。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図21)

6は土器器種不明。古墳後期か。その他に破片でかわらけ・手づくね・常滑甕・獸骨・果核が出土している。

・遺構200(図17)

楕円形を呈する土坑である。遺構201を切る。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

17・18はかわらけ。19は青磁環。20は常滑甕。その他に破片で手づくね・常滑片口鉢Ⅰ類・獣骨が出土している。

・遺構201(図17)

円形を呈するピットである。遺構200に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

21はかわらけ。22は青磁環。その他に破片で常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・山茶碗が出土している。

・遺構202(図21)

遺構198に切られ、調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。調査区北側に発見した遺構195・遺構196と同様に遺構覆土からはかわらけを多く採集しており、かわらけ廃棄遺構と考えている。出土したかわらけの総破片数は報告分も含めて、かわらけ(大)424片・(中)9片・(小)101片・白かわらけ(ロクロ成形)4片で、僅かではあるが手づくね(大)4片・(小)5片も出土している。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物・青灰色砂質土を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図21～22)

7～50はかわらけである。51は常滑片口鉢Ⅰ類。52は土器器種不明。53は銭。その他に破片で手づくね・青磁皿・常滑甕・獣骨・果核が出土している。

第2節 第1b面の遺構と遺物(図4・図23～図37)

第1b面は炭化物・泥岩粒・茶色粘土を含む暗褐色弱粘質土上で検出した。発見した遺構は土坑44基・ピット181穴・堅穴建物1軒・溝1条である。遺構覆土・切り合いの観察から少なくとも3時期の遺構が重なっている。発見した遺物はかわらけ・手づくね・青磁・青白磁・白磁・常滑・瀬美・瓦・土師器・砥石・チャート・鉄製品釘・獣骨・果核が出土している。第1b面では遺構・遺物ともに多くを検出している。また、礎板の残るピットを多く発見し建物址の推定を試みたが、多くの遺構は調査区外に遺構が延びていた可能性があり建物址の推定は1軒となった。

・遺構2(図23)

方形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

1は手づくね。2～11はかわらけ。12は常滑甕。その他に破片で常滑片口鉢Ⅰ類・土製品器種不明・金属製品鉄釘・獣骨が出土している。

・遺構20(図4)

楕円形を呈するピットである。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

13は手づくね。その他に破片でかわらけ・青磁碗が出土している。

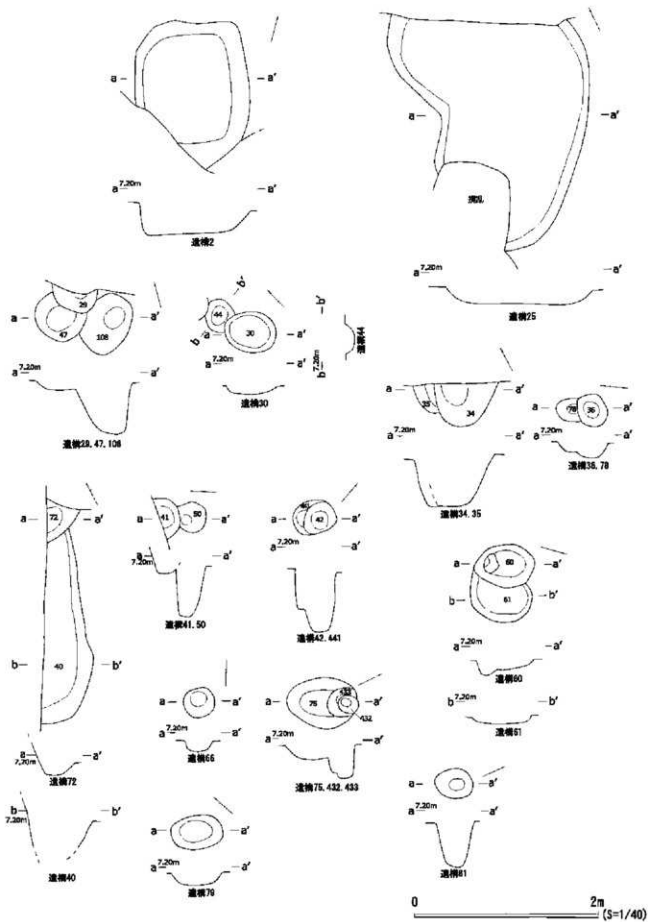


圖23 第1b面個別連構圖(1)

・遺構24(図4)

楕円形を呈するピットである。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

14はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構25(図4)

遺構の一部は調査区外に延び、不整形な土坑である。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

15は手づくね。16～20はかわらけ。21は青磁鎗蓮弁文碗。22は鉄釘。23～24は銭。その他に破片で青磁劃花文碗・青磁無文碗・常滑甕。常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構28(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構102を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構29(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構47を切る。ピットである。遺構覆土は炭化物を含む暗褐色弱粘質土だが、覆土の大半は炭化物であった。遺物は破片で常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構30(図23)

不正円形を呈するピットである。遺構44を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構32(図4)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構33を切る。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

25は瀝美壺。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構34(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構35を切る。ピットである。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

26はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑甕が出土している。

・遺構35(図23)

遺構34に切られ、遺構の大半は調査区外に延びる。ピットである。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・砂礫を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

27は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構36(図23)

円形を呈するピットである。遺構78を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に褐鉄が堆積していた。

・出土遺物(図26)

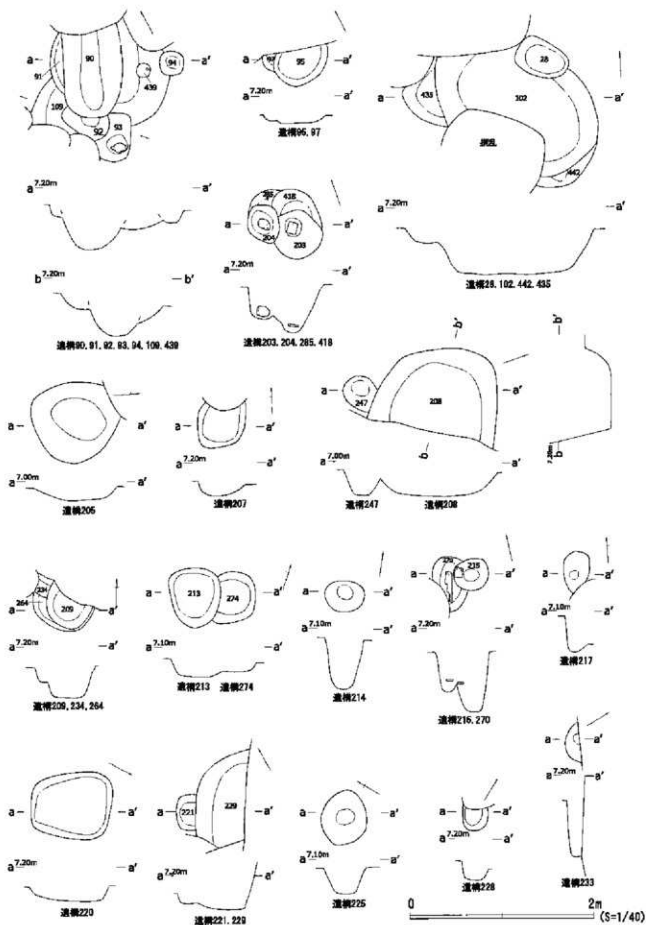


图24 第1b面个别横切面(2)

28は常滑甕。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構40(図23)

遺構72に切れ、遺構の大半は調査区外に延びる。やや大型の土坑である。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩・泥岩塊を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

29～33は手づくね。34は黄釉盤。その他に破片でかわらけ・常滑甕・不明金属製品・獣骨が出土している。

・遺構41(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構50を切る。遺構覆土は炭化物・茶色有機質土・褐色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

35は手づくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構42(図23)

楕円形を呈するピットである。遺構441を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

36は手づくね。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構44(図23)

円形を呈するピットである。遺構30に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構47(図23)

円形を呈するピットである。遺構108を切り、遺構29に切られる。遺構覆土は炭化物、泥岩とともに多量に含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構50(図23)

円形を呈するピットである。遺構41に切られる。遺構覆土は泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構60(図23)

楕円形を呈する土坑である。遺構59・遺構61を切る。遺構底面にピットがあき、ピット覆土には泥岩とともに茶色有機質土を多く含んでいたことから柱穴であった可能性もある。遺構覆土は炭化物。多量の泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構61(図23)

楕円形を呈する土坑である。遺構60に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

37はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構66(図23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

38は石製品砥石。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構72(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構40を切り、遺構48に切られる。土坑である。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構75(図23)

遺構76を切る。遺構覆土は茶色有機質土と炭化物・泥岩粒を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

39~40はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

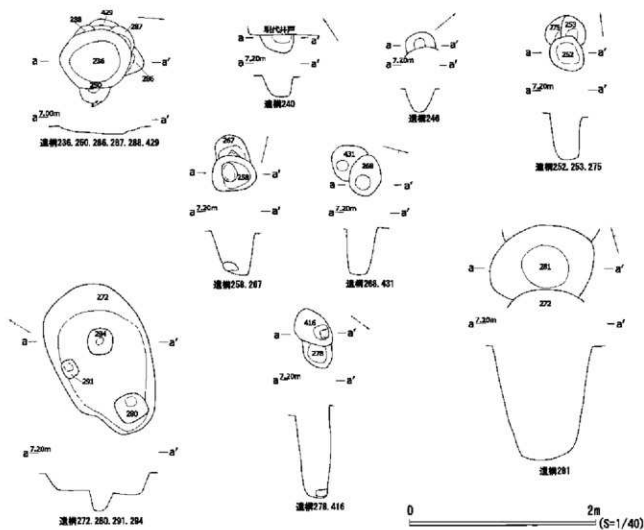


図25 第1b面個別遺構図(3)

・遺構78(図23)

楕円形を呈するピットである。遺構36に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構79(図23)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

41は常滑甕。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構81(図23)

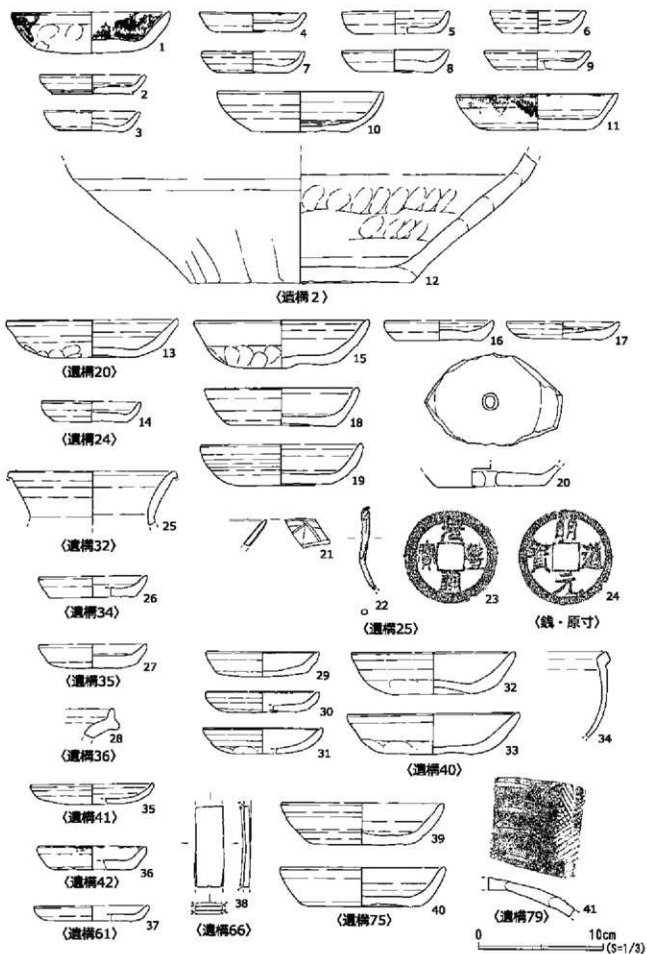


图26 第1b 面個別遺構出土遺物(1)

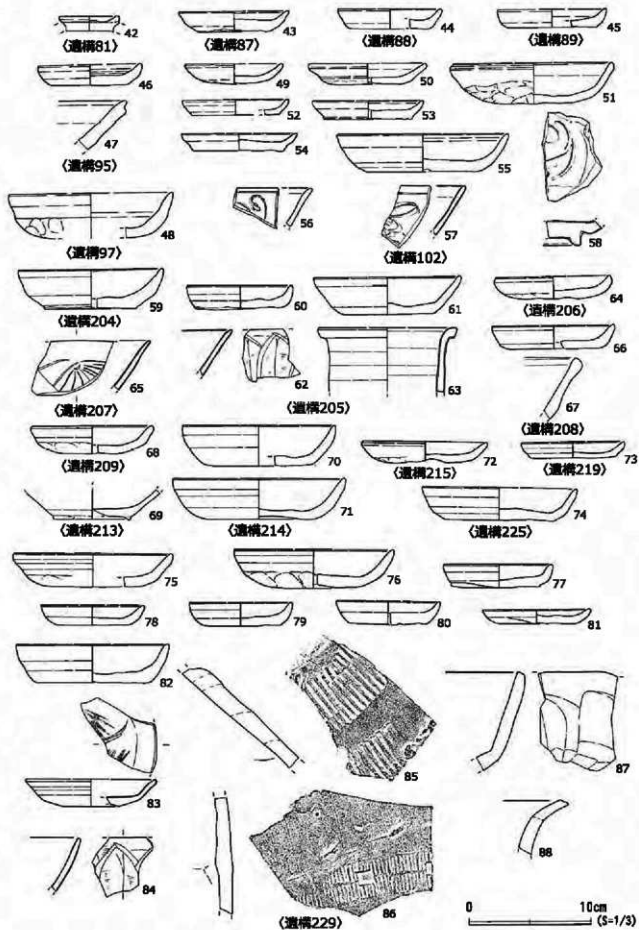


圖27 第1b 面個別遺構出土遺物(2)

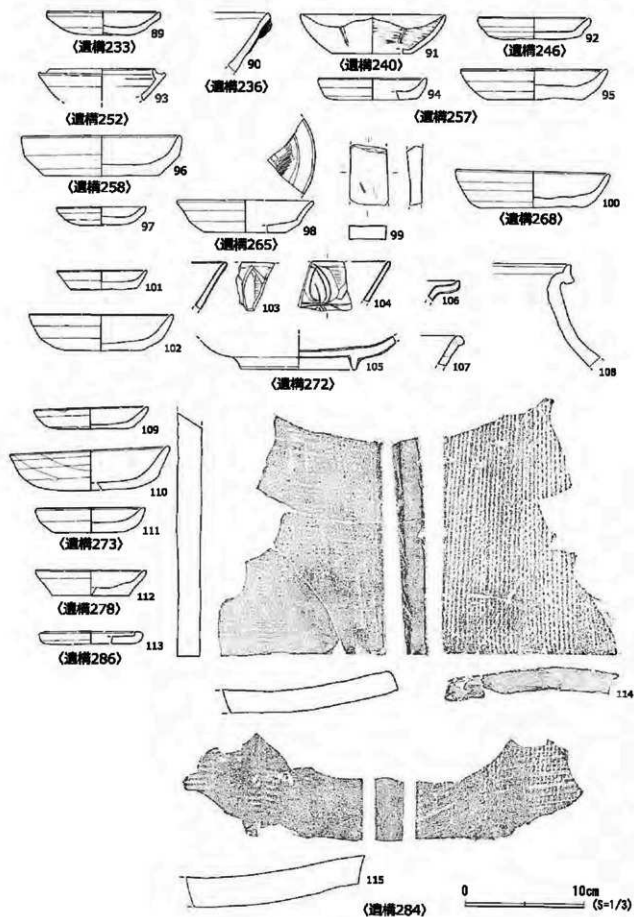


圖28 第1b面 個別遺構出土遺物(3)

円形を呈するピットである。遺構覆土は炭化物、泥岩粒を多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

42は須恵器蓋。その他に遺物は出土していない。

・遺構87(図4)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

43はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構88(図4)

円形を呈するピットである。遺構85・遺構87に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土

・出土遺物(図27)

44はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構89(図4)

円形を呈するピットである。遺構87・遺構88に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

45はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構90(図24)

楕円形を呈する土坑である。遺構91・遺構109を切る。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構91(図24)

遺構90に切られ規模・形状は不明となった。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構92(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構90に切られる。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒・泥岩塊を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構93(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構底部に礎石が遺存していた。遺構89・遺構90・遺構92に切られる。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・青磁碗・常滑甕・常滑壺・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構94(図24)

円形を呈するピットである。遺構109を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

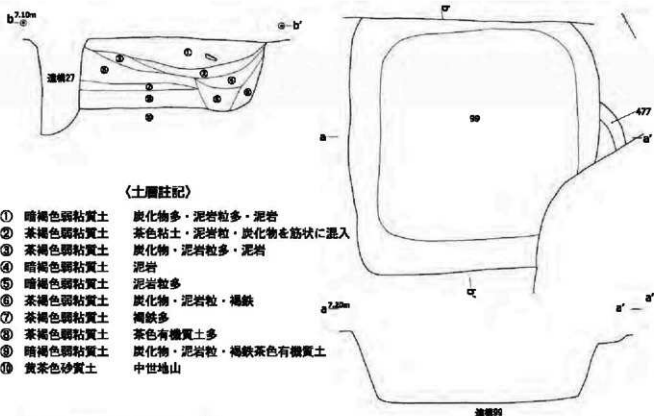
・遺構95(図24)

攪乱に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

46はかわらけ。47は常滑片口鉢Ⅱ類。その他に破片で手づくね・獣骨が出土している。

・遺構97(図24)



〈土層註記〉

- ① 暗褐色弱粘質土 炭化物多・泥岩粒多・泥岩
- ② 茶褐色弱粘質土 茶色粘土・泥岩粒・炭化物を筋状に混入
- ③ 茶褐色弱粘質土 炭化物・泥岩粒多・泥岩
- ④ 暗褐色弱粘質土 泥岩
- ⑤ 暗褐色弱粘質土 泥岩粒多
- ⑥ 茶褐色弱粘質土 炭化物・泥岩粒・褐鉄
- ⑦ 茶褐色弱粘質土 褐鉄多
- ⑧ 茶褐色弱粘質土 茶色有機質土多
- ⑨ 暗褐色弱粘質土 炭化物・泥岩粒・褐鉄茶色有機質土
- ⑩ 黄茶色砂質土 中世地山

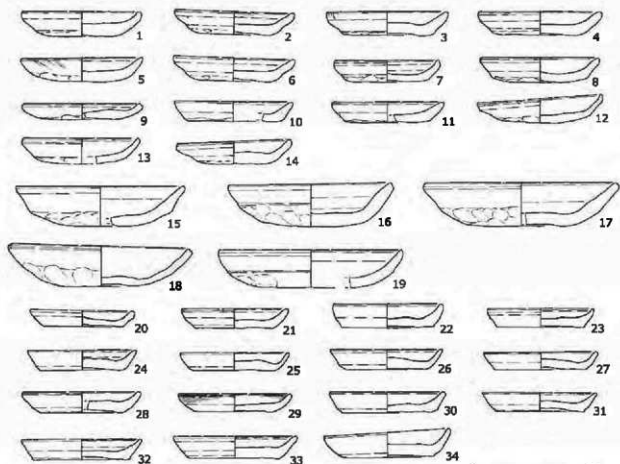


図29 第1b面・遺構99・出土遺物(1)

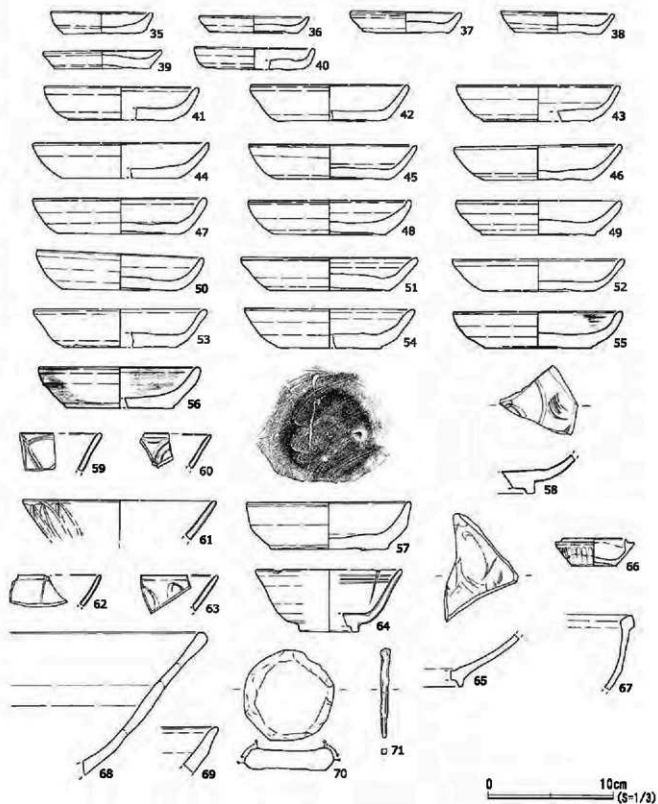


図30 第1b面・遺構99・出土遺物(2)

攪乱に切られ規模・形状は不明となった。ビットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色粘質土。

・出土遺物(図27)

48は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構99(図29)

竪穴建物である。第1面の遺構1に切られる。一辺約260cmの方形を呈し、深さ73cmを測った。遺構底面は平坦に整形される。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面上層には茶色有機質土が厚く堆積していた。

・出土遺物(図29～図30)

1～19は手づくね。20～57はかわらけ。58～64は青磁碗。65は白磁碗。66は青白磁合子。67は黄釉盤。68～69は常滑片口鉢Ⅰ類。70はかわらけ底部円盤状に加工。71は鉄釘。その他に破片で白磁皿・常滑甕・常滑壺・鉄滓・瓦器質香炉・チャート・獣骨・果核が出土している。

・遺構102(図24)

楕円形を呈する土坑である。遺構435・遺構442・遺構28に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

49～51は手づくね。52～55はかわらけ。56～58は青磁碗。その他に破片で緑釉盤・常滑甕・山茶碗・獣骨が出土している。

・遺構108(図23)

楕円形を呈する土坑である。遺構29・遺構47に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・青磁刺花文碗・南伊勢系土鍋・獣骨が出土している。

・遺構109(図24)

土坑である。遺構90・遺構92・遺構93・遺構94に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・白磁壺・常滑甕が出土している。

・遺構203(図24)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構204に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒。泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構204(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構203を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺構底面に安山岩の礎石が遺存していた

・出土遺物(図27)

59はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構205(図24)

不正円形を呈する土坑である。遺構206に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

60～61はかわらけ。62は青磁鎗蓮弁文碗。63は白磁壺。その他に破片で手づくね・青白磁皿・常滑甕が出土している。

・遺構206(図4)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構475に切れ、遺構205を切る。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の泥岩塊・泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構覆土下層からは木材片が多く発見されている

・出土遺物(図27)

64は手づくね。その他に破片でかわらけ・青磁鎗蓮弁文碗・常滑甕が出土している。

・遺構207(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構203に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物をともに多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

65は青磁碗。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構208(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は泥岩・褐色砂質土・茶色有機質土と泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

66はかわらけ。67は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に破片で手づくね・常滑甕が出土している。

・遺構209(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

68は手づくね。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構213(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構274を切る。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

69は山茶碗。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構214(図24)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

70～71はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構215(図24)

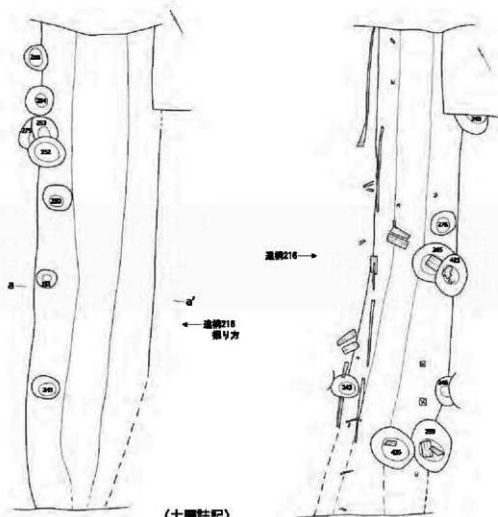
円形を呈するピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構覆土内に礎板が遺存していた。

・出土遺物(図27)

72はてづくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構216(図31)

調査区を南北に走る溝である。調査区外に遺構が延びているため規模は不明となった。流下方向は北から南に流れる。溝断面形は逆台形を呈する。部分的ではあるが溝壁に沿った側板(横板)を検出した。溝壁側面に直接側板(横板)を建てかけ、内側から杭で側板を留める構造である。また、溝は同位置で2時期の造り替えがあったことが堆積土の観察から窺えるが、上層の遺構によって削平を受け新しい時期の溝は部分的にしか遺存していなかったため、報告では旧溝とその掘方に分けて報告している。遺構覆土は、上層の溝覆土は泥岩・泥岩粒・褐鉄を含む茶褐色粘質土。下層の溝覆土は炭化物・茶色有機質土・茶色粘土・砂礫を含む黒褐色弱粘質土。溝の東側は黄褐色粘質土上で、西側は茶褐色弱粘質土の地業層上で遺構を発見しており、溝(遺構216)を境に東と西では地業土が異なることから区画の溝であったと考えられる。また、ピットの掘り残しであった可能性もあるが、溝底面で礎板を検出し、礎板下には用途不明木製品(図32-38)と漆器碗(図32-36)が据えられており地鎮等、祭祀の可能性を考えている。



(土層註記)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| ① 暗褐色弱粘質土
泥岩塊・泥岩・炭化物多・茶色粘土 | ④ 暗褐色弱粘質土
泥岩粒・褐鉄 |
| ② 暗褐色弱粘質土
泥岩粒・茶色粘土・褐鉄・茶色有機質土 | ⑤ 暗褐色弱粘質土
泥岩粒・茶色粘土・茶色有機質土・青灰色砂質土 |
| ③ 暗青灰色砂質土 | ⑥ 黄褐色粘土 |

※①-③ 透視218層土
④-⑥ 透視218 掘り方層土

0 2m (S=1/40)

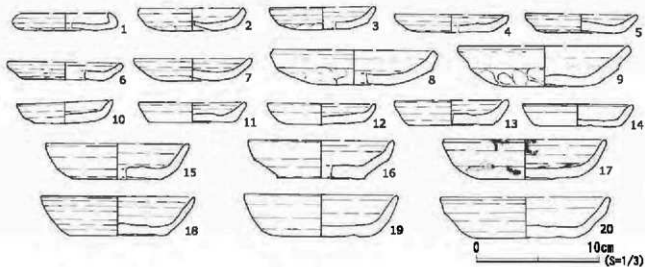
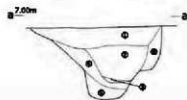


図31 第1b面・遺構216・出土遺物(1)

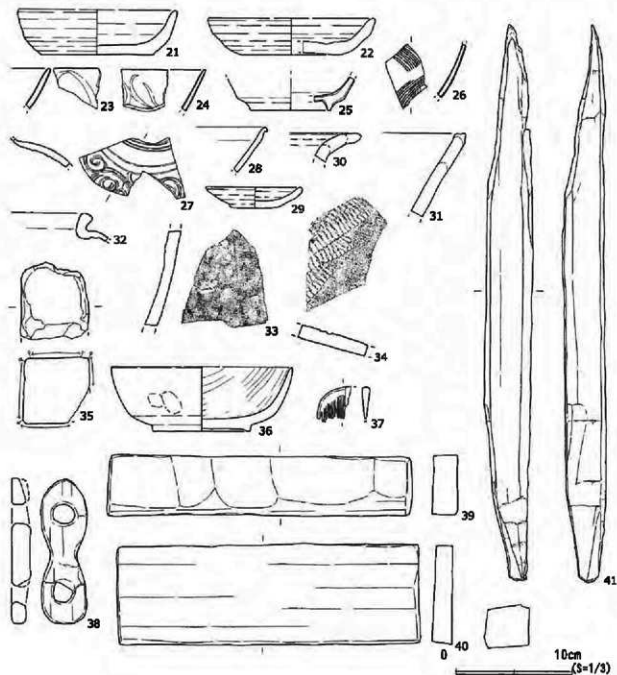


図32 第1b西・遺構216・出土遺物(2)

・出土遺物(図31～図32)

1～9は手づくね。10～22はかわらけ。23～24は青磁碗。25は青磁坏。26は青白磁碗。27は青白磁梅瓶。28は白磁碗。29は山里。30は瀧美瓿。31は常滑片口鉢Ⅱ類。32～34は常滑甕。35は砥石。36は漆器椀。37は木製品櫃。38は木製品用途不明。39～40は木製品礎板。41は溝側板を支えていた杭である。その他の杭・側板などは遺存状態が悪く採集できなかった。溝覆土内から出土したかわらけと手づくねの報告点数はわずかだが、破片数でかわらけ(大)272片・(小)76片・白かわらけ3片。手づくね(大)112片・(小)27片・内折れ2片と数多くの破片が出土している。その他にチャート・獣骨が出土した。

・遺構217(図24)

槽円形を呈するピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。その

他に破片でかわらけ・手づくね・丸瓦が出土している。

・遺構219(図4)

円形を呈するピットである。1a面・遺構202に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・茶色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

73はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構220(図24)

不整形な土坑である。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構221(図24)

方形を呈するピットである。遺構229に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構225(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構224・遺構244を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

74はかわらけ。その他に破片で手づくね・青磁鎗蓮弁文碗が出土している。

・遺構228(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構421に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構229(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構221を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

75～76は手づくね。77～82はかわらけ。83は青磁皿。84は青磁碗。85は渥美甕。86は常滑甕。87は産地不明鉢。88は産地不明甕。その他に破片で常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類・土師器器種不明が出土している。

・遺構233(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

89は手づくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構234(図24)

遺構209に切られ、遺構の大半は調査区外に延び規模・形状は不明となった。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構236(図25)

円形を呈する土坑である。遺構250・遺構286・遺構287・遺構288・遺構429を切る。遺構覆土は泥岩塊・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

90は山茶碗。その他に破片でかわらけ・手づくね・白磁皿・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構240(図25)

現代井戸に切られる。ビットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

91は瓦器碗、口縁部輪花型。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構243(図31)

楕円形を呈するビットである。遺構216を切る。遺構覆土は茶色有機質土・褐鉄を含む暗茶褐色粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は出土していない。

・遺構245(図31)

円形を呈するビットである。遺構421に切られる。遺構覆土は茶色有機質土・炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構246(図25・31)

楕円形を呈するビットである。遺構244に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が残存していたが、遺存状況が悪く採集することはできなかった。

・出土遺物(図28)

92は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構247(図24)

楕円形を呈するビットである。遺構208に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・常滑片口鉢1類が出土している。

・遺構250(図25・31)

ビットである。遺構236に切られる。遺構覆土内で確認した細い柱状の木材は、遺構216(溝)に伴う。遺構覆土は泥岩粒・炭化物多量を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・獣骨が出土している。

・遺構251(図31)

円形を呈するビットである。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構252(図25・31)

円形を呈するビットである。遺構253・遺構275を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

93は須恵器坏。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構253(図25・31)

楕円形を呈するビットである。遺構252に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構254(図31)

円形を呈するビットである。遺構216を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構251覆土に近似する。遺物は出土していない。

・遺構255(図31)

不正円形を呈するビットである。遺構216を切る。遺構覆土は茶色有機質土・炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構257(図4)

第1a面・遺構200に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。個別遺構図は掲載していない。遺

構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

94～95はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構258(図25)

楕円形を呈するピットである。遺構267を切る。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底部に安山岩の礎石が遺存していた。

・遺構259(図31)

楕円形を呈するピットである。遺構216を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・出土遺物(図28)

96はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構264(図24)

遺構209・遺構234に切られ規模・形状は不明となった。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構265(図4)

第1a面の遺構200に切られ、規模形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は炭化物を多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

97は手づくね。98は青磁皿。99は石製品砥石。その他に破片でかわらけ・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構267(図25)

不正円形を呈するピットである。遺構258に切られる。遺構覆土は泥岩塊・多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構268(図25)

不正円形を呈するピットである。遺構431を切る。遺構覆土は泥岩・泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

100はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑片口鉢Ⅱ類・平瓦が出土している。

・遺構270(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構272(図25)

不整形な土坑である。遺構覆土は泥岩塊・泥岩・泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

101～102はかわらけ。103～104は青磁碗。105～106は青磁鉢。107は常滑片口鉢Ⅱ類。108は常滑甕。その他に破片で手づくね・青白磁梅瓶・白磁壺・常滑片口鉢Ⅰ類・平瓦・獣骨が出土している。

・遺構273(図4)

現代井戸に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒多量・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

109～110は手づくね。111はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構274(図24)

円形を呈するピットである。遺構213に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物とともに多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・金属製品鉄釘が出土している。

・遺構275(図25・31)

円形を呈するピットである。遺構252・遺構253に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構276(図31)

楕円形を呈するピットである。イコウ216に切られる。遺構覆土は褐鉄・褐色砂質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構278(図25)

不正円形を呈するピットである。遺構416を切る。遺構底面に安山岩の礎石が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

112はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構280(図25)

方形を呈するピットである。遺構272を切る。遺構覆土は炭化物・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構281(図25)

円形を呈する土坑である。遺構272に切られ、遺構282を切る。深さ120cmを測る。遺構覆土は炭化物・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。下層には茶色有機質土が薄く堆積するしていた。遺物は破片でかわらけ・手づくね・白磁壺が出土している。

・遺構284(図4)

円形を呈するピットである。遺構236・遺構272に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物・茶色有機質土・褐色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

114～115は平瓦。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構285(図24)

遺構204・遺構418に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構286(図25)

遺構236・遺構287に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

113は手づくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構287(図25)

遺構236に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は出土していない。

・遺構288(図25)

遺構236に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は炭化物を多量に含む暗茶褐色

弱粘質土。遺構内には泥岩塊・泥岩による柱材の根固めが遺存していた。遺物は出土していない。

・遺構291(図25)

方形を呈するピットである。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・常滑甕が出土している。

・遺構294(図25)

円形を呈するピットである。遺構292の底面で発見した。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構416(図25)

楕円形を呈するピットである。遺構278に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構418(図24)

円形を呈する土坑である。遺構203に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構421(図31)

長円形を呈するピットである。遺構底面に根固めとして使用したと思われる大、小の泥岩が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構426(図31)

長円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構429(図25)

遺構236に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構431(図25)

円形を呈するピットである。遺構268に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構432(図2)

円形を呈するピットである。遺構75を切る。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構433(図23)

円形を呈するピットである。遺構432と分けて報告しているが、遺構432内の柱穴痕であったと考えている。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構435(図24)

遺構102に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

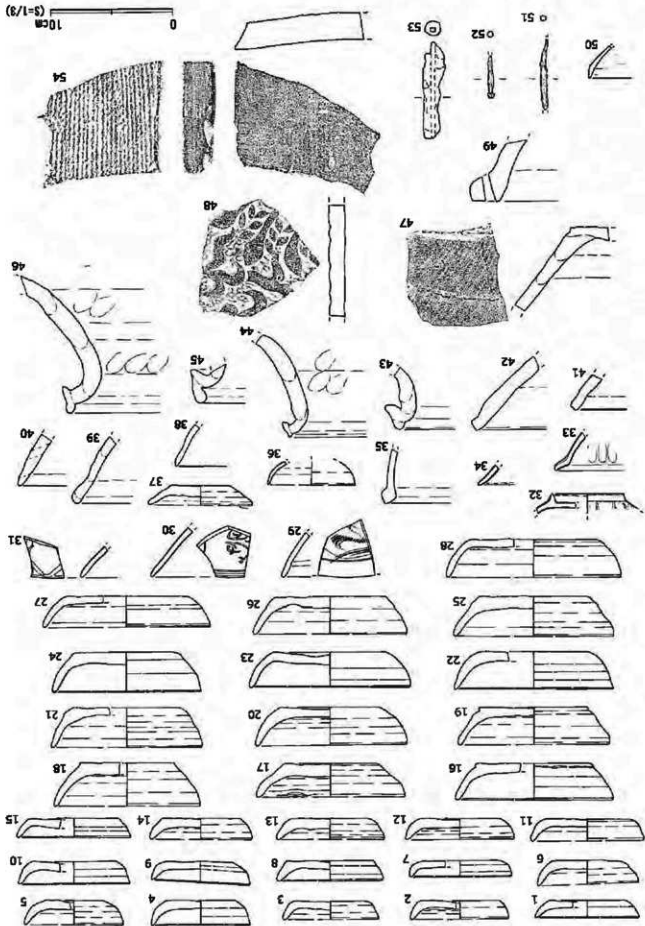
・遺構439(図24)

円形を呈するピットである。遺構109を切る。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構441(図23)

円形を呈するピットである。遺構42に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化

第33圖 (1) 出子面第一層



物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構442(図24)

遺構102に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・第1面上出土遺物(図33～図34)

第1a面・第1b面の面上精査時に出土した遺物である。調査時には二つの面を分けて採集していなかったため、一括して報告している。1～28はかわらけ。29～31は青磁碗。32～33は青磁坏。34は白磁口瓦皿。35は黄釉盤。36は瀬戸入子。37は山皿。38は山茶碗。39は常滑片口鉢Ⅰ類。40～41は常滑片口鉢Ⅱ類。42は産地不明鉢。43～47は常滑甕。48～49は瓦器質火鉢。50は瓦器碗。51～53は鉄釘。54は平瓦。55は丸瓦。56はかわらけ底部円盤状加工品。

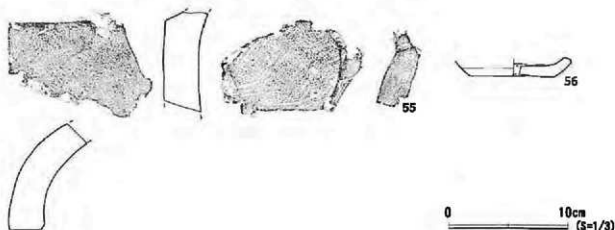


図34 第1面上出土遺物(2)

・第1面構成土出土遺物(図35～図37)

第1b面検出後、第2面精査時までの堆積土から出土した遺物である。1～19は手づくね。20～77はかわらけ。78～80は青磁皿。81～89は青磁碗。90は青磁坏。91は白磁口瓦碗。92は白磁口瓦皿。93は白磁合子。94は青白磁皿。95～96は青白磁合子。97は青白磁香炉。98は青白磁梅瓶。99は瀬戸入子。100は瀬戸洗。101～102は山茶碗。103は山皿。104は瀝美甕。105～106は常滑片口鉢Ⅰ類。107は常滑片口鉢Ⅱ類。108～119は常滑甕。120は瓦器碗。121は土師器甕。122は鉄釘。123は刀子。124は滑石鍋。125～126は砥石。127は基石か。128～129は鏡。

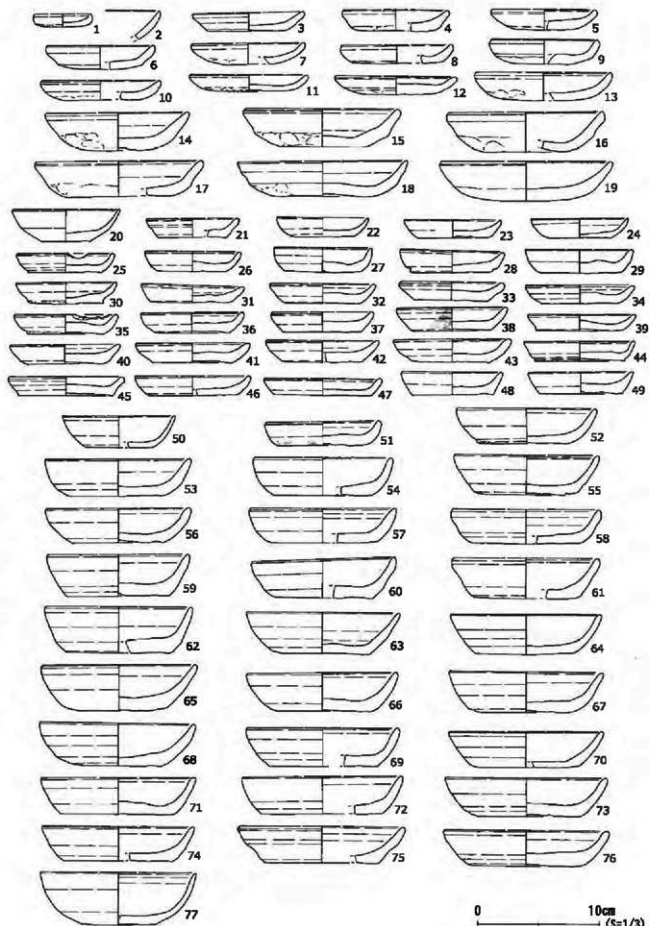


圖36 第I面横成土出土遺物(1)

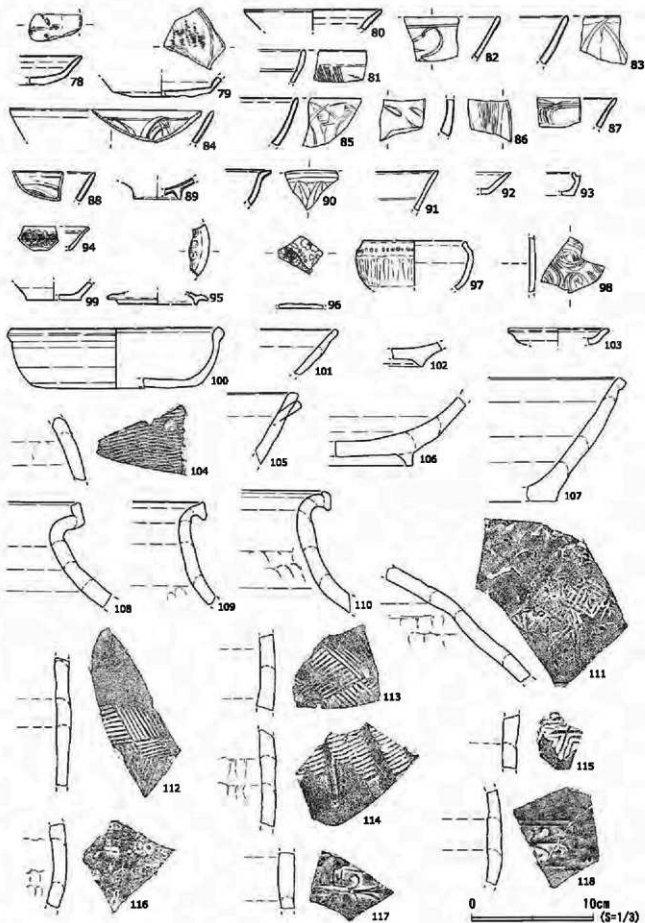


圖36 第I面構成土出土遺物(2)

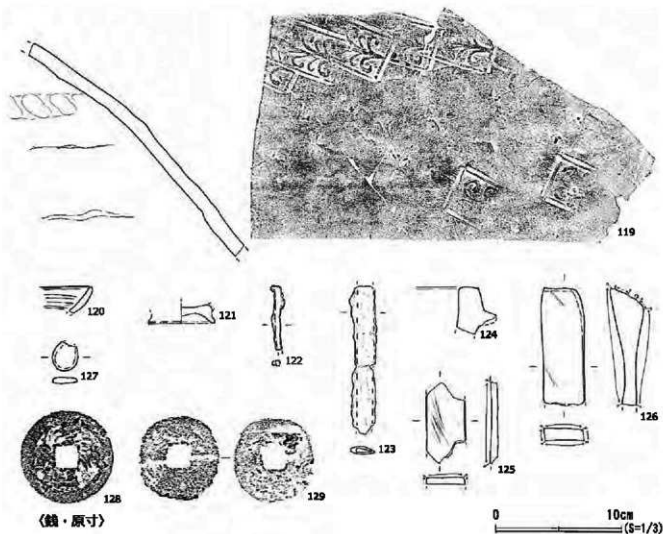


図37 第1面構成土出土遺物(3)

第3節 第2面の遺構と遺物 (図5・図38～図42)

第2面は褐鉄を含む黄褐色粘土の硬化した地業面上で検出した。発見した遺構は土坑18基・ピット203穴・建物址(柱穴列)3軒である。第2面では礎板の残るピットを多く発見している。遺構の切り合い・覆土の観察から2時期の遺構を検出している。発見した遺物はかわらけ・手づくね・滷美・不明鉄製品と遺物の種類が減少するが、出土量も大きく減少する。

・遺構110(図38)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。方形を呈する土坑である。遺構480に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘土。遺構底面には茶色有機質土が厚く堆積していた。

・出土遺物(図42)

1~4はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類が出土している。

・遺構119(図38)

円形を呈する素掘りの井戸である。調査区外に遺構が延び規模は不明となった。また、崩落の危険があったために遺構底面まで掘りきることはできなかった。遺構覆土は多量の炭化物・多量の茶色有機質土・泥

岩・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

5～9は手づくね。10はかわらけ。その他に破片で青磁碗・常滑甕・獣骨が出土している。

・遺構135(図38)

楕円形を呈するピットである。遺構482を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構136(図38)

円形を呈するピットである。遺構137に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構137(図38)

楕円形を呈する土坑である。第1b面の遺構99に切られ、遺構136を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

11はチャート片。12は基石か。その他に破片でかわらけ・手づくね・青磁碗・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構149(図38)

楕円形を呈するピットである。遺構150に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構150(図38)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

13～16は手づくね。17～20はかわらけ。その他に獣骨・果核が出土している。

・遺構151(図38)

長円形を呈するピットである。遺構150に切られ、遺構462を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構155(図38)

長円形を呈する土坑である。遺構177・遺構182に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

21はかわらけ。22は青磁皿。その他に破片で常滑甕が出土している。

・遺構157(図38)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎石が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・遺構168(図38)

遺構155底面で検出した方形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・出土遺物(図42)

23は常滑甕。その他に破片で鉄滓・滑石鍋が出土している。

・遺構177(図38)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構155を切る。遺構底面に礎板が

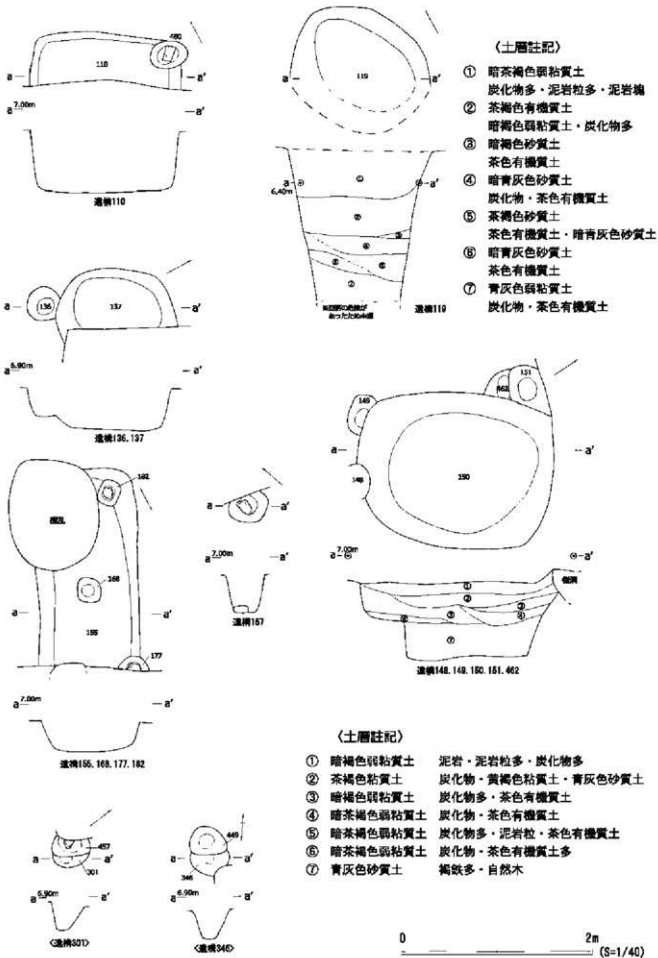


圖38 第2面個別遺構圖(1)

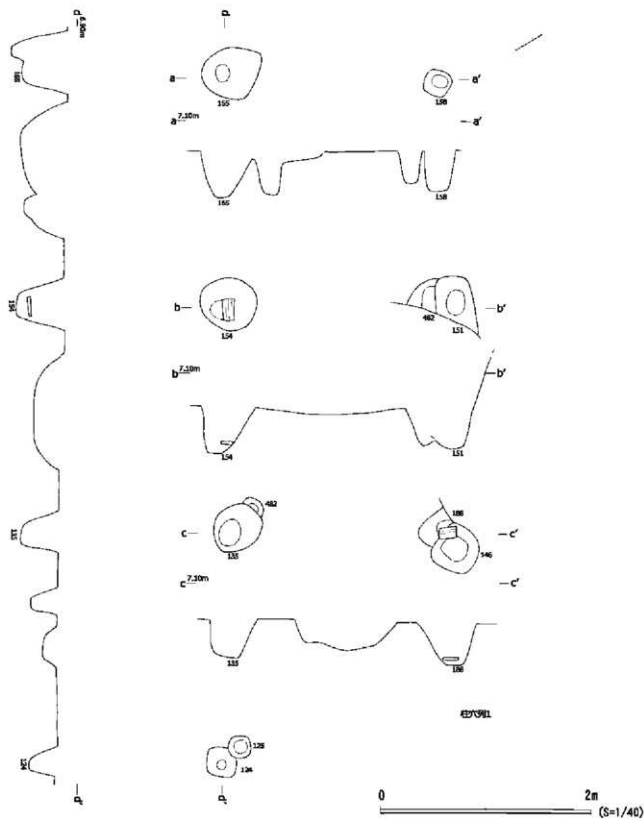


図39 第2面個別遺構図(2)柱穴列

遺存していた。遺構覆土は褐鉄・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構182(図38)

方形を呈するピットである。遺構底面に礎石が遺存していた。遺構165を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構301(図38)

円形を呈するピットである。遺構457に切られる。遺構底面に礎板が遺存する。遺構覆土は炭化物・褐鉄・泥岩粒・褐色砂質土を含む暗褐色砂質土。

・出土遺物(図42)

25はかわらけ。26は渾美甕。その他に遺物は出土していない。

・遺構346(図38)

円形を呈するピットである。遺構449に切られる。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

27は手づくねである。その他に遺物は出土していない。

・遺構449(図38)

不正円形を呈するピットである遺構346を切る。遺構覆土は炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構457(図38)

不正円形を呈するピットである。遺構底面に礎石が遺存していた。遺構301を切る。遺構覆土は泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構462(図39)

遺構151に切られ形状・規模は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒を含む暗褐色粘質土。遺物は出土していない。

・遺構468(図38)

方形を呈するピットである。遺構155を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構482(図38・39)

円形を呈するピットである。遺構135に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒、炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・柱穴列1(図39)

(遺構124・遺構125・遺構135・遺構146遺構151・遺構154・遺構158・遺構165・遺構186・遺構462)

調査区東側(I区)で発見した柱穴列は南北に1間、東西に3間の、調査区外、北方に展開する建物址である。柱穴の芯芯距離は南北210cm・東西220cmである。覆土内で礎板を発見した柱穴は遺構154・遺構186だけであるが、木材の痕跡が覆土内に残る柱穴を確認している。

遺構124は方形を呈する。遺構125に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構125は円形を呈するピットである。遺構覆土は褐鉄・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構135は楕円形を呈する。遺構482を切るが遺構482は柱の抜き取り痕と考えている。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構146は不正円形を呈するピットである。遺構186を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

遺構151は楕円形を呈する。遺構150に切れ、遺構462を切る。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を

む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構154は円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を多量に含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構158は方形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

遺構165は不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構186は円形を呈する。遺構146に切られる。遺存していなかったが遺構底面に礎板が掘えられていた痕跡があった。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構462は円形を呈するピットである。遺構150に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

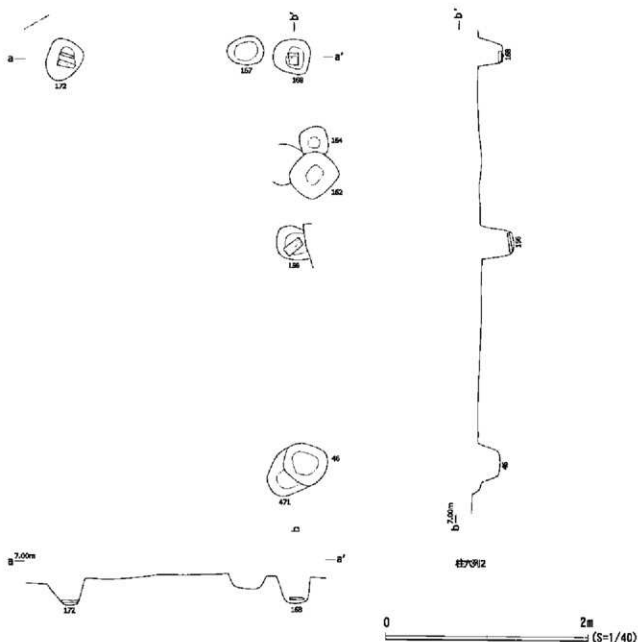


図40 第2面個別遺構図(3)柱穴列2

・柱穴列2(図40)

(遺構46・遺構156・遺構162・遺構164遺構168・遺構172・遺構471)

柱穴列1とともに調査区東側(Ⅰ区)で発見した柱穴列2は南北1間・東西2間であるが、柱穴列1同様調査区外に展開する建物址と考えられる。柱穴の芯芯距離は遺構168と遺構172の南北間220cm、東西はやや変則であるが、遺構168と遺構156間は190cm、遺構156と遺構46間は220cmを測った。遺構46以外のピットには遺構底面に礎板が遺存していた。

遺構46は不正円形を呈する。遺構471を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

遺構156は楕円形を呈するピットである。試掘坑に切られる。遺構底面には礎板が遺存していた。遺構覆土は多量の炭化物・茶色有機質土・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構162は方形を呈するピットである。遺構163と遺構164を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構164は方形を呈するピットである。遺構162に切られる。遺構覆土は褐鉄・泥岩粒・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構167は楕円形を呈するピットである。遺構覆土は褐鉄・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構168は不正円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は褐鉄・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構172は楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・褐色砂質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構471は楕円形を呈するピットである。遺構46に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・柱穴列3(図41)

(遺構139・遺構152・遺構157・遺構166・遺構169・遺構177・遺構191・遺構304・遺構309・遺構315・遺構343・遺構375・遺構452・遺構453・遺構480)

Ⅰ区・Ⅱ区にまたがった南北2間、東西4間の建物址である。発見したピットのほとんどに礎板が遺存していた。柱穴の南北間芯芯距離は、遺構304と遺構343間-405cm、遺構375と遺構309間-205cm、遺構309と遺構452間-165cm、遺構157と遺構166間-205cm、遺構166と遺構169間-165cm、遺構191と遺構139間-200cm、遺構139と遺構480間195cm、東西間芯芯距離は、遺構304と遺構375間220cm、遺構375と遺構157間185cm、遺構157と遺構152間-245cm、遺構152と遺構191間-215cm、遺構309と遺構166間-190cm、遺構343と遺構452間-220cm、遺構452と遺構169間-210cm、遺構169と遺構177間-210cm、遺構177と遺構480間-210cmを測った。また、第1b面遺構258・264が遺構343と遺構304のほぼ中間点に位置し、柱間は約205～210cmであった。第1b面遺構として掲載したが、柱穴列3に伴う遺構であった可能性も考え報告している。

遺構139は不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構152は調査区外に一部遺構が延びる。不正円形を呈する。遺構覆土は褐鉄・多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構157は調査区外に遺構が延びる。不正円形を呈するピットである。遺構底面に泥岩の礎石が遺存し

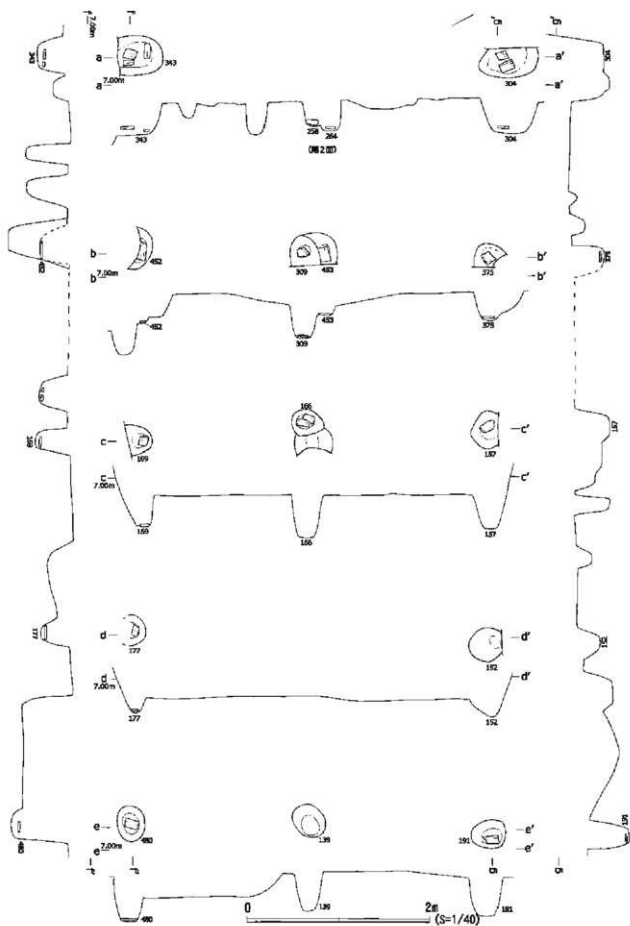


图41 第2面个别遺構圖(4)柱穴列3

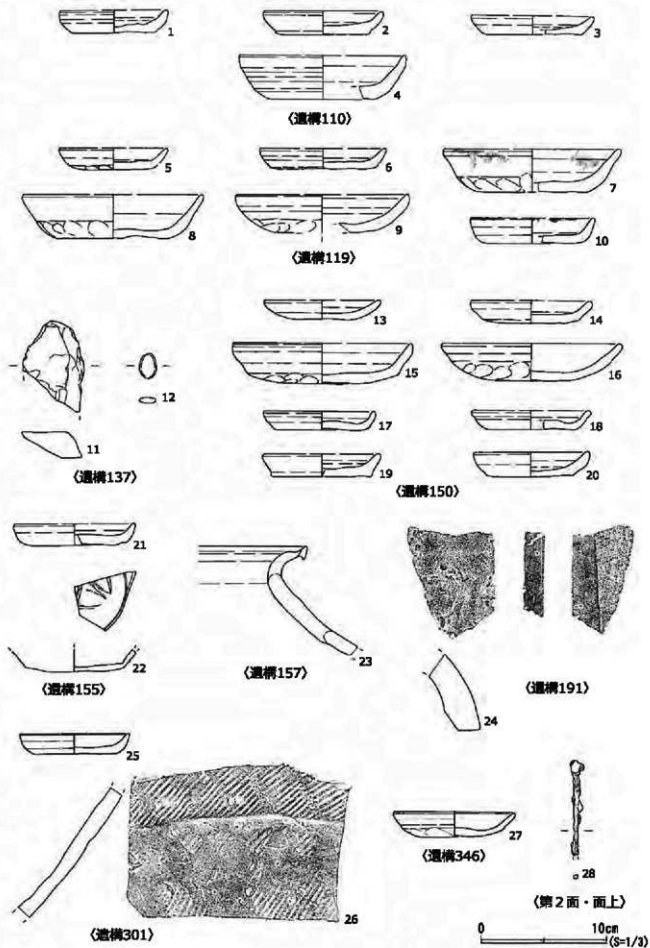


图42 第2面個別遺構・面上出土遺物

ていた。遺構覆土は多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

23は常滑甕。その他に鉄滓・不明土器が破片で出土している。

遺構166は不正円形を呈する。遺構465を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構169は調査区外に一部遺構が延びる。楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構177は調査区外に一部遺構が延びる。円形を呈する。遺構覆土は褐鉄・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構191は円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

24は丸瓦。その他に破片でかわらけが出土している。

遺構304は円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

遺構309は調査区外に一部遺構が延びる。円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。出土遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

遺構343は楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存し、覆土内には根固めに使用したと考える泥岩が検出されている。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩・泥岩粒・茶色粘土・褐色砂質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構375は円形を呈する。遺構454に切られ、調査区外に遺構が延びる。遺構覆土は多量の炭化物。泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺構底面に凝灰質砂岩の礎石が遺存していた。出土遺物はない。

遺構452は調査区外に遺構が延び規模・形状は不明。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構453は円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構309に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構480は楕円形を呈する。調査区外に遺構が延びる。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・第2面上出土遺物(図42)

第2面は出土遺物が少なく、面上からの遺物も報告した鉄釘のほかは手づくね片が1片だけであった。第2面以下の堆積はトレンチによって確認したが、第2面構成土からの出土遺物はなかった。

28は鉄釘である。

第4節 最終確認トレンチ(図5)

第2面の調査終了後、I区・II区ともに任意の位置にトレンチを設定し下層の堆積を確認した。堆積土層(図3)の章でも述べているが、I区トレンチでは茶色有機質土を多く含む堆積層が北から南に向かって緩やかに下る堆積を観察し、海拔高5.00メートルまで土層を確認したが中世地山を検出していない。堆積層からの出土遺物は無いが有機質土と自然木を確認しており、遺構覆土であった可能性も考えている。

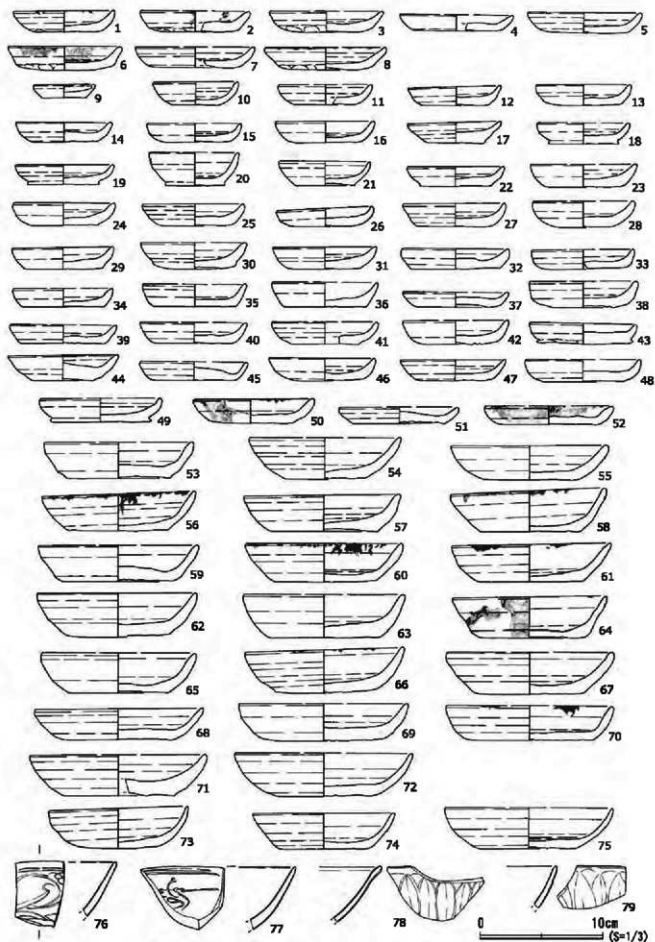


圖43 表土~1面出土遺物(1)

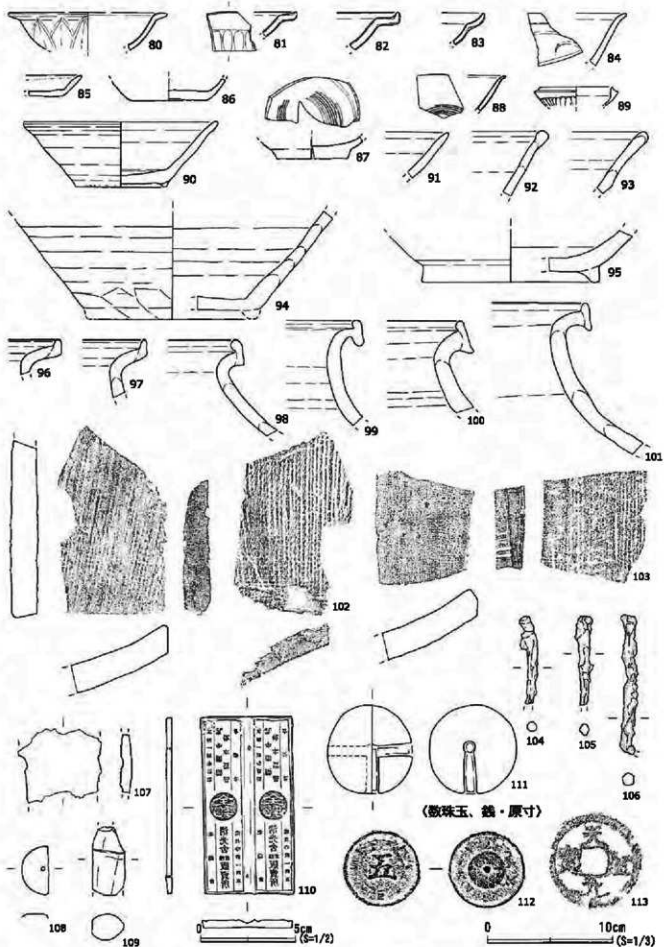


图44 表土~1面出土遺物(2)

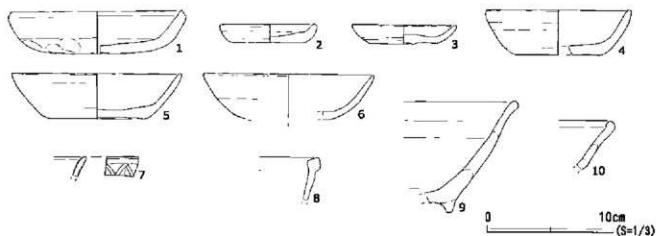


図45 廃土山出土遺物

Ⅱ区トレンチでは褐鉄と若干の炭化物を含む暗褐色粘質土が平坦に堆積しており、最下層はⅠ区トレンチで確認することのできなかった中世地山である青灰色粘土の堆積を海拔高6.40mで確認している。Ⅰ区・Ⅱ区ともに第2面検出層以下の堆積層からは遺物の出土がない。

第5節 表土～第1面・廃土山採集遺物(図43～45)

現地表から第1面検出までの堆積土から採集した遺物である。第1面上層に中世遺物包含層が堆積しているため、遺物の出土量は多い。

・表土～1面採集遺物(図43～図44)

1～8は手づくね。9～75はかわらけ。76～79は青磁碗。80～83は青磁坏。84は白磁碗。85～86は白磁口元皿。87～88は青白磁碗。89は青白磁合子。90～91は山茶碗。92～95は常滑片口鉢Ⅰ類。96～101は常滑甕。

102～103は平瓦。104～106は鉄釘。107～108は金属製品用途不明。109は石製品用途不明。110は金属製品・印刷版。111は水晶製数珠玉。112～113は銭。

・廃土山採集遺物(図45)

廃土山採集遺物である。

1は手づくね。2～6はかわらけ。7は青磁碗。8は黄釉盤。9は常滑片口鉢Ⅰ類。10は常滑片口鉢Ⅱ類。

第三章 まとめ

「若宮大路周辺遺跡群（神奈川県遺跡台帳№242）」の範囲内に本調査地は位置し、遺跡範囲の中心を南北に走る若宮大路は、中世から現在に至るまで鎌倉の基幹道路・参詣道の役割を担っている。その若宮大路東側は若宮大路御所・宇津宮御所の幕府跡地があり、北条泰時・時頼邸跡等、鎌倉幕府の重要な武家の居する地域であった。本調査地の位置する若宮大路西側、二の鳥居以北は遺跡範囲を外れる北条時房・顕時邸跡を含め、やや大型の屋敷地が大路に沿って居並んでいた事が、これまでの調査成果からわかってきている。

第1節 検出した遺構と遺物

本調査ではⅠ区（調査区東側）・Ⅱ区（調査区西側）に分けて調査を行い、第1面・第2面と2枚の生活面を発見したが、第1面は現代埋土・攪乱坑によって削平を受け、遺構・遺物ともに混入していたため、本報告では第1面をa・bの2面に分けて報告した。第1a面上層には部分的ではあるが中世遺物包含層が約20cmの厚さで堆積していることを確認している。

<第1a面>

第1a面は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土で検出した。発見した遺構は土坑10基・ピット6穴・竪穴建物2軒である。調査区全体が現代埋土と攪乱坑によって削平を受けており、地業上での遺構検出ではないが、Ⅱ区遺構197の東で泥岩粒・泥岩細片による地業の痕跡を一部発見している。第1a面の遺構検出時には不整形なプランを多く発見し半載して確認したが、その大半は攪乱、あるいは地業の際にできた堆積層の異なりであった。Ⅰ区東で発見した遺構1は遺構覆土から大量のかわらけを発見している。遺構の大半は調査区外に延びてしまい形状を確認することはできなかったが、竪穴建物あるいは大型のかわらけ廃棄土坑と考えている。Ⅱ区では、遺構1に比べて小型ではあるが、かわらけ廃棄土坑を数基発見している。発見したかわらけは薄手丸深と通称される、硬質・精緻・粉質な胎土、薄手でやや内湾して立ち上がる器壁を持つタイプのかかわらけが多く出土しているが、やや時代の下る遺物も相伴しており、第1a面は13世紀後半から14世紀前半の年代を与えている。遺物はかわらけ・手づくね・船載磁器（青磁・青白磁・白磁・褐釉）・国産陶器（常滑・瀬戸）・南伊勢系土鍋・瓦・金属製品釘・銅銭・砥石・滑石鍋・獣骨・果核・土師器が出土している。

<第1b面>

第1b面は炭化物・泥岩粒・茶色粘土を含む暗褐色弱粘質土の地業層上で検出した。発見した遺構は土坑44基・ピット181穴・竪穴建物1軒・溝1条である。多くの遺構を検出しているが、遺構覆土・切り合いから、少なくとも3時期に分かれると考えている。また、礎板の残るピットを多く発見したが建物址を推定できたのは1軒となった。第1b面の地業はⅡ区で発見した南北に走る溝（遺構216）を境に東と西で地業土が異なる。東側は固く締まった黄褐色粘質土、西側は暗褐色弱粘質土の地業層上で遺構を発見している。この溝を境に屋敷地の区画が変わるのではと考えているが、出土遺物・遺構等から溝の東西で居住者、あるいは場の性格の異なりを判断することはできなかった。発見した遺物は第1a面に比べて手づくねかわらけの出土が多くなり、第1a面でも多く出土していた薄手丸深タイプのかかわらけの出土が見られなくなる。第1b面は13世紀第3四半期の年代を与えている。遺物はかわらけ・手づくね・船載磁器（青磁・青白磁・

白磁)・国産陶磁器(常滑・瀬美)・瓦・土師器・砥石・チャート・鉄製品釘・獣骨・果核が出土している。

<第2面>

第2面は褐鉄を含む黄褐色粘質土の硬化した地表面上で検出した。発見した遺構は土坑18基・ピット203穴・建物址(柱穴列)3軒である。第2面では礎板の残るピットを多く発見している。遺構の切り合い・覆土の観察から2時期の遺構を検出している。発見した遺物はかわらけ・手づくね・瀬美・不町鉄製品と遺物の種類が減少するが、出土遺物量も大きく減少する。第2面の年代は出土遺物から比定することが難しく、第1面の年代観を参考に、13世紀第2四半期から第3四半期の年代を与えた。

第2節 まとめ

昭和52年12月に本遺跡地の東に接する若宮大路沿いのビル建設(小町二丁目281番)に伴う試掘調査を鎌倉市教育委員会が実施し、現地表から約1.0mは暗褐色土の堆積、その下層には中世地山層下の黄褐色砂層の堆積が確認され中世遺構の発見はなかったと報告している。本調査地では現地表下約1.0mは隣地と同様に現代埋土が堆積していたが、その下層からは約3枚(第1a面、第1b面、第2面)の中世生活面を発見し、現地表下約2.0mで中世地山を確認している。隣接する調査地であるがその様相は大きく異なる結果となった。検出した各生活面からは多くの遺構を発見した。第1a面では堅穴建物と共に数基のかわらけ廃棄土坑を確認し、調査地は屋敷地の裏手、あるいは庭にあたる場ではなかったのかと考えている。第1b面・第2面では特に多くの遺構を検出し、検出した遺構からは礎板、あるいは礎石が遺存する柱穴を多く発見している。しかし、柱穴間の間尺は190cmから220cmと統一性に欠き、200cm以下の小ぶりな間尺を持つものが多くあった。また、柱穴列は雑な柱通りを呈し、規模の小さな掘立柱建物を何度か作り替えていた様子も窺え、武家の屋敷地と云うよりも、庶民の居住域だったのではないだろうか。

Ⅱ区(調査地西側)第1b面で発見した南北に延びる溝の東西で地業の様相が変わること、溝の軸線が若宮大路の軸線にほぼ合っているとことから、この溝が場を分ける区画の溝としての機能を持っていたと考えており、調査地の大半を占める溝東側は庶民域であっても、調査区外にあたる西側には屋敷地が広がっていた可能性もある。本調査では多くの遺物が出土しているが、その大半はかわらけであった。出土したかわらけは器形・法量等それぞれの生活面でまとまった年代観を示しており、13世紀第2四半期から14世紀前半にかけての良好な資料となった。

<参考文献>

- ・『日本歴史大系14巻』「神奈川県地名」平凡社 1984年
- ・『鎌倉市史 総説編』高柳光寿 吉川弘文館 1959年
- ・『鎌倉市史 考古編』赤星直忠 吉川弘文館 1967年
- ・『鎌倉市史 社寺編』高柳光寿・佐藤榮智・川副竹胤・貫達人 吉川弘文館 1972年
- ・『鎌倉事典』東京堂出版 平成4年 白井永二
- ・『廃寺事典』有隣堂 貫達人・川副竹胤 1980年
- ・『中世瀬戸窯の研究』高志書院 藤澤良祐 2008年
- ・『愛知県史別編窯業3中世・近世常滑系』愛知県 常滑・中野晴久 2012年
- ・『愛知県史別編窯業3中世・近世常滑系』愛知県 瀬美・安井俊則 2012年
- ・『大宰府条坊跡XV—陶磁器分類編—』大宰府市教育委員会 2000年

- ・『考古論叢 神奈川第2集』「中世火鉢考」 神奈川県考古学会 河野眞知郎 1993年
- ・『永福寺跡一遺物・考察編一』「第4章 出土瓦について」 原廣志 鎌倉市教育委員会 2002年
- ・『仏教芸術164号』 「中世都市鎌倉の地割制試論」 大三輪龍彦 1986年1月

<調査地点と周辺の遺跡(図1)の地点位置>

No.1. 本調査地点	No.13. 小町二丁目54番3地点
No.2. 小町二丁目43番2地点	No.14. 小町二丁目4番4地点
No.3. 小町二丁目54番3地点	No.15. 小町二丁目283番6他2筆地点
No.4. 小町二丁目276番地点	No.16. 小町二丁目5番23地点
No.5. 小町二丁目279番2地点	No.17. 小町二丁目4番6地点
No.6. 小町二丁目280番2地点	No.18. 小町二丁目4番9地点
No.7. 小町二丁目281番1地点	No.19. 小町二丁目4番1地点
No.8. 小町二丁目281番2地点	No.20. 小町二丁目283番の一部
No.9. 小町二丁目281番地点	No.21. 小町二丁目1番14地点
No.10. 小町二丁目5番8地点	No.22. 小町二丁目394番地点
No.11. 小町二丁目276番地点	No.23. 小町二丁目1番15地点
No.12. 小町二丁目4番19地点	No.24. 小町二丁目1番6地点

<最終確認トレンチ・土層注記>(図5)

1	暗褐色弱粘質土	炭化物(多)・泥岩粒(多)・泥岩
2	黄茶褐色粘質土	褐色粘土・褐鉄・黄褐色砂
3	黄茶褐色粘質土	褐鉄(多)・褐色粘土
4	黄褐色砂質土	褐鉄
5	黄褐色粘質土	茶色有機質土
6	茶褐色砂質土	褐鉄・茶色有機質土
7	茶褐色砂質土	褐鉄
8	茶褐色粘質土	
9	茶褐色砂質土	暗褐色粘土が筋状に堆積
10	暗褐色粘質土	茶色有機質土・自然木
11	褐色砂質土	
12	暗青灰色砂質土	茶色有機質土が筋状に堆積
13	暗茶褐色砂質土	茶色有機質土が筋状に堆積
14	暗青灰色砂質土	茶色有機質土が筋状に堆積
15	暗青灰色砂	水磨した砂礫
16	暗青褐色粘質土	茶色有機質土・自然木

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ		
1	1a	竪穴建物	(408)	(106)	113	69	欠番				
2	1b	土坑	(180)	123	25	70	1b	土坑	(108)	(58)	9
3		攪乱				71	1b	ビット	(46)	(42)	12
4		攪乱				72	1b	土坑	(52)	(35)	13
5		攪乱				73	1b	ビット	35	32	17
6	1a	土坑	(117)	(39)	48	74	1b	ビット	33	28	30
7		攪乱				75	1b	土坑	77	59	15
8	1a	ビット	26	24	5	76	1b	ビット	(31)	(29)	8
9	1a	ビット	50	35	12	77	1b	ビット	28	(21)	7
10	1a	ビット	44	41	9	78	1b	ビット	(24)	27	10
11	1a	ビット	40	58	13	79	1b	土坑	57	39	12
12	1a	土坑	(85)	64	40	80	1b	ビット	28	27	12
13		攪乱				81	1b	ビット	41	32	49
14	1a	ビット	40	36	14	82	1b	ビット	(50)	(18)	17
15	1a	ビット	45	(33)	67	83	1b	ビット	(45)	(12)	11
16	1b	ビット	38	28	8	84	1b	土坑	(73)	(38)	18
17	1b	ビット	32	25	18	85	1b	ビット	(37)	(32)	11
18	1b	ビット	32	28	7	86	1b	ビット	(39)	36	11
19	1b	ビット	32	28	9	87	1b	ビット	(37)	(28)	10
20	1b	ビット	38	25	12	88	1b	ビット	(48)	(38)	10
21	1b	ビット	29	25	6	89	1b	ビット	(33)	(32)	5
22	1b	ビット	44	30	16	90	1b	土坑	(95)	63	43
23	1b	ビット	19	15	5	91	1b	土坑	(67)	(15)	15
24	1b	ビット	(25)	28	12	92	1b	ビット	54	(18)	39
25	1b	土坑	(245)	(214)	20	93	1b	ビット	56	(37)	50
26	1b	ビット	38	26	6	94	1b	ビット	27	26	12
27	1a	土坑	(100)	70	66	95	1b	土坑	(58)	47	5
28	1b	ビット	58	38	12	96	1b	ビット	(40)	(33)	13
29	1b	ビット	48	(20)	18	97	1b	ビット	(16)	(13)	4
30	1b	ビット	55	45	10	98	1b	土坑	62	(23)	13
31	1b	ビット	(76)	(24)	23	99	1b	竪穴建物	262	(264)	73
32	1b	ビット	(30)	35	12	100	1b	土坑	47	(27)	61
33	1b	ビット	(36)	(18)	6	101	1b	土坑	(25)	(21)	37
34	1b	ビット	88	(48)	50	102	1b	土坑	200	(182)	47
35	1b	ビット	(35)	(21)	61	103	1b	ビット	15	(12)	46
36	1b	ビット	37	34	18	104	1b	ビット	23	(10)	21
37	1b	ビット	24	19	10	105	1b	ビット	36	(30)	11
38	1b	ビット	28	23	29	106	1b	ビット	33	24	22
39	1b	土坑	(52)	(28)	6	107	欠番				
40	1b	土坑	(202)	(54)	(30)	108	1b	土坑	67	(47)	53
41	1b	ビット	(48)	(22)	8	109	1b	土坑	(117)	(50)	21
42	1b	ビット	37	31	64	110	2	土坑	157	(53)	65
43	1b	ビット	43	27	11	111	1b	ビット	27	25	15
44	1b	ビット	35	(23)	9	112	2	ビット	(31)	(22)	16
45	1b	ビット	58	(37)	19	113	1b	ビット	37	35	14
46	2	ビット	43	37	27	114	2	ビット	40	(27)	27
47	1b	ビット	54	(34)	9	115	2	ビット	22	(18)	23
48	1b	土坑	(70)	43	12	116	2	ビット	22	16	10
49	1b	ビット	29	28	8	117	2	ビット	22	15	2
50	1b	ビット	(30)	33	54	118	2	ビット	28	27	1
51	1b	ビット	30	28	14	119	2	土坑	148	(135)	未掘
52	1b	ビット	49	42	8	120	2	ビット	32	(23)	18
53	1b	ビット	33	32	27	121	2	ビット	27	(14)	34
54	1b	ビット	28	(17)	22	122	2	ビット	(20)	(10)	4
55	1b	ビット	46	33	22	123	2	ビット	22	(14)	4
56	1b	ビット	(21)	(13)	8	124	2	ビット	29	28	28
57	1b	ビット	54	(28)	6	125	2	ビット	21	19	2
58	1b	ビット	32	(29)	19	126	2	ビット	14	14	1
59	1b	土坑	53	38	19	127	2	ビット	28	(27)	4
60	1b	土坑	66	46	11	128	2	ビット	33	31	3
61	1b	土坑	66	(38)	5	129	2	ビット	36	32	13
62	欠番					130	欠番				
63	1b	ビット	23	19	21	131	2	ビット	18	17	4
64	1b	土坑	46	(35)	48	132	2	ビット	20	(9)	3
65	1b	ビット	(27)	(10)	11	133	2	ビット	35	32	29
66	1b	ビット	34	33	12	134	2	ビット	26	25	24
67	1b	ビット	29	19	7	135	2	ビット	48	41	37
68	1b	土坑	(42)	59	14	136	2	ビット	36	(33)	31

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ		
137	2	土坑	128	(85)	43	206	1b	土坑	80	(68)	19
138	2	ピット	38	(19)	24	207	1b	ピット	52	(40)	14
139	2	ピット	40	32	43	208	1b	土坑	136	(96)	31
140	2	ピット	32	(29)	9	209	1b	ピット	47	(32)	32
141	2	ピット	(42)	42	44	210	1b	ピット	34	33	21
142	2	ピット	(23)	22	7	211	1b	ピット	(142)	81	31
143	2	ピット	(53)	(38)	31	212	1b	土坑	57	42	14
144		欠番				213	1b	ピット	66	56	15
145	2	ピット	(21)	(10)	12	214	1b	ピット	42	35	55
146	2	ピット	43	42	23	215	1b	ピット	38	38	68
147	2	土坑	85	(44)	10	216	1b	溝	94~102	500	90
148	2	ピット	37	(17)	15	217	1b	ピット	(39)	27	37
149	2	ピット	42	(18)	35	218	1b	ピット	34	29	9
150	2	土坑	205	164	43	219	1b	ピット	34	(35)	10
151	2	ピット	(45)	(38)	32	220	1b	土坑	90	73	14
152	2	ピット	37	(33)	20	221	1b	ピット	40	(21)	11
153	2	ピット	22	22	16	222		欠番			
154	2	ピット	55	50	45	223	1b	ピット	48	40	29
155	2	土坑	(209)	108	27	224	1b	ピット	33	(11)	15
156	2	ピット	33	(30)	30	225	1b	ピット	56	49	30
157	2	ピット	42	(28)	41	226	1b	ピット	(40)	27	11
158	2	ピット	25	24	39	227	1b	土坑	(105)	(60)	5
159	2	ピット	23	21	5	228	1b	ピット	29	(24)	25
160	2	ピット	17	13	4	229	1b	土坑	(104)	(54)	19
161	2	ピット	25	18	6	230	1b	ピット	21	20	10
162	2	ピット	47	43	28	231	1b	ピット	35	(28)	34
163	2	ピット	40	27	43	232	1b	ピット	35	32	23
164	2	ピット	(26)	26	37	233	1b	ピット	42	(17)	69
165	2	土坑	52	51	50	234	1b	ピット	(20)	(13)	27
166	2	ピット	35	(28)	45	235	1b	ピット	(18)	(17)	23
167	2	ピット	36	28	13	236	1b	土坑	76	63	9
168	2	ピット	36	34	26	237	1b	ピット	32	30	36
169	2	ピット	(35)	(29)	37	238	1b	ピット	38	(28)	44
170	2	土坑	58	(26)	36	239	1b	ピット	(44)	(36)	43
171	2	土坑	80	44	60	240	1b	ピット	35	(21)	22
172	2	ピット	41	34	33	241	1b	ピット	38	(18)	20
173	2	ピット	30	22	11	242	1b	ピット	26	25	16
174	2	ピット	26	25	32	243	1b	ピット	31	25	30
175	2	ピット	26	25	33	244	1b	ピット	43	(21)	32
176	2	ピット	26	25	27	245	1b	ピット	45	(32)	51
177	2	ピット	33	(14)	34	246	1b	ピット	32	(15)	26
178	2	ピット	32	31	78	247	1b	ピット	35	(34)	25
179	2	ピット	(15)	(8)	3	248	1b	ピット	(24)	(20)	22
180	2	ピット	30	(28)	39	249		欠番			
181	2	ピット	(26)	26	45	250	1b	ピット	(30)	(15)	50
182	2	ピット	25	22	20	251	1b	ピット	23	18	22
183	2	ピット	27	23	31	252	1b	ピット	38	36	22
184	2	ピット	30	26	7	253	1b	ピット	35	(27)	49
185	2	ピット	19	18	39	254	1b	ピット	32	29	9
186	2	ピット	(35)	(16)	37	255	1b	ピット	35	29	41
187		欠番				256	1b	ピット	(55)	50	22
188	2	ピット	(13)	13	9	257	1b	ピット	(125)	(41)	31
189	1b	土坑	(184)	(85)	42	258	1b	ピット	47	39	43
190	2	ピット	26	23	14	259	1b	ピット	57	43	64
191	2	ピット	(39)	(32)	44	260	1b	ピット	(32)	(14)	73
192	2	ピット	(25)	(12)	24	261	1b	ピット	42	(25)	33
193	2	ピット	(26)	(10)	25	262	1b	ピット	38	(30)	22
194	2	ピット	42	(17)	34	263	1b	ピット	(47)	38	16
195	1a	土坑	(94)	(90)	24	264	1b	ピット	(47)	(13)	17
196	1a	土坑	122	(83)	29	265	1b	ピット	(52)	(25)	24
197	1a	竪穴遺物	(328)	298	26	266	1b	ピット	(35)	(25)	33
198	1a	土坑	(133)	(78)	46	267	1b	ピット	36	(23)	46
199	1a	土坑	(44)	(65)	52	268	1b	ピット	45	34	49
200	1a	土坑	167	121	55	269	1b	ピット	29	25	21
201	1a	土坑	60	(49)	21	270	1b	ピット	62	36	32
202	1a	土坑	(272)	(101)	41	271	1b	ピット	(35)	34	9
203	1b	ピット	54	50	83	272	1b	土坑	167	103	21
204	1b	ピット	46	35	21	273	1b	ピット	(64)	(37)	53
205	1b	土坑	(93)	84	13	274	1b	ピット	56	(40)	13

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ		
275	1b	ピット	(33)	(17)	5	344	2	ピット	20	19	16
276	1b	ピット	28	28	60	345	2	ピット	41	(26)	40
277	1b	ピット	28	24	17	346	2	ピット	42	(18)	40
278	1b	ピット	47	32	88	347	2	ピット	(26)	33	9
279	1b	ピット	(45)	(17)	20	348	2	ピット	25	22	22
280	1b	ピット	33	32	63	349	2	ピット	(33)	(13)	15
281	1b	土坑	111	(81)	120	350	2	ピット	(29)	24	15
282	1b	土坑	111	(73)	17	351	2	ピット	38	(27)	58
283	1b	ピット	(32)	30	22	352	2	ピット	33	(18)	58
284	1b	ピット	(41)	35	43	353	2	ピット	(27)	30	8
285	1b	ピット	(42)	(16)	16	354	2	ピット	27	(24)	14
286	1b	ピット	(30)	(13)	22	355	2	ピット	27	27	19
287	1b	ピット	(32)	(10)	22	356	2	ピット	20	18	20
288	1b	ピット	23	7	22	357	2	ピット	(28)	27	6
289	1b	ピット	28	28	48	358	2	ピット	35	(19)	6
290	1b	ピット	23	22	10	359	2	ピット	(22)	23	4
291	1b	ピット	20	14	40	360	2	ピット	48	42	65
292	1b	ピット	(23)	(14)	14	361	2	ピット	29	(29)	9
293	1b	ピット	(32)	(8)	19	362	2	土坑	(56)	(20)	34
294	1b	ピット	29	27	41	363	2	ピット	(24)	29	12
295	1b	ピット	30	(18)	13	364	2	土坑	(55)	(39)	36
296	1b	ピット	(46)	(15)	45	365	2	ピット	(20)	18	13
297	1b	土坑	(40)	(30)	23	366	2	ピット	48	38	30
298	1b	ピット	28	(22)	31	367	2	ピット	(47)	(28)	47
299	2	ピット	27	(17)	5	368	2	ピット	30	24	21
300	2	ピット	50	47	30	369	2	ピット	25	20	26
301	2	ピット	(38)	(10)	35	370	2	ピット	17	16	32
302	2	ピット	31	27	21	371	2	ピット	23	22	12
303	2	ピット	(35)	(18)	14	372	2	ピット	42	35	38
304	2	ピット	65	(33)	37	373	2	ピット	17	16	8
305	2	ピット	38	(20)	53	374	2	土坑	(44)	51	21
306	2	ピット	42	(28)	9	375	2	ピット	33	(25)	41
307	2	土坑	66	(37)	17	376	2	ピット	31	27	10
308	2	ピット	35	(32)	19	377	2	ピット	26	22	29
309	2	ピット	(33)	33	38	378	2	ピット	30	21	26
310	2	ピット	41	39	15	379	2	ピット	31	(31)	47
311	2	ピット	26	20	12	380	2	ピット	34	33	29
312	2	土坑	(65)	54	37	381	2	ピット	27	24	23
313	2	ピット	35	33	17	382	2	ピット	31	(26)	18
314	2	ピット	(28)	28	13	383	2	ピット	29	(17)	36
315	2	ピット	18	15	4	384	2	ピット	38	25	25
316	2	ピット	45	23	42	385	2	ピット	30	(21)	17
317	2	ピット	25	24	6	386	2	ピット	(23)	28	8
318	2	ピット	36	33	45	387	2	ピット	(54)	19	22
319	2	ピット	33	28	17	388	2	ピット	32	30	34
320	2	ピット	22	21	7	389	2	ピット	26	(17)	41
321	2	ピット	26	24	47	390	欠番				
322	2	ピット	(27)	(15)	14	391	2	土坑	57	(37)	9
323	2	ピット	(28)	26	24	392	2	ピット	21	15	8
324	2	ピット	39	(26)	26	393	2	ピット	28	22	18
325	欠番					394	2	ピット	32	(17)	24
326	2	ピット	33	31	17	395	2	ピット	(23)	(22)	7
327	欠番					396	2	ピット	36	28	7
328	2	土坑	49	(25)	6	397	2	ピット	35	25	3
329	2	ピット	32	30	56	398	2	ピット	(35)	28	11
330	2	ピット	37	25	27	399	2	ピット	40	27	11
331	1b	ピット	31	(26)	38	400	2	ピット	25	20	18
332	2	ピット	18	15	4	401	2	ピット	30	29	19
333	2	ピット	20	19	8	402	2	ピット	(50)	(19)	8
334	2	ピット	34	32	6	403	2	ピット	25	(11)	27
335	2	ピット	13	12	4	404	2	ピット	29	25	22
336	2	ピット	30	28	32	405	2	ピット	(28)	32	11
337	2	土坑	(36)	(32)	10	406	2	ピット	15	14	22
338	2	ピット	30	(21)	24	407	2	ピット	28	24	20
339	2	ピット	27	26	21	408	2	ピット	25	24	5
340	2	ピット	31	28	8	409	2	ピット	28	27	16
341	2	ピット	(38)	(7)	26	410	2	ピット	38	31	5
342	2	ピット	35	32	32	411	2	ピット	25	18	22
343	2	ピット	(50)	43	60	412	2	ピット	(28)	20	8

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ		
413	1a	土坑	(80)	(67)	133	448	2	ピット	14	13	19
414	1b	ピット	30	(21)	10	449	2	ピット	38	28	40
415	1b	ピット	34	(19)	8	450	2	ピット	17	12	52
416	1b	ピット	31	(25)	48	451	2	ピット	35	24	64
417	1b	土坑	(120)	67	9	452	2	ピット	(43)	(15)	30
418	1b	土坑	(57)	(41)	11	453	2	ピット	(36)	(17)	24
419	1b	ピット	31	28	86	454	2	ピット	(43)	(18)	37
420	1b	ピット	33	25	11	455	2	ピット	(18)	(10)	76
421	1b	ピット	41	32	52	456	2	ピット	(22)	(18)	15
422	1b	ピット	25	21	29	457	2	ピット	(24)	(14)	38
423	1b	ピット	15	15	65	458	2	ピット	27	18	10
424	1b	ピット	39	(7)	15	459	2	ピット	32	(8)	23
425	1b	ピット	(29)	(11)	4	460	2	ピット	14	(12)	18
426	1b	ピット	48	41	28	461	2	ピット	26	17	46
427	1b	ピット	(17)	(14)	5	462	2	ピット	(25)	(25)	32
428	1b	ピット	35	25	74	463	2	ピット	(28)	(20)	30
429	1b	ピット	(25)	(12)	22	464	2	ピット	(18)	(12)	31
430	1b	ピット	(30)	(26)	20	465	2	ピット	43	(16)	26
431	1b	ピット	37	(26)	57	466	2	ピット	47	(19)	54
432	1b	ピット	35	33	31	467	2	ピット	26	18	23
433	1b	ピット	26	20	36	468	2	ピット	25	24	10
434	1b	土坑	(65)	(26)	21	469		欠番			
435	1b	土坑	(76)	(36)	16	470	2	ピット	27	18	18
436	1b	ピット	12	12	9	471	2	ピット	36	(24)	22
437	1b	ピット	13	12	8	472	1b	ピット	26	24	18
438	1b	ピット	9	8	7	473	1b	ピット	22	(18)	42
439	1b	ピット	15	15	39	474	1b	ピット	31	(14)	47
440	1b	ピット	28	16	41	475	1b	土坑	(68)	53	45
441	1b	ピット	(40)	(35)	11	476	1b	ピット	(18)	(17)	16
442	1b	土坑	(68)	(13)	13	477	1b	土坑	(54)	(27)	11
443	1b	ピット	18	15	34	478	2	ピット	54	52	11
444	2	ピット	22	21	7	479	2	ピット	19	15	21
445	2	ピット	23	21	8	480	2	ピット	40	30	60
446	2	ピット	19	(15)	40	481	2	ピット	24	(12)	7
447	2	ピット	46	(24)	4	482	2	ピット	21	(10)	9

表1 出土遺物解説表

調査年度	坑構	層	遺物名	種別	口径/長さ	容積/幅	器高/厚さ	備註内容
7	1	14層	遺物1 5層 片口銀耳環	耳環	—	(19.2)	[K]	a: 磁器片 b: 黒陶色 白色粒 黒色粒 砂色 小石粒 c: 緑褐色 e: 漆黒 f: 口縁部片 g: 6型式 h: 口縁部片
7	2	14層	遺物1 11層	かわらけ	7.8	5.5	1.30	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 中中土 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	3	14層	遺物1 11層	かわらけ	(8.0)	(5.4)	1.6	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 中中土 f: 1/4 g: 内底面黒色粒-白色粒
7	4	14層	遺物1 11層	かわらけ	(8.3)	(5.7)	1.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 中中土 f: 1/2 g: 厚手丸蓋
7	5	14層	遺物1 12層	かわらけ	(12.1)	8.0	3.2	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	6	14層	遺物1 12層	かわらけ	12.2	8.0	3.25	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	7	14層	遺物1 13層	かわらけ	12.4	8.0	3.4	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	8	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	4.0	3.5	0.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 中中土 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	9	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	7.8	5.8	1.85	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	10	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	7.3	5.4	1.4	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	11	14層	遺物1 11層-12層 -9層	かわらけ	7.8	5.0	1.5	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	12	14層	遺物1 11層-12層 -10層	かわらけ	(8.0)	5.8	1.5	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	13	14層	遺物1 11層-12層 -10層	かわらけ	(7.8)	(5.8)	1.50	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/2 g: 厚手丸蓋
7	14	14層	遺物1 11層-12層 -10層	かわらけ	7.7	5.3	1.25	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/2 g: 厚手丸蓋
7	15	14層	遺物1 11層-12層 -10層	かわらけ	7.8	5.8	1.85	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-白色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	16	14層	遺物1 11層-12層 -4層	かわらけ	7.8	5.8	1.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	17	14層	遺物1 11層-12層 -13層	かわらけ	7.8	5.8	1.7	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	18	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	7.85	5.5	1.85	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	19	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	8.2	6.0	1.75	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	20	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	8.15	6.05	1.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	21	14層	遺物1 11層-12層 -8層	かわらけ	7.8	5.4	1.5	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	22	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	8.0	6.1	1.5	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	23	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	(7.8)	(8.0)	1.7	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	24	14層	遺物1 11層-12層 -4層	かわらけ	7.8	5.8	1.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	25	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	7.8	6.1	2.2	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	26	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	10.1	6.8	2.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	27	14層	遺物1 11層-12層 -4層	かわらけ	11.3	6.0	3.3	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	28	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	10.3	5.8	3.3	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	29	14層	遺物1 11層-12層 -7層	かわらけ	10.8	6.5	3.3	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	30	14層	遺物1 11層-12層 -10層	かわらけ	11.0	6.3	3.3	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	31	14層	遺物1 11層-12層 -10層	かわらけ	10.8	5.8	3.2	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	32	14層	遺物1 11層-12層 -14層	かわらけ	(11.8)	(7.8)	2.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	33	14層	遺物1 11層-12層 -12層	かわらけ	12.25	7.8	3.3	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	34	14層	遺物1 11層-12層 -7層	かわらけ	12.8	6.0	3.0	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	35	14層	遺物1 11層-12層 -10層	かわらけ	(12.8)	(8.8)	3.2	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/2 g: 厚手丸蓋
7	36	14層	遺物1 11層-12層 -18層	かわらけ	12.5	7.8	3.1	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/3 g: 厚手丸蓋
7	37	14層	遺物1 11層-12層 -18層	かわらけ	(12.2)	(7.8)	2.8	a: ロクロ-外底面貼糸帯-板状圧痕-内底ナド b: 磁砂-黒色粒-黒色粒-黒陶骨針-中中土 c: 黄褐色 e: 厚手丸蓋 f: 1/2 g: 厚手丸蓋

表1 出土遺物解説表

遺物番号	図録	原	遺物名	種別	口径/長さ	口径/幅	器高/厚さ	備考内容
7	30	11層-12層-10	かわらけ	12.0	7.7	3.1	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:実跡 g:口唇部粘部	
7	30	11層-12層-14	かわらけ	(11.8)	(8.0)	3.2	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-中平土 c:褐色 e:中平土 f:4/3	
7	40	11層-12層-15	かわらけ	12.8	8.3	2.9	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-黒土 c:黄褐色 e:良好 f:厚足実跡	
7	41	11層-12層-15	かわらけ	12.0	8.0	3.1	a:ロクロ-外底面貼糸切-内底ナリ b:縹砂-黒母-白色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:4/3	
7	42	11層-12層-16	かわらけ	(12.4)	(8.8)	3.3	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底面貼ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-黒土 c:灰褐色 e:中平土 f:1/3	
7	43	11層-12層-16	かわらけ	12.3	8.0	3.0	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:褐色 e:良好 f:厚足実跡	
7	44	11層-12層-16	かわらけ	(12.1)	(7.0)	2.8	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-黒土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2	
7	45	11層-12層-16	かわらけ	12.2	7.8	3.3	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:実跡	
7	48	11層-12層-16	かわらけ	12.1	8.4	3.4	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:厚足実跡	
8	47	11層-12層-1	かわらけ	(12.4)	(8.2)	3.1	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-黒土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2	
8	48	11層-12層-51	かわらけ	(11.8)	(8.2)	3.3	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:内底	
8	49	11層-12層-37	かわらけ	12.9	7.4	3.6	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ不明 b:縹砂-黒母-黒土 c:黄褐色 e:良好 f:4/3 e:厚平丸底	
8	50	11層-12層-22	かわらけ	(12.4)	(8.8)	3.2	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底面貼ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:2/3	
8	51	11層-12層-1	かわらけ	13.0	7.5	3.8	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-中平土 c:褐色 e:良好 f:厚足実跡	
8	52	11層-12層-15	かわらけ	13.3	8.0	3.5	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒土 c:黄褐色 e:良好 f:4/3 e:厚平丸底	
8	53	11層-12層-47	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.7	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2 e:厚平丸底	
8	54	11層-12層-28	かわらけ	13.1	7.4	3.4	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:2/3	
8	55	11層-12層-1	かわらけ	8.0	6.0	1.65	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:実跡	
8	56	11層-12層-1	かわらけ	(8.0)	(6.2)	1.5	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:褐色 e:中平土 f:1/2	
8	57	11層-12層-1	かわらけ	7.7	4.8	1.6	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:褐色 e:中平土 f:実跡	
8	58	11層-12層-1	かわらけ	7.8	6.0	1.6	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-黒土 c:黄褐色 e:中平土 f:1/2	
8	59	11層-12層-1	かわらけ	(7.8)	4.8	1.6	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-中平土 c:灰褐色 e:中平土 f:1/2	
8	60	11層-12層-1	かわらけ	12.3	7.1	3.75	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-黒土 c:黄褐色 e:中平土 f:1/2 g:口唇部粘部	
8	61	11層-12層-1	かわらけ	(12.8)	7.7	3.2	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底面貼ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:1/2	
8	62	11層-12層-1	かわらけ	12.7	8.0	3.25	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2	
8	63	11層-12層-1	かわらけ	12.1	8.6	3.2	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:1/2	
8	64	11層-12層-1	かわらけ	8.0	5.8	1.9	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底面貼ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-足跡粘-小石粒-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:厚足実跡	
8	65	11層-12層-1	かわらけ	12.8	8.0	3.6	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:実跡	
8	66	11層-12層-1	かわらけ	7.4	5.8	1.35	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:厚足実跡	
8	67	11層-12層-1	かわらけ	7.4	5.3	1.65	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:厚足実跡	
8	68	11層-12層-1	かわらけ	7.9	6.2	1.65	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:厚足実跡	
8	69	11層-12層-1	かわらけ	7.8	6.7	1.9	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-白色貼-黒色貼-海神骨針-足跡粘-黒土 c:黄褐色 e:中平土 f:4/3	
8	70	11層-12層-1	かわらけ	(11.8)	5.7	3.2	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-中平土 c:灰褐色 e:良好 f:4/3	
8	71	11層-12層-1	かわらけ	10.7	5.7	3.15	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:4/3 e:厚平丸底	
8	72	11層-12層-1	かわらけ	10.8	5.7	3.25	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-黒土 c:灰褐色 e:良好 f:実跡 g:厚平丸底	
8	73	11層-12層-1	かわらけ	11.0	5.4	3.2	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒土 c:灰褐色 e:良好 f:4/3 e:厚平丸底	
8	74	11層-12層-1	かわらけ	12.1	8.6	3.15	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:1/2	
8	75	11層-12層-1	かわらけ	12.1	8.0	3.1	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-海神骨針-中平土 c:灰褐色 e:良好 f:厚足実跡	
8	76	11層-12層-1	かわらけ	13.0	7.2	3.2	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:厚足実跡	
8	77	11層-12層-1	かわらけ	12.1	7.8	3.35	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:黄褐色 e:中平土 f:厚足実跡	
8	78	11層-12層-1	かわらけ	12.5	7.8	3.4	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底面貼ナリ b:縹砂-黒母-黒色貼-黒土 c:黄褐色 e:中平土 f:厚足実跡	
8	79	11層-12層-1	かわらけ	12.1	8.7	3.25	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:黄褐色 e:良好 f:厚足実跡	
8	80	11層-12層-1	かわらけ	(11.8)	(7.8)	3.5	a:ロクロ-外底面貼糸切-板状正底-内底ナリ b:縹砂-黒母-赤色貼-黒色貼-海神骨針-中平土 c:褐色 e:中平土 f:1/2	

表1 出土遺物解説表

展覧番号	技術	期	遺物名	種類	口径/長さ	曲径/幅	器高/厚さ	解説内容
9	133	14期	17期-18	かわらけ	7.6	5.8	1.3	a: 緑褐色, b: 緑土・黒色・紺青, c: 灰色, d: 赤褐色, e: 褐色, f: 黄褐色, g: 黄褐色 a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	134	14期	17期-18	かわらけ	7.8	6.0	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	135	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.4	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	136	14期	17期-18	かわらけ	7.4	5.4	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	137	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.8	1.65	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	138	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.2	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	139	14期	17期-18	かわらけ	8.0	5.7	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	140	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.4	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	141	14期	17期-18	かわらけ	7.8	4.8	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	142	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.8	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	143	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.6	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	144	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.4	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	145	14期	17期-18	かわらけ	8.7	6.0	1.9	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	146	14期	17期-18	かわらけ	(7.8)	(4.8)	2.0	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	147	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.0	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	148	14期	17期-18	かわらけ	7.5	5.1	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	149	14期	17期-18	かわらけ	7.7	5.1	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	150	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.4	1.55	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	151	14期	17期-18	かわらけ	7.8	4.7	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	152	14期	17期-18	かわらけ	7.7	4.8	1.85	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	153	14期	17期-18	かわらけ	8.0	4.7	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	154	14期	17期-18	かわらけ	(8.8)	(5.0)	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	155	14期	17期-18	かわらけ	(7.2)	(5.4)	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	156	14期	17期-18	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	157	14期	17期-18	かわらけ	(7.8)	(5.4)	2.0	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	158	14期	17期-18	かわらけ	(8.2)	(5.8)	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	159	14期	17期-18	かわらけ	(7.4)	(4.8)	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	160	14期	17期-18	かわらけ	8.1	5.8	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	161	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.8	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	162	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.4	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	163	14期	17期-18	かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.7	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	164	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.5	1.85	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	165	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.7	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	166	14期	17期-18	かわらけ	7.9	5.8	1.3	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	167	14期	17期-18	かわらけ	7.4	5.9	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	168	14期	17期-18	かわらけ	8.1	6.1	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	169	14期	17期-18	かわらけ	(8.6)	(5.8)	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	170	14期	17期-18	かわらけ	(8.2)	(6.2)	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	171	14期	17期-18	かわらけ	8.6	6.0	1.75	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	172	14期	17期-18	かわらけ	7.7	5.5	1.65	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	173	14期	17期-18	かわらけ	8.1	6.0	1.3	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	174	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.0	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	175	14期	17期-18	かわらけ	7.5	6.0	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	176	14期	17期-18	かわらけ	(7.2)	(5.2)	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	177	14期	17期-18	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	178	14期	17期-18	かわらけ	7.7	5.2	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	179	14期	17期-18	かわらけ	7.7	4.8	1.85	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	180	14期	17期-18	かわらけ	7.8	5.0	1.5	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	181	14期	17期-18	かわらけ	7.8	4.9	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	182	14期	17期-18	かわらけ	7.3	4.1	1.85	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	183	14期	17期-18	かわらけ	7.65	5.0	1.6	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径
9	184	14期	17期-18	かわらけ	7.8	4.8	1.8	a: 口径, b: 口径, c: 口径, d: 口径, e: 口径, f: 口径, g: 口径

表1 出土遺物解説表

展覧番号	図録	期	遺物名	類別	口径/長さ	曲径/幅	高さ/厚さ	解説内容
12-287	14期	遺物1 20期	かわらけ		18.4	6.4	3.7	a: 緑斑・黄斑・f. 粉土・黄斑・斑質 c: 色面 d: 色面 e: 斑紋 f: 漆塗層 g: 黄斑 h: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-288	14期	遺物1 20期	かわらけ		12.2	8.8	3.2	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・泥凝粒 中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層 g: 中平直土 f: 1/2
12-289	14期	遺物1 20期	かわらけ		12.8	7.8	3.05	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-290	14期	遺物1 20期	かわらけ		12.8	7.4	3.4	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-291	14期	遺物1 20期	かわらけ		(18.4)	(7.8)	3.1	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-292	14期	遺物1 20期	かわらけ		(13.3)	(8.8)	3.6	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-293	14期	遺物1 20期	かわらけ		18.0	7.8	3.05	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-294	14期	遺物1 20期	かわらけ		13.0	7.0	3.6	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-295	14期	遺物1 20期	かわらけ		(18.2)	(7.8)	3.5	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-296	14期	遺物1 20期	かわらけ		(12.3)	(7.4)	3.2	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・泥凝粒 中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層 g: 黄斑 f: 1/2
12-297	14期	遺物1 20期	かわらけ		(12.1)	(6.8)	3.3	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-298	14期	遺物1 20期	かわらけ		(10.8)	(8.5)	3.1	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-299	14期	遺物1 20期	かわらけ		13.1	7.8	3.05	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-300	14期	遺物1 20期	かわらけ		13.5	7.8	3.9	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・泥凝粒 中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層 g: 黄斑 f: 1/2
12-301	14期	遺物1 20期	かわらけ		12.3	7.8	3.1	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-302	14期	遺物1 20期	かわらけ		11.7	8.2	2.85	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-303	14期	遺物1 20期	かわらけ		12.4	7.8	3.05	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-304	14期	遺物1 20期	かわらけ		12.8	8.2	3.4	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-305	14期	遺物1 20期	かわらけ		(13.4)	(8.4)	3.8	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-306	14期	遺物1 20期	かわらけ		13.3	8.4	3.7	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-307	14期	遺物1 20期	かわらけ		13.1	7.2	3.4	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-308	14期	遺物1 20期	かわらけ		13.5	8.1	3.7	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-309	14期	遺物1 20期	かわらけ		12.4	7.9	3.0	a: ロクロ・外産陶器高台・板状正底・内産子 d: 粉砂・黒砂・黒色粒・赤色粒・海綿骨割・中平直土・e: 黄斑 f: 漆塗層
12-310	14期	遺物1 20期	黄斑 黄斑 黄斑		—	—	[2.6]	b: 粉砂・白色粒・黒色粒・中平直土・c: 斑色 d: 粉砂 e: 黄斑 f: 口縁片
12-311	14期	遺物1 20期	黄斑		—	—	[8.0]	e: 内外面に似た黒色塗層・斑文・斑質合・外側面中にf: 2本の紋線が顕る
12-312	14期	遺物1 20期	黄斑 黄斑	最大径3.8				e: 黄斑の跡のみ顕る・黒色塗層・斑文
12-313	14期	遺物1 20期	黄斑 黄斑	7.4	1.4	1.0		e: 左側面の黄斑・斑文は消滅して残った・黒色塗層・斑文の文様は右側面や底文・斑文と異なる文様の斑文で黄斑は斑文も残っている・斑文によって黄斑が判別されている。
12-314	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[21.2]	0.7	0.4		e: 断面方形・地盤斜内・黄斑
12-315	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	20.5	0.5	0.6		e: 断面方形・丁寧な整形・地盤斜内・黄斑
12-316	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[20.7]	0.9	0.5		e: 断面方形・地盤斜内・黄斑
12-317	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[24.2]	0.5	0.5		e: 断面方形・地盤斜内・黄斑・遺存状態悪い
12-318	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	21.8	0.7	0.7		e: 断面方形・地盤斜内・黄斑・遺存状態悪い
12-319	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	22.0	0.7	0.5		e: 断面不正方形・地盤斜内・黄斑
12-320	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	23.0	0.8	0.5		e: 断面方形・片地盤内・黄斑・片地盤も切り
12-321	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	22.9	0.8	0.5		e: 断面方形・片地盤内・黄斑・片地盤も切り
12-322	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	23.7	0.9	0.4		e: 断面方形・地盤斜内傾り
12-323	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[8.7]	0.3	0.3		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-324	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[13.0]	0.3	0.2		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-325	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[12.4]	0.4	0.2		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-326	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[1.4]	0.3	0.2		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-327	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[1.4]	0.4	0.2		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-328	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[1.4]	0.3	0.2		e: 断面方形・板割後の神部材か
23-329	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[20.1]	0.3	0.3		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-330	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[28.4]	0.5	0.4		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-331	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[28.3]	0.3	0.2		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-332	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	[18.0]	0.4	0.3		e: 断面方形・板割後の神部材か
12-333	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	17.1	[4.2]	0.1		e: 角を丸く整形・木釘痕跡
12-334	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	19.2	[3.1]	0.2		e: 木釘痕跡あり
12-335	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	18.9	[4.4]	0.15		e: 木釘痕跡あり
12-336	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	18.8	[3.7]	0.2		e: 木釘痕跡あり
12-337	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	18.3	[3.4]	0.1		e: 木釘痕跡あり
12-338	14期	遺物1 20期	木製瓦 黄斑	22.8	[2.2]	0.2		e: 木釘痕跡あり

表1 出土遺物解説表

調査 番号	柱礎 番号	層	遺物名	類別	口徑/長さ	曲率/幅	器高/厚さ	保管内容	
								a: 破片・破盤 b: 胎土・敷底・材質 c: 色別 d: 数量 e: 種類 f: 保存箇所 g: 備考	
12	339	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	22.8	[2.8]	0.2		
13	340	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	22.8	[3.7]	0.2		
12	341	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	22.8	[1.8]	0.1		
13	342	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	22.7	[2.5]	0.1		e: 刃物痕跡あり
12	343	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	22.7	[1.8]	0.15		
13	344	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	22.7	[1.8]	0.1		
13	345	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	22.8	[2.8]	0.1		
13	346	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.5	[1.3]	0.3		e: 火切痕として使用か 円形の小皿が残る
13	347	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.8	[2.1]	0.1		
13	348	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.4	[1.8]	0.1		
13	349	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.2	[2.0]	0.2		
13	350	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.2	[2.3]	0.2		
13	351	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.3	[2.8]	0.2		
14	352	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.7	[5.2]	0.2		
14	353	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	24.3	[3.9]	0.2		
14	354	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	23.4	[4.3]	0.1		e: 刃物痕跡が残る
14	355	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[14.3]	0.8	0.3		e: 断面からほぼ二週・増厚斜めに切開
14	356	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[9.8]	0.9	0.5		e: 断面からほぼ二週・増厚扁平に巻形
14	357	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[10.2]	[0.9]	[0.4]		e: 断面方形・増厚状態が崩れ
14	358	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	11.2	0.8	0.3		e: 断面方形・増厚扁平に巻形
14	359	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[9.3]	0.7	0.9		e: 増厚形状・縁部のみ
14	360	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[8.7]	1.0	0.7		e: 増厚形状・増厚縁部のみ
14	361	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[11.8]	0.9	0.8		e: 断面方形・丁寧な巻形
14	362	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[10.8]	0.8	0.4		e: 断面方形
14	363	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[15.7]	0.6	0.5		e: 増厚形状
14	364	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[20.8]	0.5	0.4		e: 断面方形
14	365	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[30.4]	[0.9]	[0.5]		e: 増厚形状・用途不明
14	366	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	30.4	1.1	0.5		e: 断面方形・丁寧な巻形・増厚縁部・火きり跡あり
14	367	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[29.7]	0.7	0.5		e: 増厚形状・増厚縁部
14	368	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	[20.0]	1.3	0.7		e: 断面縦円形・丁寧な巻形・増厚縁部・火きり跡あり
14	369	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	21.9	1.3	0.7		e: 断面縦円形・丁寧な巻形・増厚縁部・火きり跡あり
14	370	14層	遺物1 20層	木製品 粘土系敷底	14.2	[4.2]	0.9		e: 増厚に切り込みが入る。
14	371	14層	遺物1 20層	木製品 用途不明	[5.2]	[2.2]	[0.8]		e: 半月状の胎土のみ
14	372	14層	かわらけ 一皿		(4.8)	(3.4)	1.8		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 4/9 g: 増厚縁部
14	373	14層	かわらけ 一皿		(5.4)	(4.4)	0.9		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	374	14層	かわらけ 一皿		(7.1)	(5.0)	1.2		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	375	14層	かわらけ 一皿		7.2	3.9	1.55		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	376	14層	かわらけ 一皿		7.3	5.4	1.45		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	377	14層	かわらけ 一皿		(7.4)	(5.2)	1.2		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/4 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	378	14層	かわらけ 一皿		(8.8)	(4.8)	2.0		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 3/4 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	379	14層	かわらけ 一皿		(7.2)	(4.0)	1.8		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	380	14層	かわらけ 一皿		(7.4)	(4.4)	1.8		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 2/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	381	14層	かわらけ 一皿		(7.4)	(5.4)	1.9		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	382	14層	かわらけ 一皿		7.7	6.0	1.5		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	383	14層	かわらけ 一皿		(7.4)	(5.2)	1.8		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/4 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	384	14層	かわらけ 一皿		(7.4)	(5.2)	1.5		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	385	14層	かわらけ 一皿		7.5	5.8	1.5		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	386	14層	かわらけ 一皿		7.5	5.1	1.7		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	387	14層	かわらけ 一皿		7.4	5.1	1.4		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/2 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	388	14層	かわらけ 一皿		(7.8)	(5.0)	1.5		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	389	14層	かわらけ 一皿		(8.0)	(6.0)	1.6		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明
14	390	14層	かわらけ 一皿		7.8	5.3	1.7		a: ロクロ-外産陶板系物・破片正底・内産子午不明 b: 胎土・敷底・黄色胎・増厚青針・中平土 c: 灰黄色 e: 胎土 f: 1/3 g: 増厚縁部増厚子午不明

表1 出土遺物解説表

遺物番号	技術	期	遺物名	種類	口径/長さ	曲率/幅	器高/厚さ	解説内容
19	57	14世紀	かわらけ		8.4	6.0	1.9	a: 磁粉・黄緑色 b: 粘土・黒色・黄緑色 c: 黄緑色 d: 磁粉 f: 土質不明 e: 黄緑色 a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や 粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	59	14世紀	かわらけ		11.8	7.8	3.25	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	59	14世紀	かわらけ		11.8	8.4	2.8	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	80	14世紀	かわらけ	(12.8)	7.8	3.05	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	81	14世紀	かわらけ		13.0	8.4	2.85	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	82	14世紀	かわらけ	(12.8)	8.0	3.0	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	83	14世紀	かわらけ	(11.4)	(8.2)	3.1	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	84	14世紀	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.0	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	85	14世紀	かわらけ		13.0	8.4	2.85	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	86	14世紀	かわらけ	(11.8)	8.0	3.3	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	87	14世紀	かわらけ		12.2	8.4	3.25	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	88	14世紀	かわらけ		12.4	8.4	3.25	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	89	14世紀	かわらけ	(13.4)	(8.8)	3.0	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	70	14世紀	かわらけ	(12.4)	(8.8)	3.0	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	71	14世紀	かわらけ	(12.4)	(8.4)	2.8	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	72	14世紀	かわらけ		12.4	8.2	3.0	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	73	14世紀	かわらけ		13.2	7.8	3.15	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	74	14世紀	かわらけ		12.2	7.0	3.45	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明
19	75	14世紀	かわらけ	(12.4)	8.4	3.2	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・泥凝結・小石粒・中 や粘土土 e: 黄緑色 e: 中や粘土 f: 土質不明	
19	76	14世紀	かわらけ		13.0	7.2	3.8	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明
19	77	14世紀	かわらけ		13.0	7.8	3.65	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明
19	78	14世紀	かわらけ	(13.8)	(8.2)	3.8	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
19	79	14世紀	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.4	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
19	80	14世紀	奈良風磁器 茶碗		(8.4)	1.5	0.9	a: 新南方製法に倣った 餅付茶碗
19	81	14世紀	遺物	(8.5)	1.1	1.2	a: 新南方製法に倣った 餅付茶碗	
1	14世紀	遺物	てづくね	(13.2)	—	—	3.2	a: 手づくね(内部下部に筒状の子午丸・内外底縁部コナ子・内産子午不明 b: 磁粉・黄土・泥 質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明 c: 内産子午不明 d: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や 粘土土 e: 黄緑色 e: 黄土 f: 土質不明
2	14世紀	遺物	てづくね	(8.4)	—	—	1.8	a: 手づくね(内部下部に筒状の子午丸・内外底縁部コナ子・内産子午不明 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や 粘土土 e: 黄緑色 e: 黄土 f: 土質不明 c: 内産子午不明 d: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や 粘土土 e: 黄緑色 e: 黄土 f: 土質不明
3	14世紀	遺物	てづくね	(8.8)	—	—	1.7	a: 手づくね(内部下部に筒状の子午丸・内外底縁部コナ子・内産子午不明 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や 粘土土 e: 黄緑色 e: 黄土 f: 土質不明 c: 内産子午不明 d: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や 粘土土 e: 黄緑色 e: 黄土 f: 土質不明
4	14世紀	遺物	かわらけ		8.6	5.4	3.0	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明
5	14世紀	遺物	かわらけ		8.5	8.8	1.8	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明
6	14世紀	遺物	かわらけ	(8.8)	(8.0)	1.7	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
7	14世紀	遺物	かわらけ		8.1	8.6	1.9	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明
8	14世紀	遺物	かわらけ	(8.2)	(8.6)	1.9	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
9	14世紀	遺物	かわらけ	(12.2)	(8.0)	3.2	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
10	14世紀	遺物	かわらけ	(13.0)	(8.6)	2.8	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
11	14世紀	遺物	かわらけ	(12.8)	7.8	3.1	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
12	14世紀	遺物	かわらけ	(12.0)	(8.4)	2.7	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
13	14世紀	遺物	かわらけ	(12.0)	8.6	2.8	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
14	14世紀	遺物	かわらけ	(12.0)	8.4	3.3	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明	
15	14世紀	遺物	有蓋 茶碗	—	—	—	[4.0]	a: ロクロ-外産細磁器管・黄緑色・内産子午子 b: 磁粉・黒色・黄色・黒色結・陶粉質・中や粘土土 e: 黄緑色 f: 土質不明
16	14世紀	遺物	有蓋 茶碗	—	(5.8)	(3.1)	—	a: ロクロ-内産子午不明・外産細磁器管 b: 灰色 靑良磁器 c: 青緑色 d: 靑色 f: 口縁部片 g: 靑良磁 器 好真層
17	14世紀	遺物	有蓋 茶碗	—	—	—	[3.4]	a: ロクロ-内産子午不明・外産細磁器管 b: 灰色 靑良磁器 c: 青緑色 d: 靑色 f: 口縁部片 g: 靑良磁 器 好真層
18	14世紀	遺物	有蓋 茶碗	—	(5.8)	(2.0)	—	a: ロクロ-内産子午不明・外産細磁器管 b: 灰色 靑良磁器 c: 青緑色 d: 靑色 f: 口縁部片 g: 靑良磁 器 好真層
19	14世紀	遺物	有蓋 茶碗	—	—	—	[3.2]	a: ロクロ-内産子午不明・外産細磁器管 b: 灰色 靑良磁器 c: 青緑色 d: 靑色 f: 口縁部片 g: 靑良磁 器 好真層
20	14世紀	遺物	有蓋 茶碗	—	—	—	[3.7]	a: ロクロ-内産子午不明・外産細磁器管 b: 灰色 靑良磁器 c: 青緑色 d: 靑色 f: 口縁部片 g: 靑良磁 器 好真層
21	14世紀	遺物	白磁 茶碗	—	—	—	[3.3]	a: ロクロ-休野下層磁器・内高合・高合層磁器・内高合層磁器 b: 灰白色 靑良磁器 c: 白色 e: 靑 色 f: 口縁部片 g: 靑良層
22	14世紀	遺物	青白磁 茶碗	—	—	—	[1.0]	a: 型付・内面に花卉状の文様 b: 灰白色 靑良磁器 c: 白色 e: 靑色 f: 口縁部片
23	14世紀	遺物	青白磁 茶碗	—	—	—	[1.3]	a: 灰白色 靑良磁器 c: 白色 e: 靑色 f: 口縁部片
24	14世紀	遺物	青白磁 茶碗	—	—	—	[1.2]	a: 灰白色 靑良磁器 c: 白色 e: 靑色 f: 口縁部片
25	14世紀	遺物	茶碗	—	—	—	[3.7]	a: 磁粉・白色結・黄色・中や粘土土 e: 灰白色 d: 磁粉 e: 黄土 f: 口縁部片
26	14世紀	遺物	茶碗	—	—	—	[4.0]	a: 磁粉・白色結・黄色・中や粘土土 e: 灰白色 d: 磁粉 f: 口縁部片 g: 6a型式
27	14世紀	遺物	茶碗	—	—	—	[2.1]	a: 磁粉・白色結・黄色・中や粘土土 e: 灰白色 d: 磁粉 f: 口縁部片 g: 6a型式

表1 出土遺物検査表

調査 番号	技術 番号	遺物名	種類	口径/長さ	巻数/幅	器高/厚さ	器内内容
							a: 磁片・瓦片 b: 粘土・瓦片・封土 c: 骨片 d: 陶片 e: 銅片 f: 漆器類 g: 漆片 中央に内土が所在し、底の面は平らになっている。中央の神杖の跡に付いて包圍したものが一面 で一層層の「全乳」が二枚押込まれる。牛乳製射線磁器を印刷する様、中央に「全乳」の塊を、陶器を 挟んで上下は磁器、「全乳」下部右「北磁器」、中央「南光寺 磁器 磁器所」、左「陶器片一類五」-「 全乳」上部右「北磁器」、中央「島貫本鉢・特殊牛乳」、右「延長寺第一四五」ピンク色の不明付着物が 全面に所在する。
44	110	黄土	合陶製品 打明磁	8.3	4.7	8.4	
44	111	黄土	石製品 製法玉	直径2.2		厚み約0.25×0.3	a: 水晶類 f: 発芽品
44	112	黄土	合陶製品 磁器			径2.0×厚さ0.18	a: 滑石類白磁質・明治二十四年(即年明治二十二年～三十年まで発行)
44	113	黄土	合陶製品 磁器	外径2.4・内径2.1・孔径0.4×0.4・厚0.1			f: 灰沢泥類 g: 天然元質 物産年: 北宋1012年 真漆
45	1	黄土山	てづくね	(13.2)	—	(3.3)	a: 平子山・住持丹下下百部陶器・内内面磁器コナ子・内底ナ子 b: 磁砂・黒濁・赤色磁・黒緑青 銅・灰濁磁・やや黄土 c: 黄褐色 e: やや粗い f: 1/3
45	2	黄土山	かわらけ	7.4	5.8	1.65	a: ロクロ・外底陶磁承筒・収状正底・内底ナ子 b: 磁砂・黒濁・赤色磁・黒色磁・黒緑青銅・やや黄土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/4
45	3	黄土山	かわらけ	(8.1)	(5.4)	1.5	a: 磁片 e: 良好 f: 発芽 g: 粟分大
45	4	黄土山	かわらけ	(11.2)	(7.2)	3.5	a: ロクロ・外底陶磁承筒・収状正底不明磁・内底ナ子 b: 磁砂・黒濁・赤色磁・黒色磁・黒緑青銅・更 黒磁・やや黄土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/4
45	5	黄土山	かわらけ	(13.1)	(7.8)	3.5	a: ロクロ・外底陶磁承筒・収状正底・内底ナ子 b: 磁砂・黒濁・赤色磁・黒色磁・黒緑青銅・更 黒磁・やや黄土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
45	6	黄土山	かわらけ	(13.2)	(8.8)	3.5	a: ロクロ・外底陶磁承筒・収状正底不明磁・内底ナ子不明磁 b: 磁砂・黒濁・赤色磁・黒土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/4
45	7	黄土山	青磁 片	—	—	[1.6]	a: ロクロ 外陶磁器片文 b: 灰白色 釉肉磁器 d: 深褐色 e: 磁器 f: 口縁磁片
45	8	黄土山	青磁 片	—	—	[3.4]	b: 磁砂・白色磁・黒色磁・やや黄土 c: 灰色 d: 緑褐色 e: 良好 f: 口縁磁片
45	9	黄土山	青磁 片口縁玉類	—	—	8.6	a: 輪轆沖成形 b: 灰色 白色磁・黒色磁・砂粒・小石粒 c: 灰色 e: 磁器 f: 片磁片 g: 磁式
45	10	黄土山	青磁 片口縁玉類	—	—	[3.8]	a: 輪轆沖成形 b: 黒褐色 白色磁・黒色磁・砂粒・小石粒 c: 緑褐色 e: 磁器 f: 口縁磁片 g: 磁式

遺物破片数表

			1画				2画		出土回数	合計	%			
			画1	1a	1b	横線土	画2	横線土						
かわらけ	手づくね	大	45	189	405	290	2	113	1	80	1105	5.37		
		小	17	48	213	169		55		20	522	3.85		
		横小											0.01	
	糸切り	大	700	3341	1433	1414				301	1125	8314	62.88	
		中	1	42								43	0.33	
		小	134	628	483	288		73		277	2083	15.78		
	白かわらけ	手づくね		1		1						2	0.02	
		糸切り		9	6	2			1		1	19	0.14	
	船載陶磁器	青磁	四折		12	3	2					1	18	0.14
			転用円筒		1	7	1						9	0.07
同安南系			横				6					7	0.05	
龍泉窯系I類			盤			3	3			1			7	0.05
			盤文碗	2	2	2	2			1		2	11	0.08
			菊花文碗	1	1	18	5			2		4	29	0.22
			横											0.01
龍泉窯系II類			盤丹文碗	8	16	9	7					12	52	0.39
			盤丹文碗			2	1						3	0.02
龍泉窯系III類			杯	3	3	1	3					9	19	0.14
		鉢			1	2						3	0.02	
白磁		鉢反前				1						1	2	0.02
		口瓦・皿	4	4		2					3	13	0.10	
		壺・皿			2	4	2					8	0.06	
		白耳瓶	1	1	4	3					2	11	0.08	
	茶瓶			2	2	1					5	0.04		
	香炉				1						1	0.01		
	合子	1		1	4					1	7	0.05		
	壺・皿			3	1						4	0.03		
	泉州系黄釉		1	9	1					1	12	0.09		
	磁筒				1						1	0.01		
磁筒				1						1	0.01			
唐磁陶器	瀬戸	碗		2	1			1			2	0.02		
		入子	1								1	0.01		
		鉢				1						1	0.01	
		壺									1	1	0.01	
		盤	2	1	2	1					4	10	0.08	
		常滑	壺	27	90	109	23		12		121	292	2.87	
			片口鉢I類	10	28	23	10		1		16	88	0.67	
			片口鉢II類	3	8	4	3		1		1	20	0.15	
		山茶碗	山茶碗	1	4	4	2				2	13	0.10	
			山皿	1		1	2					4	0.03	
	瀬戸	壺			1	1					1	1	0.01	
		壺			1	4		1		3	9	0.07		
	土器・土製品	瓦葺	筒	2	1	1	3					1	8	0.06
			香炉?				1						1	0.01
			火鉢	1	1							5	7	0.05
火鉢												0	0.00	
伊勢系土器				4	1	1						6	0.05	
灯明台				1								1	0.01	
壺				1								1	0.01	
不明品				2	2	2	2					8	0.05	
瓦葺			2	2	3	2				2		11	0.08	
瓦葺			1			3		1				5	0.04	
軒丸瓦				1							1	0.01		
鉄製品		釘	3	7	8	3	1				4	28	0.20	
		刀子			1	1		1				3	0.02	
		不明品	1	8	2	2		2			2	13	0.10	
銅製品		鏡		3	2	2					1	8	0.06	
	不明品		1							1	1	0.01		
滑石	鏡				1						2	0.02		
	転用不明品									1	1	0.01		
石製品	碇			2							1	3	0.02	
	碇石		2	3	5						10	0.08		
	碇石							1			2	0.02		
	火打石			2	1			1			3	0.02		
	転用不明品							1			1	0.01		
木製品	不明品		80								80	0.86		
	漆器		3								3	0.02		
自然遺物	灰青・灰青層	3	20	15	4		2			7	51	0.39		
	貝		1							1	2	0.02		
中世以前	土師器	種子	8	18	4	11		2			1	39	0.30	
		香燭屋		1		1						2	0.02	
	須恵器	器型不明			2							2	0.02	
		壺	1			1						2	0.02	
		杯			1	1						1	0.01	
近世	陶磁器	杯	5	1	1	1					3	0.02		
		平瓦	1			1					10	17	0.13	
	瓦葺	軒丸瓦									4	8	0.05	
		末葺(瓦葺)									1	1	0.01	
		瓦葺									1	1	0.01	
		不明品									1	1	0.01	
器型不明品		1							2	3	0.02			
合計		991	4803	2790	2308	4	673	1	1734	13202	100.00			
%		7.51	38.38	21.13	17.47	0.03	4.34	0.01	13.13	100.00				



▲ I区 第1面全景 (第1a面・第1b面)・東から

II区 第1面全景 (東から) ▶



◀ II区 第1b面全景 (西から)



▲ I区 第2面全景 (西から)



▲ I区 第2面全景 (東から)



▲ I区 最終トレンチ (北から)



◀ 第1a面 遺構1 (東から)

遺構1 かわらけ出土状況 (拡大) ▶



◀ 第1a面 遺構1・完掘状況 (東から)

第1a面 遺構195・遺構196 (北から) ▶





◀ 第1b面
遺構216
(北から)



▲ 遺構216・掘り方検出状況



◀ 遺構216 側板・杭出土状況

遺構216 側板・杭出土状況 ▶





▲ 第1b面 遺構258・遺構267 (東から)



▲ 第1b面 遺構270 (西から)



▲ 第1b面 遺構281 (北から)



▲ 第2面 遺構119 (北から)



▲ 第2面 遺構119東西Section (北から)



▲ 第2面 遺構150南北Section (東から)



▲ 第2面 遺構154



▲ 第2面 遺構312周辺検出状況

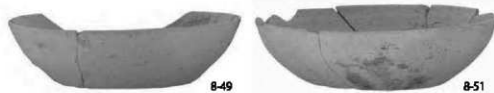
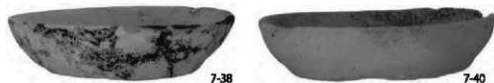
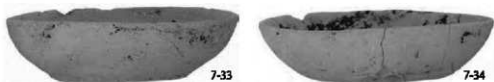
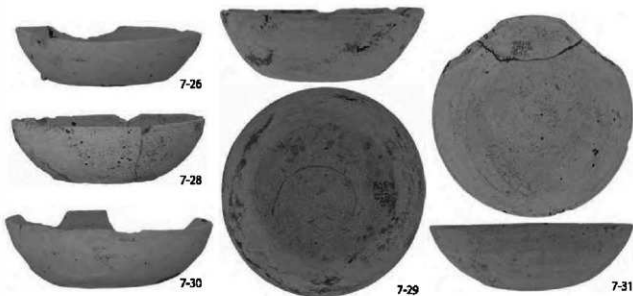
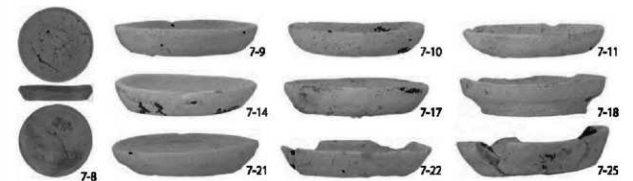


▲ 第2面 遺構342・遺構343 (北から)

▼第1a面



△遺構 1-11 層



△遺構 1-11・12 層

▼第1a面



8-55



8-57



8-64



8-60



8-65

△遺構 1-12層

△遺構 1-13層



8-66



8-67



8-68



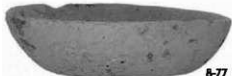
8-72



8-75



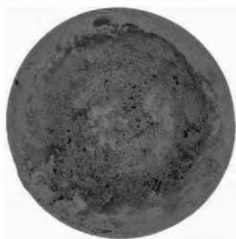
8-76



8-77



8-78



8-79

△遺構 1-16層



8-85



8-87



8-88

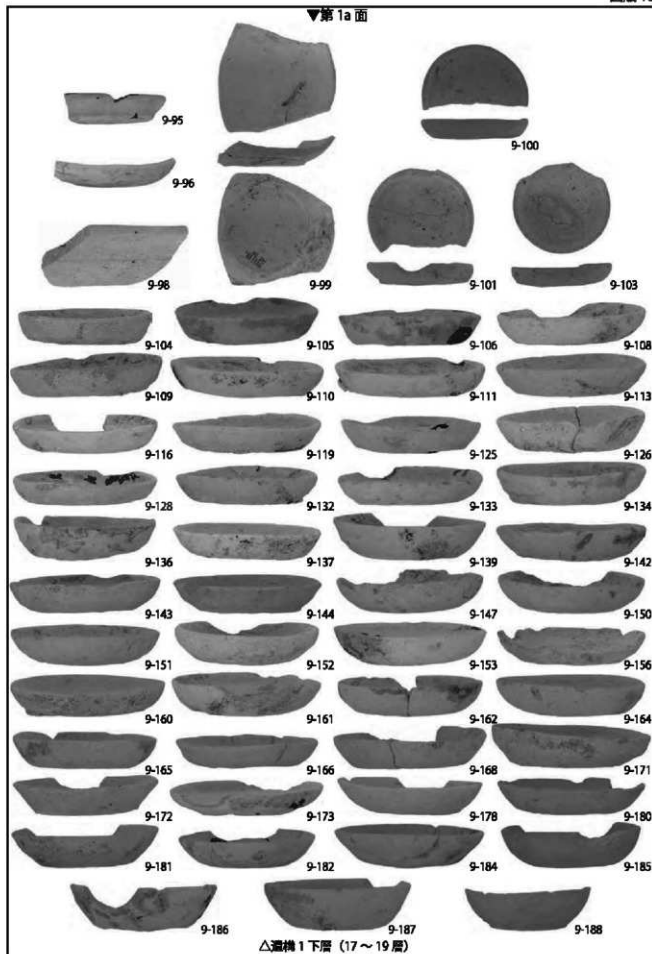


9-93

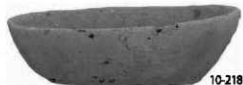
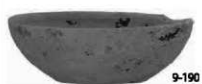
△遺構 1-17層

△遺構 1-18層

▼第1a面



▼第1a面

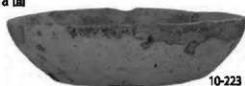


△遺構1下層 (17~19層)

▼第1a面



10-219



10-223



10-228



10-230



10-231



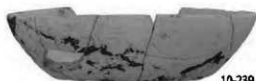
10-232



10-233



10-238



10-239



10-242



10-244



11-246



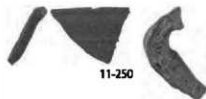
11-247



11-248



11-249



11-250



11-252



11-255



11-257



11-251



11-253



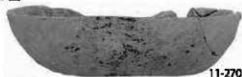
11-259

△遺構1下層 (17~19層)

▼第 1a 面



11-263



11-270



11-271



11-274



11-283



11-286



12-287



12-289



12-299



12-300



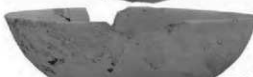
12-308



12-304



12-306



12-308



12-310



12-311



12-312



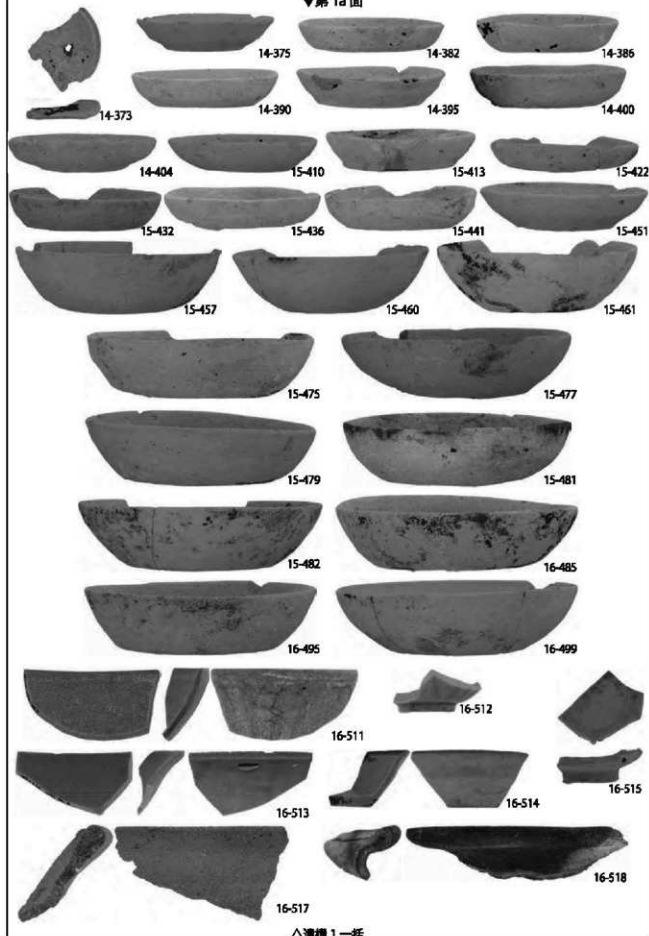
12-313



14-370

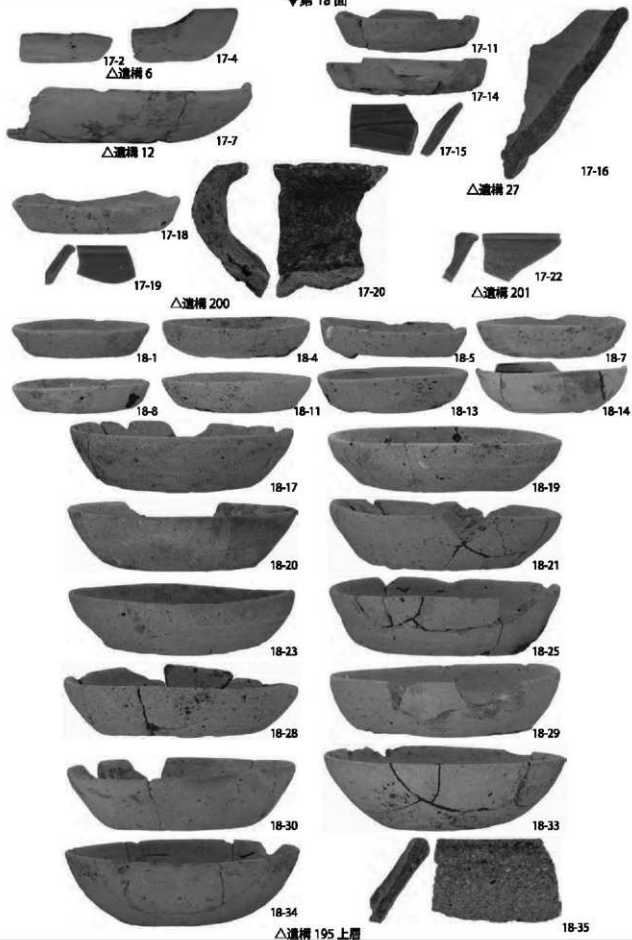
△遺構 1-20 層

▼第 1a 面



△遺物 1 一括

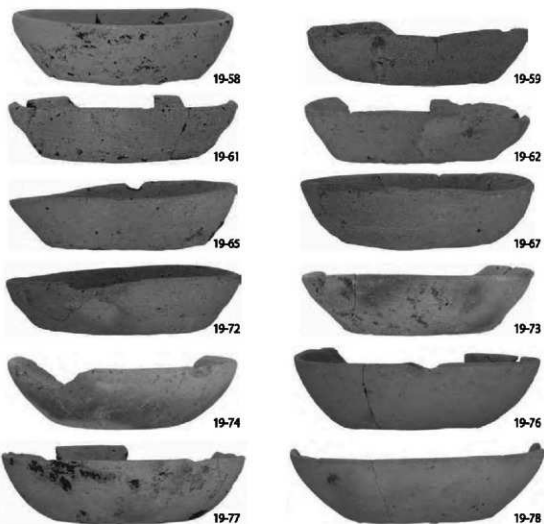
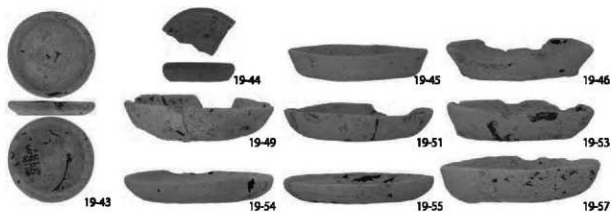
▼第 1a 面



▼第 1a 面

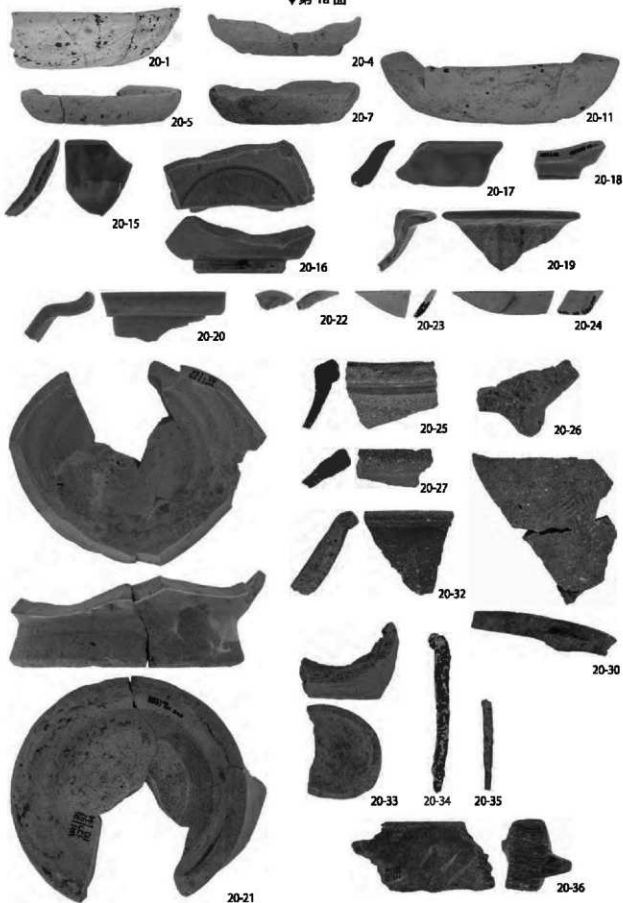


△遺構 195 下層



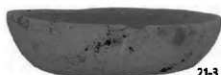
△遺構 196

▼第1a面



△遺構 197

▼第 1a 面



21-3
△遺構 198



21-5



21-6



△遺構 199



21-7



21-8



21-11



21-15



21-17



21-18



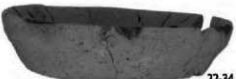
21-19



21-21



21-22



22-34



22-41



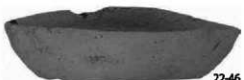
22-42



22-43



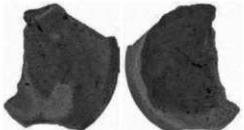
22-45



22-46



22-50



22-52



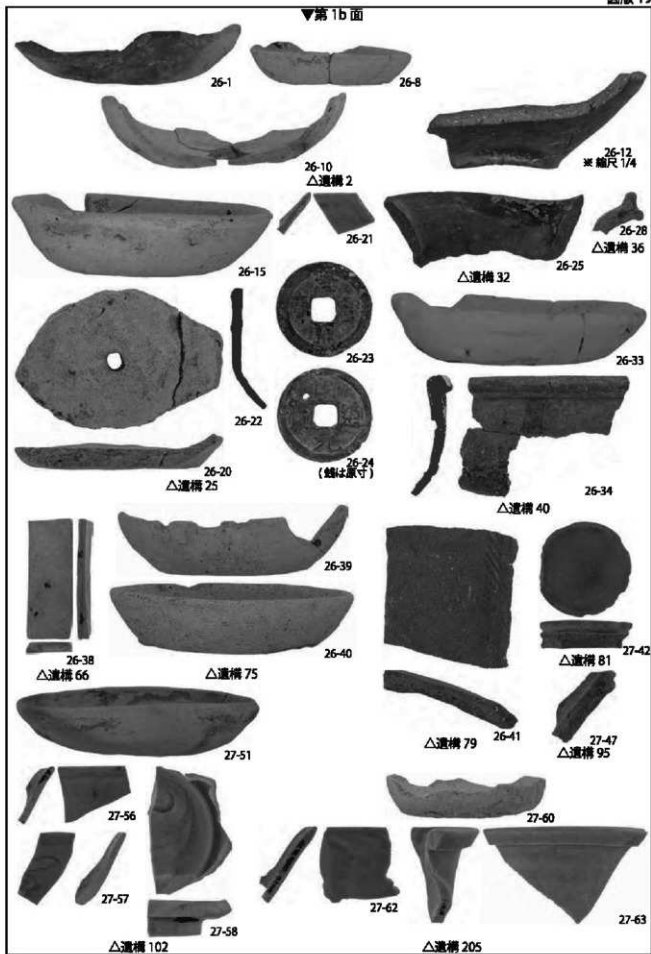
22-51



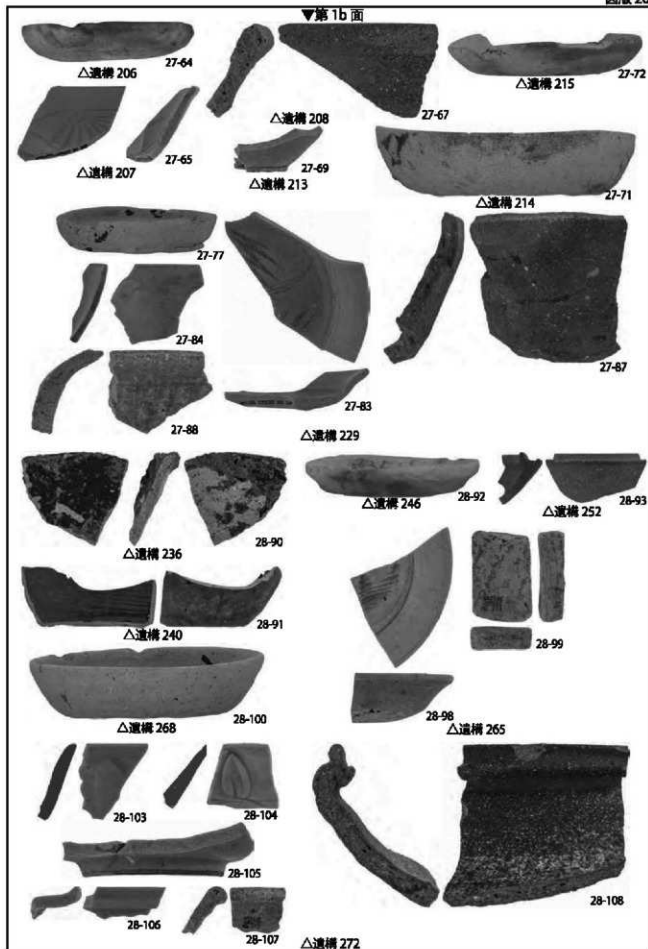
22-53
(鏡は原寸)

△遺構 202

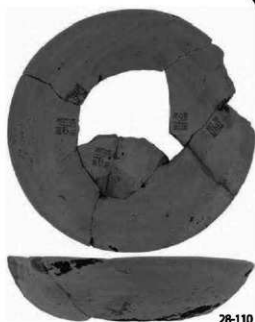
▼第1b面



▼第1b面



▼第 1b 面



28-110



28-109

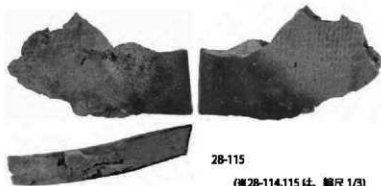


28-111

△遺構 273



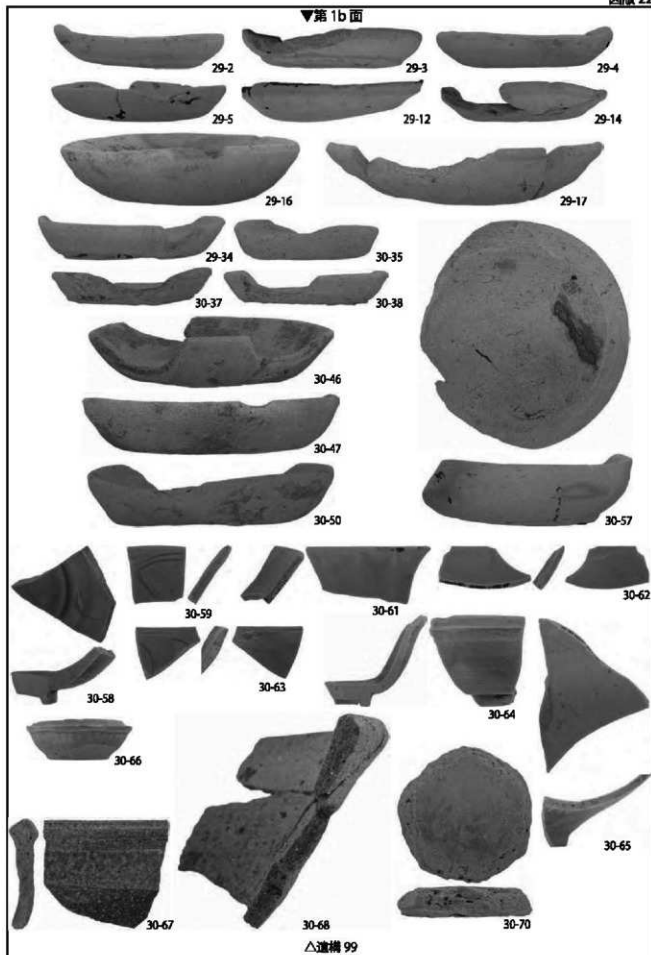
28-114



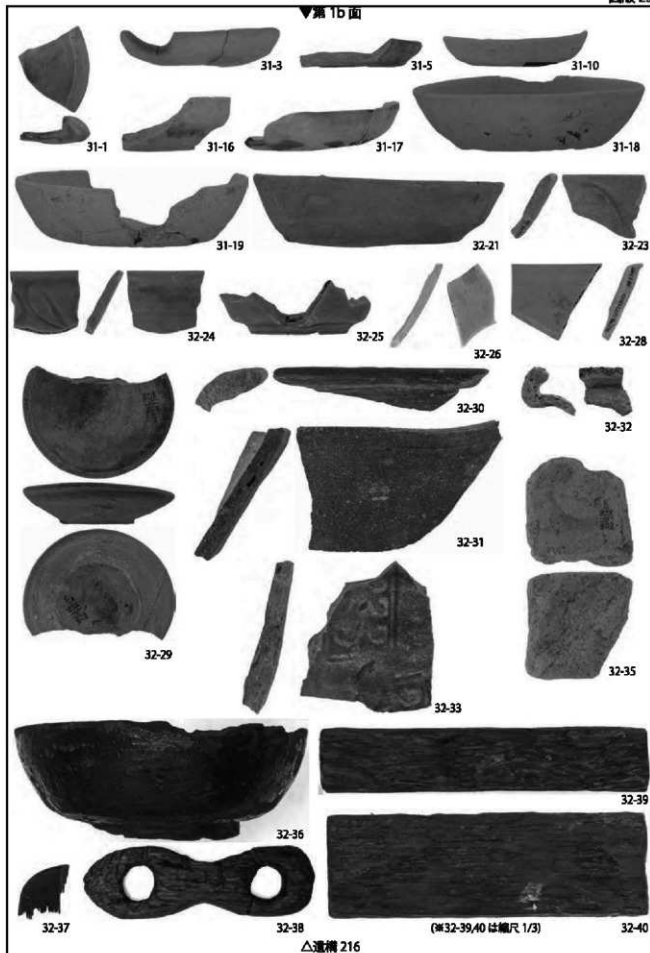
28-115

(與 28-114, 115 同、縮尺 1/3)

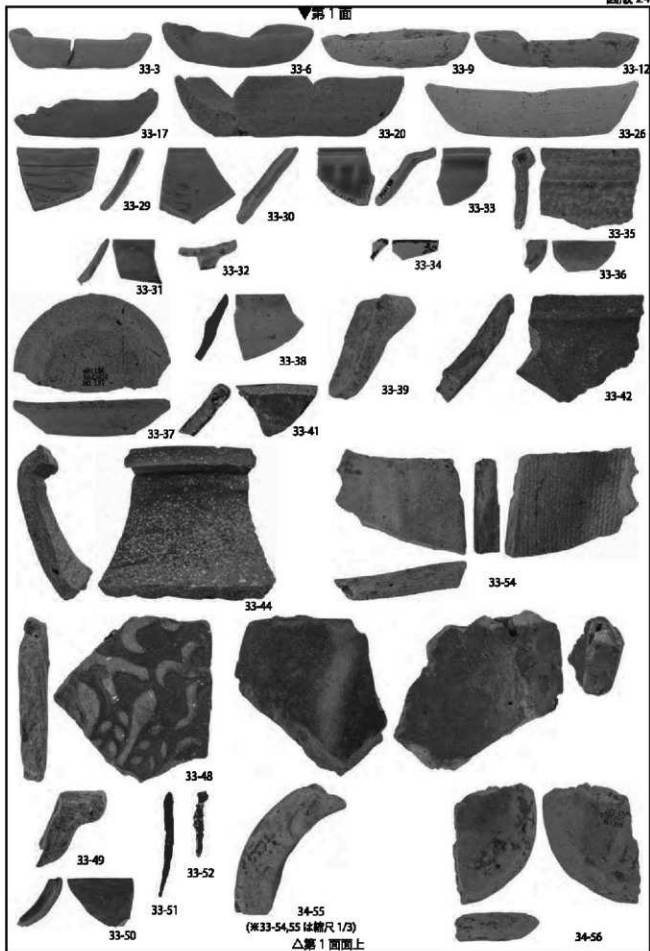
△遺構 284



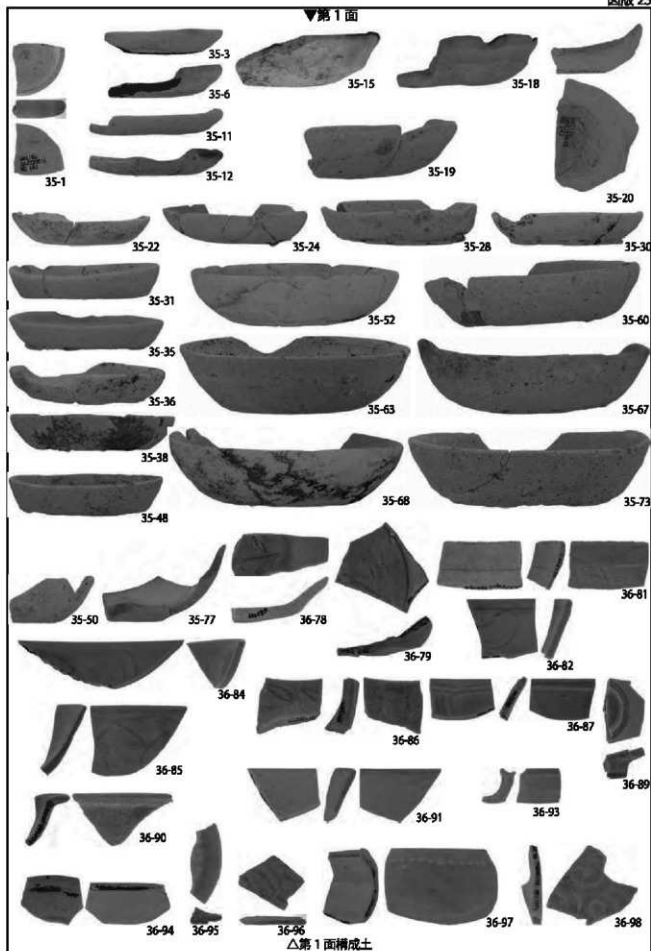
▼第 1b 面



▼第1面

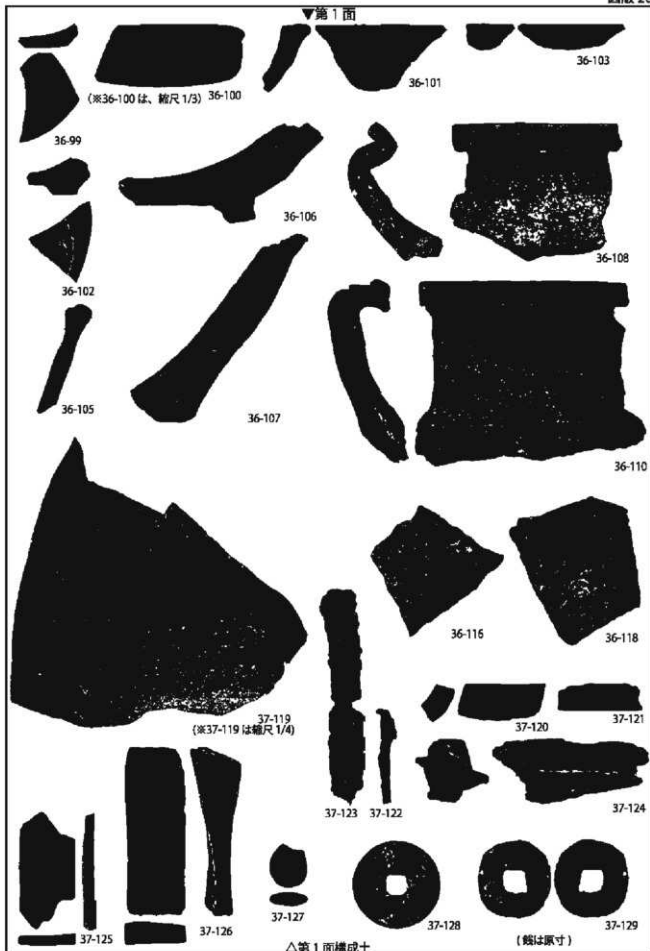


▼第1面

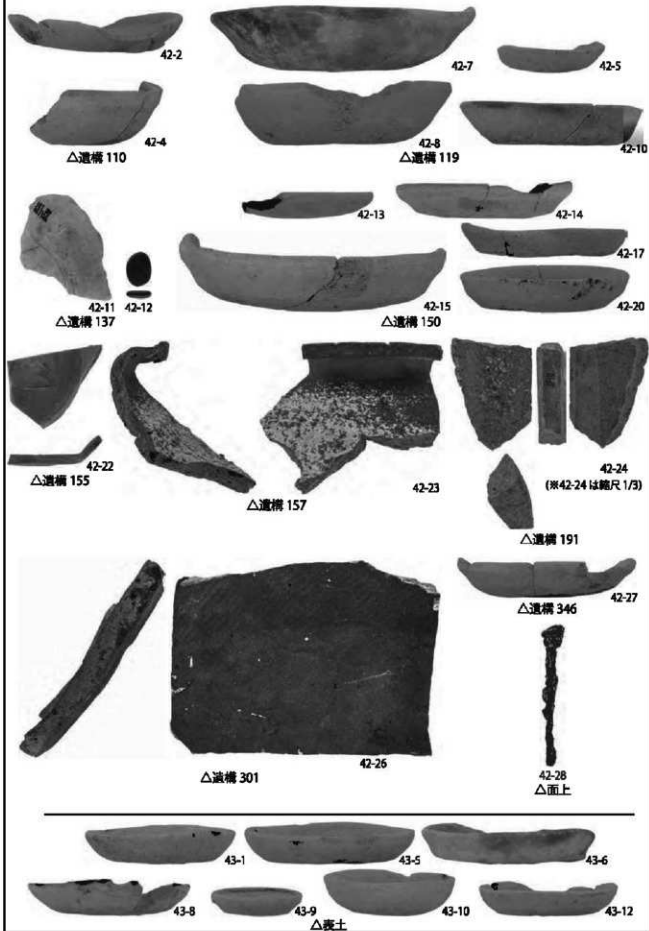


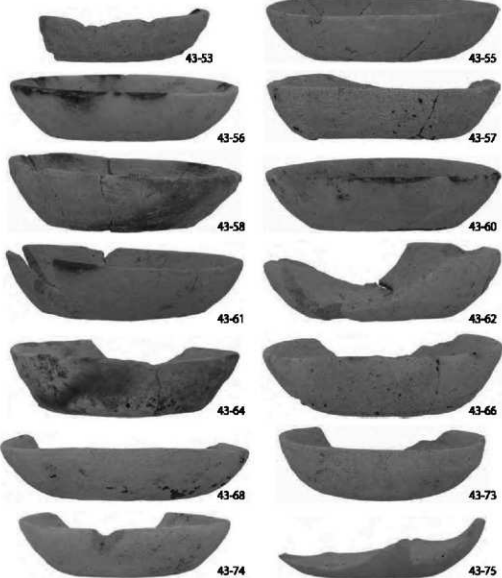
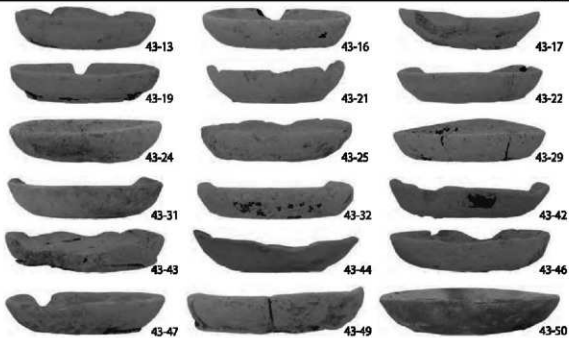
△第1面 網成土

▼第1面

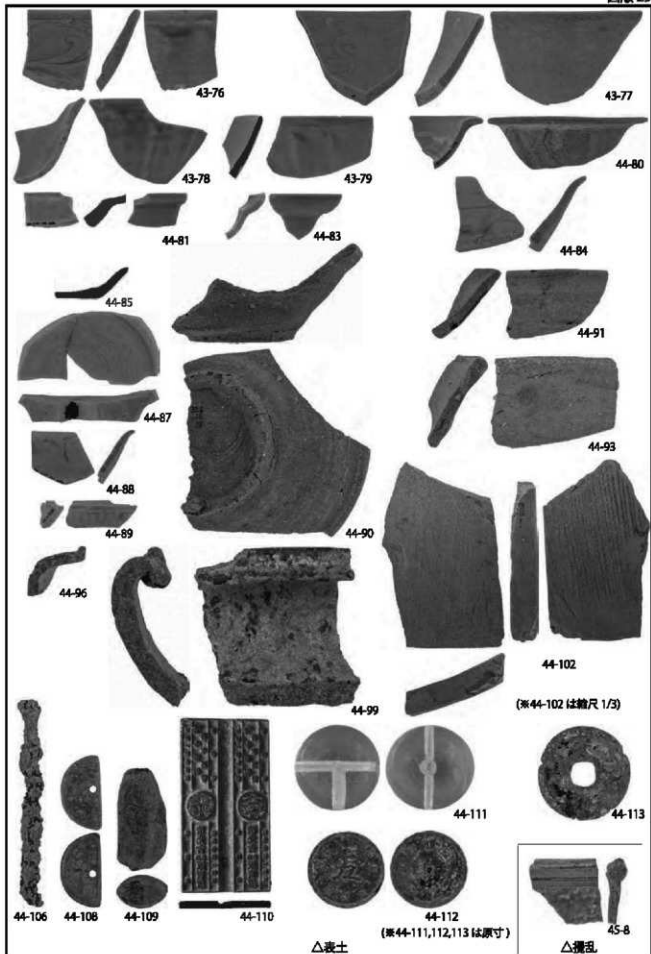


▼第2面





△ 残片



報告書抄録

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかざいきんきゅうちょうさほうこくしょ							
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書							
副書名	令和元年度発掘調査報告							
巻次	36 (第1分冊)							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	押木弘己/伊丹まどか							
編集機関	鎌倉市教育委員会							
所在地	〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号							
発行年月日	西暦2020年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
わかみやおおじじょうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	神奈川県鎌倉市 小町一丁目 333番2	14204	242	35° 19' 04"	139° 33' 10"	20070201 ～ 20070629	180.00	個人専用住宅 (柱状改良工事)
わかみやおおじじょうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	神奈川県鎌倉市 小町二丁目 281番2	14204	242	35° 20' 28"	139° 32' 08"	20120123 ～ 20120420	104.00	個人専用住宅 (柱状改良工事)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
わかみやおおじじょうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	都市	中世	土坑、溝、柱穴、 堅穴建物	かわらけ、国産陶器、 舶載磁器、瓦、金属製 品、石製品、木製品	13世紀中～14世紀前 葉の堅穴建物を確 認。うち一棟の壁板 下から、未使用の青 磁器が出土。
わかみやおおじじょうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	都市	中世	土坑、溝、柱穴、 柱穴列、獨立柱建 物、堅穴建物、か わらけ廃棄土坑	土師器、かわらけ、国 産陶器、舶載磁器、 瓦、金属製品、石製品	13世紀第2四半期～ 14世紀前半にかけて のかわらけが出土。

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 36

令和元年度発掘調査報告

(第1分冊)

発行日 令和2年(2020年)3月31日

編集・発行 鎌倉市教育委員会
印刷 有限会社湘南グッド

第1分冊 正誤表

箇所	誤	正
IV 頁 発掘調査地点一覧 10の所在地	浄明寺一丁目697番4	浄明寺一丁目691番4
96頁 欄外	記載なし	「II区下層 竪穴建物21」の出土遺物破片数・重量については、97頁の「II区下層 竪穴建物21壁板下」に集計すべき資料の一部も含まれている。